

新型コロナウイルスによる生活及び意識の変化と スマホ等デジタル機器の活用意識調査

報 告 書

令和4年(2022年)1月

八 尾 市

目 次

I 調査概要

1. 調査の目的.....	1
2. 調査の方法.....	1
3. 回収の結果.....	1
4. 報告書の見方.....	1

II 調査結果

1. 回答者の属性.....	2
(1) 調査票の記入者.....	2
(2) 調査対象者について.....	2
2. 新型コロナウイルス感染症について.....	6
(1) 新型コロナウイルス感染症に対して不安に思うこと.....	6
(2) 感染拡大の前と比べた生活時間やコミュニケーションの変化.....	9
(3) 感染拡大の前と比べた運動習慣や食生活の変化.....	23
(4) 感染拡大の前と比べた心身における健康面の意識の変化.....	35
(5) 新型コロナワクチンの接種有無.....	45
(6) ワクチンの接種場所.....	47
(7) ワクチン接種の予約方法.....	49
3. 心身の健康状態について.....	51
(1) 心身の健康状態について.....	51
(2) 1 km ぐらいの距離を続けて歩けるか.....	67
(3) 仕事、買い物、散歩、通院、社会活動等の外出頻度.....	70
4. 健康づくりや介護予防活動について.....	72
(1) 健康のために行っている活動.....	72
(2) 参加してみたい活動.....	76
(3) 通いの場の参加頻度.....	80
(4) 通いの場に通う理由.....	84
5. インターネットの利用について.....	86
(1) インターネットの利用頻度.....	86
(2) インターネット利用時に使用する情報端末機器.....	88
(3) 情報端末機器の利用目的.....	90
(4) コロナ禍において、情報端末機器を利用してよかったと思うこと.....	94
(5) 利用している情報端末機器で困ったこと.....	98
(6) 自宅での Wi-Fi 環境の有無.....	102
(7) インターネットを使っていない理由.....	104
(8) インターネットの利用意向.....	108
(9) インターネット利用時に使用したい情報端末機器.....	110

(10) 情報端末機器で行いたいこと.....	112
(11) 情報端末機器の利用方法などを学べる教室への参加意向.....	116
(12) 参加したい教室の内容.....	118
(13) 情報端末機器で動画を見ながら自宅で介護予防への取り組み意向.....	122
(14) 取り組みたい介護予防の内容.....	124
(15) 情報端末機器を活用した介護予防事業サービスで希望する機能.....	128
6. 日常生活の困りごとや相談したいことについて.....	132
(1) 日常生活を送るうえでの困りごとや相談等の有無.....	132
(2) 具体的な困りごとや相談等について（自由記述）.....	134

Ⅲ 調査結果のまとめと課題

1. 新型コロナウイルス感染症の拡大と日常生活の変化.....	137
(1) コロナ禍における要支援高齢者の活動状況と変化.....	137
(2) コロナ禍における心身の健康面の変化.....	137
(3) 新型コロナワクチンの接種状況.....	138
2. 要支援高齢者の心身の健康状態や活動能力.....	138
(1) 現在の高齢者の健康状態.....	138
(2) 歩行・外出の状況.....	138
3. 健康づくりや介護予防活動.....	139
(1) 健康のために行っている活動や今後の意向.....	139
(2) 通いの場への参加状況.....	139
4. インターネットの利用状況と今後の意向.....	139
(1) インターネットと情報端末機器の利用状況.....	139
(2) インターネットの利用環境と利用意向.....	140
(3) 情報端末機器の利用方法などを学べる教室の参加意向.....	141
(4) 情報端末機器を活用した介護予防への取り組み意向.....	141
5. 日常生活の困りごとや相談したいこと.....	142

Ⅳ 資料編（調査票）.....	143
-----------------	-----

I 調査概要

1. 調査の目的

新型コロナウイルス感染防止のため自粛生活を続けてきた今の高齢者の状況を知り、「スマホ等を活用した健康づくり事業」を展開するための基礎的な資料を作成することを目的としてアンケートを実施しました。

2. 調査の方法

- (1) 調査対象 八尾市在住で、令和3年9月6日現在で要支援1～2の認定を受けている65歳以上の方全員
- (2) 調査方法 郵送配布、郵送回収
- (3) 調査期間 令和3年10月8日（金）～10月25日（月）

3. 回収の結果

配布数	有効回答数	有効回答率
5,472件	4,064件	74.3%

4. 報告書の見方

- (1) 回答は、各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（％）で示し、小数点第2位を四捨五入しました。（比率の合計が100.0%にならない場合があります。）
- (2) 複数回答の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- (3) 図表中に以下の表示がある場合は、複数回答を依頼した質問を示しています。
 - ・ MA %（Multiple Answer）：回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合
 - ・ 3 LA%（3 Limited Answer）：回答選択肢の中からあてはまるものを3つ以内で選択する場合
- (4) 本文中のグラフや数表で、コンピュータの入力の都合上、回答選択肢の見出しを簡略化している場合があります。
- (5) 小学校区は、高齢者あんしんセンター（八尾市地域包括支援センター）の担当区域である中学校区と、介護保険事業計画の日常生活圏域ごとに集計しそれぞれの傾向をみています。なお、高安は小中学校区ですが、便宜上「小学校区」「中学校区」のそれぞれでも使用しています。
- (6) 図表のn値が少ない場合、回答に偏りがあるなど数値の見方には注意が必要です。

Ⅱ 調査結果

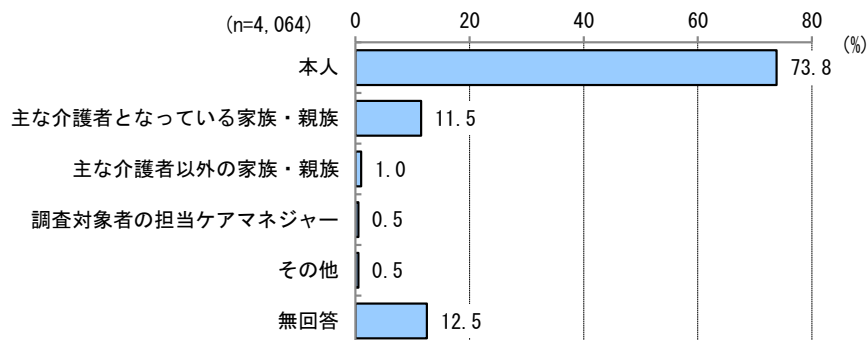
1. 回答者の属性

(1) 調査票の記入者

【全体】

調査票の記入者は、「本人」が73.8%で最も多くなっています。次いで「主な介護者となっている家族・親族」が11.5%となっています。(図1-1)

【図1-1 調査票の記入者】

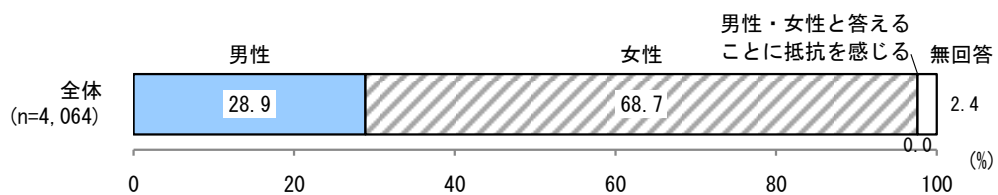


(2) 調査対象者について

①性別

性別は、男性が28.9%、女性が68.7%となっています。(図1-2①)

【図1-2① 性別】

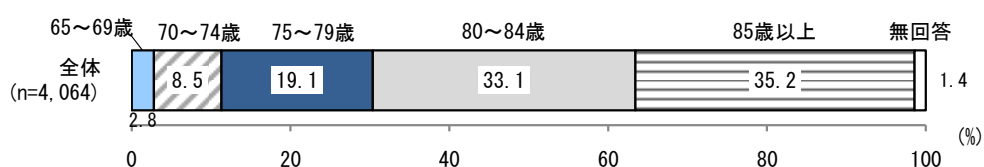


②年齢

【全体】

年齢は、「85歳以上」が35.2%で最も多く、次いで「80～84歳」が33.1%、「75～79歳」が19.1%となっています。(図1-2②-1)

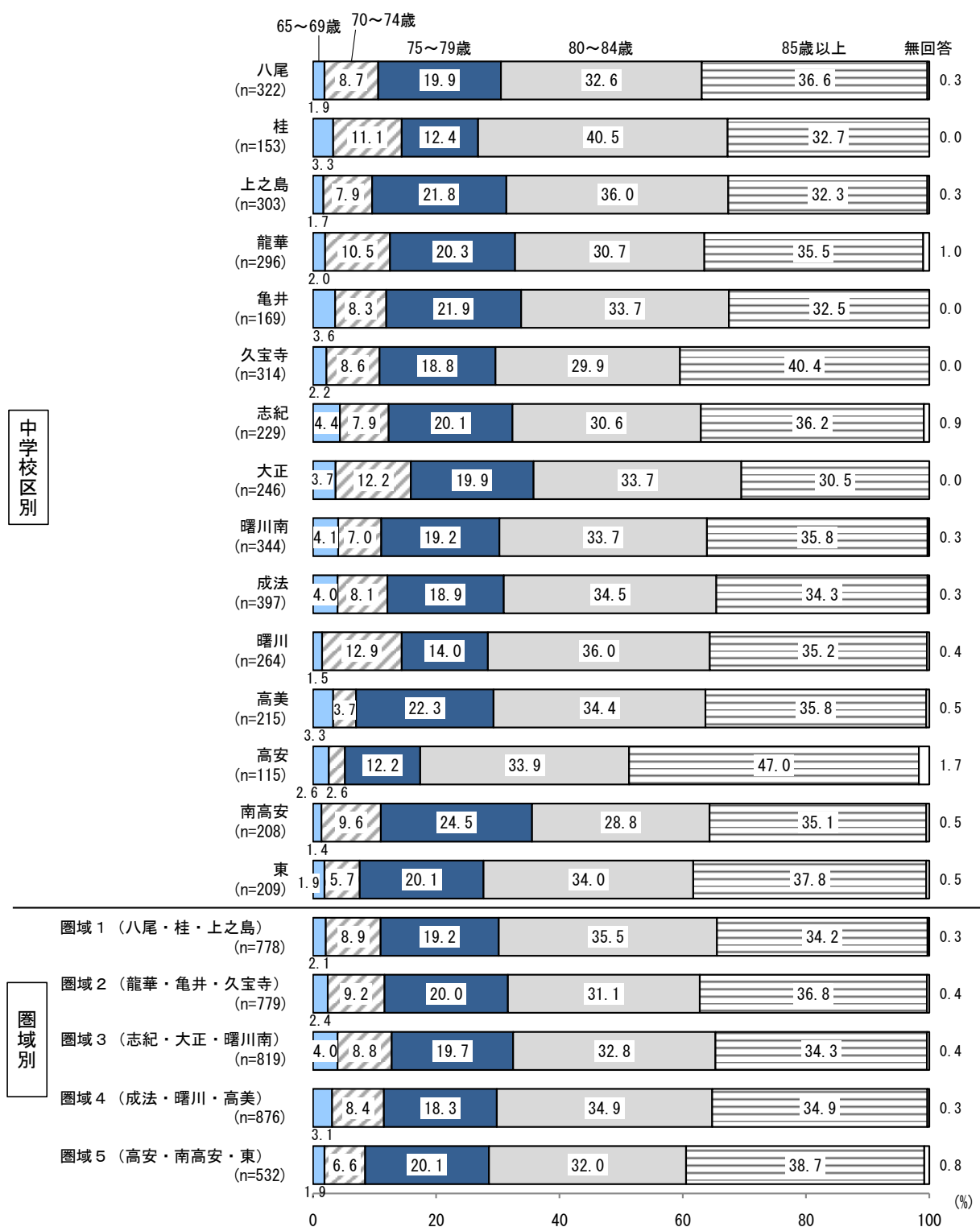
【図1-2②-1 年齢】



【居住地域別】

中学校区別では、後期高齢者（75歳以上）の割合は高安が93.1%で最も高く、次いで高美が92.5%、東が91.9%となっています。（図1-2②-2）

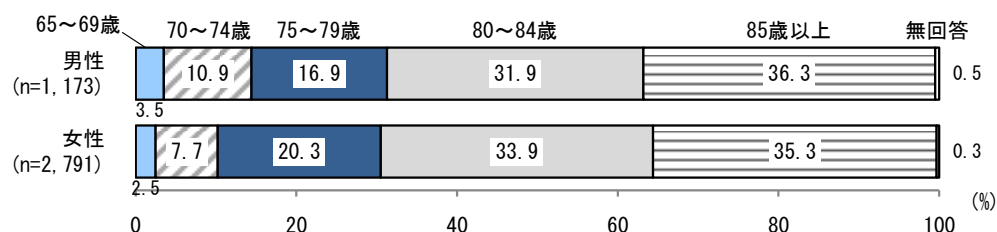
【図1-2②-2 居住地域別 年齢】



【性別】

男女とも「85歳以上」が最も多く、次いで「80～84歳」が多くなっています。「75～79歳」は男性が16.9%、女性が20.3%で、女性のほうが3.4ポイント高い割合となっています。（図1-2②-3）

【図1-2②-3 性別 年齢】

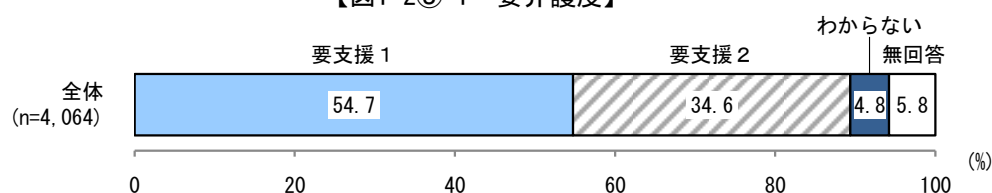


③要介護度

【全体】

要介護度は、「要支援1」が54.7%、「要支援2」が34.6%となっています。（図1-2③-1）

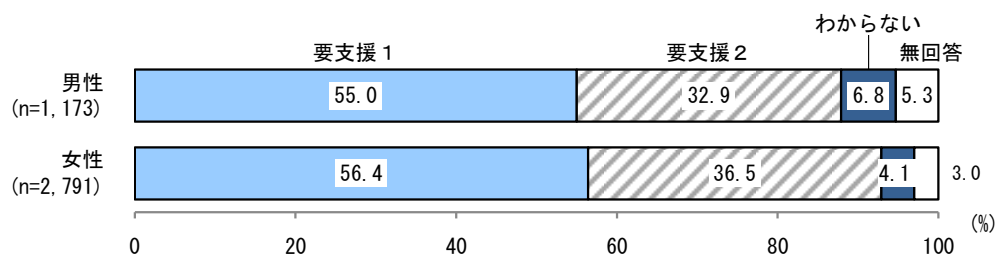
【図1-2③-1 要介護度】



【性別】

「要支援1」は男性が55.0%、女性が56.4%となっています。「要支援2」は男性が32.9%、女性が36.5%で、女性のほうが3.6ポイント高い割合となっています。（図1-2③-2）

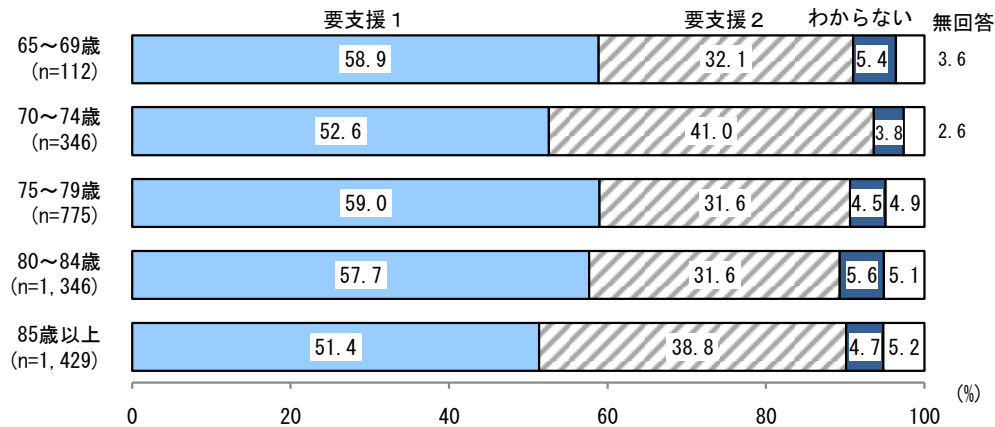
【図1-2③-2 性別 要介護度】



【年齢別】

「要支援1」の割合は、75～79歳が59.0%で最も高く、次いで65～69歳が58.9%、80～84歳が57.7%となっています。「要支援2」の割合は、70～74歳が41.0%と最も高く、次いで85歳以上が38.8%となっています。(図1-2③-3)

【図1-2③-3 年齢別 要介護度】

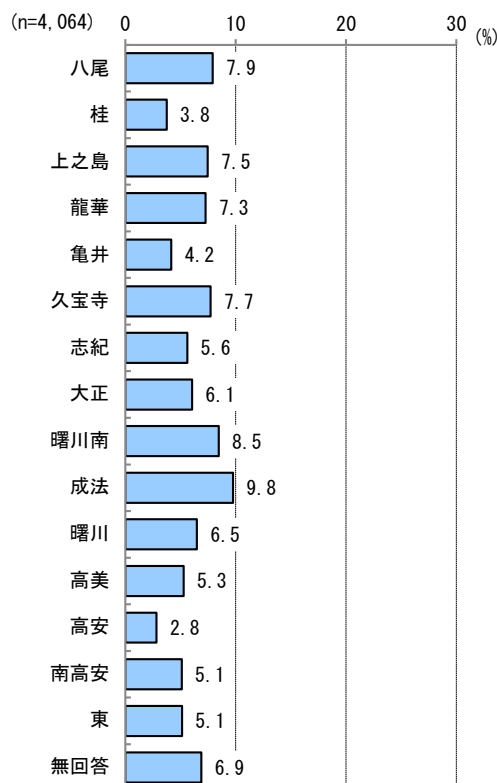


④居住地域

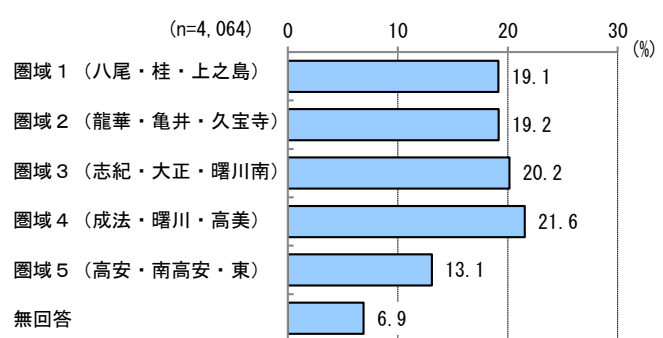
中学校区別では、「成法」が9.8%で最も多く、次いで「曙川南」が8.5%、「八尾」が7.9%となっています。(図1-2④-1)

圏域別では、「圏域4 (成法・曙川・高美)」が21.6%で最も多く、次いで「圏域3 (志紀・大正・曙川南)」が20.2%となっています。(図1-2④-2)

【図1-2④-1 中学校区別 居住地域】



【図1-2④-2 圏域別 居住地域】



* 地域区分

中学校区	小学校区	中学校区	小学校区
八尾	用和・長池	成法	八尾・安中
桂	桂・北山本	曙川	南山本・高安西
上之島	山本・上之島	高美	高美・高美南
龍華	龍華・永畑	高安	高安
亀井	竹淵・亀井	南高安	南高安
久宝寺	久宝寺・美園	東	東山本・西山本
志紀	志紀		
大正	大正・大正北		
曙川南	曙川・刑部・曙川東		

2. 新型コロナウイルス感染症について

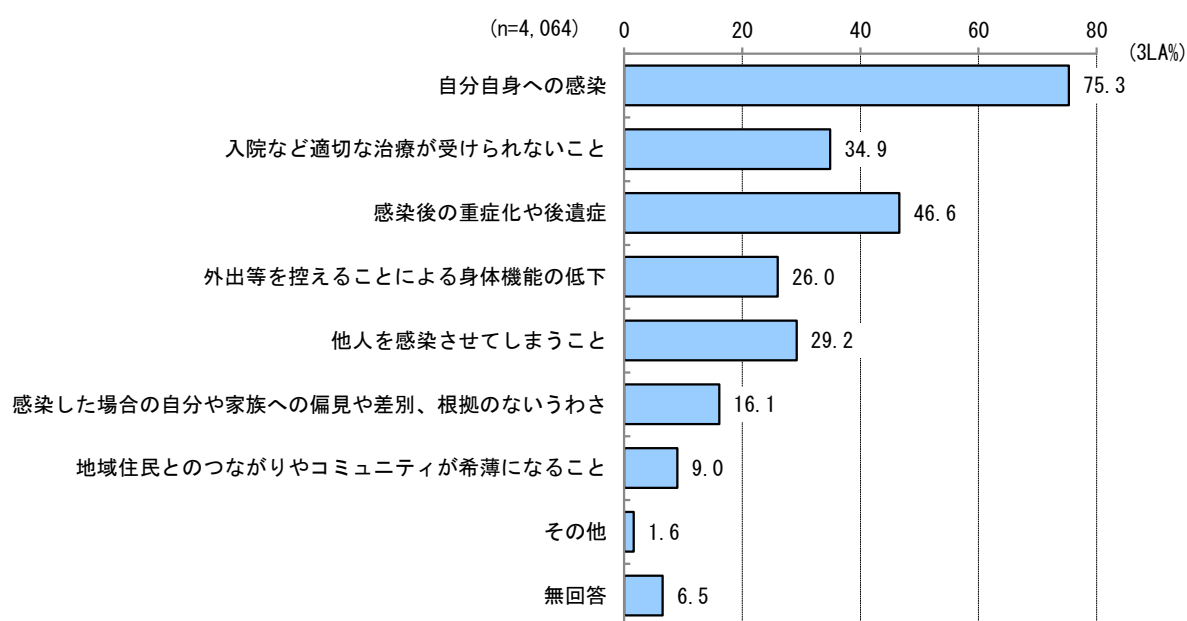
(1) 新型コロナウイルス感染症に対して不安に思うこと

問3 新型コロナウイルス感染症に対してどのような不安がありますか。(○は3つまで)

【全体】

新型コロナウイルス感染症について不安に感じられていることは、「自分自身への感染」が75.3%で最も多くなっています。これに次いで「感染後の重症化や後遺症」が46.6%で、以下、「入院など適切な治療が受けられないこと」(34.9%)、「他人を感染させてしまうこと」(29.2%)、「外出等を控えることによる身体機能の低下」(26.0%)が続いています。(図2-1)

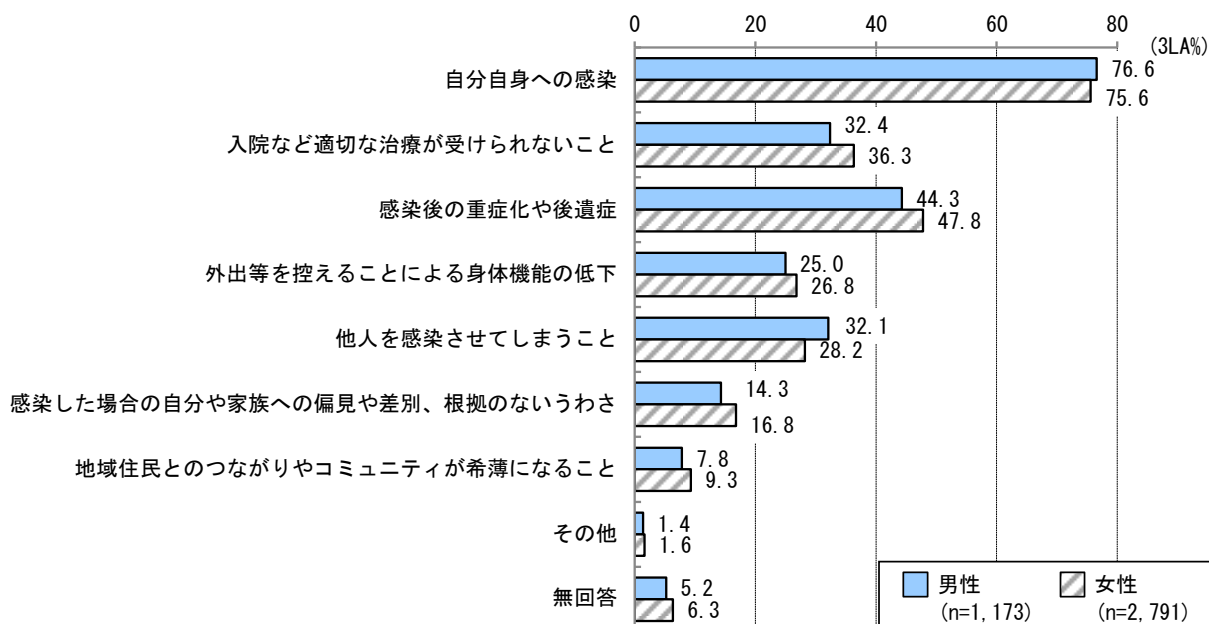
【図2-1 新型コロナウイルス感染症に対して不安に思うこと】



【性別】

男女とも「自分自身への感染」が最も多くなっています。これに次いで「感染後の重症化や後遺症」、「入院など適切な治療が受けられないこと」、「他人を感染させてしまうこと」が多く、いずれも男女間での差は小さくなっています。(図2-1-1)

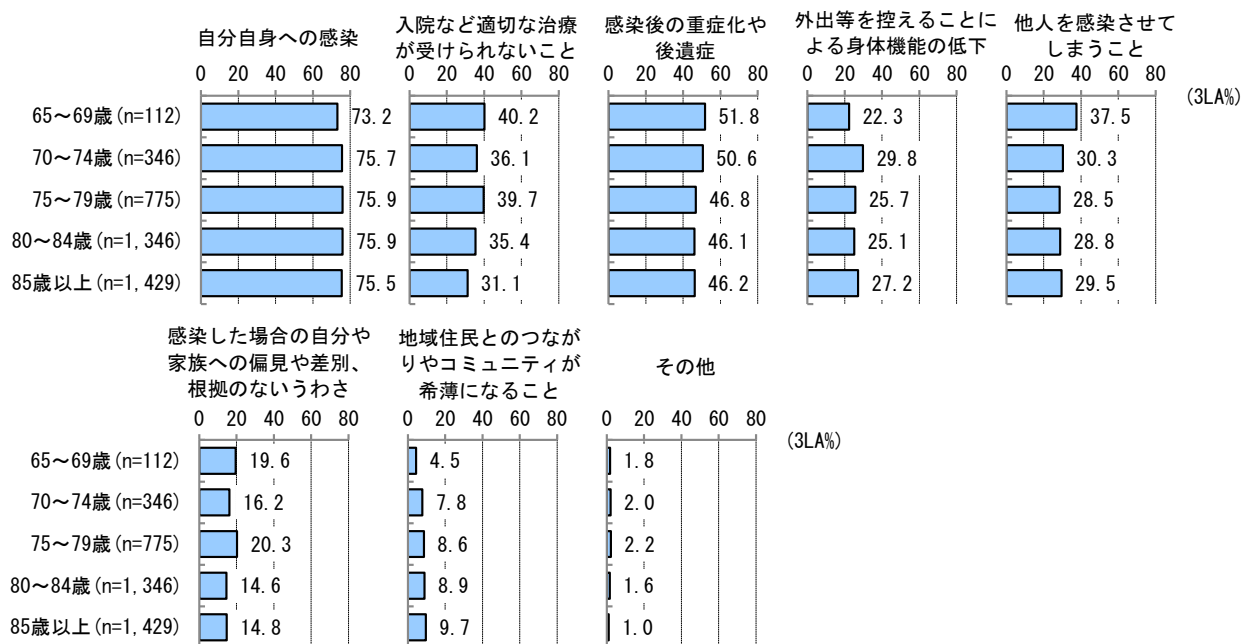
【図2-1-1 性別 新型コロナウイルス感染症に対して不安に思うこと】



【年齢別】

「自分自身への感染」が年齢に関係なく高く、「感染後の重症化や後遺症」や「他人を感染させてしまうこと」の割合は、74歳までの前期高齢者で高い傾向がみられます。(図2-1-2)

【図2-1-2 年齢別 新型コロナウイルス感染症に対して不安に思うこと】



【居住地域別】

いずれの地域も「自分自身への感染」が最も多くなっています。

中学校区では、南高安で「入院など適切な治療が受けられないこと」が他の中学校区よりも高い割合となっています。（表2-1-3）

【表2-1-3 居住地域別 新型コロナウイルス感染症に対して不安に思うこと】

(3LA%)												
		n 数	自分 自身 への 感染	入 院 な ど 適 切 な 治 療 が 受 け ら れ な い こ と	感 染 後 の 重 症 化 や 後 遺 症	機 能 の 低 下	外 出 等 を 控 え る こ と に よ る 身 体	他 人 を 感 染 さ せ て し ま う こ と	感 染 し た 場 合 の 自 分 や 家 族 へ の 偏 見 や 差 別 、 根 拠 の な い う わ さ	地 域 住 民 と の つ な が り や コ ミ ュ ニ テ ィ が 希 薄 に な る こ と	そ の 他	無 回 答
中 学 校 区 別	八尾	322	81.4	37.6	47.5	27.3	31.4	15.8	8.7	0.3	3.4	
	桂	153	75.2	31.4	37.9	28.8	27.5	11.8	10.5	1.3	10.5	
	上之島	303	74.9	35.6	49.8	30.0	25.7	13.2	11.9	2.0	5.6	
	龍華	296	77.7	36.8	48.0	25.3	31.4	16.6	8.4	3.4	4.7	
	亀井	169	76.3	39.1	49.1	27.8	28.4	18.3	7.7	1.8	5.9	
	久宝寺	314	72.0	35.7	40.8	26.1	29.9	18.5	5.7	0.3	7.3	
	志紀	229	73.4	35.4	51.5	21.8	29.3	16.6	4.8	1.3	5.7	
	大正	246	78.5	33.3	43.1	27.2	31.7	13.4	9.3	2.4	6.1	
	曙川南	344	78.8	34.9	48.3	26.2	30.2	17.7	9.6	1.5	4.9	
	成法	397	74.1	32.2	48.4	25.4	29.0	14.4	7.8	1.5	8.3	
	曙川	264	77.7	37.5	48.9	23.9	29.2	15.9	10.6	1.9	3.8	
	高美	215	76.7	36.7	54.0	24.7	27.9	19.1	6.5	1.4	4.2	
	高安	115	77.4	30.4	47.8	20.0	28.7	12.2	13.9	-	6.1	
	南高安	208	75.5	41.3	41.3	34.1	28.4	17.8	10.6	1.0	6.3	
	東	209	70.8	29.7	49.3	24.9	28.7	19.6	12.0	2.4	4.3	
圏 域 別	圏域 1（八尾・桂・上之島）	778	77.6	35.6	46.5	28.7	28.4	14.0	10.3	1.2	5.7	
	圏域 2（龍華・亀井・久宝寺）	779	75.1	36.8	45.3	26.2	30.2	17.7	7.2	1.8	6.0	
	圏域 3（志紀・大正・曙川南）	819	77.2	34.6	47.6	25.3	30.4	16.1	8.2	1.7	5.5	
	圏域 4（成法・曙川・高美）	876	75.8	34.9	49.9	24.8	28.8	16.0	8.3	1.6	5.9	
	圏域 5（高安・南高安・東）	532	74.1	34.4	45.9	27.4	28.6	17.3	11.8	1.3	5.5	

(2) 感染拡大の前と比べた生活時間やコミュニケーションの変化

問4 新型コロナウイルス感染拡大により、その前と比べて生活時間やコミュニケーションに変化がありましたか。①～⑨の項目についてそれぞれお答えください。

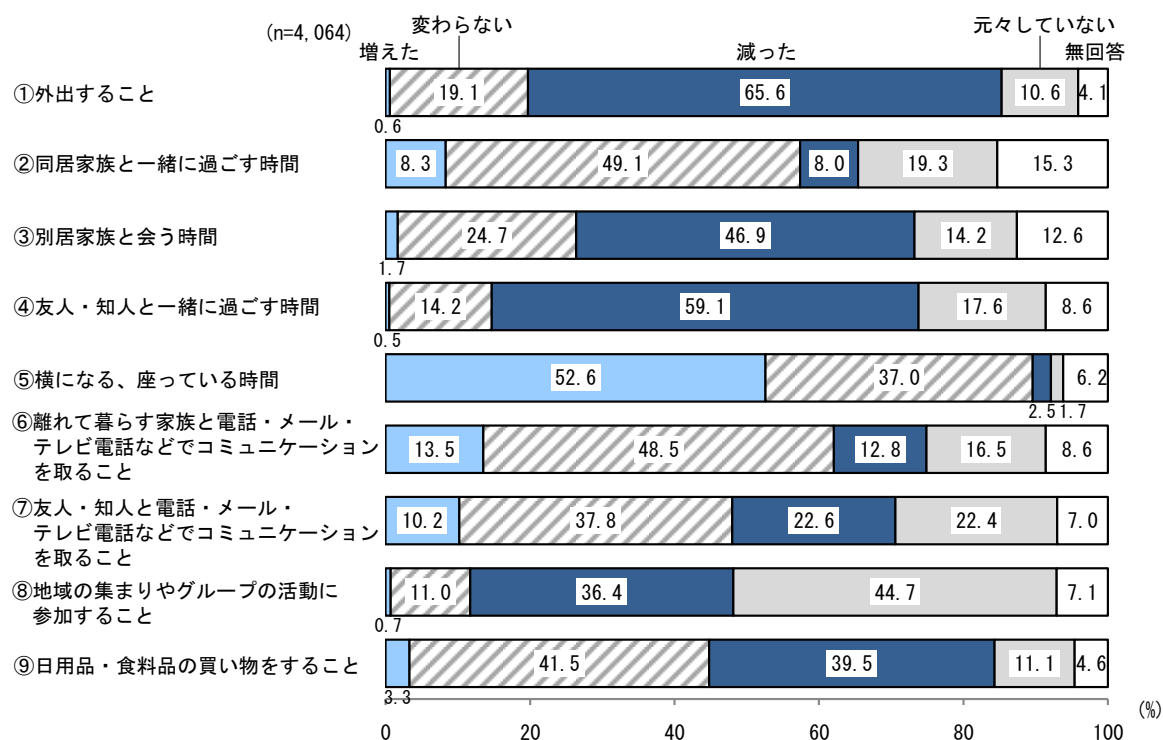
【全体】

「①外出すること」や「⑨日用品・食料品の買い物をすること」は8割の高齢者が行っていますが、新型コロナウイルスの感染拡大により、「減った」との回答が、「①外出すること」では65.6%、「⑨日用品・食料品の買い物をすること」では39.5%となっています。(図2-2)

「⑧地域の集まりやグループの活動に参加すること」を行っている高齢者は48.1%で半数に満たなく、そのうち「減った」が36.4%となっています。また、「③別居家族と会う時間」や「④友人・知人と一緒に過ごす時間」を費やしている高齢者はいずれも7割に上りますが、「減った」との回答が半数前後を占めています。(図2-2)

一方、他者との接触が直接ない、または少ないと考えられる「②同居家族と一緒に過ごす時間」や「⑥離れて暮らす家族と電話・メール・テレビ電話などでコミュニケーションをとること」「⑦友人・知人と電話・メール・テレビ電話などでコミュニケーションをとること」は、「変わらない」がそれぞれ最も多くなっています。(図2-2)

【図2-2 感染拡大前と比べた生活時間やコミュニケーションの変化】



【居住地域別】

「増えた」と回答した割合

中学校区別では、「⑤横になる、座っている時間」が「増えた」割合は、八尾が59.6%と最も高く、最も低い上之島（46.5%）とは13.1ポイントの差となっています。（表2-2-1）

【表2-2-1 居住地域別 感染拡大前と比べた生活時間やコミュニケーションの変化（増えた）】

		n数	①外出すること	②同居家族と一緒に過ごす時間	③別居家族と会う時間	④友人・知人と一緒に過ごす時間	⑤横になる、座っている時間	⑥メール・テレビジョンを取ることでコミュニケーションをとる	⑦友人・知人と電話・メール・テレビジョンを取ることでコミュニケーションをとる	⑧地域の集まりやグループの活動に参加すること	⑨日用品・食料品の買い物をすること
中学校区別	八尾	322	1.2	9.3	1.6	0.6	59.6	14.0	10.9	0.6	4.0
	桂	153	0.7	5.9	1.3	0.7	51.6	9.8	6.5	0.7	2.6
	上之島	303	-	7.3	1.3	0.7	46.5	13.5	11.2	0.7	2.6
	龍華	296	0.7	9.1	1.4	0.7	50.0	14.2	10.8	1.0	5.4
	亀井	169	0.6	7.7	0.6	0.6	59.2	11.8	9.5	-	4.1
	久宝寺	314	1.0	6.4	2.2	1.0	55.7	13.7	10.8	1.0	2.2
	志紀	229	0.4	11.4	2.2	-	51.1	18.3	12.2	0.4	3.5
	大正	246	0.8	7.7	1.2	0.4	51.6	11.0	6.9	1.2	3.3
	曙川南	344	-	9.0	2.9	0.9	55.5	11.6	9.0	1.5	4.4
	成法	397	0.8	7.1	2.3	0.8	49.6	15.4	9.8	0.5	3.3
	曙川	264	-	9.8	0.8	-	58.7	16.3	11.4	-	1.5
	高美	215	0.9	4.7	0.9	0.5	53.5	15.8	14.0	0.5	3.7
	高安	115	0.9	6.1	-	-	54.8	8.7	6.1	1.7	5.2
	南高安	208	0.5	8.2	1.4	0.5	50.0	12.5	12.5	1.0	2.4
	東	209	-	12.9	2.9	-	49.3	12.9	8.6	0.5	1.4
圏域別	圏域1（八尾・桂・上之島）	778	0.6	7.8	1.4	0.6	53.0	13.0	10.2	0.6	3.2
	圏域2（龍華・亀井・久宝寺）	779	0.8	7.7	1.5	0.8	54.3	13.5	10.5	0.8	3.9
	圏域3（志紀・大正・曙川南）	819	0.4	9.3	2.2	0.5	53.1	13.3	9.3	1.1	3.8
	圏域4（成法・曙川・高美）	876	0.6	7.3	1.5	0.5	53.3	15.8	11.3	0.3	2.9
	圏域5（高安・南高安・東）	532	0.4	9.6	1.7	0.2	50.8	11.8	9.6	0.9	2.6

【居住地域別】

「変わらない」と回答した割合

中学校区別では、「②同居家族と一緒に過ごす時間」が「変わらない」割合は、高美が56.3%と最も高く、一番低い桂（32.0%）とは24.3ポイントの差となっています。（表2-2-2）

【表2-2-2 居住地域別 感染拡大前と比べた生活時間やコミュニケーションの変化（変わらない）】

		n数	①外出すること	②同居家族と一緒に過ごす時間	③別居家族と会う時間	④友人・知人と一緒に過ごす時間	⑤横になる、座っている時間	⑥離れて暮らす家族と電話・メール・テレビ電話などでのコミュニケーションを取ること	⑦友人・知人と電話・メール・テレビ電話などでのコミュニケーションを取ること	⑧地域の集まりやグループの活動に参加すること	⑨日用品・食料品の買い物をすること
中学校区別	八尾	322	17.1	49.1	24.2	12.4	32.3	49.7	32.9	9.6	41.3
	桂	153	10.5	32.0	23.5	13.7	30.1	45.8	35.3	7.2	35.9
	上之島	303	18.5	50.5	26.7	18.2	42.9	50.8	38.9	10.9	46.9
	龍華	296	17.6	52.4	28.4	16.9	39.5	50.7	42.9	10.5	42.9
	亀井	169	19.5	46.2	17.2	9.5	32.0	46.2	36.7	8.9	37.9
	久宝寺	314	19.7	51.3	25.5	14.0	36.3	49.7	40.8	12.1	39.2
	志紀	229	17.0	47.2	23.1	11.4	37.1	44.5	38.4	10.5	46.3
	大正	246	16.7	53.7	30.9	13.4	39.0	47.6	38.2	11.8	36.6
	曙川南	344	18.0	52.0	24.7	15.4	36.3	54.9	37.5	11.0	35.8
	成法	397	24.2	46.1	26.7	15.6	39.0	47.6	37.8	11.1	45.1
	曙川	264	20.5	54.5	25.4	17.8	36.4	51.5	43.6	13.3	47.3
	高美	215	26.5	56.3	24.7	14.4	36.3	45.1	32.6	14.4	42.3
	高安	115	17.4	55.7	23.5	10.4	33.9	53.0	47.0	9.6	33.0
	南高安	208	13.9	46.6	22.1	10.6	38.0	48.1	34.1	7.7	37.0
	東	209	20.1	48.3	22.0	10.5	39.2	46.4	37.3	12.4	44.0
圏域別	圏域1（八尾・桂・上之島）	778	16.3	46.3	25.1	14.9	36.0	49.4	35.7	9.6	42.4
	圏域2（龍華・亀井・久宝寺）	779	18.9	50.6	24.8	14.1	36.6	49.3	40.7	10.8	40.3
	圏域3（志紀・大正・曙川南）	819	17.3	51.2	26.1	13.7	37.4	49.8	38.0	11.1	38.9
	圏域4（成法・曙川・高美）	876	23.6	51.1	25.8	16.0	37.6	48.2	38.2	12.6	45.1
	圏域5（高安・南高安・東）	532	17.1	49.2	22.4	10.5	37.6	48.5	38.2	10.0	38.9

【居住地域別】

「減った」と回答した割合

中学校区別では、「①外出すること」が「減った」割合は、桂が73.2%、南高安が71.2%と7割を超えています。(表2-2-3)

【表2-2-3 居住地域別 感染拡大前と比べた生活時間やコミュニケーションの変化（減った）】

												(%)
		n 数	① 外出すること	② 同居家族と一緒に過ごす時間	③ 別居家族と会う時間	④ 友人・知人と一緒に過ごす時間	⑤ 横になる、座っている時間	⑥ 離れて暮らす家族と電話・メール・テレビ電話などでコミュニケーションを取る時間	⑦ 友人・知人と電話・メール・テレビ電話などでコミュニケーションを取る時間	⑧ 地域の集まりやグループの活動に参加すること	⑨ 日用品・食料品の買い物をすること	
中学校区別	八尾	322	67.4	6.5	46.6	58.4	2.5	11.5	21.4	32.0	41.0	
	桂	153	73.2	9.2	45.8	56.9	7.2	14.4	22.9	37.3	46.4	
	上之島	303	67.0	8.6	47.2	59.1	3.3	14.9	25.4	39.3	37.6	
	龍華	296	65.2	5.4	47.0	61.5	3.0	11.8	19.9	39.5	34.1	
	亀井	169	66.9	8.9	59.8	62.1	3.0	18.9	24.9	35.5	37.9	
	久宝寺	314	65.9	7.3	44.9	58.9	1.0	9.9	20.4	39.2	43.9	
	志紀	229	66.4	7.9	48.9	60.7	3.1	13.5	21.4	34.1	35.8	
	大正	246	65.4	8.9	43.1	58.5	2.8	15.9	25.6	41.5	43.5	
	曙川南	344	68.3	8.7	49.1	57.0	1.5	12.2	24.4	41.0	41.6	
	成法	397	61.5	9.1	43.6	58.2	2.0	9.6	22.4	34.0	37.8	
	曙川	264	67.0	6.1	50.0	62.9	0.4	11.4	24.6	35.2	37.9	
	高美	215	60.5	5.6	49.8	55.3	3.3	14.9	22.3	30.2	41.4	
	高安	115	66.1	7.8	47.0	65.2	0.9	9.6	19.1	35.7	38.3	
	南高安	208	71.2	12.0	45.7	64.9	3.4	12.0	24.5	45.7	41.8	
東	209	68.4	5.7	47.4	63.2	2.4	14.8	23.0	36.8	41.1		
圏域別	圏域 1（八尾・桂・上之島）	778	68.4	7.8	46.7	58.4	3.7	13.4	23.3	35.9	40.7	
	圏域 2（龍華・亀井・久宝寺）	779	65.9	6.9	48.9	60.6	2.2	12.6	21.2	38.5	38.9	
	圏域 3（志紀・大正・曙川南）	819	66.9	8.5	47.3	58.5	2.3	13.7	23.9	39.2	40.5	
	圏域 4（成法・曙川・高美）	876	62.9	7.3	47.0	58.9	1.8	11.4	23.1	33.4	38.7	
	圏域 5（高安・南高安・東）	532	69.0	8.6	46.6	64.3	2.4	12.6	22.7	40.0	40.8	

【居住地域別】

「元々していない」と回答した割合

中学校区別では、「⑧地域の集まりやグループの活動に参加すること」を「元々していない」割合は、八尾が52.5%と最も高く、一番低い高安（35.7%）とは16.8ポイントの差となっています。（表2-2-4）

圏域別では、「⑧地域の集まりやグループの活動に参加すること」を「元々していない」割合は、圏域4（成法・曙川・高美）が47.4%で最も高くなっています。（表2-2-4）

【表2-2-4 居住地域別 感染拡大前と比べた生活時間やコミュニケーションの変化（元々していない）】

			(%)								
		n数	①外出すること	②同居家族と一緒に過ごす時間	③別居家族と会う時間	④友人・知人と一緒に過ごす時間	⑤横になる、座っている時間	⑥離れて暮らす家族と電話・メール・テレビジョンを取ることでコミュニケーションをとること	⑦友人・知人と電話・メール・テレビジョンを取ることでコミュニケーションをとること	⑧地域の集まりやグループの活動に参加すること	⑨日用品・食料品の買い物をすること
中学校区別	八尾	322	12.4	19.3	14.6	21.7	1.2	17.4	30.1	52.5	11.8
	桂	153	9.8	27.5	16.3	16.3	3.3	20.3	24.2	45.1	7.2
	上之島	303	10.6	20.5	13.9	14.5	1.3	14.2	18.8	42.6	9.6
	龍華	296	10.5	18.2	11.8	12.2	0.3	14.2	19.9	43.9	12.8
	亀井	169	10.1	21.9	10.7	17.8	3.6	16.0	23.7	49.7	16.6
	久宝寺	314	9.2	17.8	14.3	19.1	1.9	16.2	21.0	40.4	11.1
	志紀	229	13.1	18.8	14.8	18.3	2.6	14.4	21.0	48.5	10.0
	大正	246	11.8	19.1	16.3	19.5	1.2	20.7	22.8	39.4	11.4
	曙川南	344	8.4	16.0	12.5	18.6	0.3	14.8	22.1	40.1	12.8
	成法	397	9.8	21.9	14.9	17.1	1.5	18.4	21.9	45.6	9.1
	曙川	264	10.6	19.3	14.8	14.0	1.1	15.5	17.8	48.9	11.4
	高美	215	8.8	20.5	14.4	20.0	0.9	15.3	24.7	48.8	9.3
	高安	115	8.7	7.8	8.7	10.4	2.6	15.7	16.5	35.7	14.8
	南高安	208	12.0	16.3	16.8	19.7	3.4	19.7	23.1	41.3	14.9
	東	209	8.6	17.2	12.0	15.8	1.9	12.9	22.5	41.1	8.1
圏域別	圏域1（八尾・桂・上之島）	778	11.2	21.3	14.7	17.9	1.7	16.7	24.6	47.2	10.0
	圏域2（龍華・亀井・久宝寺）	779	9.9	18.9	12.6	16.2	1.7	15.4	21.2	43.8	13.0
	圏域3（志紀・大正・曙川南）	819	10.7	17.7	14.3	18.8	1.2	16.5	22.0	42.2	11.6
	圏域4（成法・曙川・高美）	876	9.8	20.8	14.7	16.9	1.3	16.8	21.3	47.4	9.8
	圏域5（高安・南高安・東）	532	10.0	14.8	13.2	16.2	2.6	16.2	21.4	40.0	12.2

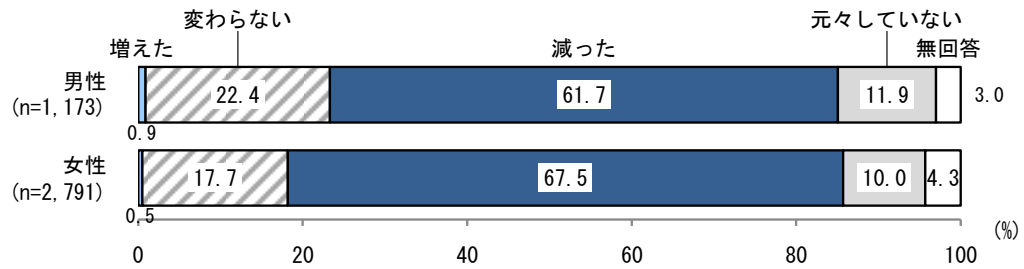
◆項目別結果（性別、年齢別）

①外出すること

【性別】

「減った」割合は男性が61.7%、女性が67.5%で、女性のほうが5.8ポイント高くなっています。（図2-2①-1）

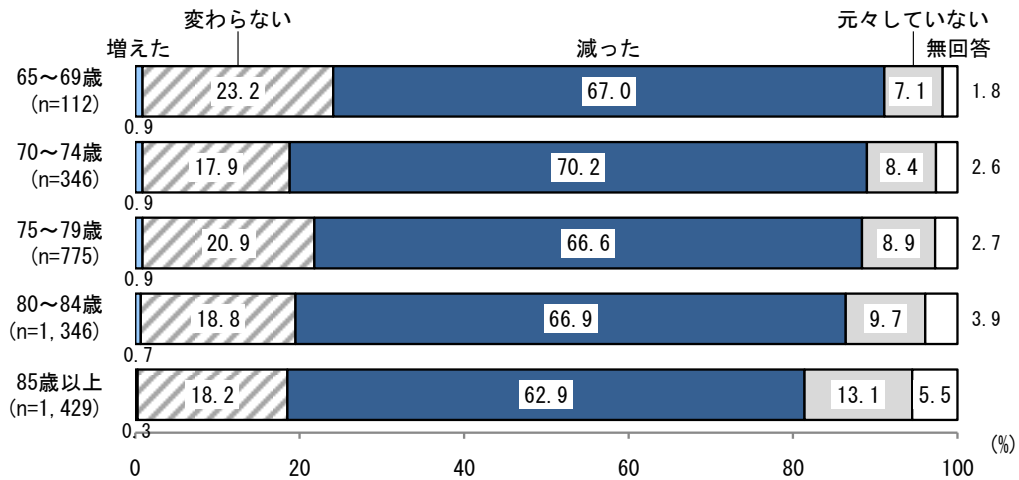
【図2-2①-1 性別 感染拡大前と比べた生活時間やコミュニケーションの変化（①外出すること）】



【年齢別】

「減った」割合は70～74歳が70.2%で最も高くなっています。（図2-2①-2）

【図2-2①-2 年齢別 感染拡大前と比べた生活時間やコミュニケーションの変化（①外出すること）】

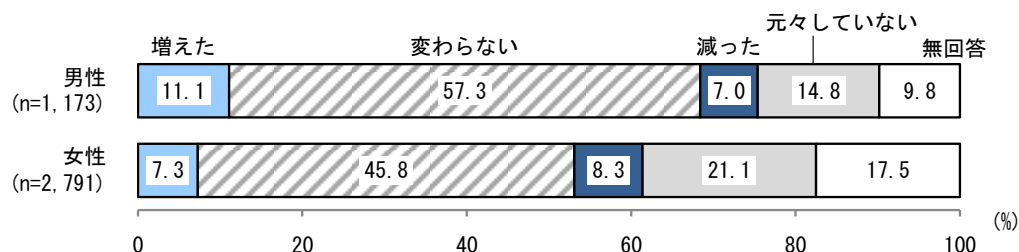


②同居家族と一緒に過ごす時間

【性別】

「増えた」割合は男性が11.1%、女性が7.3%で、男性のほうが3.8ポイント高くなっています。(図2-2②-1)

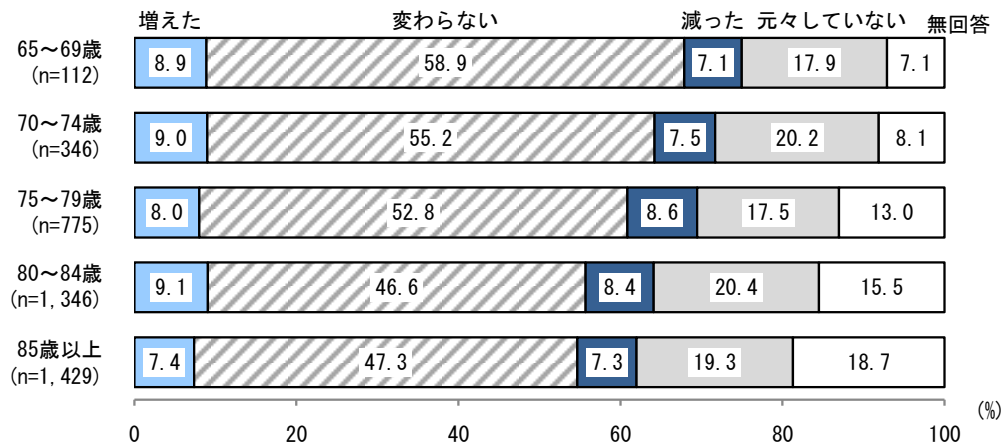
【図2-2②-1 性別 感染拡大前と比べた生活時間やコミュニケーションの変化 (②同居家族と一緒に過ごす時間)】



【年齢別】

いずれの年代も「増えた」は7～9%台、「減った」は7～8%台と、大きな違いはみられません。「変わらない」割合は若い年代ほど高い傾向がみられ、65～69歳では58.9%となっています。(図2-2②-2)

【図2-2②-2 年齢別 感染拡大前と比べた生活時間やコミュニケーションの変化 (②同居家族と一緒に過ごす時間)】

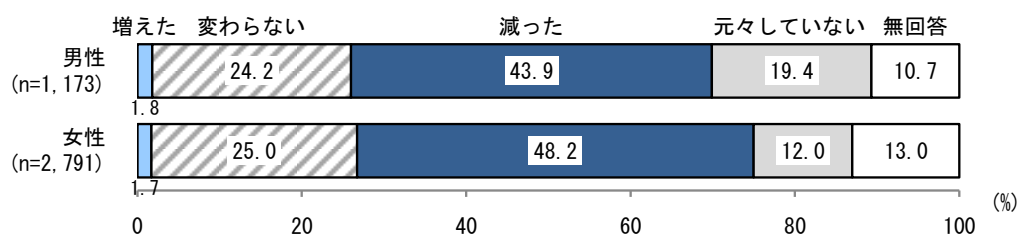


③別居家族と会う時間

【性別】

「減った」割合は男性が43.9%、女性が48.2%で、女性のほうが4.3ポイント高くなっています。(図2-2③-1)

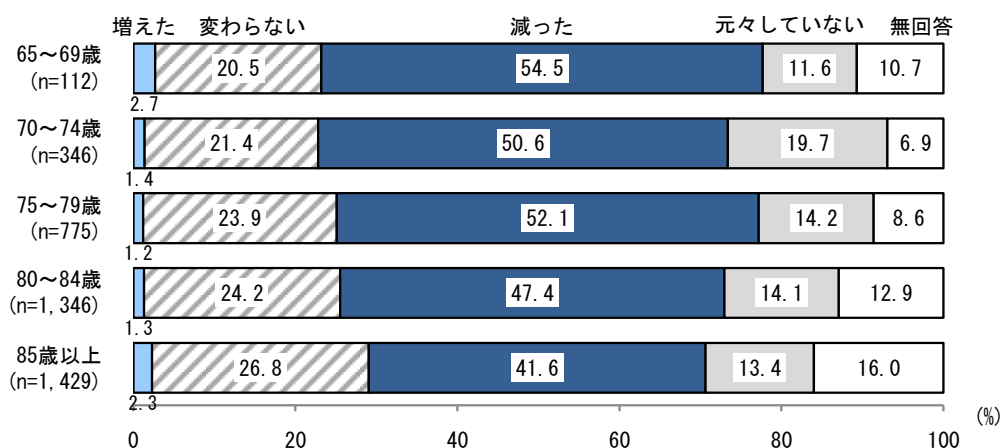
【図2-2③-1 性別 感染拡大前と比べた生活時間やコミュニケーションの変化 (③別居家族と会う時間)】



【年齢別】

「減った」割合は65～69歳が54.5%で最も高くなっています。(図2-2③-2)

【図2-2③-2 年齢別 感染拡大前と比べた生活時間やコミュニケーションの変化 (③別居家族と会う時間)】

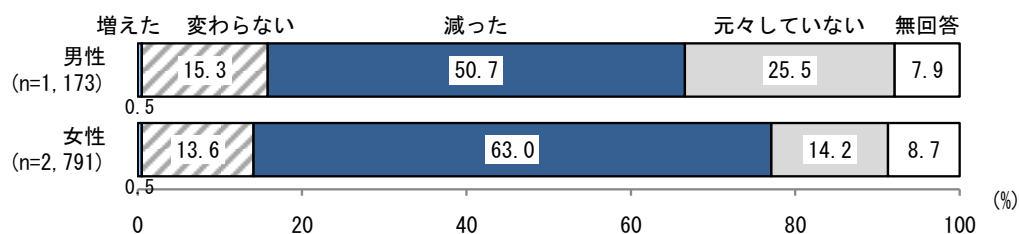


④友人・知人と一緒に過ごす時間

【性別】

「減った」割合は男性が50.7%、女性が63.0%で、女性のほうが12.3ポイント高くなっています。(図2-2④-1)

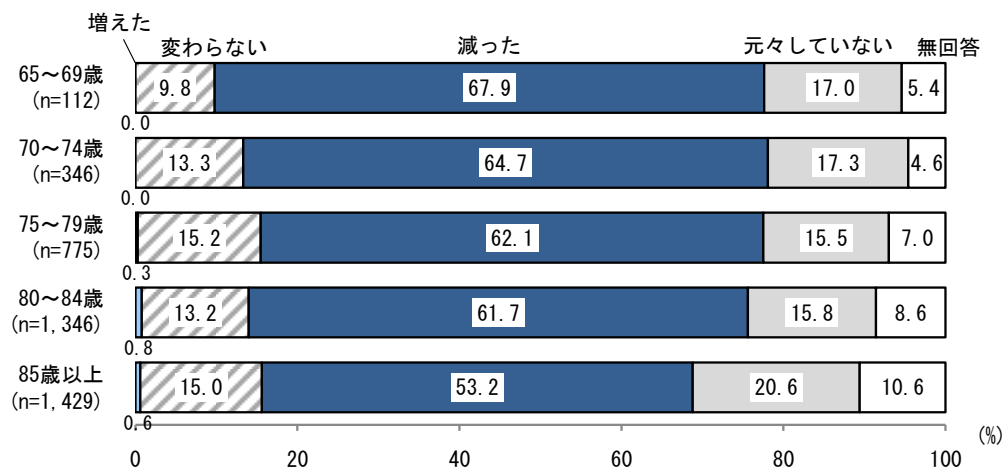
【図2-2④-1 性別 感染拡大前と比べた生活時間やコミュニケーションの変化 (④友人・知人と一緒に過ごす時間)】



【年齢別】

「減った」割合は若い年代ほど高く、65～69歳が67.9%で最も高くなっています。(図2-2④-2)

【図2-2④-2 年齢別 感染拡大前と比べた生活時間やコミュニケーションの変化 (④友人・知人と一緒に過ごす時間)】

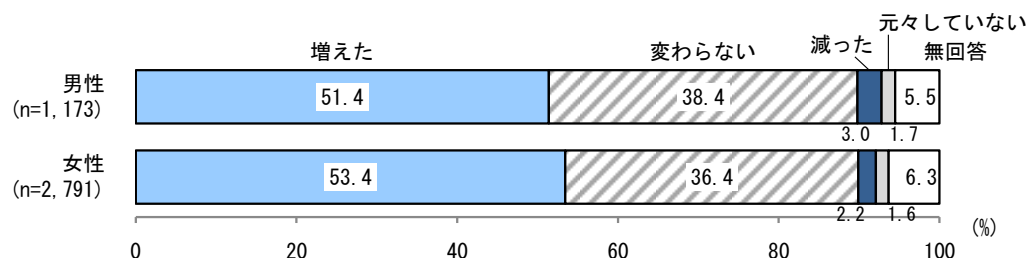


⑤横になる、座っている時間

【性別】

男女とも「増えた」が5割台、「変わらない」が3割台となっており、男女で大きな違いはみられません。(図2-2⑤-1)

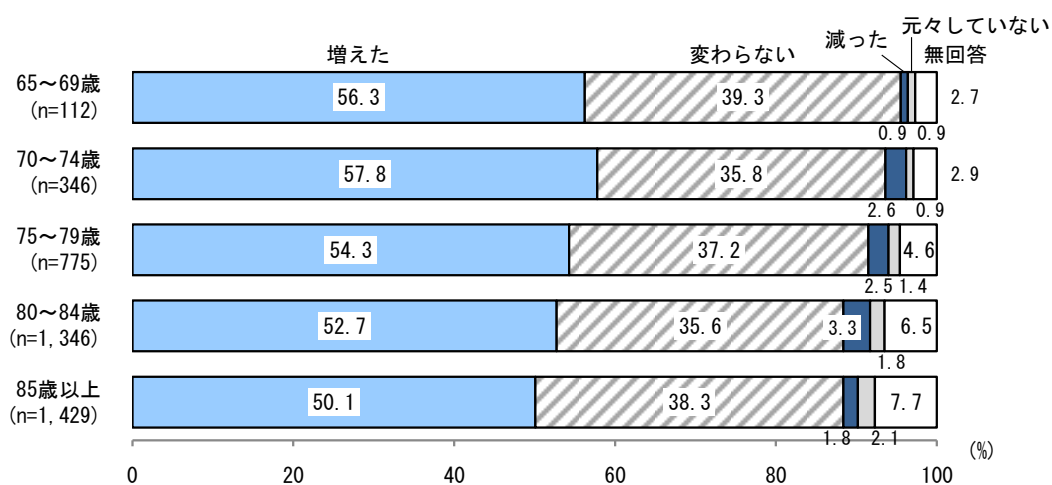
【図2-2⑤-1 性別 感染拡大前と比べた生活時間やコミュニケーションの変化 (⑤横になる、座っている時間)】



【年齢別】

「増えた」はいずれの年代も5割台で、若い年代の割合のほうが高い傾向にあり、65～69歳は56.3%、70～74歳は57.8%となっています。(図2-2⑤-2)

【図2-2⑤-2 年齢別 感染拡大前と比べた生活時間やコミュニケーションの変化 (⑤横になる、座っている時間)】

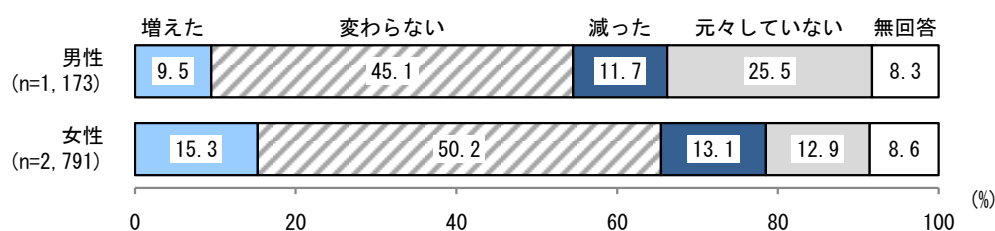


⑥離れて暮らす家族と電話・メール・テレビ電話などでコミュニケーションを取ること

【性別】

「増えた」割合は男性が9.5%、女性が15.3%で、女性のほうが5.8ポイント高くなっています。また、男性で「元々していない」が25.5%と、女性の割合（12.9%）に比べ高くなっています。（図2-2⑥-1）

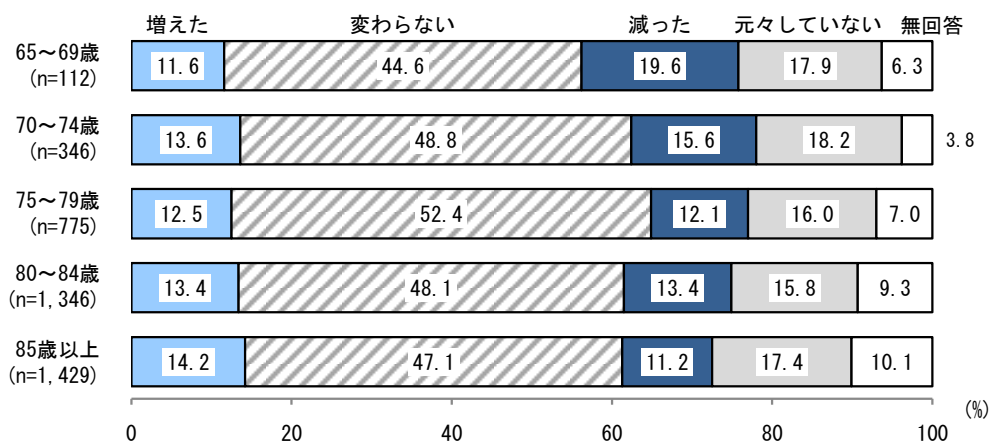
【図2-2⑥-1 性別 感染拡大前と比べた生活時間やコミュニケーションの変化（⑥離れて暮らす家族とコミュニケーションを取ること）】



【年齢別】

「減った」割合は65～69歳が19.6%で最も高くなっています。（図2-2⑥-2）

【図2-2⑥-2 年齢別 感染拡大前と比べた生活時間やコミュニケーションの変化（⑥離れて暮らす家族とコミュニケーションを取ること）】

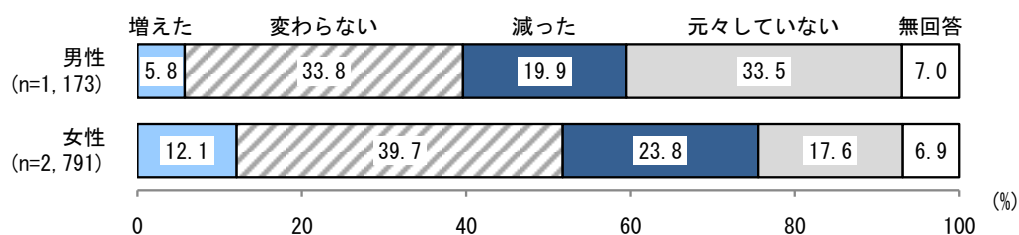


⑦友人・知人と電話・メール・テレビ電話などでコミュニケーションを取ること

【性別】

「増えた」割合は男性が5.8%、女性が12.1%で、女性のほうが6.3ポイント高くなっています。また、男性で「元々していない」が33.5%と、女性の割合（17.6%）に比べ高くなっています。（図2-2⑦-1）

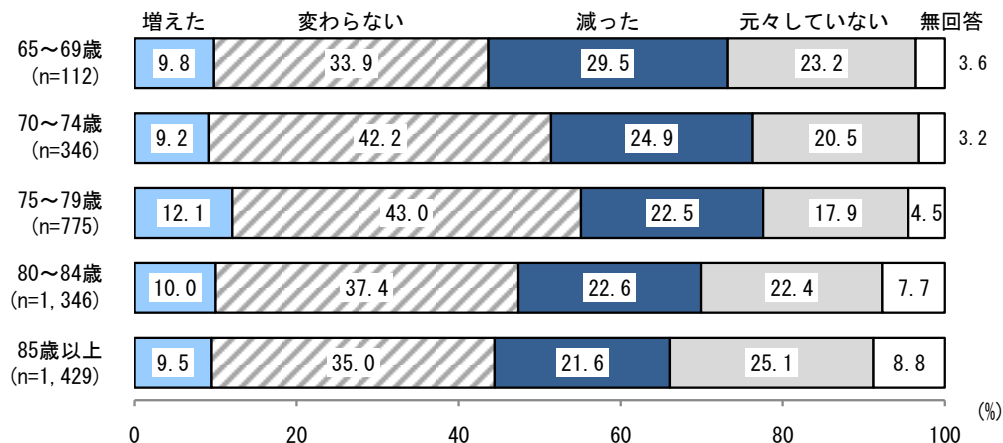
【図2-2⑦-1 性別 感染拡大前と比べた生活時間やコミュニケーションの変化（⑦友人・知人とコミュニケーションを取ること）】



【年齢別】

「減った」割合は若い年代ほど高い傾向がみられ、65～69歳が29.5%で最も高くなっています。（図2-2⑦-2）

【図2-2⑦-2 年齢別 感染拡大前と比べた生活時間やコミュニケーションの変化（⑦友人・知人とコミュニケーションを取ること）】

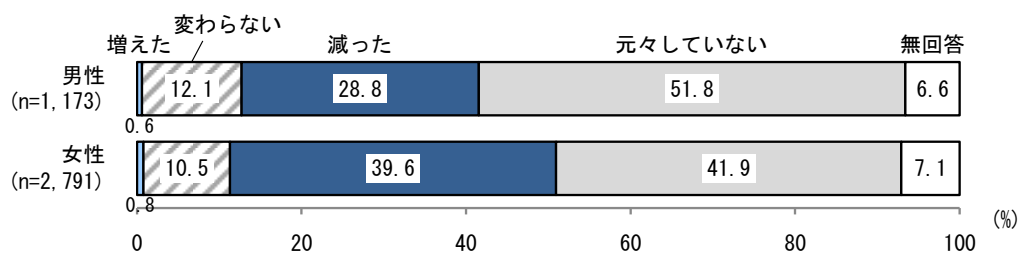


⑧地域の集まりやグループの活動に参加すること

【性別】

「減った」割合は男性が28.8%に対し、女性が39.6%で、女性のほうが10.8ポイント高くなっています。また、男性の51.8%が「元々していない」と回答し、女性の割合(41.9%)に比べ高くなっています。(図2-2⑧-1)

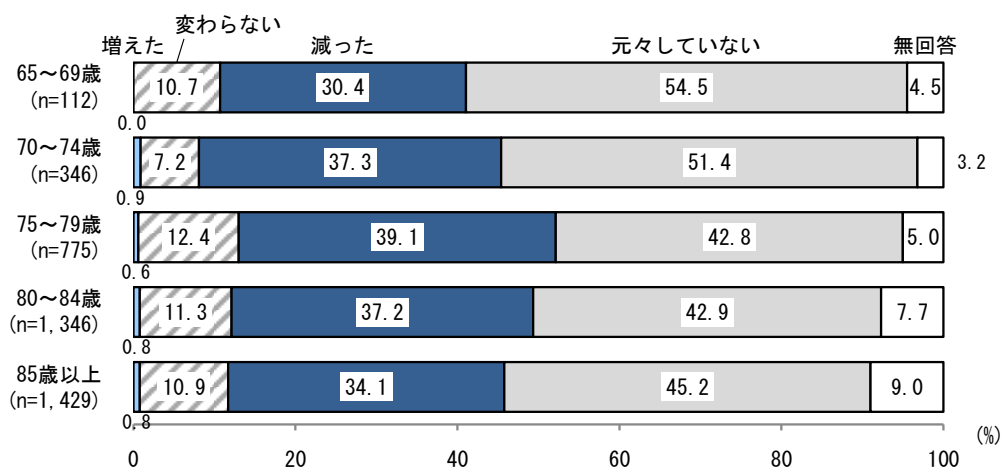
【図2-2⑧-1 性別 感染拡大前と比べた生活時間やコミュニケーションの変化 (⑧地域の集まりやグループの活動に参加すること)】



【年齢別】

「元々していない」割合は、75歳以上の後期高齢者に比べ65～74歳までの前期高齢者で高くなっています。また、「減った」割合は75～79歳が39.1%で最も高くなっています。(図2-2⑧-2)

【図2-2⑧-2 年齢別 感染拡大前と比べた生活時間やコミュニケーションの変化 (⑧地域の集まりやグループの活動に参加すること)】

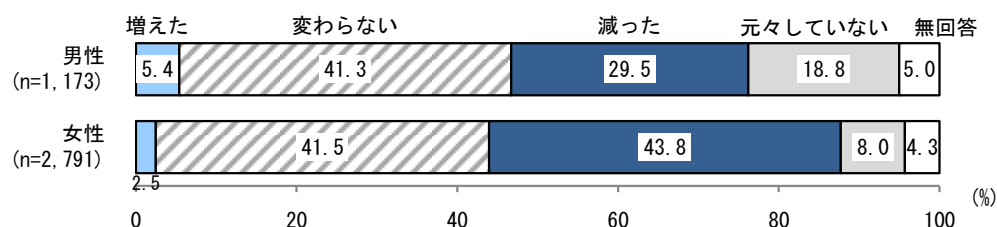


⑨日用品・食料品の買い物をすること

【性別】

「減った」割合は男性が29.5%に対し、女性が43.8%で、女性のほうが14.3ポイント高くなっています。(図2-2⑨-1)

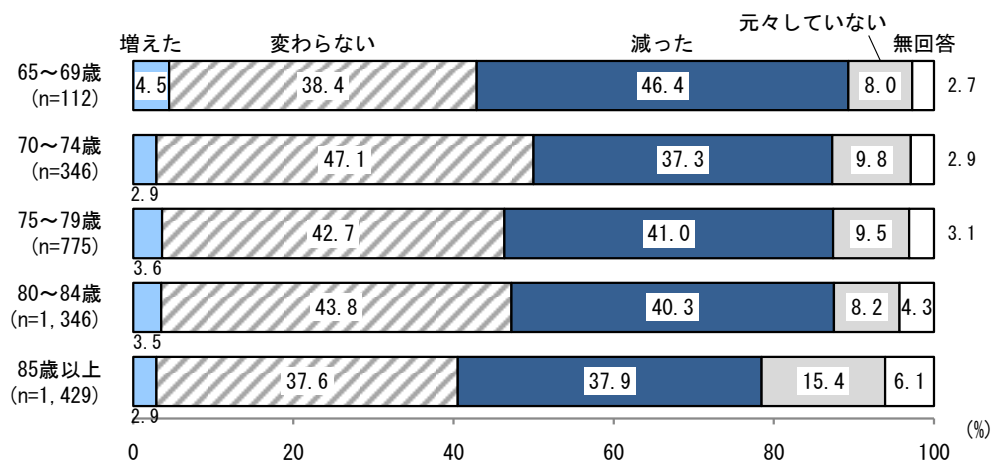
【図2-2⑨-1 性別 感染拡大前と比べた生活時間やコミュニケーションの変化 (⑨日用品・食料品の買い物をすること)】



【年齢別】

65～69歳と85歳以上は「減った」が、それ以外の年代は「変わらない」が、それぞれ最も多くなっています。「減った」割合は若い年代ほど高い傾向となっており、65～69歳で46.4%と最も高くなっています。(図2-2⑨-2)

【図2-2⑨-2 年齢別 感染拡大前と比べた生活時間やコミュニケーションの変化 (⑨日用品・食料品の買い物をすること)】



(3) 感染拡大の前と比べた運動習慣や食生活の変化

問5 新型コロナウイルス感染拡大により、その前と比べて運動習慣や食生活に変化がありましたか。①～⑦の項目についてそれぞれお答えください。

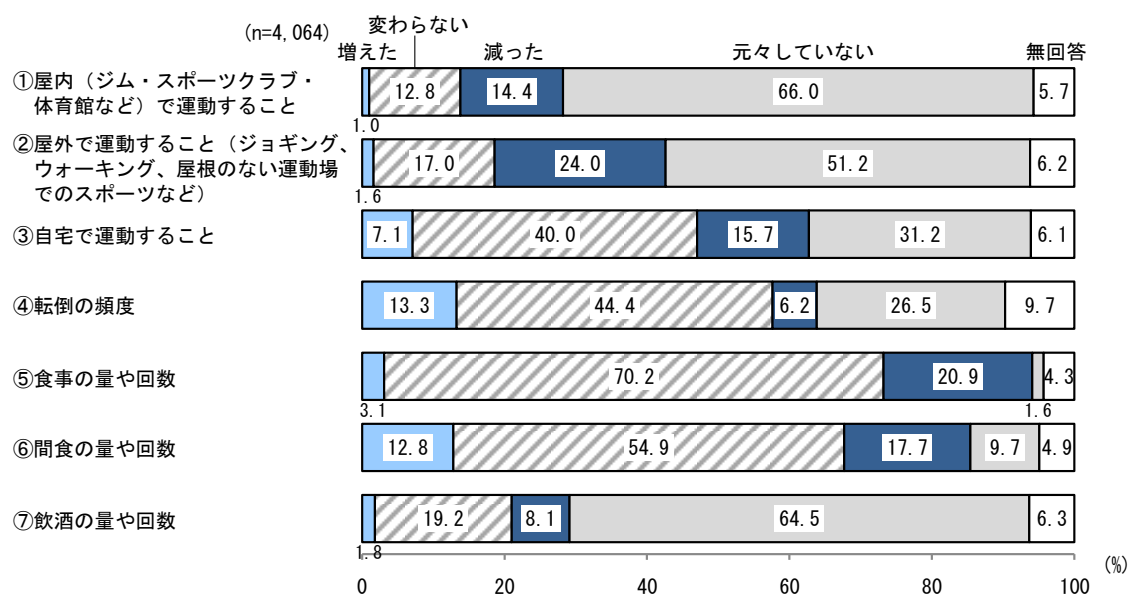
【全体】

「①屋内（ジム・スポーツクラブ・体育館など）で運動する」割合は28.2%、「②屋外で運動する（ジョギング、ウォーキング、屋根のない運動場でのスポーツなど）」割合は42.6%で屋内に比べ屋外での活動の割合が高くなっています。屋外での運動では、新型コロナウイルス感染拡大により運動習慣が「減った」との回答が24.0%と、他の項目より高くなっています。（図2-3）

また、高齢者の62.8%は「③自宅で運動する」と回答していますが、コロナ拡大後、「増えた」（7.1%）よりも「減った」（15.7%）の割合のほうが高くなっており、「④転倒の頻度」も13.3%が「増えた」と回答しています。（図2-3）

「⑤食事の量や回数」「⑥間食の量や回数」などの食生活については、「変わらない」が半数以上を占めていますが、「減った」との回答も5人に1人程度となっています。「⑥間食の量や回数」については、コロナ拡大後、12.8%が「増えた」と回答しています。（図2-3）

【図2-3 感染拡大の前と比べた運動習慣や食生活の変化】



【居住地域別】

「増えた」と回答した割合

中学校区別では、「④転倒の頻度」が「増えた」割合は、桂が17.6%と最も高く、最も低い久宝寺（8.6%）とは9.0ポイントの差となっています。（表2-3-1）

圏域別では、「④転倒の頻度」が「増えた」割合は、圏域3（志紀・大正・曙川南）が14.4%で最も高くなっています。（表2-3-1）

【表2-3-1 居住地域別 感染拡大の前と比べた運動習慣や食生活の変化（増えた）】

		n 数	① 屋内 ・体育 館など で運動 するこ と	② 屋外 で運動 すること （ジョギ ング、ウ ォーキン グ、屋根 のな い運動 場でのス ポーツな ど）	③ 自宅 で運動 すること	④ 転倒 の頻度	⑤ 食事 の量や 回数	⑥ 間食 の量や 回数	⑦ 飲酒 の量や 回数
中 学 校 区 別	八尾	322	0.9	0.9	7.5	14.0	3.7	15.5	1.6
	桂	153	-	-	5.9	17.6	2.0	4.6	1.3
	上之島	303	1.3	3.0	6.3	12.5	2.3	8.6	2.6
	龍華	296	1.7	1.0	5.1	11.1	1.7	11.5	1.4
	亀井	169	0.6	1.2	6.5	17.2	3.0	13.6	3.0
	久宝寺	314	1.0	2.2	5.1	8.6	2.5	14.3	1.3
	志紀	229	1.3	1.3	8.7	13.1	3.1	10.5	3.1
	大正	246	0.8	0.4	7.3	12.6	4.5	13.0	2.4
	曙川南	344	0.3	1.7	7.0	16.6	2.3	15.1	2.3
	成法	397	1.3	1.5	6.3	13.1	3.3	12.6	1.5
	曙川	264	0.4	1.9	7.2	9.1	4.5	14.0	1.1
	高美	215	0.5	0.9	9.8	17.2	3.3	11.2	0.5
	高安	115	1.7	5.2	8.7	17.4	1.7	13.0	1.7
	南高安	208	1.0	2.4	6.7	11.5	2.9	16.3	1.4
	東	209	2.4	1.9	9.6	12.0	3.3	15.3	2.4
圏 域 別	圏域1（八尾・桂・上之島）	778	0.9	1.5	6.7	14.1	2.8	10.7	1.9
	圏域2（龍華・亀井・久宝寺）	779	1.2	1.5	5.4	11.4	2.3	13.1	1.7
	圏域3（志紀・大正・曙川南）	819	0.7	1.2	7.6	14.4	3.2	13.2	2.6
	圏域4（成法・曙川・高美）	876	0.8	1.5	7.4	12.9	3.7	12.7	1.1
	圏域5（高安・南高安・東）	532	1.7	2.8	8.3	13.0	2.8	15.2	1.9

【居住地域別】

「変わらない」と回答した割合

中学校区別では、「⑤食事の量や回数」が「変わらない」割合は、上之島が74.3%、曙川が74.2%となっています。（表2-3-2）

【表2-3-2 居住地域別 感染拡大の前と比べた運動習慣や食生活の変化（変わらない）】

		n 数	① 屋内 （ジム・ 体育館 など） で運 動す るこ と	② 屋外 で運 動す るこ と（ ジョ ギン グ、 ウォ ーキ ング など）	③ 自 宅 で 運 動 す る こ と	④ 転 倒 の 頻 度	⑤ 食 事 の 量 や 回 数	⑥ 間 食 の 量 や 回 数	⑦ 飲 酒 の 量 や 回 数
			(%)						
中 学 校 区 別	八尾	322	12.7	17.4	44.4	40.7	70.2	51.2	16.1
	桂	153	9.2	13.7	26.8	40.5	62.7	52.9	14.4
	上之島	303	14.2	19.5	42.9	47.9	74.3	61.4	21.8
	龍華	296	13.2	15.5	45.9	47.0	72.3	57.8	22.0
	亀井	169	12.4	10.1	33.1	45.0	66.3	53.3	21.3
	久宝寺	314	12.4	17.5	40.8	46.2	70.1	56.4	18.2
	志紀	229	11.4	19.7	41.5	41.5	69.4	55.9	19.7
	大正	246	11.4	15.4	37.8	46.7	72.4	54.1	18.3
	曙川南	344	12.2	16.6	38.1	40.1	71.8	54.9	19.2
	成法	397	11.6	13.1	40.1	44.6	71.3	56.2	18.9
	曙川	264	17.0	18.6	44.3	49.2	74.2	56.1	23.1
	高美	215	13.0	20.5	40.0	47.9	68.4	60.0	15.8
	高安	115	13.9	18.3	40.0	42.6	64.3	53.9	16.5
	南高安	208	16.8	20.2	43.3	46.2	74.0	53.8	18.3
	東	209	14.8	19.1	39.2	44.0	70.3	57.4	20.6
圏 域 別	圏域1（八尾・桂・上之島）	778	12.6	17.5	40.4	43.4	70.3	55.5	18.0
	圏域2（龍華・亀井・久宝寺）	779	12.7	15.1	41.1	46.2	70.1	56.2	20.3
	圏域3（志紀・大正・曙川南）	819	11.7	17.1	38.9	42.5	71.3	54.9	19.0
	圏域4（成法・曙川・高美）	876	13.6	16.6	41.3	46.8	71.5	57.1	19.4
	圏域5（高安・南高安・東）	532	15.4	19.4	41.0	44.5	70.5	55.3	18.8

【居住地域別】

「減った」と回答した割合

中学校区別では、「②屋外で運動すること（ジョギング、ウォーキング、屋根のない運動場でのスポーツなど）」が「減った」割合は、曙川が29.2%と最も高くなっています。（表2-3-3）

【表2-3-3 居住地域別 感染拡大の前と比べた運動習慣や食生活の変化（減った）】

		n 数	① 屋内（ジム・スポーツクラブなど）で運動すること	② 屋外で運動すること（ジョギング、ウォーキング、屋根のない運動場でのスポーツなど）	③ 自宅で運動すること	④ 転倒の頻度	⑤ 食事の量や回数	⑥ 間食の量や回数	⑦ 飲酒の量や回数
中学校区別	八尾	322	13.7	25.2	12.1	6.2	21.4	18.3	11.2
	桂	153	11.1	18.3	24.2	6.5	29.4	25.5	7.2
	上之島	303	17.5	26.7	18.5	6.9	19.1	18.5	10.2
	龍華	296	14.5	24.3	11.1	6.1	20.6	16.6	6.4
	亀井	169	9.5	22.5	19.5	5.3	25.4	18.9	7.1
	久宝寺	314	12.7	19.4	14.6	5.4	22.0	14.3	6.1
	志紀	229	14.4	21.4	13.5	8.3	21.4	20.1	5.2
	大正	246	14.2	26.4	17.5	6.1	16.7	15.9	8.5
	曙川南	344	15.7	25.9	16.0	6.1	20.3	13.4	8.7
	成法	397	14.1	24.9	13.9	5.5	18.6	15.1	8.8
	曙川	264	19.7	29.2	14.8	4.2	18.6	18.2	6.4
	高美	215	15.3	22.3	18.1	5.1	20.9	16.7	8.8
	高安	115	16.5	25.2	24.3	6.1	26.1	17.4	8.7
	南高安	208	13.9	25.0	19.2	7.7	20.2	18.8	9.1
	東	209	18.2	23.0	13.4	8.6	21.1	15.3	7.7
圏域別	圏域1（八尾・桂・上之島）	778	14.7	24.4	17.0	6.6	22.1	19.8	10.0
	圏域2（龍華・亀井・久宝寺）	779	12.7	22.0	14.4	5.6	22.2	16.2	6.4
	圏域3（志紀・大正・曙川南）	819	14.9	24.8	15.8	6.7	19.5	16.0	7.7
	圏域4（成法・曙川・高美）	876	16.1	25.6	15.2	5.0	19.2	16.4	8.1
	圏域5（高安・南高安・東）	532	16.2	24.2	18.0	7.7	21.8	17.1	8.5

【居住地域別】

「元々していない」と回答した割合

中学校区別では、「①屋内（ジム・スポーツクラブ・体育館など）で運動すること」を「元々していない」割合は、桂が73.9%と最も高く、一番低い高安（54.8%）とは19.1ポイントの差となっています。（表2-3-4）

圏域別では、「①屋内（ジム・スポーツクラブ・体育館など）で運動すること」を「元々していない」割合は、圏域3（志紀・大正・曙川南）で68.1%と最も高くなっています。（表2-3-4）

【表2-3-4 居住地域別 感染拡大の前と比べた運動習慣や食生活の変化（元々していない）】

		n 数	① 屋内（ジム・ スポーツクラブ など）で運動 すること	② 屋外で運動 すること（ジョ ギング、ウォー キング、屋根の ない公園など）	③ 自宅で運動 すること	④ 転倒の頻度	⑤ 食事の量や 回数	⑥ 間食の量や 回数	⑦ 飲酒の量や 回数
中学校区別	八尾	322	69.6	51.9	30.7	31.1	2.2	11.2	67.4
	桂	153	73.9	60.1	34.0	20.3	2.0	11.1	68.6
	上之島	303	62.0	45.5	29.4	25.1	1.3	8.9	60.7
	龍華	296	61.5	50.7	29.1	24.3	1.0	7.4	62.8
	亀井	169	72.8	58.6	34.9	23.7	-	10.1	62.1
	久宝寺	314	68.8	56.1	34.7	28.7	2.2	10.8	69.4
	志紀	229	69.9	53.3	31.9	27.9	1.7	9.2	67.7
	大正	246	69.1	52.0	34.1	25.6	2.0	11.0	65.0
	曙川南	344	66.3	50.9	32.6	29.1	1.7	12.2	61.9
	成法	397	68.0	54.4	33.8	26.4	1.3	10.1	63.2
	曙川	264	59.5	48.9	30.3	33.0	1.1	9.5	66.3
	高美	215	64.2	48.8	27.4	20.5	1.4	6.0	69.3
	高安	115	54.8	38.3	16.5	20.9	0.9	8.7	60.9
	南高安	208	64.4	49.5	26.9	28.8	1.0	8.7	65.9
	東	209	56.9	47.4	28.7	22.5	0.5	6.7	62.2
圏域別	圏域1（八尾・桂・上之島）	778	67.5	51.0	30.8	26.6	1.8	10.3	65.0
	圏域2（龍華・亀井・久宝寺）	779	66.9	54.6	32.6	25.9	1.3	9.4	65.3
	圏域3（志紀・大正・曙川南）	819	68.1	51.9	32.8	27.7	1.8	11.0	64.5
	圏域4（成法・曙川・高美）	876	64.5	51.4	31.2	26.9	1.3	8.9	65.6
	圏域5（高安・南高安・東）	532	59.4	46.2	25.4	24.6	0.8	7.9	63.3

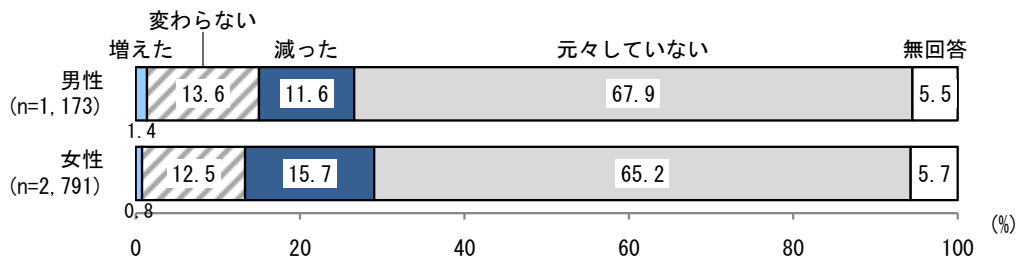
◆項目別結果（性別、年齢別）

①屋内（ジム・スポーツクラブ・体育館など）で運動すること

【性別】

男女とも「元々していない」が7割近くを占め、さらに「減った」割合は男性が11.6%、女性が15.7%で、女性のほうが4.1ポイント高くなっています。（図2-3①-1）

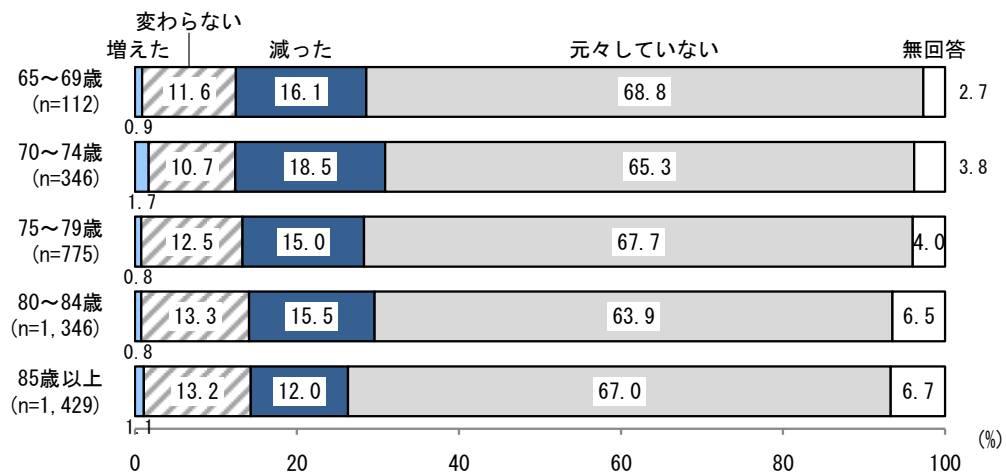
【図2-3①-1 性別 感染拡大の前と比べた運動習慣や食生活の変化（①屋内で運動すること）】



【年齢別】

いずれの年代も「元々していない」が6割台で、85歳以上は「変わらない」が、それ以外の年代は「減った」が、それぞれ最も多くなっています。（図2-3①-2）

【図2-3①-2 年齢別 感染拡大の前と比べた運動習慣や食生活の変化（①屋内で運動すること）】

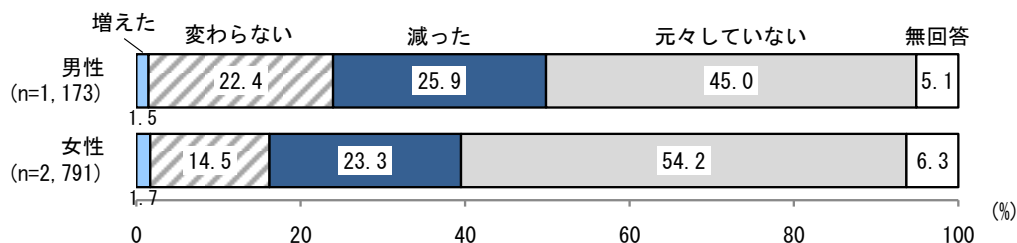


②屋外で運動すること（ジョギング、ウォーキング、屋根のない運動場でのスポーツなど）

【性別】

「増えた」「変わらない」「減った」については、男女とも「減った」が最も多くなっています。（図2-3②-1）

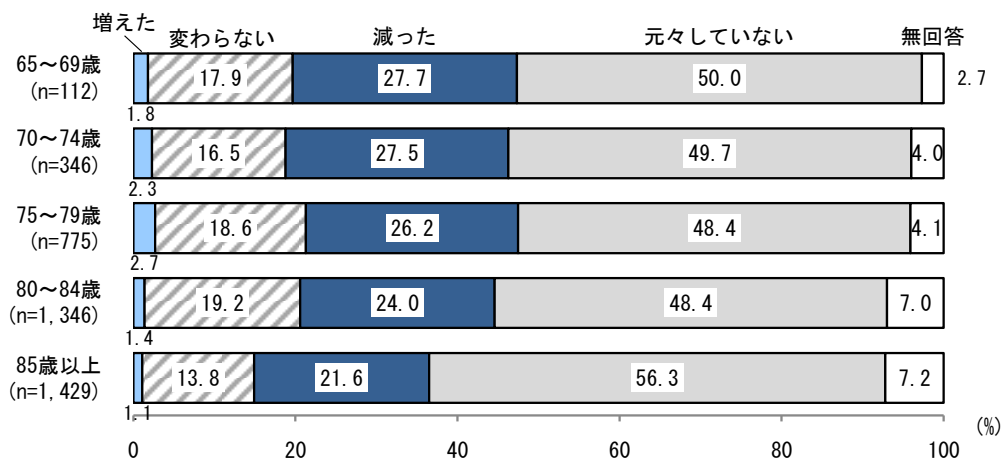
【図2-3②-1 性別 感染拡大の前と比べた運動習慣や食生活の変化（②屋外で運動すること）】



【年齢別】

「増えた」「変わらない」「減った」については、いずれの年代も「減った」が最も多くなっており、65～69歳で27.7%と最も高い割合となっています。（図2-3②-2）

【図2-3②-2 年齢別 感染拡大の前と比べた運動習慣や食生活の変化（②屋外で運動すること）】

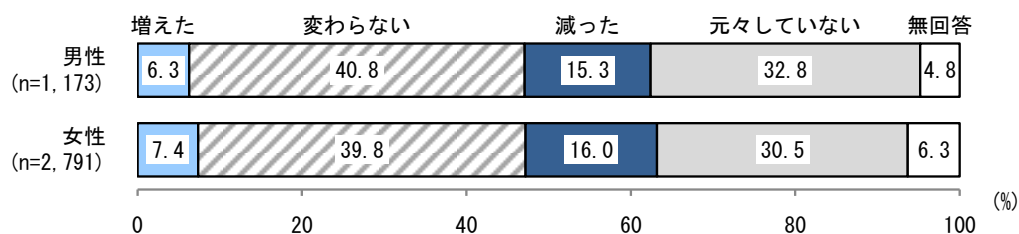


③自宅で運動すること

【性別】

「増えた」「変わらない」「減った」については、男女とも「変わらない」が最も多く、男女で大きな違いはみられません。(図2-3③-1)

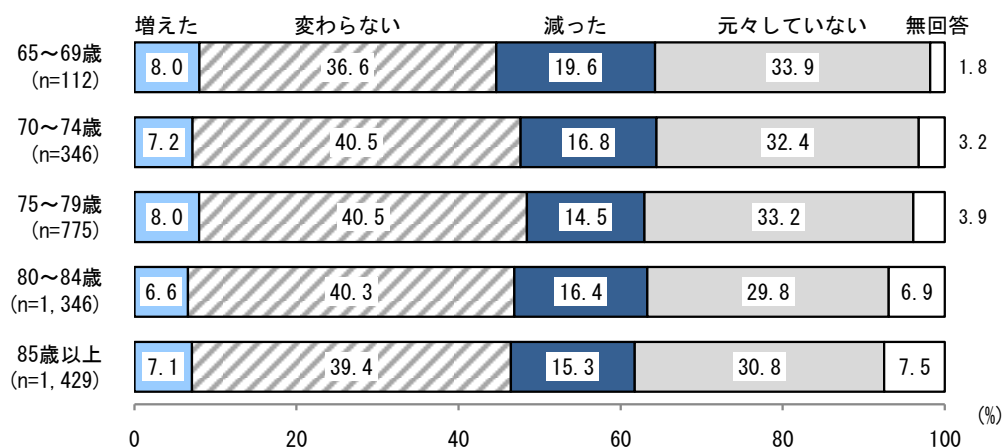
【図2-3③-1 性別 感染拡大の前と比べた運動習慣や食生活の変化 (③自宅で運動すること)】



【年齢別】

「減った」割合は65～69歳で19.6%と最も高くなっています。(図2-3③-2)

【図2-3③-2 年齢別 感染拡大の前と比べた運動習慣や食生活の変化 (③自宅で運動すること)】

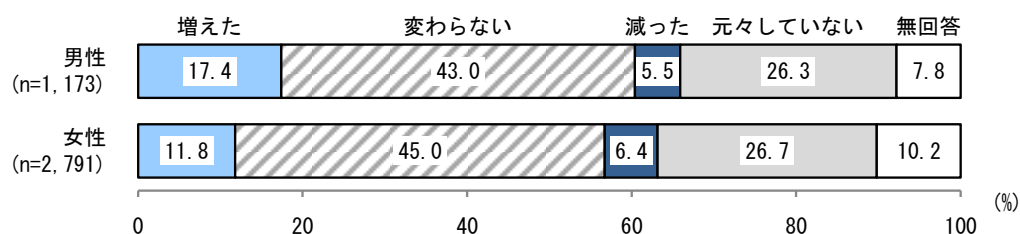


④転倒の頻度

【性別】

「増えた」割合は男性が17.4%、女性が11.8%で、男性のほうが5.6ポイント高くなっています。(図2-3④-1)

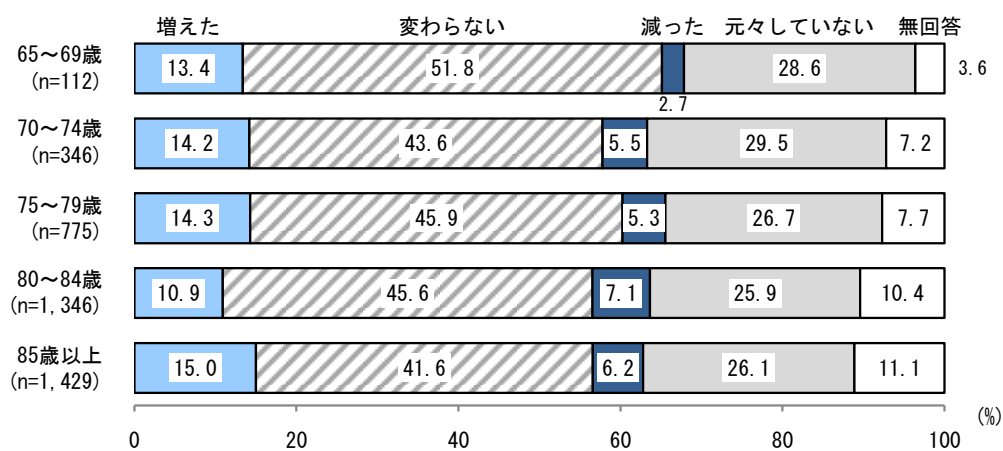
【図2-3④-1 性別 感染拡大の前と比べた運動習慣や食生活の変化 (④転倒の頻度)】



【年齢別】

「増えた」割合は85歳以上で15.0%と最も高くなっています。また「減った」割合は80～84歳で7.1%と最も高くなっています。(図2-3④-2)

【図2-3④-2 年齢別 感染拡大の前と比べた運動習慣や食生活の変化 (④転倒の頻度)】

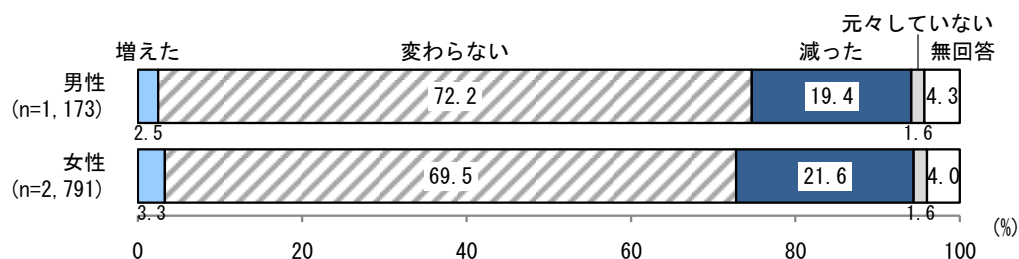


⑤食事の量や回数

【性別】

男女とも「変わらない」が7割前後で最も多く、次いで「減った」（男性：19.4%、女性：21.6%）が多くなっており、男女で大きな違いはみられません。（図2-3⑤-1）

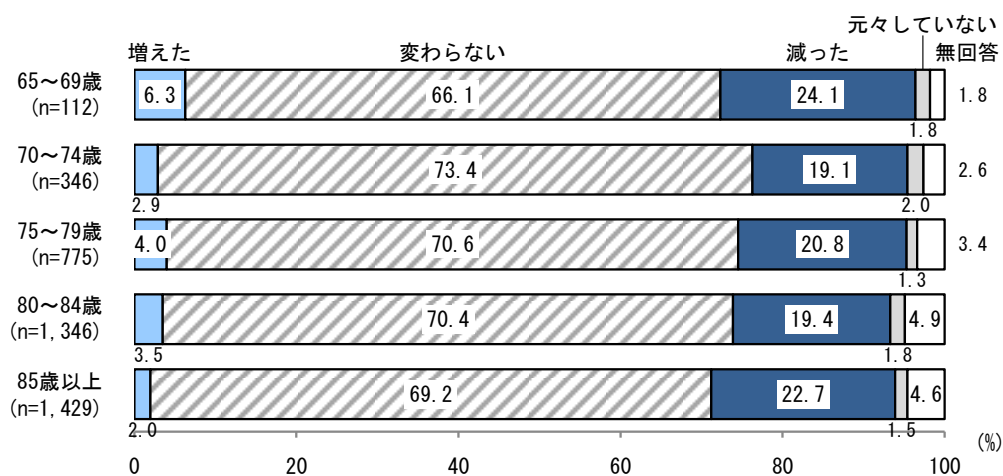
【図2-3⑤-1 性別 感染拡大の前と比べた運動習慣や食生活の変化（⑤食事の量や回数）】



【年齢別】

「減った」割合は65～69歳が24.1%、85歳以上が22.7%と他の年代より高くなっています。（図2-3⑤-2）

【図2-3⑤-2 年齢別 感染拡大の前と比べた運動習慣や食生活の変化（⑤食事の量や回数）】

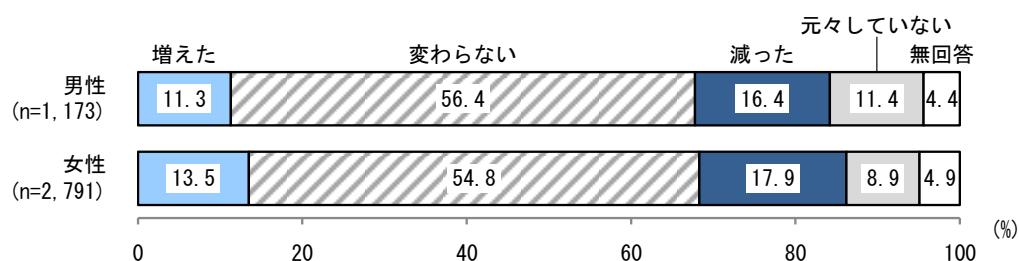


⑥間食の量や回数

【性別】

男女とも「変わらない」が5割台で最も多く、次いで「減った」（男性：16.4%、女性：17.9%）が多くなっており、男女で大きな違いはみられません。（図2-3⑥-1）

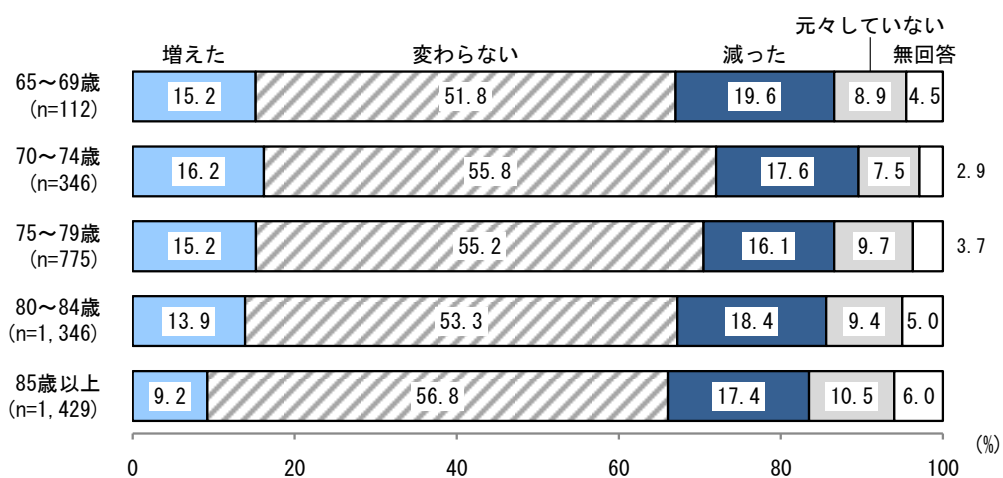
【図2-3⑥-1 性別 感染拡大の前と比べた運動習慣や食生活の変化（⑥間食の量や回数）】



【年齢別】

「増えた」割合は70～74歳で16.2%と最も高くなっています。また「減った」割合は65～69歳で19.6%と最も高くなっています。（図2-3⑥-2）

【図2-3⑥-2 年齢別 感染拡大の前と比べた運動習慣や食生活の変化（⑥間食の量や回数）】

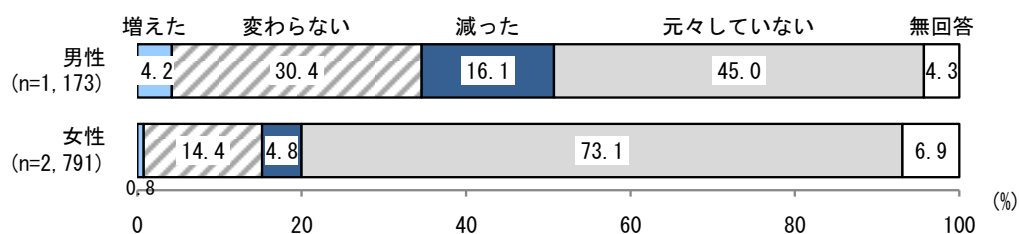


⑦飲酒の量や回数

【性別】

男女とも「元々していない」が最も多く、次いで「変わらない」が多くなっています。
(図2-3⑦-1)

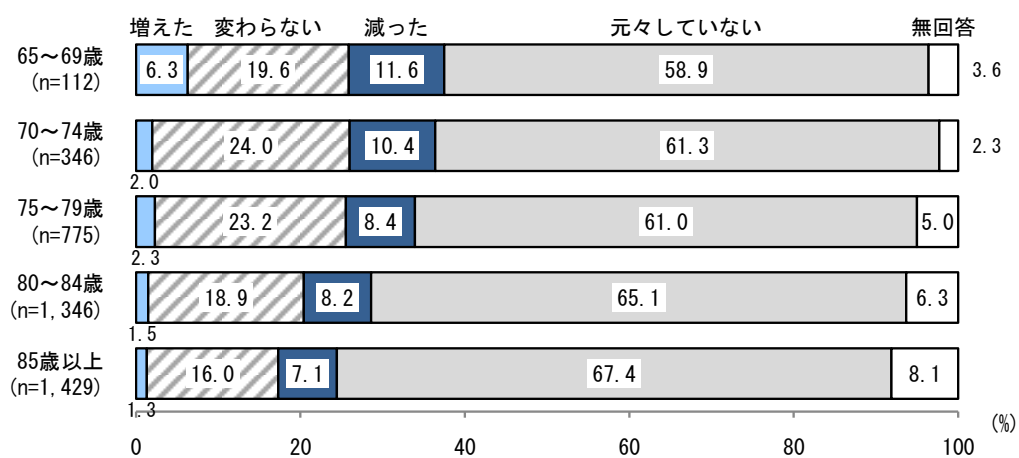
【図2-3⑦-1 性別 感染拡大の前と比べた運動習慣や食生活の変化（⑦飲酒の量や回数）】



【年齢別】

いずれの年代も「元々していない」が5～6割台で最も多く、次いで「変わらない」が多くなっています。(図2-3⑦-2)

【図2-3⑦-2 年齢別 感染拡大の前と比べた運動習慣や食生活の変化（⑦飲酒の量や回数）】



（４）感染拡大の前と比べた心身における健康面の意識の変化

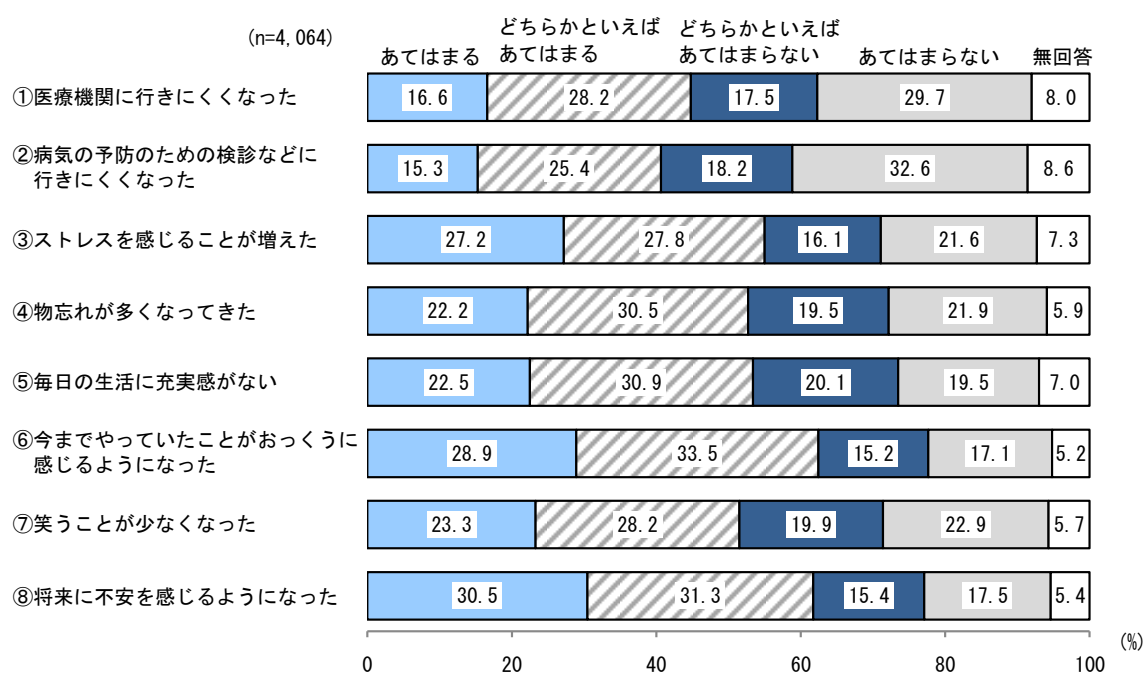
問 6 新型コロナウイルス感染拡大により、その前と比べて心身の健康面の意識に変化がありましたか。①～⑧の項目についてそれぞれお答えください。

【全体】

新型コロナウイルス感染拡大前と比べ、心身の健康面の意識に変化があったことに『あてはまる』（「あてはまる」＋「どちらかといえばあてはまる」）割合は、「⑥今までやっていたことがおっくうに感じるようになった」（62.4%）が最も高く、次いで「⑧将来に不安を感じるようになった」（61.8%）で、以下「③ストレスを感じるが増えた」（55.0%）、「⑤毎日の生活に充実感がない」（53.4%）、「④物忘れが多くなってきた」（52.7%）、「⑦笑うことが少なくなった」（51.5%）が半数を超えています。（図2-4）

逆に、「②病気の予防のための検診などに行きにくくなった」は『あてはまらない』（「あてはまらない」＋「どちらかといえばあてはまらない」）が50.8%となっています。（図2-4）

【図2-4 感染拡大の前と比べた心身における健康面の意識の変化】



【居住地域別】

「あてはまる」+「どちらかといえばあてはまる」の割合

中学校区別では、高安は「③ストレスを感じるが増えた」(65.3%)、「⑦笑うことが少なくなった」(59.1%)、「⑧将来に不安を感じるようになった」(68.7%)で最も高い割合となっています。南高安は「①医療機関に行きにくくなった」(50.0%)、「②病気の予防のための検診などに行きにくくなった」(47.1%)で最も高い割合となっています。(表2-4-1)

圏域別では、圏域5（高安・南高安・東）が8項目中6項目で最も高い割合となっています。(表2-4-1)

【表2-4-1 居住地域別 感染拡大の前と比べた心身における健康面の意識の変化】

			(あてはまる%+どちらかといえばあてはまる%)							
		n 数	く① な① つ① た① 医療 機関 に行 きに く	な② 検② 診② た② 病 気 の 予 防 の た め の こ	と③ が③ ス ト レ ス を 感 じ る こ	き④ た④ 物 忘 れ が 多 く な つ て	が⑤ な⑤ 毎 日 の 生 活 に 充 実 感	よ⑥ と⑥ が⑥ 今 お ま つ た う に 感 じ た こ	な⑦ つ⑦ 笑 う こ と が 少 な く	よ⑧ う⑧ 将 来 に 不 安 を 感 じ る
中 学 校 区 別	八尾	322	42.3	40.4	58.1	52.8	54.9	61.8	55.3	61.8
	桂	153	38.6	38.6	53.6	54.2	48.3	63.4	54.2	63.4
	上之島	303	48.9	44.9	54.4	52.8	52.5	60.1	46.9	59.4
	龍華	296	47.3	40.6	56.7	54.0	51.4	66.9	52.7	60.5
	亀井	169	49.1	46.2	60.9	50.8	58.0	66.3	58.0	60.3
	久宝寺	314	44.6	38.2	52.2	49.1	57.0	63.0	53.2	60.9
	志紀	229	45.0	39.8	50.2	52.4	52.9	63.7	49.7	61.6
	大正	246	49.2	45.9	56.5	54.1	56.5	63.0	53.2	64.2
	曙川南	344	41.6	37.2	55.8	52.9	52.9	61.7	47.1	63.1
	成法	397	42.1	37.3	51.1	50.4	50.7	61.9	45.9	60.7
	曙川	264	46.6	41.3	56.1	49.6	53.8	62.8	53.4	62.5
	高美	215	44.2	41.8	53.5	51.6	49.8	59.1	47.0	57.2
	高安	115	49.6	44.3	65.3	53.9	54.7	65.3	59.1	68.7
	南高安	208	50.0	47.1	62.1	55.8	52.0	61.6	54.3	62.5
	東	209	42.6	38.3	53.6	56.4	55.0	61.7	52.6	61.2
圏 域 別	圏域1（八尾・桂・上之島）	778	44.0	41.8	55.8	53.1	52.7	61.4	51.8	61.1
	圏域2（龍華・亀井・久宝寺）	779	46.6	40.8	55.8	51.4	55.1	65.2	54.1	60.6
	圏域3（志紀・大正・曙川南）	819	44.9	40.5	54.5	53.1	53.9	62.6	49.7	63.0
	圏域4（成法・曙川・高美）	876	44.0	39.6	53.2	50.5	51.3	61.5	48.4	60.4
	圏域5（高安・南高安・東）	532	47.0	43.1	59.4	55.6	53.7	62.4	54.7	63.4

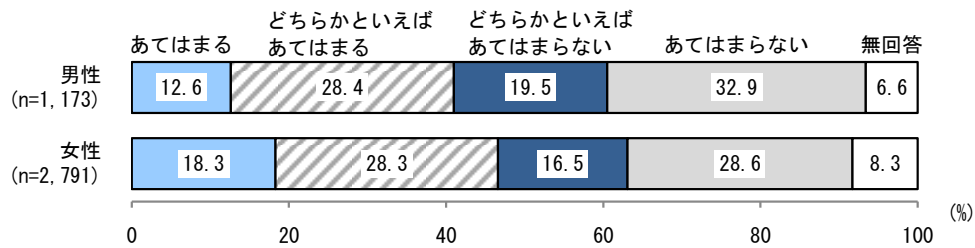
◆項目別結果（性別、年齢別）

①医療機関に行きにくくなった

【性別】

『あてはまる』割合は男性が41.0%、女性が46.6%で、女性のほうが5.6ポイント高くなっています。（図2-4①-1）

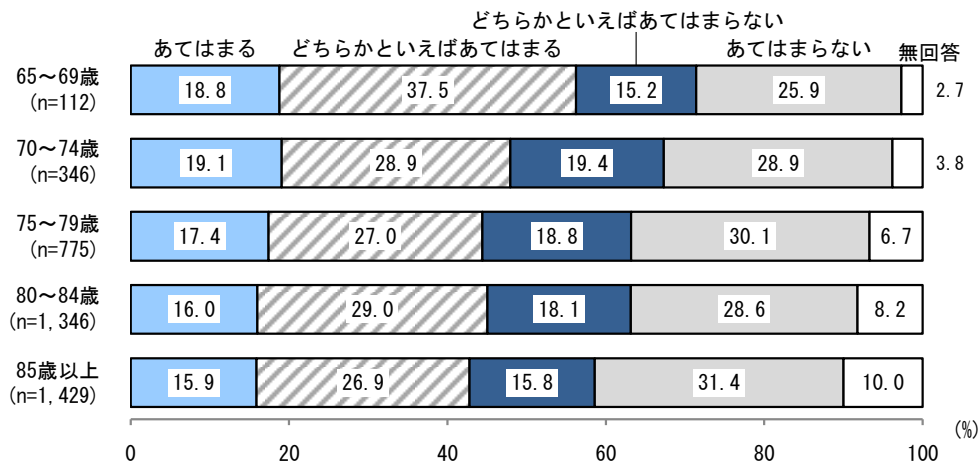
【図2-4①-1 性別 感染拡大の前と比べた心身における健康面の意識の変化（①医療機関に行きにくくなった）】



【年齢別】

『あてはまる』割合は若い年代ほど高い傾向となっており、65～69歳で56.3%と最も高くなっています。（図2-4①-2）

【図2-4①-2 年齢別 感染拡大の前と比べた心身における健康面の意識の変化（①医療機関に行きにくくなった）】

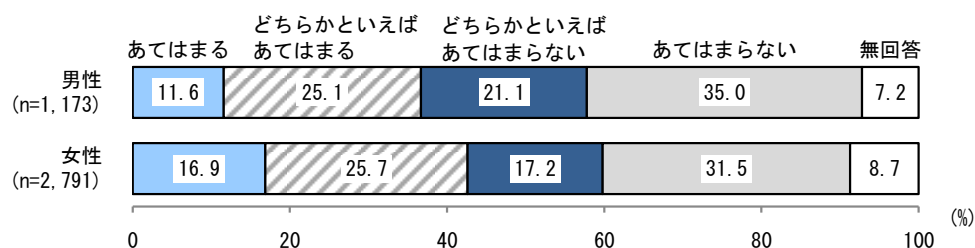


②病気の予防のための検診などに行きにくくなった

【性別】

『あてはまる』割合は男性が36.7%、女性が42.6%で、女性のほうが5.9ポイント高くなっています。(図2-4②-1)

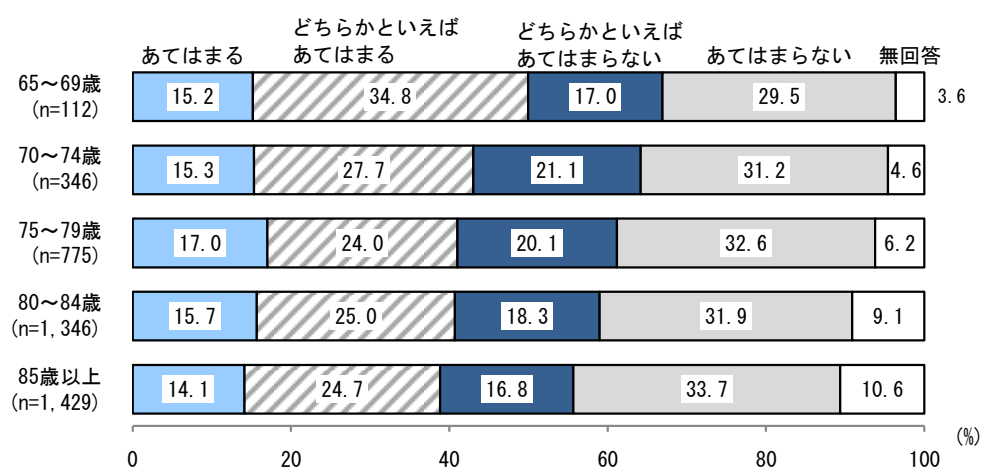
【図2-4②-1 性別 感染拡大の前と比べた心身における健康面の意識の変化 (②病気の予防のための検診などに行きにくくなった)】



【年齢別】

『あてはまる』割合は若い年代ほど高く、65～69歳で50.0%と最も高くなっています。(図2-4②-2)

【図2-4②-2 年齢別 感染拡大の前と比べた心身における健康面の意識の変化 (②病気の予防のための検診などに行きにくくなった)】

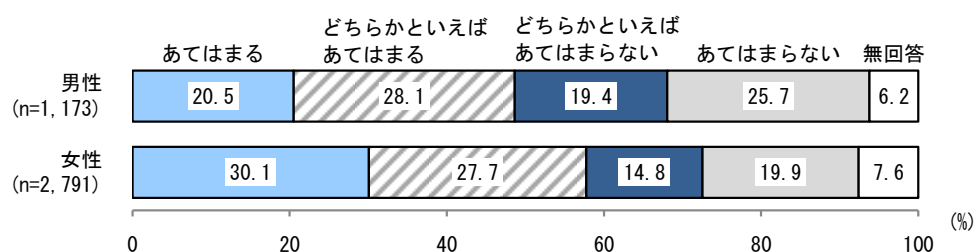


③ストレスを感じるが増えた

【性別】

『あてはまる』割合は男性が48.6%、女性が57.8%で、女性のほうが9.2ポイント高くなっています。(図2-4③-1)

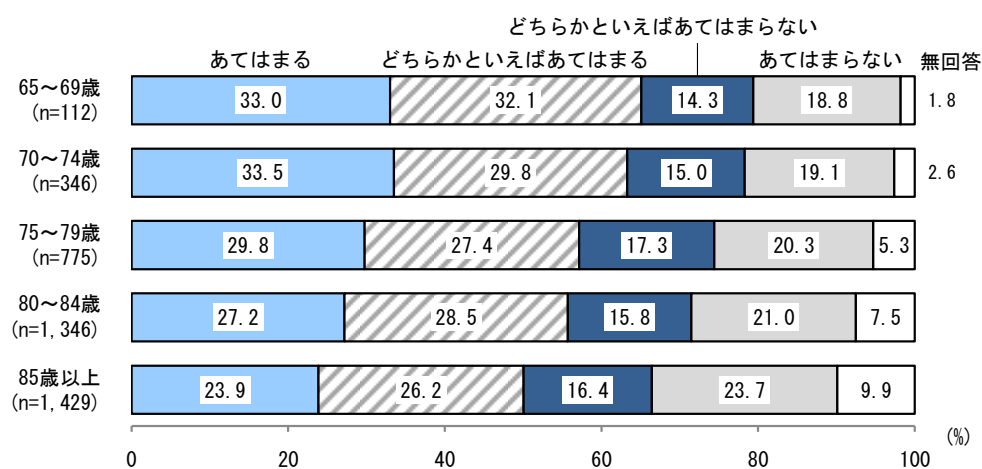
【図2-4③-1 性別 感染拡大の前と比べた心身における健康面の意識の変化 (③ストレスを感じるが増えた)】



【年齢別】

『あてはまる』割合は若い年代ほど高く、65～69歳で65.1%、70～74歳で63.3%と6割を超えています。(図2-4③-2)

【図2-4③-2 年齢別 感染拡大の前と比べた心身における健康面の意識の変化 (③ストレスを感じるが増えた)】

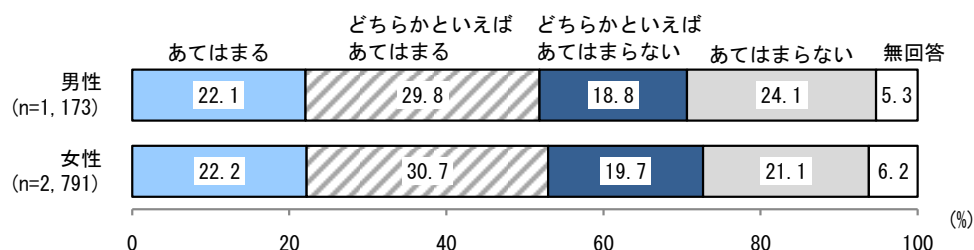


④物忘れが多くなってきた

【性別】

『あてはまる』は男性が51.9%、女性が52.9%、『あてはまらない』は男性が42.9%、女性が40.8%となっており、男女で大きな違いはみられません。(図2-4④-1)

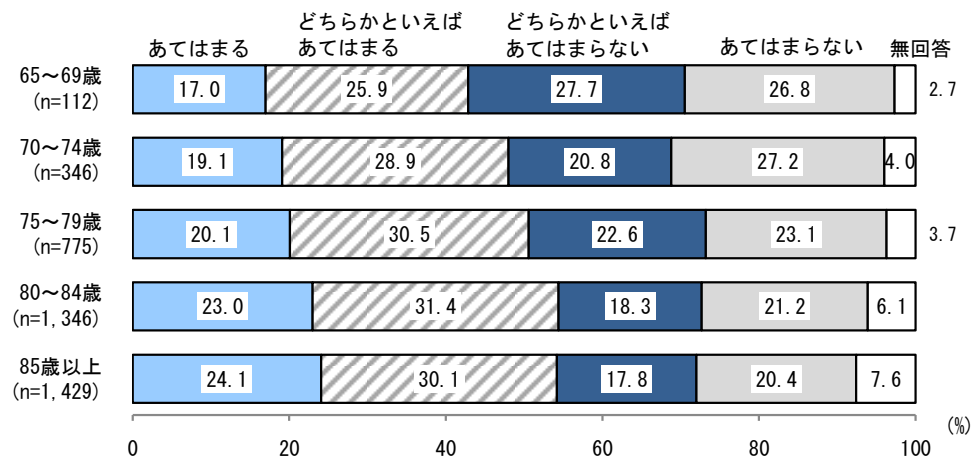
【図2-4④-1 性別 感染拡大の前と比べた心身における健康面の意識の変化 (④物忘れが多くなってきた)】



【年齢別】

75歳以上では『あてはまらない』より『あてはまる』のほうが多くなっています。また『あてはまる』割合は高齢になるほど高い傾向となっており、80～84歳で54.4%、85歳以上で54.2%となっています。(図2-4④-2)

【図2-4④-2 年齢別 感染拡大の前と比べた心身における健康面の意識の変化 (④物忘れが多くなってきた)】

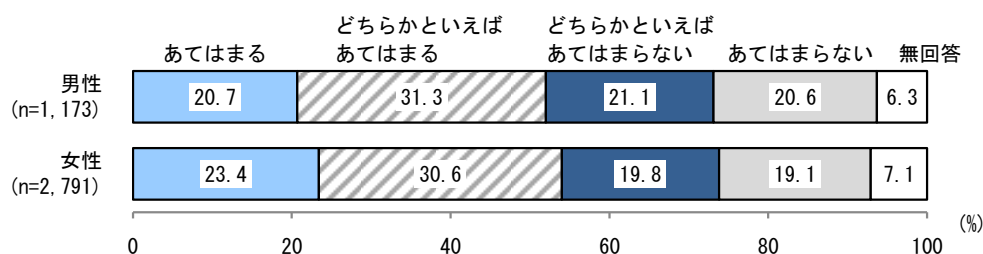


⑤毎日の生活に充実感がない

【性別】

『あてはまる』は男性が52.0%、女性が54.0%、『あてはまらない』は男性が41.7%、女性が38.9%となっており、男女で大きな違いはみられません。(図2-4⑤-1)

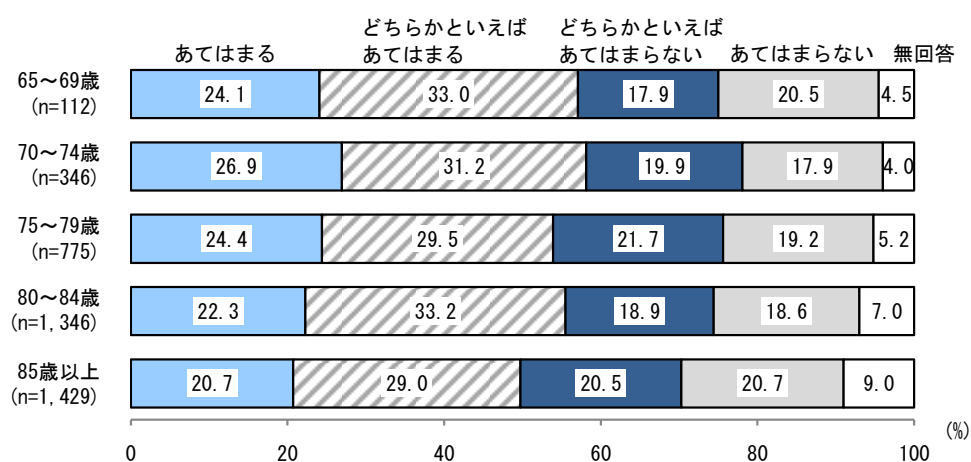
【図2-4⑤-1 性別 感染拡大の前と比べた心身における健康面の意識の変化 (⑤毎日の生活に充実感がない)】



【年齢別】

『あてはまる』割合は70～74歳で58.1%と最も高く、次いで65～69歳で57.1%となっています。(図2-4⑤-2)

【図2-4⑤-2 年齢別 感染拡大の前と比べた心身における健康面の意識の変化 (⑤毎日の生活に充実感がない)】

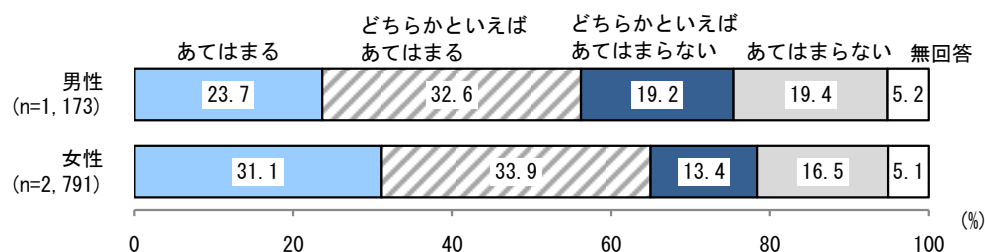


⑥今までやっていたことがおっくうに感じるようになった

【性別】

『あてはまる』割合は男性が56.3%、女性が65.0%で、女性のほうが8.7ポイント高くなっています。(図2-4⑥-1)

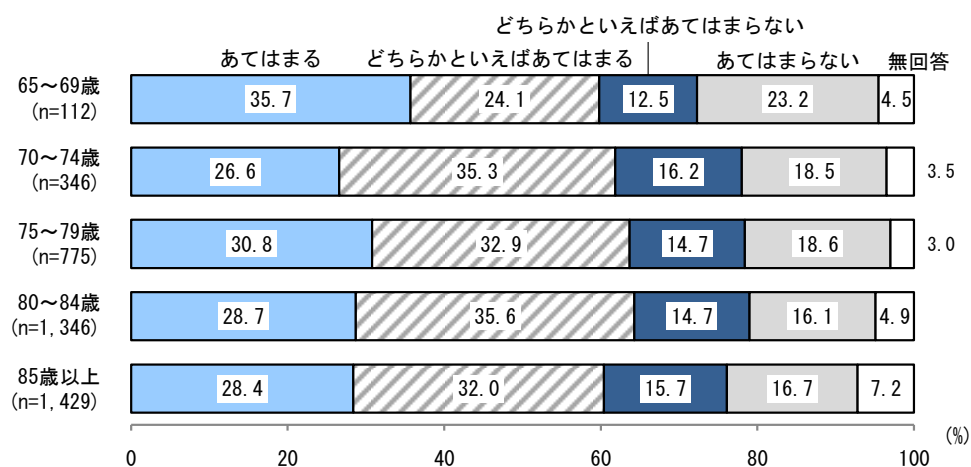
【図2-4⑥-1 性別 感染拡大の前と比べた心身における健康面の意識の変化 (⑥今までやっていたことがおっくうに感じるようになった)】



【年齢別】

『あてはまる』はいずれの年代も60%前後となっており、年齢で大きな違いはみられません。(図2-4⑥-2)

【図2-4⑥-2 年齢別 感染拡大の前と比べた心身における健康面の意識の変化 (⑥今までやっていたことがおっくうに感じるようになった)】

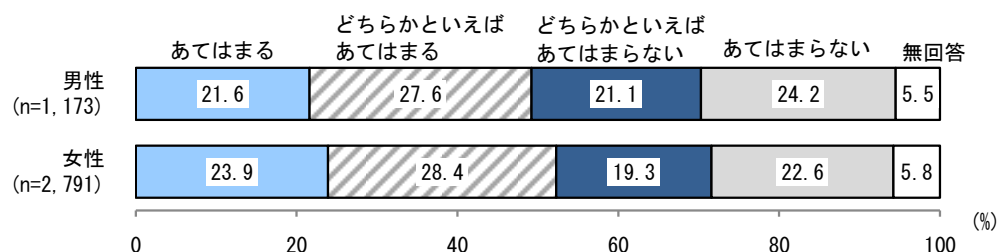


⑦笑うことが少なくなった

【性別】

『あてはまる』割合は男性が49.2%、女性が52.3%で、女性のほうが3.1ポイント高くなっています。(図2-4⑦-1)

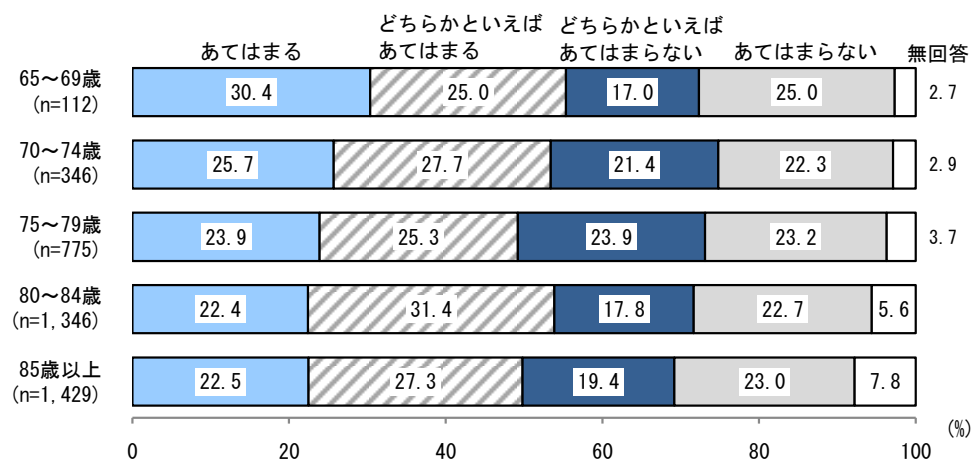
【図2-4⑦-1 性別 感染拡大の前と比べた心身における健康面の意識の変化 (⑦笑うことが少なくなった)】



【年齢別】

『あてはまる』割合は65～69歳で55.4%と最も高くなっていますが、他の年代も50%前後となっており、年代でそれほど大きな違いはみられません。(図2-4⑦-2)

【図2-4⑦-2 年齢別 感染拡大の前と比べた心身における健康面の意識の変化 (⑦笑うことが少なくなった)】

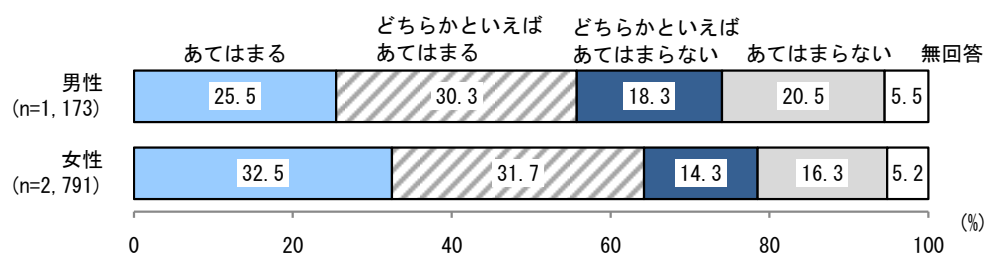


⑧将来に不安を感じるようになった

【性別】

『あてはまる』割合は男性が55.8%、女性が64.2%で、女性のほうが8.4ポイント高くなっています。(図2-4⑧-1)

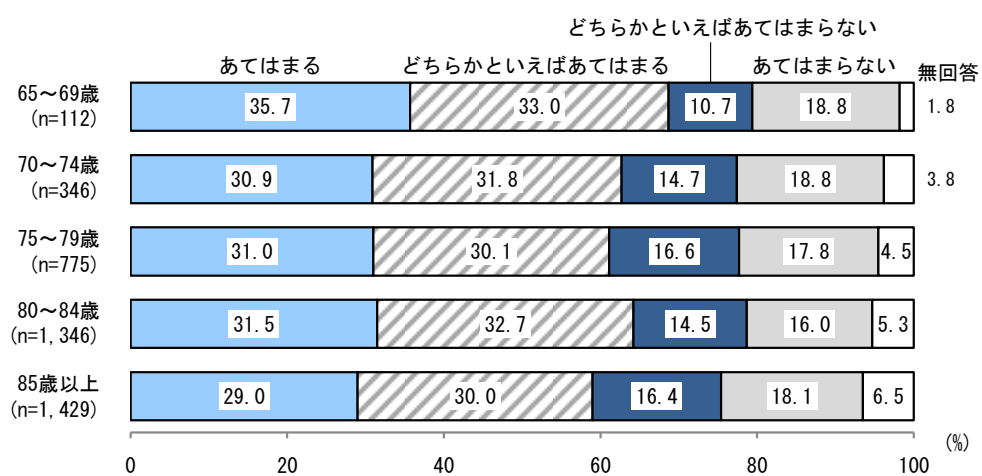
【図2-4⑧-1 性別 感染拡大の前と比べた心身における健康面の意識の変化 (⑧将来に不安を感じるようになった)】



【年齢別】

『あてはまる』割合は65～69歳で68.7%と最も高く、次いで80～84歳が64.2%となっています。(図2-4⑧-2)

【図2-4⑧-2 年齢別 感染拡大の前と比べた心身における健康面の意識の変化 (⑧将来に不安を感じるようになった)】



(5) 新型コロナワクチンの接種有無

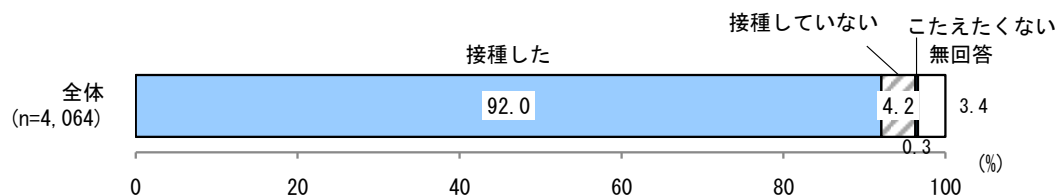
問7 新型コロナワクチンの接種状況についてうかがいます。

新型コロナワクチンを接種しましたか。(○は1つ)

【全体】

新型コロナワクチンを「接種した」が92.0%と大部分を占めています。(図2-5)

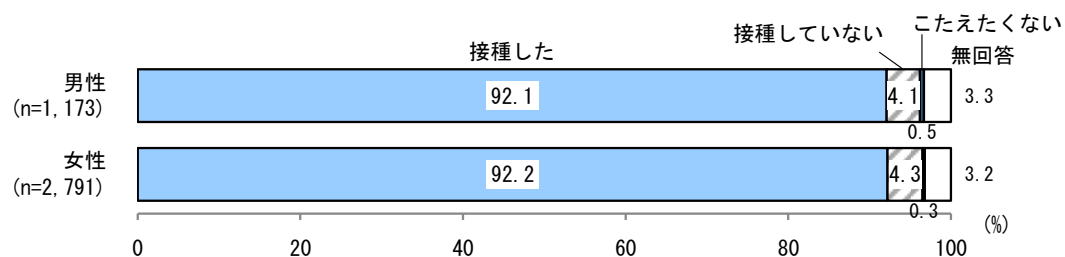
【図2-5 新型コロナワクチンの接種有無】



【性別】

「接種した」割合は、男性が92.1%、女性が92.2%と大差ありません。(図2-5-1)

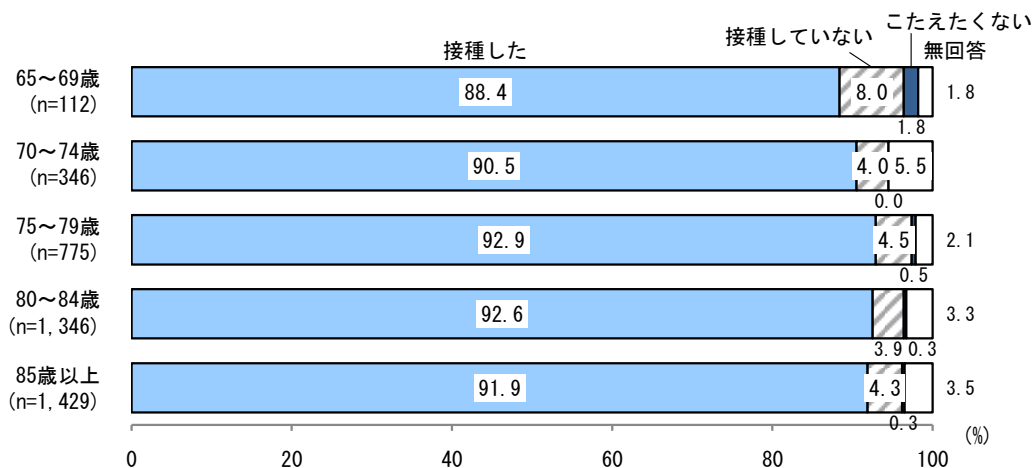
【図2-5-1 性別 新型コロナワクチンの接種有無】



【年齢別】

「接種した」割合は、70歳以上で90%を超えています。65～69歳は88.4%と他の年代より割合がやや低くなっています。(図2-5-2)

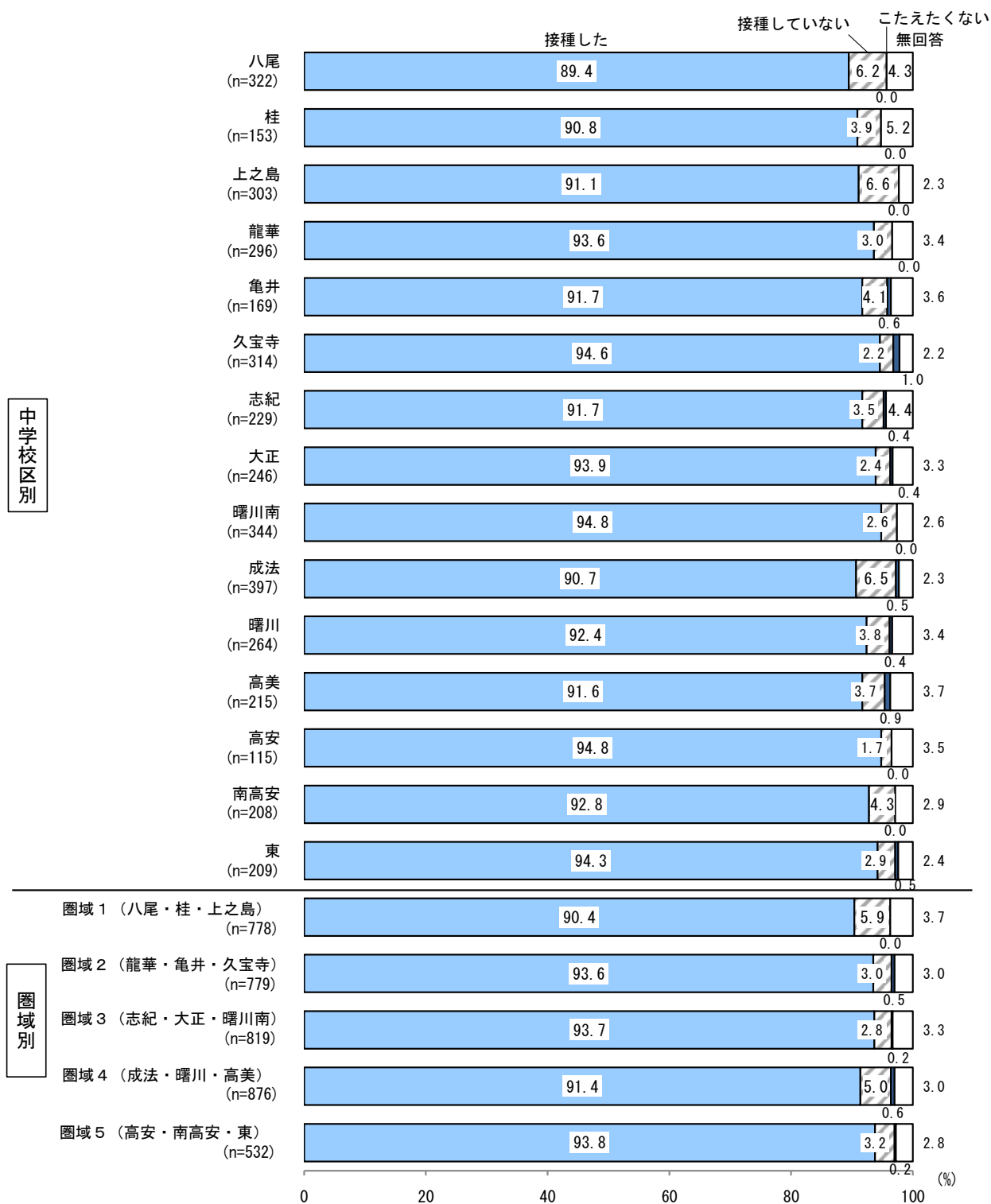
【図2-5-2 年齢別 新型コロナワクチンの接種有無】



【居住地域別】

「接種した」割合は居住地域で大きな違いはみられません。(図2-5-3)

【図2-5-3 居住地域別 新型コロナワクチンの接種有無】



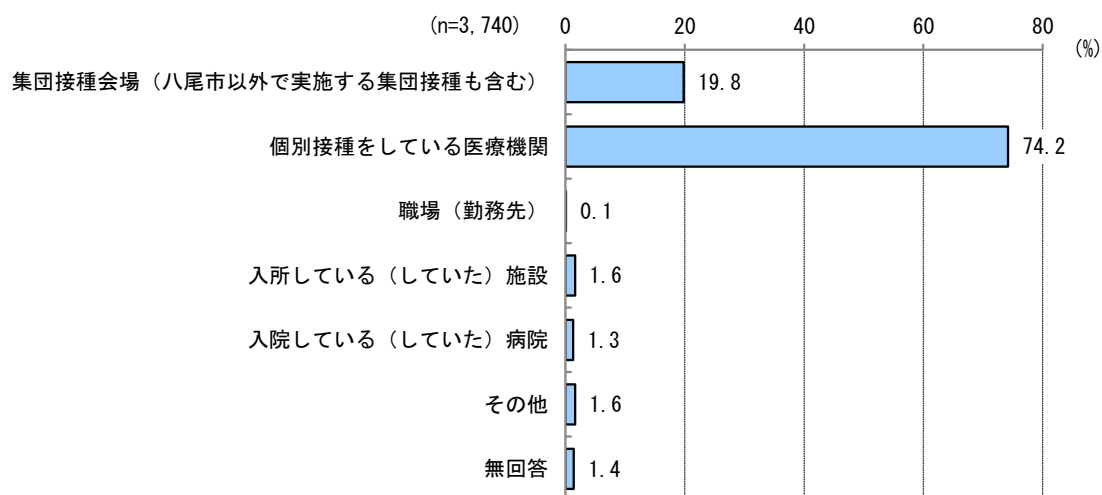
（６）ワクチンの接種場所

問７（１） 「１．接種した」と回答した方にうかがいます。
ワクチンの接種はどこでされましたか。（○は１つ）

【全体】

ワクチンの接種場所は、「個別接種をしている医療機関」が74.2%で最も多く、次いで「集団接種会場（八尾市以外で実施する集団接種も含む）」が19.8%となっています。（図2-6）

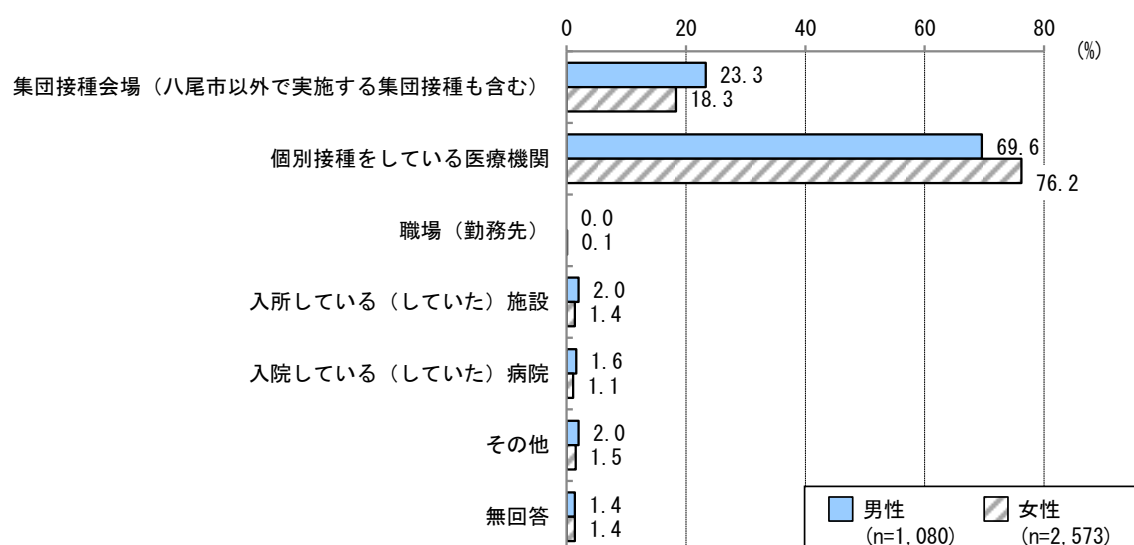
【図2-6 ワクチンの接種場所】



【性別】

「個別接種をしている医療機関」の割合は男性が69.6%に対し女性が76.2%で、女性のほうが6.6ポイント高くなっています。（図2-6-1）

【図2-6-1 性別 ワクチンの接種場所】

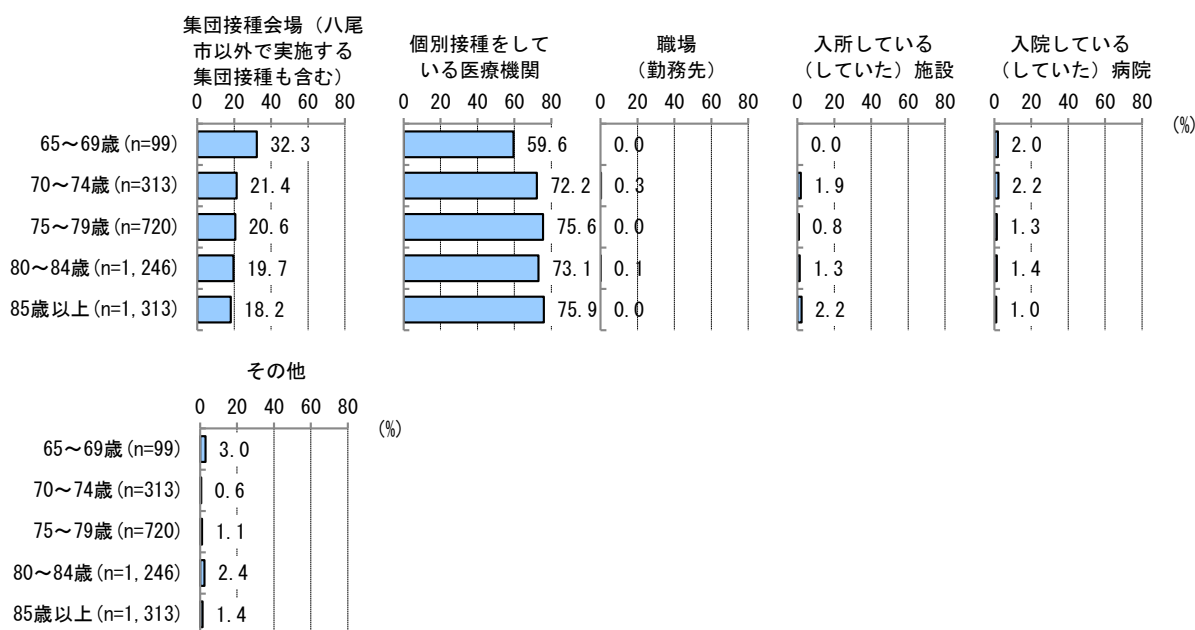


【年齢別】

「集団接種会場（八尾市以外で実施する集団接種も含む）」の割合は若い年代ほど高く、65～69歳で32.3%と最も高くなっています。（図2-6-2）

70歳以上の年代は、「個別接種をしている医療機関」の割合が高くなっています。（図2-6-2）

【図2-6-2 年齢別 ワクチンの接種場所】



【居住地域別】

中学校区別では、「個別接種をしている医療機関」の割合は南高安（84.5%）が、「集団接種会場（八尾市以外で実施する集団接種も含む）」の割合は志紀（31.0%）が、それぞれ最も高くなっています。（表2-6-3）

【表2-6-3 居住地域別 ワクチンの接種場所】

		n数	集団接種会場（八尾市以外で実施する集団接種も含む）	個別接種をしている医療機関	職場（勤務先）	入所している（していた）施設	入院している（していた）病院	その他	無回答
中学校区別	八尾	288	26.4	65.6	0.3	2.4	2.4	1.0	1.7
	桂	139	30.2	61.2	-	2.2	2.2	3.6	0.7
	上之島	276	24.3	69.6	0.4	1.4	0.7	1.4	2.2
	龍華	277	14.8	79.1	-	2.9	-	1.4	1.8
	亀井	155	13.5	81.3	-	1.3	0.6	1.9	1.3
	久宝寺	297	14.5	81.5	-	0.7	1.0	0.7	1.7
	志紀	210	31.0	65.2	-	0.5	1.4	1.4	0.5
	大正	231	22.9	72.7	-	2.2	0.4	0.9	0.9
	曙川南	326	21.8	72.4	-	2.1	1.2	1.5	0.9
	成法	360	20.8	71.9	-	1.1	1.7	3.3	1.1
	曙川	244	21.7	76.2	-	-	0.4	0.8	0.8
	高美	197	12.7	78.7	-	2.0	3.6	1.0	2.0
	高安	109	12.8	82.6	-	0.9	-	0.9	2.8
圏域別	南高安	193	12.4	84.5	-	1.0	1.0	0.5	0.5
	東	197	11.2	83.2	-	1.0	1.5	1.5	1.5
	圏域1（八尾・桂・上之島）	703	26.3	66.3	0.3	2.0	1.7	1.7	1.7
	圏域2（龍華・亀井・久宝寺）	729	14.4	80.5	-	1.6	0.5	1.2	1.6
	圏域3（志紀・大正・曙川南）	767	24.6	70.5	-	1.7	1.0	1.3	0.8
	圏域4（成法・曙川・高美）	801	19.1	74.9	-	1.0	1.7	2.0	1.2
	圏域5（高安・南高安・東）	499	12.0	83.6	-	1.0	1.0	1.0	1.4

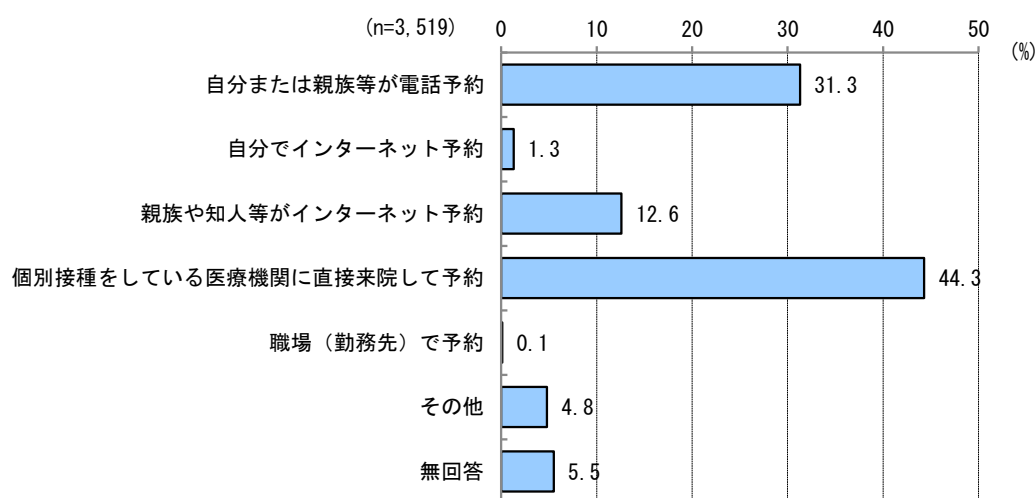
(7) ワクチン接種の予約方法

問7 (2) (1)で「1. 集団接種会場」「2. 個別接種をしている医療機関」「3. 職場」に回答した方にうかがいます。
 どのような方法でワクチン接種の予約をしましたか。(〇は1つ)

【全体】

「個別接種をしている医療機関に直接来院して予約」が44.3%で最も多く、次いで「自分または親族等が電話予約」が31.3%、「親族や知人等がインターネット予約」が12.6%となっています。(図2-7)

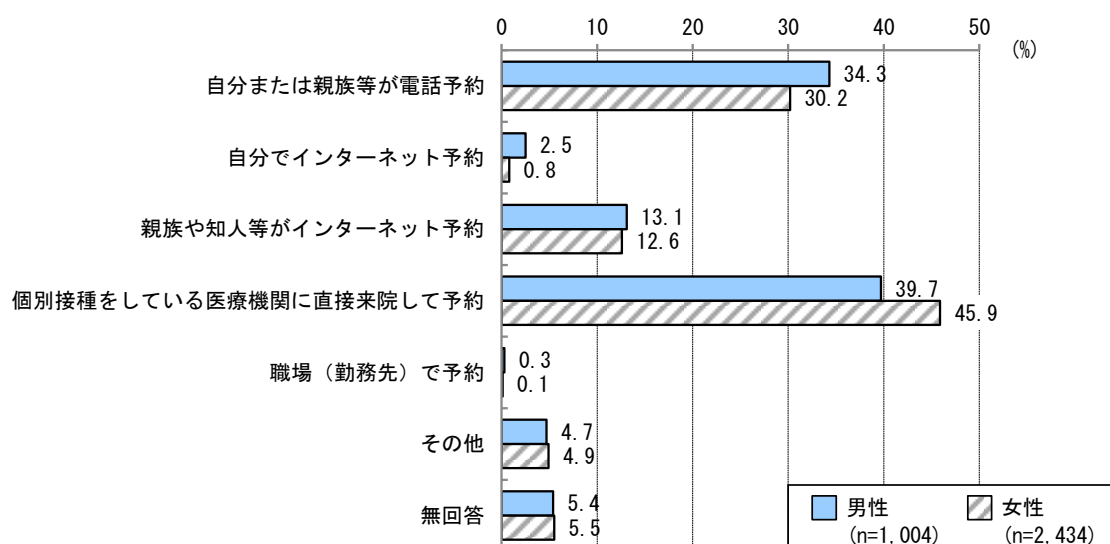
【図2-7 ワクチン接種の予約方法】



【性別】

「個別接種をしている医療機関に直接来院して予約」の割合は男性が39.7%に対し女性が45.9%で、女性のほうが6.2ポイント高くなっています。また「自分または親族等が電話予約」の割合は男性が34.3%に対し女性が30.2%で、男性のほうが4.1ポイント高くなっています。(図2-7-1)

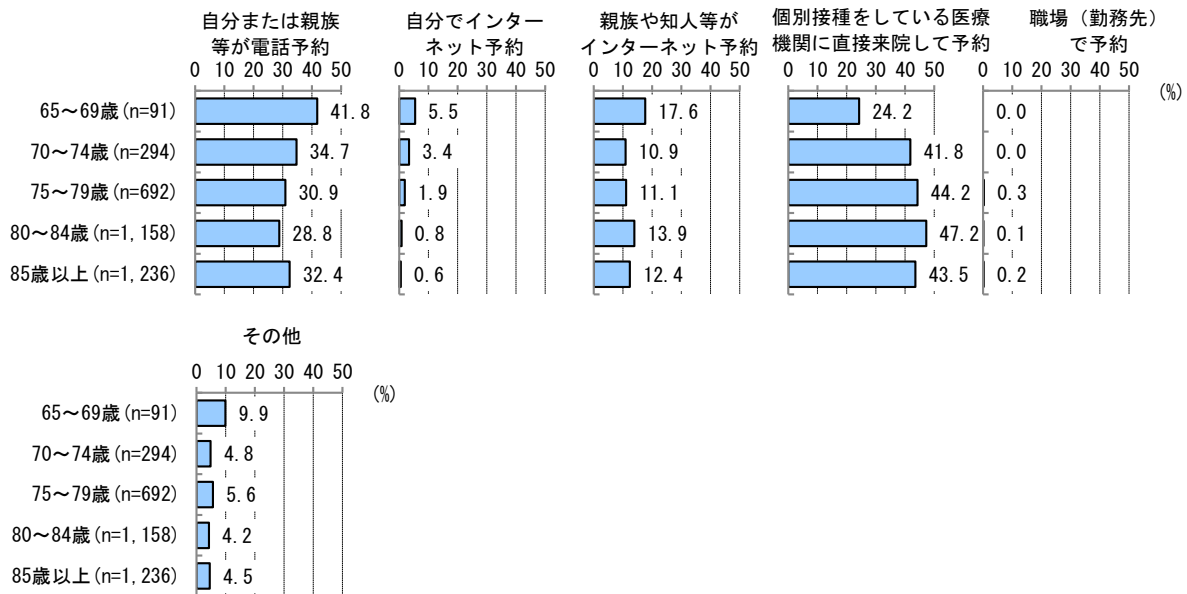
【図2-7-1 性別 ワクチン接種の予約方法】



【年齢別】

「個別接種をしている医療機関に直接来院して予約」の割合は、70歳以上が4割台なのに対し、65～69歳は24.2%とそれ以上の年代より低くなっています。一方「自分または親族等が電話予約」、「自分でインターネット予約」、「親族や知人等がインターネット予約」の各割合は65～69歳がそれ以上の年代に比べ高くなっています。(図2-7-2)

【図2-7-2 年齢別 ワクチン接種の予約方法】



【居住地域別】

中学校区別では、「個別接種をしている医療機関に直接来院して予約」は、久宝寺、南高安、東で50%を超えています。(表2-7-3)

【表2-7-3 居住地域別 ワクチン接種の予約方法】

		n 数	約族自 等分 がまた 電話は 予親	約々自 々分 がまた 電話は 予親	ネが親 ツイ族 トンや 予タ知 約！人 等	し関て個 ににい別 予直る接 約接医種 来療を 院機し	先職 場 で 予勤 務	そ 他	無 回 答
中 学 校 区 別	八尾	266	27.8	0.8	21.8	39.8	-	6.4	3.4
	桂	127	29.9	1.6	21.3	36.2	-	7.1	3.9
	上之島	260	30.4	1.5	15.0	42.3	-	5.4	5.4
	龍華	260	31.9	1.5	8.8	43.5	-	4.2	10.0
	亀井	147	27.9	1.4	10.2	49.0	-	6.8	4.8
	久宝寺	285	27.0	1.8	8.8	52.3	-	2.5	7.7
	志紀	202	33.2	0.5	15.3	39.6	-	5.0	6.4
	大正	221	30.8	0.9	14.5	44.3	0.5	5.0	4.1
	曙川南	307	34.2	1.3	12.4	46.6	0.3	3.6	1.6
	成法	334	37.4	1.5	11.1	38.9	-	5.1	6.0
	曙川	239	26.8	2.5	14.6	46.4	0.4	3.3	5.9
	高美	180	40.0	1.7	13.9	36.1	-	3.9	4.4
	高安	104	40.4	-	8.7	38.5	1.0	7.7	3.8
	南高安	187	29.4	1.6	5.9	51.3	0.5	4.3	7.0
	東	186	26.9	-	8.6	51.1	-	7.0	6.5
圏 域 別	圏域1（八尾・桂・上之島）	653	29.2	1.2	19.0	40.1	-	6.1	4.3
	圏域2（龍華・亀井・久宝寺）	692	29.0	1.6	9.1	48.3	-	4.0	7.9
	圏域3（志紀・大正・曙川南）	730	32.9	1.0	13.8	44.0	0.3	4.4	3.7
	圏域4（成法・曙川・高美）	753	34.7	1.9	12.9	40.6	0.1	4.2	5.6
	圏域5（高安・南高安・東）	477	30.8	0.6	7.5	48.4	0.4	6.1	6.1

3. 心身の健康状態について

(1) 心身の健康状態について

問8 ①～⑬の項目についてあなたの状態をそれぞれ「はい」「いいえ」でお答えください。

【全体】

「①目はふつうに見える」(はい) との回答は84.6%で、視覚に問題のある高齢者の割合は11.6%となっています。(図3-1)

「②この1年間で入院したことはある」(はい) との回答は21.2%で、約5人に1人は入院経験があります。(図3-1)

「③家の中でよくつまずいたり、滑ったりする」(はい) との回答は35.4%、また、「④この1年間に転んだことがある」(はい) との回答は37.8%で、回答者のほぼ3人に1人は転倒・骨折リスクを抱えています。一方、「⑤転ぶことが怖くて外出を控えることがある」(はい) が31.1%となっており、活動量の低下による筋力の衰えが懸念されます。(図3-1)

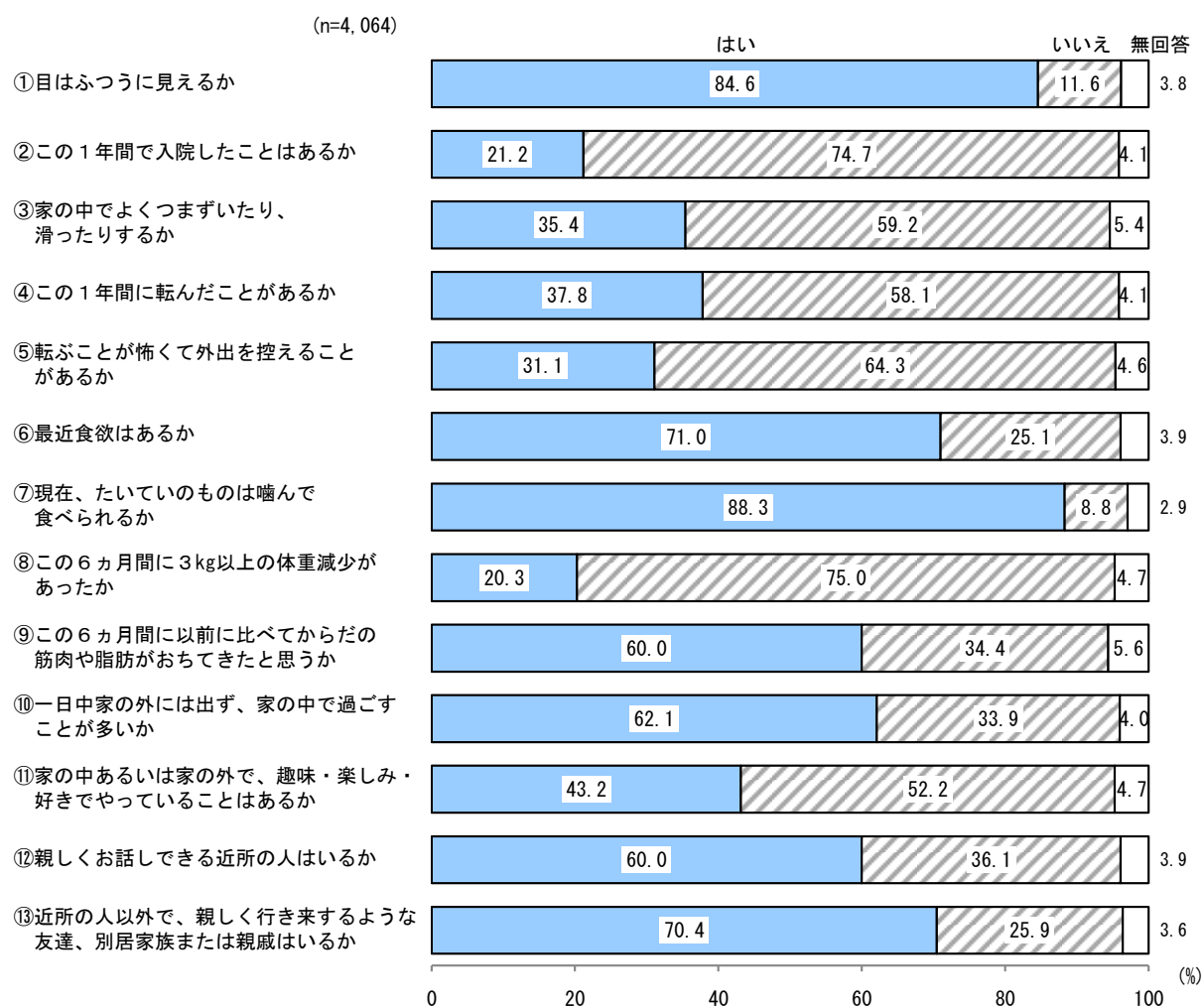
食事の状況をみると、「⑥最近食欲はある」(はい) との回答は71.0%、「⑦現在、たいいのものは噛んで食べられる」(はい) は88.3%となっており、食事面で支障のある高齢者は少なくなっていますが、「⑧この6ヵ月間に3kg以上の体重減少があった」(はい) との回答が20.3%と5人に1人、また「⑨この6ヵ月間に以前に比べてからだの筋肉や脂肪がおちてきた」(はい) との回答が60.0%となっており、栄養状態に不安がある高齢者は少なくありません。(図3-1)

「⑩一日中家の外には出ず、家の中で過ごすことが多い」(はい) が62.1%で全体的に閉じこもり傾向がみられます。(図3-1)

「⑪家の中あるいは家の外で、趣味・楽しみ・好きでやっていることはある」(はい) は43.2%で、残りの52.2%は趣味などを行っていないとの回答となっています。また、「⑫親しくお話しできる近所の人はいない」(いいえ) は36.1%で、約3人に1人は近隣とあまり親密な付き合いは行っていないようです。(図3-1)

また「⑬近所の人以外で、親しく行き来するような友達、別居家族または親戚はいない」(いいえ) との回答は25.9%で、4人に1人は隣近所の人との付き合いを避けている傾向がみられます。(図3-1)

【図3-1 心身の健康状態について】



【居住地域別】

「はい」と回答した割合

中学校区別では、「⑩一日中家の外には出ず、家の中で過ごすことが多い」（はい）の割合は、亀井で69.2%、龍華で66.9%と、最も低い南高安（56.3%）と10ポイント以上の差があります。（表3-1-1）

【表3-1-1 居住地域別 心身の健康状態について（「はい」の割合）】

		n数	①目はふつうに見えるか	②この1年間で入院したことはあるか	③家の中でよくつまずいたり、滑ったりする	④この1年間に転んだことがあるか	⑤転ぶことが怖くて外出を控えることがある	⑥最近食欲はあるか	⑦現在、たいいていのものは噛んで食べられる	⑧この6カ月間に3kg以上の体重減少があつたか	⑨この6カ月間に以前に比べてからだの筋肉や脂肪がおちてきたと思うか	⑩一日中家の外には出ず、家の中で過ごすことが多いか	⑪家の中あるいは家の外で、趣味・楽しみ・好きでやっていることはあるか	⑫親しくお話しできる近所の人はいるか	⑬近所の人以外で、親しく行き来する友人・近所、別居家族または親戚はいるか
中学校区別	八尾	322	83.2	22.7	31.7	39.8	30.4	71.1	89.8	23.3	57.5	62.7	44.7	57.8	70.5
	桂	153	79.1	17.6	44.4	40.5	39.2	60.8	83.7	24.2	61.4	66.0	37.9	63.4	66.0
	上之島	303	90.1	20.8	36.3	40.6	31.7	71.3	89.4	20.8	60.7	59.1	47.5	60.4	69.3
	龍華	296	87.2	19.6	38.9	37.8	33.1	69.9	90.2	17.2	64.5	66.9	41.9	64.9	70.6
	亀井	169	83.4	16.6	37.9	34.9	40.8	65.1	86.4	26.0	61.5	69.2	39.1	58.0	68.0
	久宝寺	314	84.4	20.4	32.2	37.3	29.0	66.9	90.4	18.8	62.7	63.4	45.9	63.7	73.6
	志紀	229	82.1	29.3	33.2	36.2	31.4	70.3	85.6	18.8	61.1	65.5	41.9	53.7	71.6
	大正	246	82.5	21.1	36.6	39.4	32.5	74.4	87.0	17.1	58.1	59.8	48.4	63.0	71.1
	曙川南	344	84.6	20.3	34.3	38.7	27.6	73.5	91.9	19.2	58.7	60.2	43.3	59.3	67.2
	成法	397	80.6	23.4	35.3	37.5	28.7	74.1	90.2	21.9	60.5	60.5	41.8	59.2	71.8
	曙川	264	91.3	18.6	30.7	31.4	30.7	75.4	86.0	20.5	60.2	63.3	43.2	59.1	76.1
	高美	215	83.3	21.9	35.8	38.1	30.2	74.9	85.1	17.2	57.7	61.4	38.1	58.1	68.4
	高安	115	82.6	14.8	44.3	39.1	41.7	74.8	87.8	19.1	61.7	58.3	48.7	63.5	75.7
	南高安	208	89.4	20.7	35.6	32.2	26.4	78.4	90.4	18.3	56.7	56.3	48.6	66.8	74.5
	東	209	86.6	23.0	37.3	44.5	26.3	71.3	90.9	20.1	62.7	61.7	48.8	62.2	77.0
圏域別	圏域1（八尾・桂・上之島）	778	85.1	21.0	36.0	40.2	32.6	69.2	88.4	22.5	59.5	62.0	44.5	59.9	69.2
	圏域2（龍華・亀井・久宝寺）	779	85.2	19.3	35.9	37.0	33.1	67.7	89.5	19.8	63.2	66.0	42.9	62.9	71.2
	圏域3（志紀・大正・曙川南）	819	83.3	23.1	34.7	38.2	30.2	72.9	88.6	18.4	59.2	61.5	44.4	58.9	69.6
	圏域4（成法・曙川・高美）	876	84.5	21.6	34.0	35.8	29.7	74.7	87.7	20.3	59.7	61.5	41.3	58.9	72.3
	圏域5（高安・南高安・東）	532	86.8	20.3	38.2	38.5	29.7	74.8	90.0	19.2	60.2	58.8	48.7	64.3	75.8

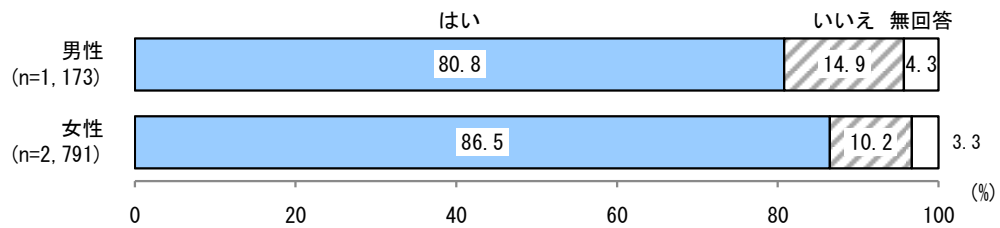
◆項目別結果（性別、年齢別）

①目はふつうに見えるか

【性別】

「目はふつうに見えない」（いいえ）の割合は、男性が14.9%に対し女性が10.2%で、男性のほうが4.7ポイント高くなっています。（図3-1①-1）

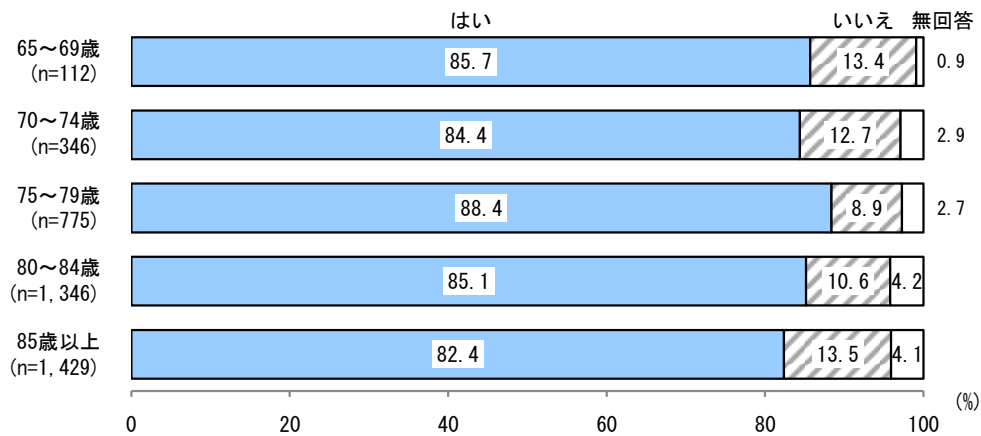
【図3-1①-1 性別 心身の健康状態について（①目はふつうに見えるか）】



【年齢別】

「目はふつうに見えない」（いいえ）の割合は85歳以上で13.5%と最も高くなっています。（図3-1①-2）

【図3-1①-2 年齢別 心身の健康状態について（①目はふつうに見えるか）】

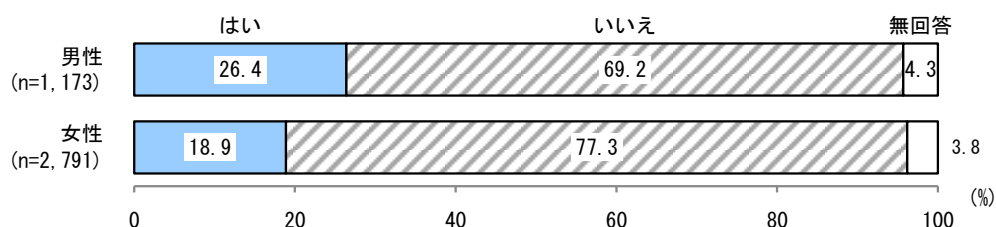


②この１年間で入院したことはあるか

【性別】

「この１年間で入院したことがある」（はい）の割合は男性が26.4%に対し女性が18.9%で、男性のほうが7.5ポイント高くなっています。（図3-1②-1）

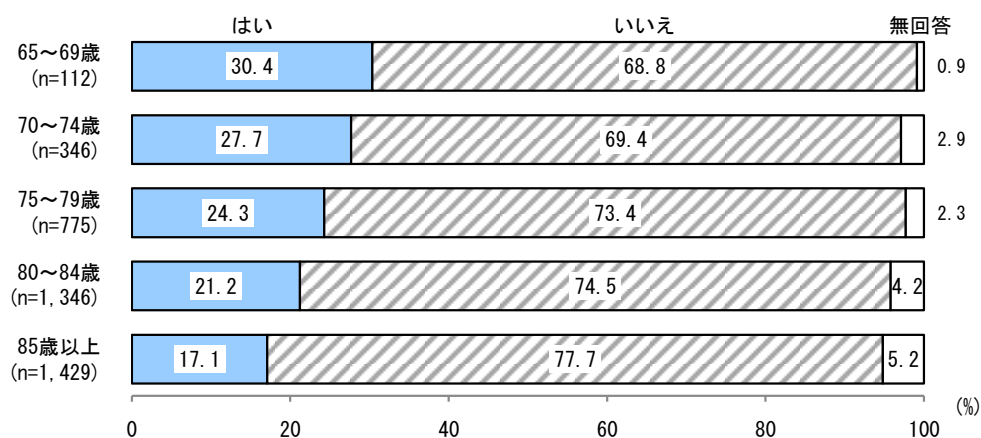
【図3-1②-1 性別 心身の健康状態について（②この１年間で入院したことはあるか）】



【年齢別】

「この１年間で入院したことがある」（はい）の割合は若い年代ほど高く、65～69歳が30.4%と最も高くなっています。（図3-1②-2）

【図3-1②-2 年齢別 心身の健康状態について（②この１年間で入院したことはあるか）】

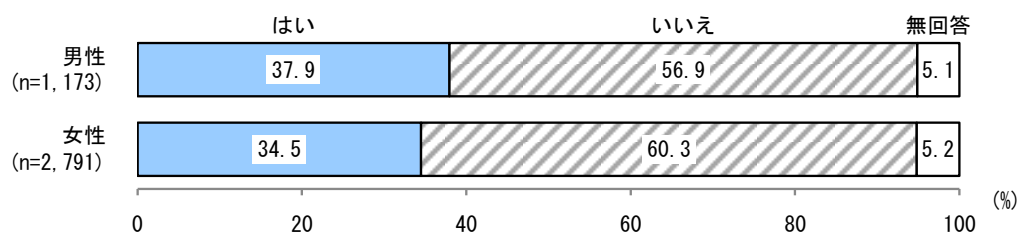


③家の中でよくつまずいたり、滑ったりするか

【性別】

「家の中でよくつまずいたり、滑ったりする」（はい）の割合は男性が37.9%、女性が34.5%で、男性のほうが3.4ポイント高くなっています。（図3-1③-1）

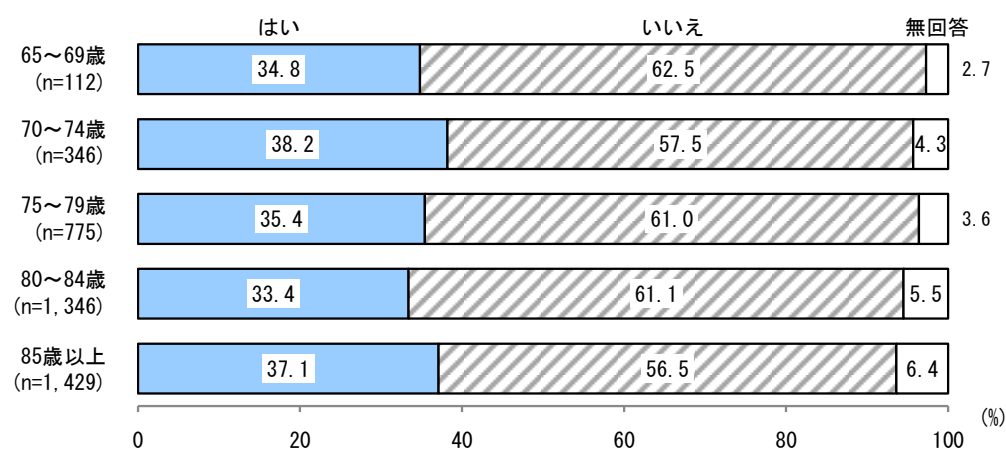
【図3-1③-1 性別 心身の健康状態について（③家の中でよくつまずいたり、滑ったりするか）】



【年齢別】

「家の中でよくつまずいたり、滑ったりする」（はい）の割合は70～74歳が38.2%で最も高くなっています。（図3-1③-2）

【図3-1③-2 年齢別 心身の健康状態について（③家の中でよくつまずいたり、滑ったりするか）】

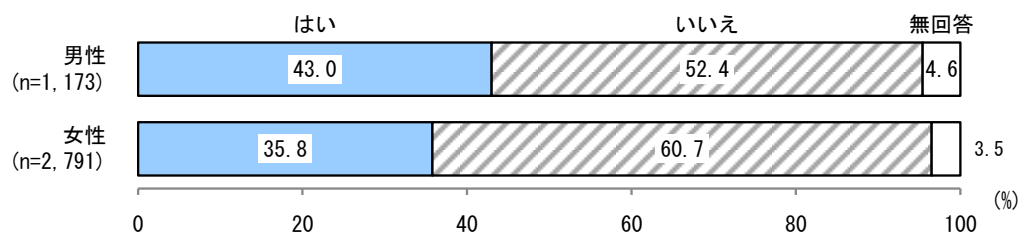


④この１年間に転んだことがあるか

【性別】

「この１年間に転んだことがある」（はい）の割合は男性が43.0%、女性が35.8%で、男性のほうが7.2ポイント高くなっています。（図3-1④-1）

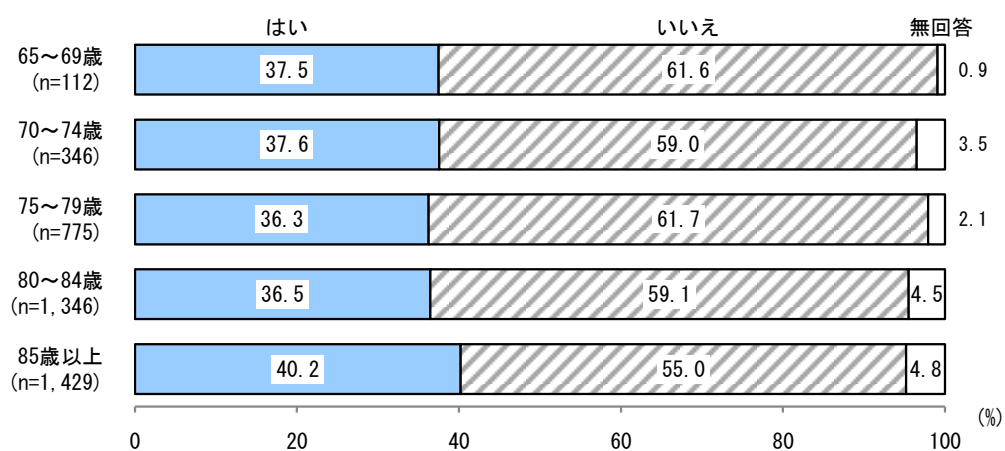
【図3-1④-1 性別 心身の健康状態について（④この１年間に転んだことがあるか）】



【年齢別】

「この１年間に転んだことがある」（はい）の割合は85歳以上が40.2%で最も高くなっています。（図3-1④-2）

【図3-1④-2 年齢別 心身の健康状態について（④この１年間に転んだことがあるか）】

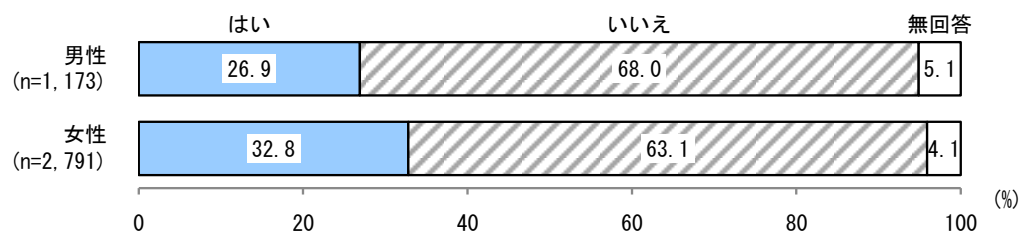


⑤転ぶことが怖くて外出を控えることがあるか

【性別】

「転ぶことが怖くて外出を控えることがある」（はい）の割合は男性が26.9%、女性が32.8%で、女性のほうが5.9ポイント高くなっています。（図3-1⑤-1）

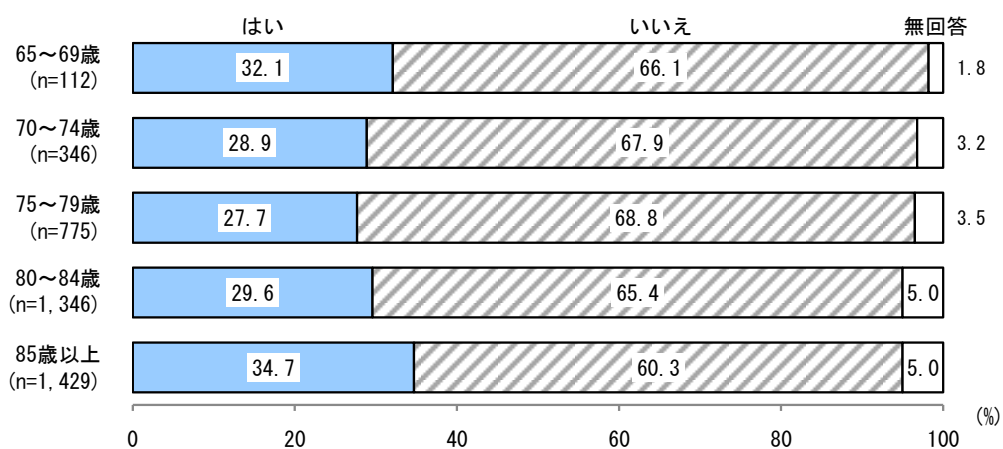
【図3-1⑤-1 性別 心身の健康状態について（⑤転ぶことが怖くて外出を控えることがあるか）】



【年齢別】

「転ぶことが怖くて外出を控えることがある」（はい）の割合は85歳以上が34.7%で最も高く、次いで65～69歳が32.1%となっています。（図3-1⑤-2）

【図3-1⑤-2 年齢別 心身の健康状態について（⑤転ぶことが怖くて外出を控えることがあるか）】



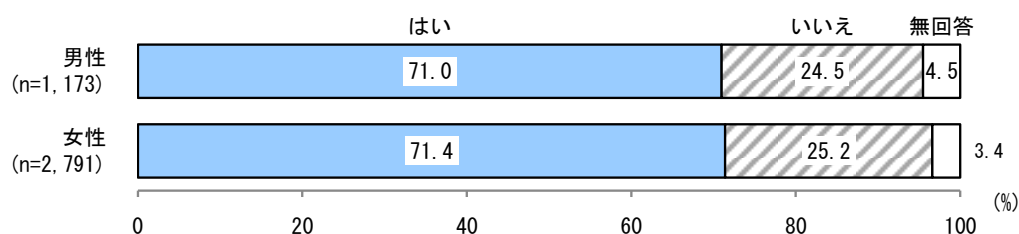
⑥最近食欲はあるか

【性別】

男女とも「はい」、「いいえ」の各割合はほぼ同程度であり大きな違いはみられません。

(図3-1⑥-1)

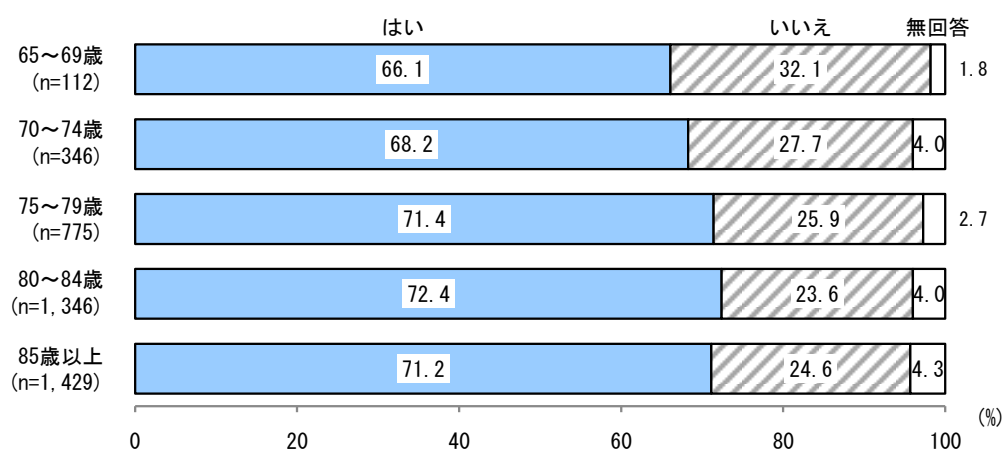
【図3-1⑥-1 性別 心身の健康状態について (⑥最近食欲はあるか)】



【年齢別】

「最近食欲がない」(いいえ)の割合は若い世代ほど高い傾向がみられ、65～69歳では32.1%となっています。(図3-1⑥-2)

【図3-1⑥-2 年齢別 心身の健康状態について (⑥最近食欲はあるか)】



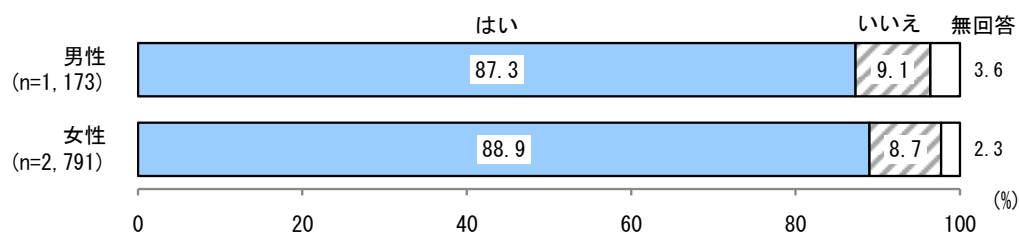
⑦現在、たいていのものは嚙んで食べられるか

【性別】

男女とも「はい」、「いいえ」の各割合はほぼ同程度であり大きな違いはみられません。

(図3-1⑦-1)

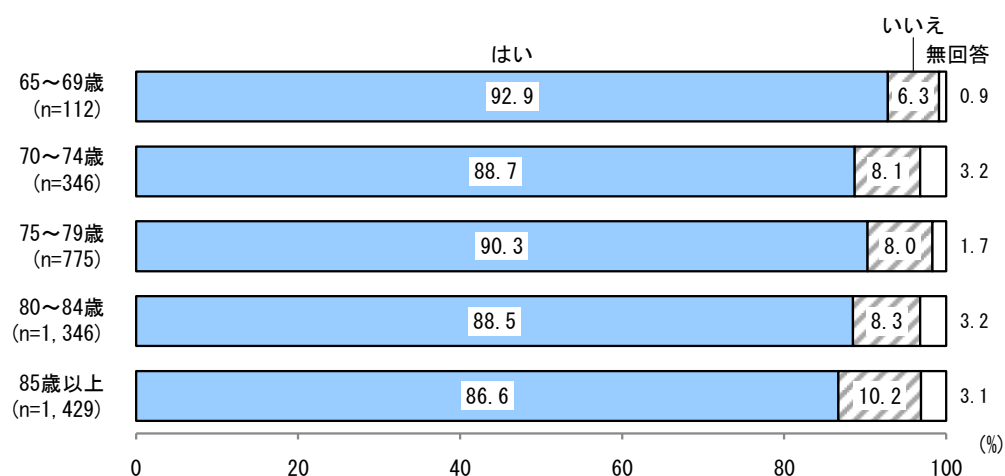
【図3-1⑦-1 性別 心身の健康状態について (⑦現在、たいていのものは嚙んで食べられるか)】



【年齢別】

「現在、たいていのものは嚙んで食べられない」(いいえ)の割合は、85歳以上が10.2%で最も高くなっています。(図3-1⑦-2)

【図3-1⑦-2 年齢別 心身の健康状態について (⑦現在、たいていのものは嚙んで食べられるか)】

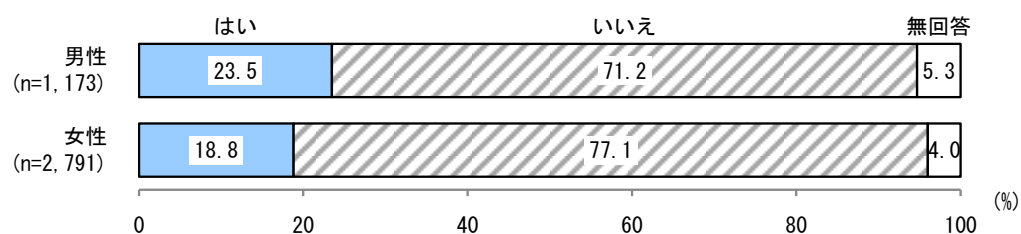


⑧この6ヵ月間に3kg以上の体重減少があったか

【性別】

「この6ヵ月間に3kg以上の体重減少があった」（はい）の割合は男性が23.5%、女性が18.8%で、男性のほうが4.7ポイント高くなっています。（図3-1⑧-1）

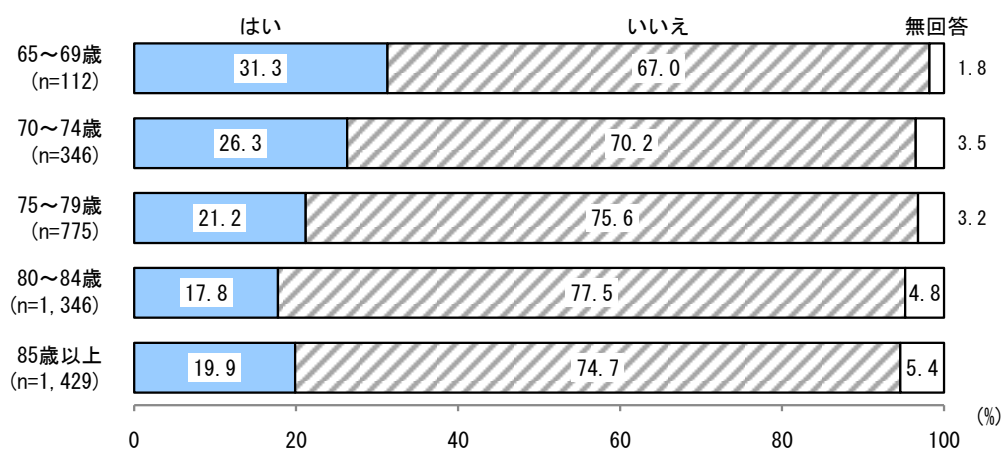
【図3-1⑧-1 性別 心身の健康状態について（⑧この6ヵ月間に3kg以上の体重減少があったか）】



【年齢別】

「この6ヵ月間に3kg以上の体重減少があった」（はい）の割合は若い世代ほど高い傾向がみられ、65～69歳が31.3%で最も高くなっています。（図3-1⑧-2）

【図3-1⑧-2 年齢別 心身の健康状態について（⑧この6ヵ月間に3kg以上の体重減少があったか）】

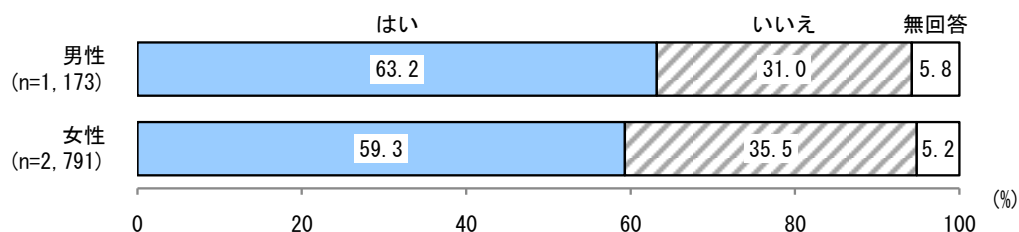


⑨この6ヵ月間に以前に比べてからだの筋肉や脂肪がおちてきたと思うか

【性別】

「この6ヵ月間に以前に比べてからだの筋肉や脂肪がおちてきたと思う」(はい)の割合は男性が63.2%、女性が59.3%で、男性のほうが3.9ポイント高くなっています。(図3-1⑨-1)

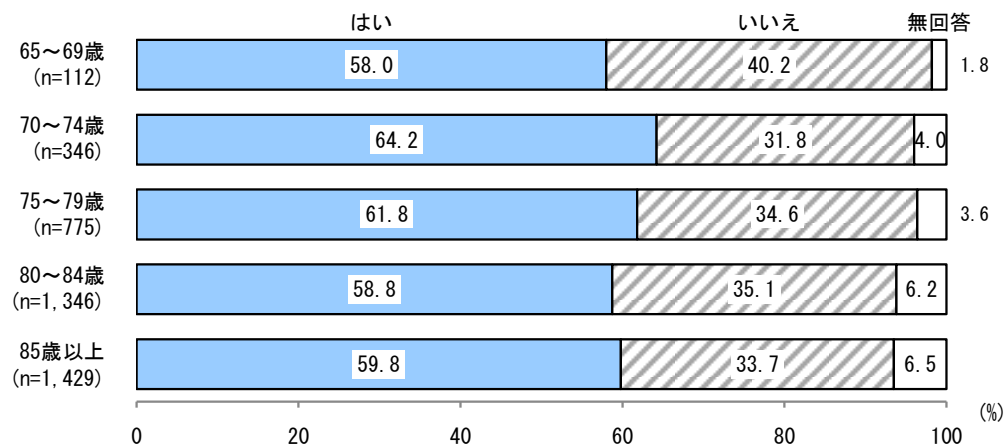
【図3-1⑨-1 性別 心身の健康状態について (⑨以前に比べてからだの筋肉や脂肪がおちてきたと思うか)】



【年齢別】

「この6ヵ月間に以前に比べてからだの筋肉や脂肪がおちてきたと思う」(はい)の割合は70～74歳が64.2%で最も高く、次いで75～79歳が61.8%となっています。(図3-1⑨-2)

【図3-1⑨-2 年齢別 心身の健康状態について (⑨以前に比べてからだの筋肉や脂肪がおちてきたと思うか)】



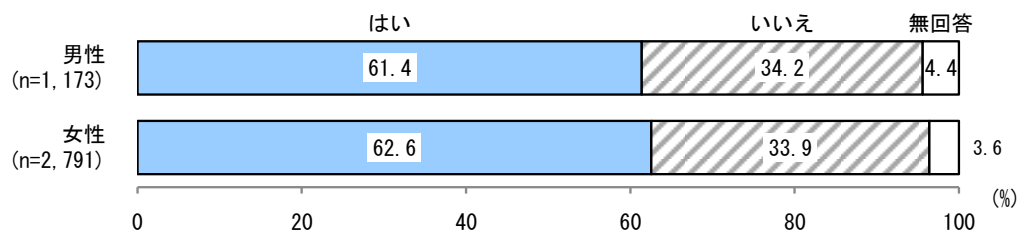
⑩一日中家の外には出ず、家の中で過ごすことが多いか

【性別】

男女とも「はい」、「いいえ」の各割合はほぼ同程度であり大きな違いはみられません。

(図3-1⑩-1)

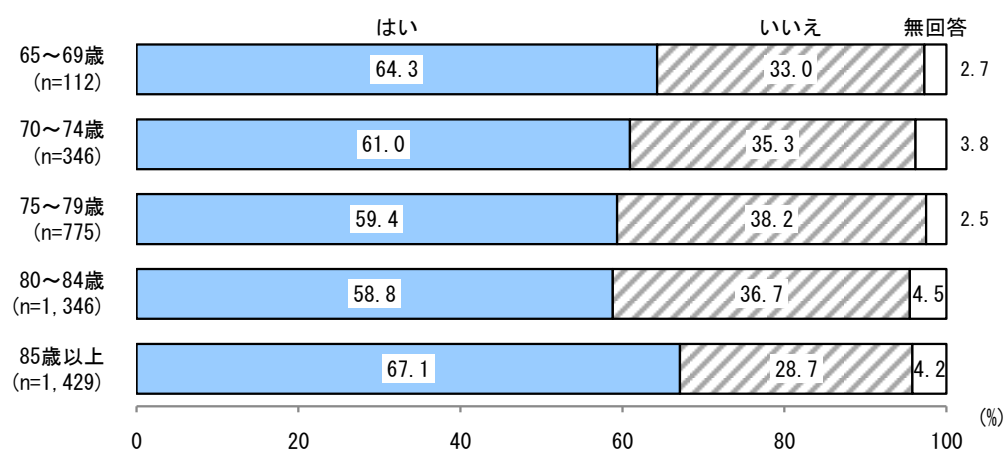
【図3-1⑩-1 性別 心身の健康状態について (⑩一日中家の外には出ず、家の中で過ごすことが多いか)】



【年齢別】

「一日中家の外には出ず、家の中で過ごすことが多い」(はい)の割合は、85歳以上が67.1%で最も高く、次いで65～69歳が64.3%となっています。(図3-1⑩-2)

【図3-1⑩-2 年齢別 心身の健康状態について (⑩一日中家の外には出ず、家の中で過ごすことが多いか)】

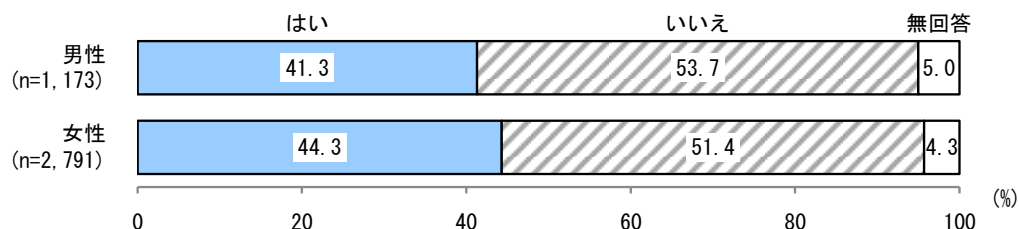


⑪家の中あるいは家の外で、趣味・楽しみ・好きでやっていることはあるか

【性別】

男女とも、「家の中あるいは家の外で、趣味・楽しみ・好きでやっていることはない」（いいえ）の割合が高くなっています。（図3-1⑪-1）

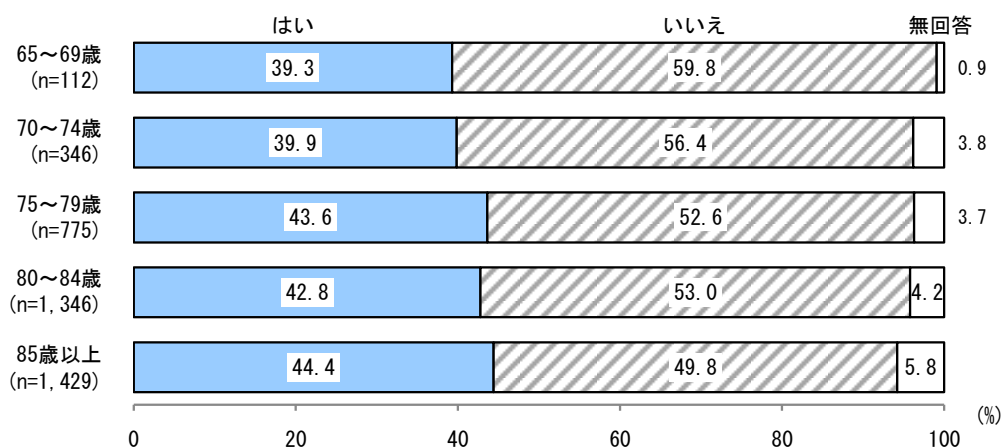
【図3-1⑪-1 性別 心身の健康状態について（⑪趣味・楽しみ・好きでやっていることはあるか）】



【年齢別】

「家の中あるいは家の外で、趣味・楽しみ・好きでやっていることはない」（いいえ）の割合は、若い世代ほど高い傾向がみられ、65～69歳が59.8%で最も高くなっています。（図3-1⑪-2）

【図3-1⑪-2 年齢別 心身の健康状態について（⑪趣味・楽しみ・好きでやっていることはあるか）】

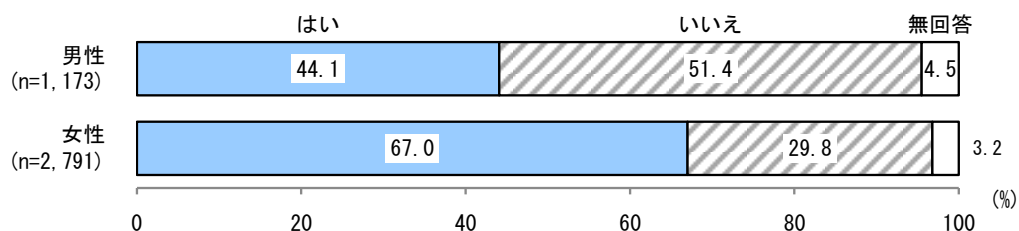


⑫親しくお話しできる近所の人はいるか

【性別】

「親しくお話しできる近所の人はいない」（いいえ）の割合は男性が51.4%に対し女性は29.8%で、男性のほうが21.6ポイント高くなっています。（図3-1⑫-1）

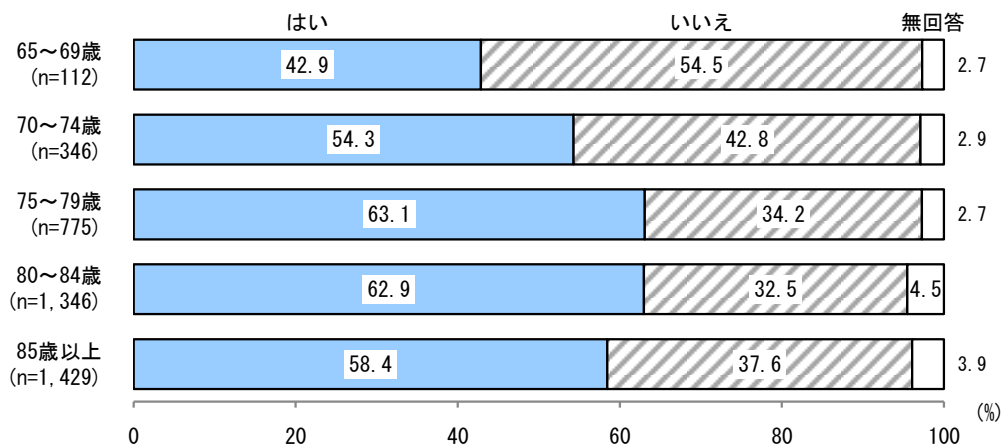
【図3-1⑫-1 性別 心身の健康状態について（⑫親しくお話しできる近所の人はいるか）】



【年齢別】

「親しくお話しできる近所の人はいない」（いいえ）の割合は、65～69歳が54.5%で最も高く、逆に最も低い80～84歳の32.5%に比べ、22.0ポイントの差となっています。（図3-1⑫-2）

【図3-1⑫-2 年齢別 心身の健康状態について（⑫親しくお話しできる近所の人はいるか）】

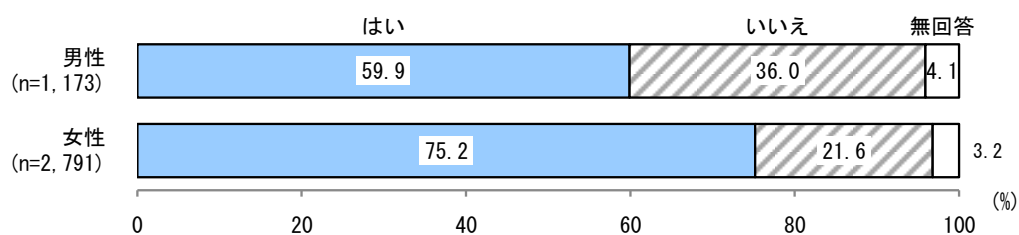


⑬近所の人以外で、親しく行き来するような友達、別居家族または親戚はいるか

【性別】

「近所の人以外で、親しく行き来するような友達、別居家族または親戚はいない」（いいえ）の割合は男性が36.0%に対し女性が21.6%で、男性のほうが14.4ポイント高くなっています。（図3-1⑬-1）

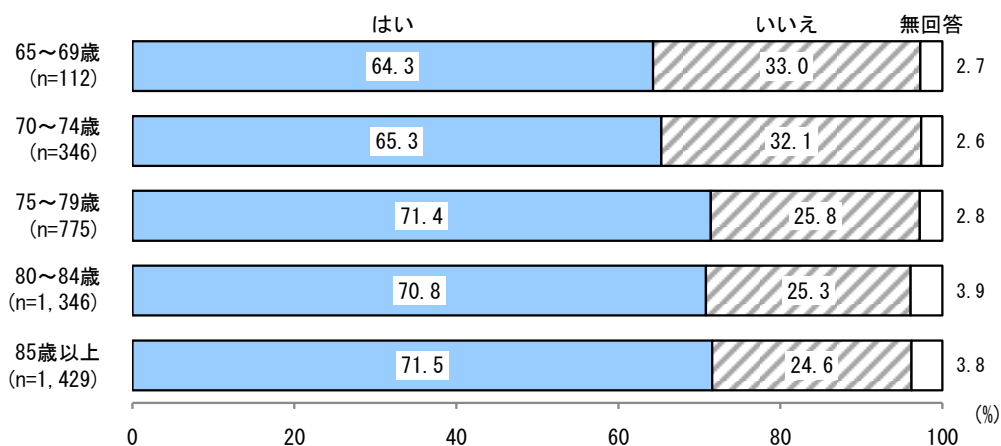
【図3-1⑬-1 性別 心身の健康状態について（⑬親しく行き来するような友達、別居家族または親戚はいるか）】



【年齢別】

「近所の人以外で、親しく行き来するような友達、別居家族または親戚はいない」（いいえ）の割合は、若い世代ほど高く、65～69歳が33.0%で最も高くなっています。（図3-1⑬-2）

【図3-1⑬-2 年齢別 心身の健康状態について（⑬親しく行き来するような友達、別居家族または親戚はいるか）】



(2) 1 kmぐらいの距離を続けて歩けるか

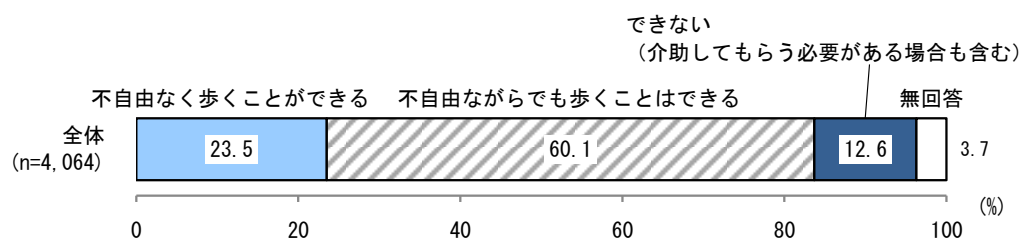
問9 1 kmぐらいの距離を続けて歩くことができますか。(○は1つ)

※ 1 kmぐらいの距離とは、だいたい15分ぐらいの距離です。

【全体】

1 kmぐらいの距離を続けて歩けることについて、「できない(介助してもらう必要がある場合も含む)」は12.6%となっています。一方、「不自由ながらも歩くことはできる」が60.1%、「不自由なく歩くことができる」が23.5%で、両者を合わせると歩行可能な高齢者は83.6%を占めています。(図3-2)

【図3-2 1 kmぐらいの距離を続けて歩けるか】

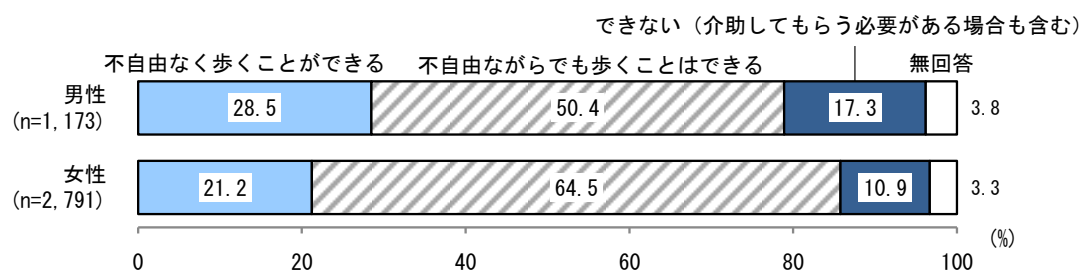


【性別】

男女とも「不自由ながらも歩くことはできる」が多く(男性: 50.4%、女性: 64.5%)、次いで「不自由なく歩くことができる」(男性: 28.5%、女性: 21.2%)となっています。

一方、「できない(介助してもらう必要がある場合も含む)」の割合は、男性が17.3%、女性が10.9%で、男性のほうが6.4ポイント高くなっています。(図3-2-1)

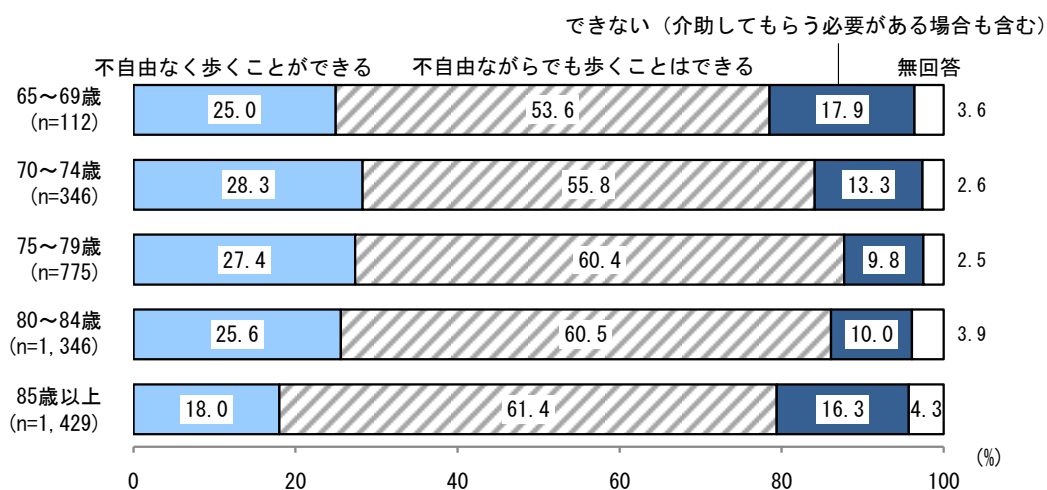
【図3-2-1 性別 1 kmぐらいの距離を続けて歩けるか】



【年齢別】

いずれの年代も「不自由ながらも歩くことはできる」が最も多く、次いで「不自由なく歩くことができる」が多くなっています。「できない（介助してもらった必要がある場合も含む）」割合は、65～69歳が17.9%で最も高く、次いで85歳以上の16.3%となっています。（図3-2-2）

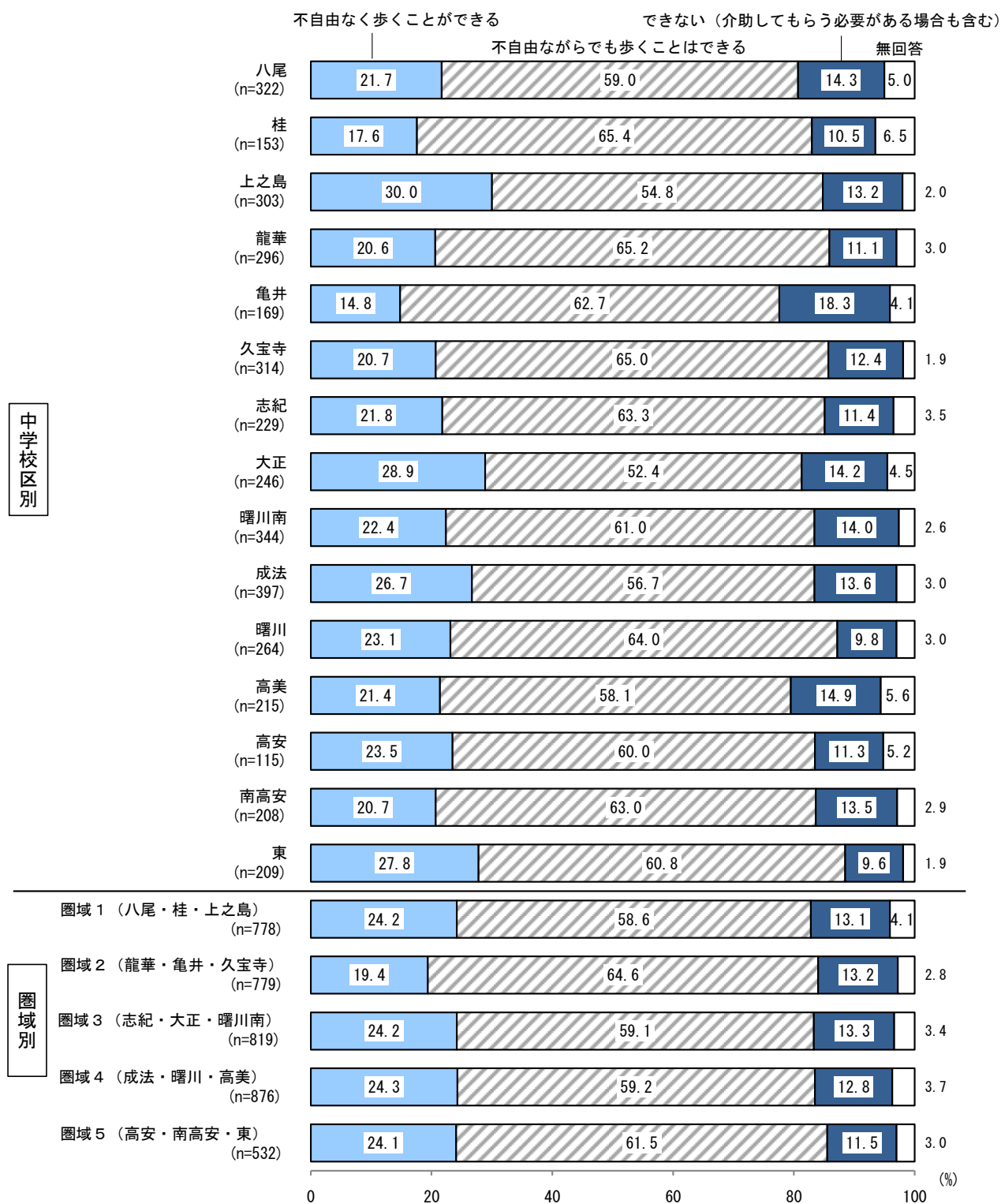
【図3-2-2 年齢別 1 kmぐらいの距離を続けて歩けるか】



【居住地域別】

中学校区別では、歩行可能な高齢者は、東で88.6%と最も高くなっています。(図3-2-3)

【図3-2-3 居住地域別 1 kmぐらいの距離を続けて歩けるか】



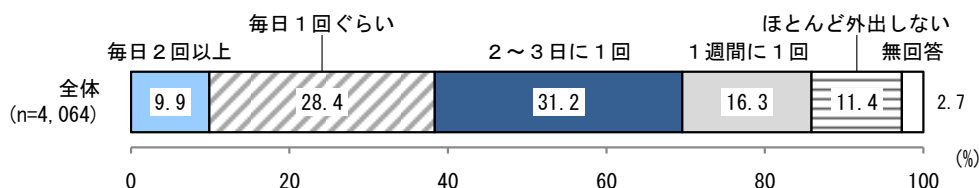
(3) 仕事、買い物、散歩、通院、社会活動等の外出頻度

問10 仕事（農作業も含む）、買い物、散歩、通院、社会活動等で外出する（家の外に出る）頻度はどれくらいですか。（○は1つ）
 ※介助されて外出する場合も含みます。庭先のみやゴミ出し程度の外出は含みません。

【全体】

外出頻度は、「2～3日に1回」が31.2%で最も多く、次いで「毎日1回ぐらい」が28.4%となっています。一方、「ほとんど外出しない」は11.4%となっています。（図3-3）

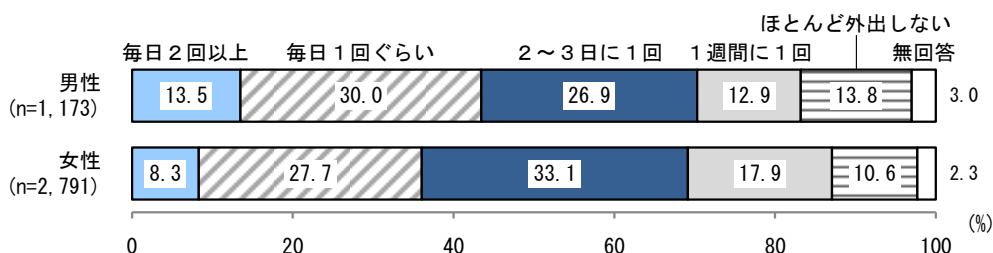
【図3-3 仕事、買い物、散歩、通院、社会活動等の外出頻度】



【性別】

「ほとんど外出しない」割合は男性が13.8%、女性が10.6%と、男性のほうが3.2ポイント高くなっています。（図3-3-1）

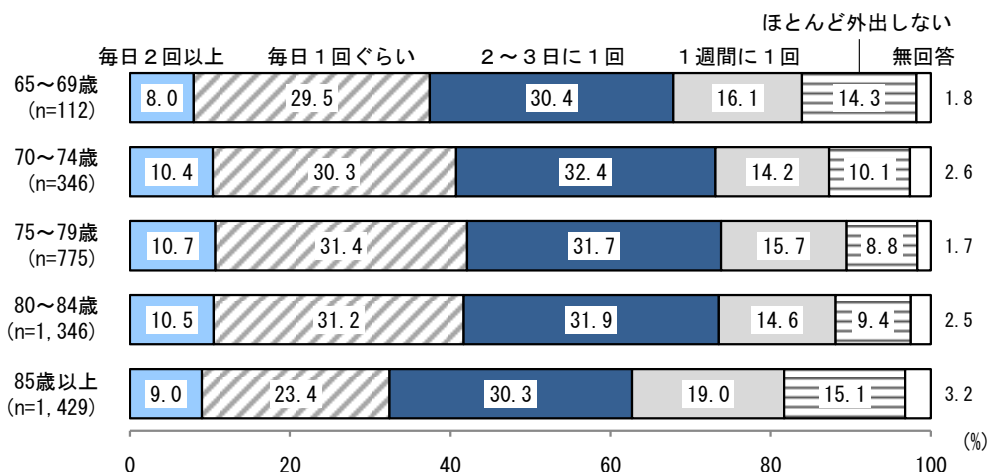
【図3-3-1 性別 仕事、買い物、散歩、通院、社会活動等の外出頻度】



【年齢別】

「ほとんど外出しない」割合は、85歳以上が15.1%で最も高く、次いで65～69歳の14.3%となっています。（図3-3-2）

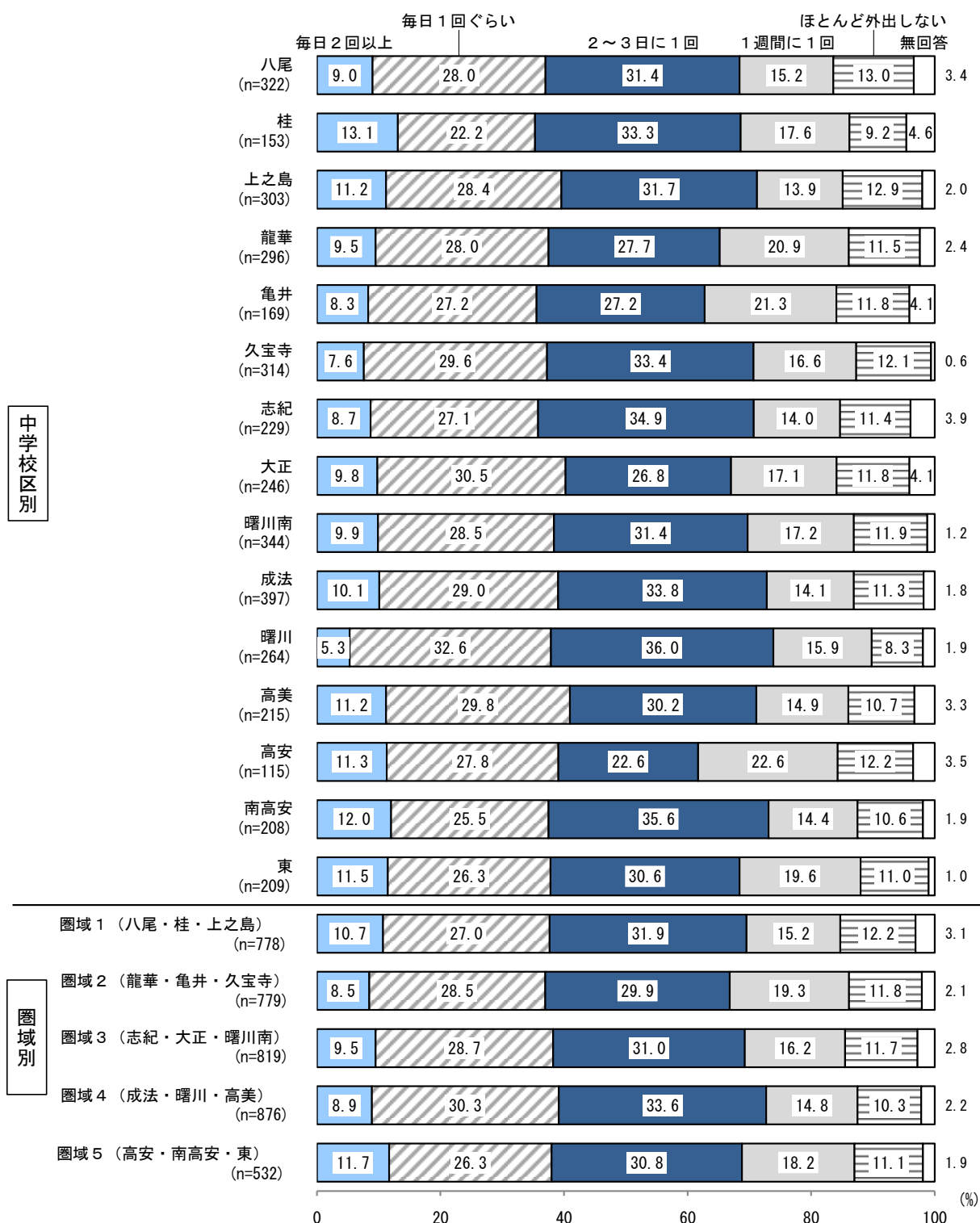
【図3-3-2 年齢別 仕事、買い物、散歩、通院、社会活動等の外出頻度】



【居住地域別】

中学校区別では、「ほとんど外出しない」割合は八尾で13.0%と最も高くなっています。
(図3-3-3)

【図3-3-3 居住地域別 仕事、買い物、散歩、通院、社会活動等の外出頻度】



4. 健康づくりや介護予防活動について

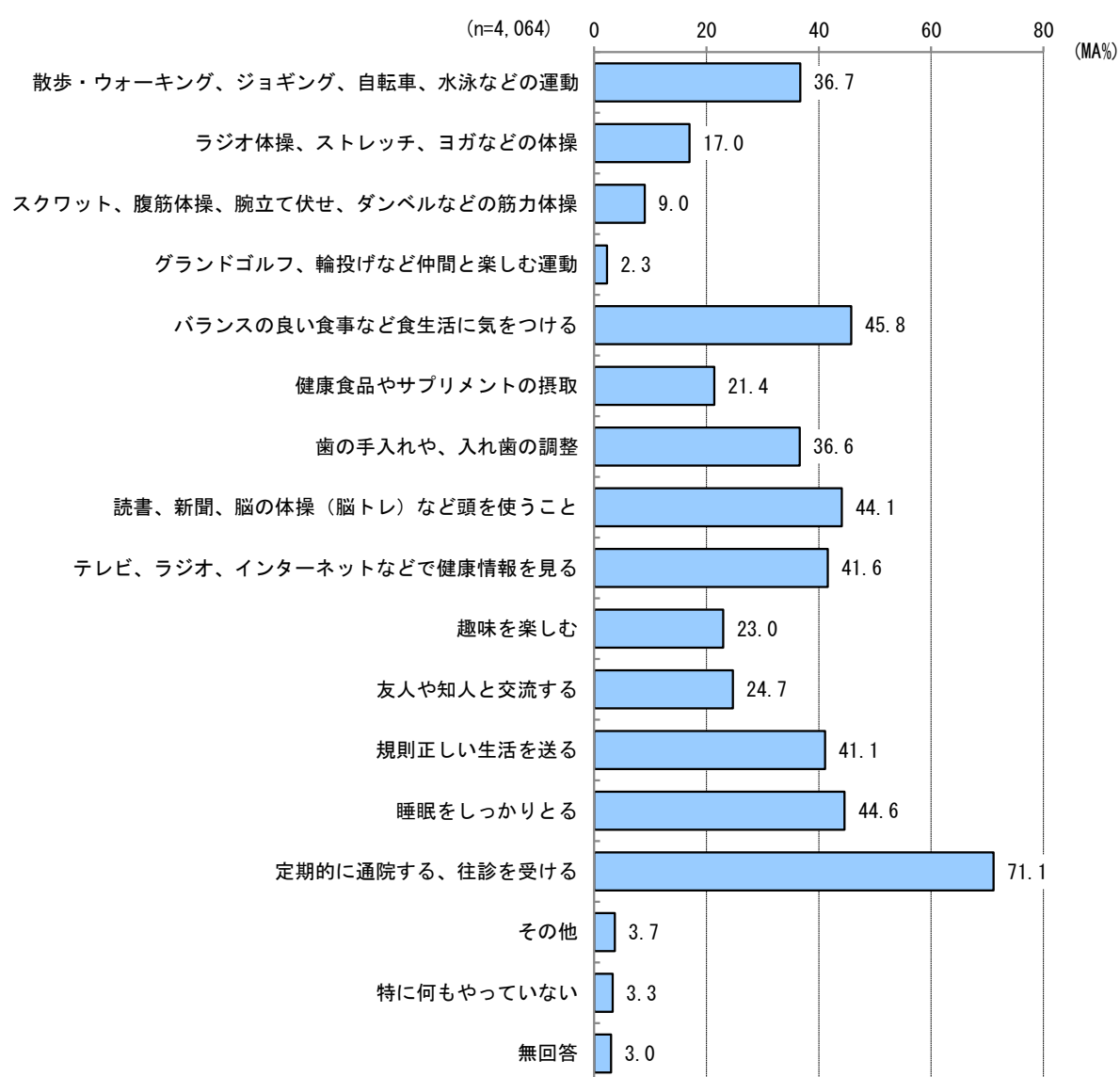
(1) 健康のために行っている活動

問11 あなたが健康のために行っている活動はどれですか。(〇はいくつでも)

【全体】

「定期的に通院する、往診を受ける」が71.1%で最も多くなっています。これに次いで「バランスの良い食事など食生活に気をつける」が45.8%であり、以下「睡眠をしっかりとる」(44.6%)、「読書、新聞、脳の体操(脳トレ)など頭を使うこと」(44.1%)、「テレビ、ラジオ、インターネットなどで健康情報を見る」(41.6%)などが続いています。(図4-1)

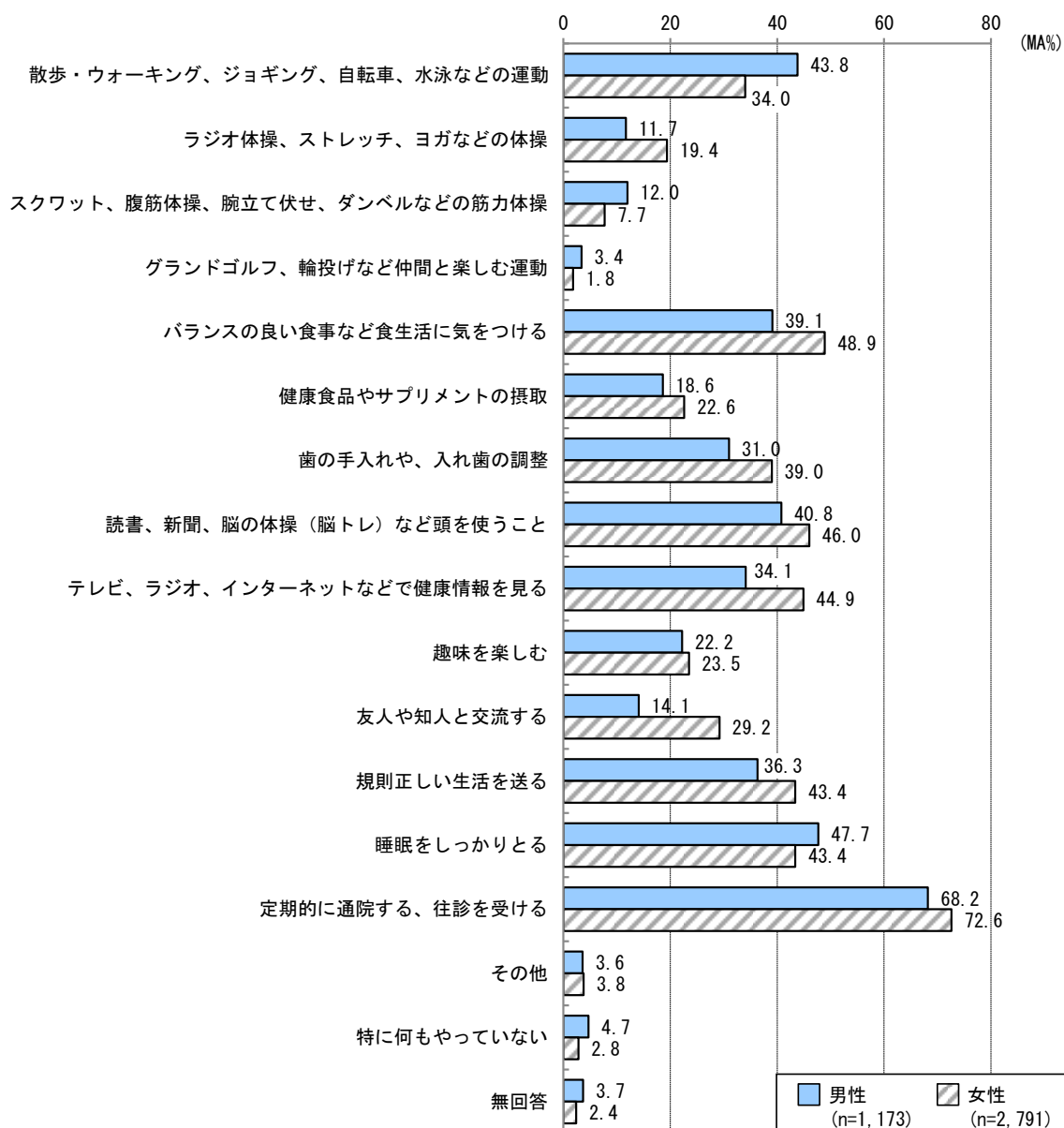
【図4-1 健康のために行っている活動】



【性別】

男女とも「定期的に通院する、往診を受ける」（男性：68.2%、女性：72.6%）が最も多くなっています。次いで男性は「睡眠をしっかり取る」が47.7%、「散歩・ウォーキング、ジョギング、自転車、水泳などの運動」が43.8%と多く、女性は「バランスの良い食事など食生活に気をつける」が48.9%、「読書、新聞、脳の体操（脳トレ）など頭を使うこと」が46.0%と多くなっています。（図4-1-1）

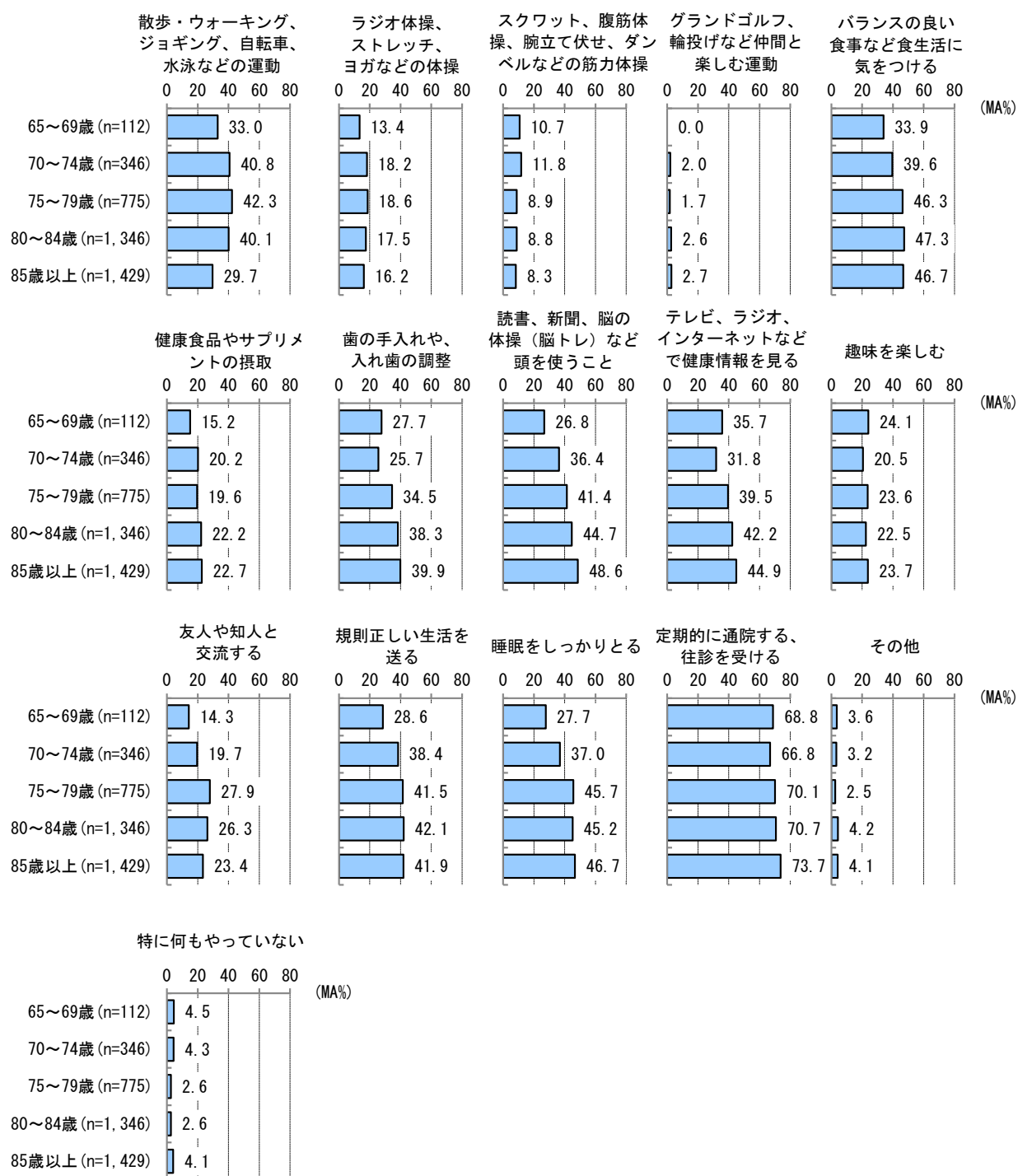
【図4-1-1 性別 健康のためにやっている活動】



【年齢別】

いずれの年代も「定期的に通院する、往診を受ける」が最も多くなっています。次いで65～69歳は「テレビ、ラジオ、インターネットなどで健康情報を見る」、70～74歳は「散歩・ウォーキング、ジョギング、自転車、水泳などの運動」、75～79歳は「バランスの良い食事など食生活に気をつける」、80～84歳は「読書、新聞、脳の体操（脳トレ）など頭を使うこと」がそれぞれ多くなっています。（図4-1-2）

【図4-1-2 年齢別 健康のためにやっている活動】



【居住地域別】

いずれの地域も「定期的に通院する、往診を受ける」が最も多くなっています。(表4-1-3)

【表4-1-3 居住地域別 健康のために行っている活動】

		n 数	散歩・ウォーキング、ジョギング、自転車、水泳などの運動	ラジオ体操、ストレッチ、ヨガなどの体操	スクワット、腹筋体操、腕立て伏せ、ダンベルなどの筋力体操	楽しむ運動	グラウンドゴルフ、輪投げなど仲間と	バランスの良い食事など食生活に気をつける	健康食品やサプリメントの摂取	歯の手入れや、入れ歯の調整	読書、新聞、脳の体操（脳トレ）など頭を使うこと	テレビ、ラジオ、インターネットなどで健康情報を見る	趣味を楽しむ	友人や知人と交流する	規則正しい生活を送る	睡眠をしっかりとる	定期的に通院する、往診を受ける	その他	(MA%)	
																			特に何もやっていない	無回答
中学校区別	八尾	322	40.1	18.6	10.9	1.9	41.9	21.1	39.1	43.5	46.0	23.0	23.3	42.9	45.7	71.1	1.9	3.7	2.8	
	桂	153	24.2	13.1	7.2	-	37.3	24.2	32.0	30.1	41.8	18.3	24.2	30.7	33.3	71.9	2.0	5.9	5.9	
	上之島	303	41.9	19.5	10.6	2.3	51.2	19.8	38.3	50.5	43.9	21.5	23.4	46.2	47.5	69.3	4.6	3.6	1.7	
	龍華	296	36.8	16.2	6.8	1.0	43.6	22.3	37.5	49.0	44.6	26.0	27.0	38.9	46.3	69.9	2.4	2.7	3.4	
	亀井	169	31.4	14.2	8.9	3.0	35.5	24.3	34.9	35.5	43.8	21.9	22.5	41.4	37.3	68.6	2.4	6.5	1.2	
	久宝寺	314	35.7	18.2	7.6	2.9	45.2	22.0	35.4	43.9	38.9	23.2	23.2	40.4	42.7	71.0	3.2	3.5	4.1	
	志紀	229	33.6	13.1	8.7	3.5	42.4	18.3	32.3	42.8	38.9	21.4	27.1	37.6	45.0	68.6	5.7	4.8	1.7	
	大正	246	32.1	18.3	6.9	3.7	47.2	25.2	37.8	50.8	45.9	23.6	28.0	41.9	45.9	73.2	4.1	2.4	1.2	
	曙川南	344	36.6	16.9	11.0	3.2	46.8	21.8	39.2	46.8	43.0	26.2	23.3	44.5	47.7	73.3	4.4	1.7	3.2	
	成法	397	34.0	16.1	7.3	3.5	45.3	19.1	35.5	39.0	41.8	23.4	24.4	42.1	44.3	73.6	4.5	3.5	4.3	
	曙川	264	43.9	22.0	12.1	1.1	57.6	22.3	36.7	54.9	44.7	22.3	29.5	48.1	52.7	73.1	3.4	1.5	1.5	
	高美	215	40.5	18.1	11.2	3.3	47.9	20.0	35.8	40.0	42.8	21.4	27.9	43.7	47.9	73.0	3.3	4.2	2.8	
	高安	115	39.1	16.5	10.4	0.9	55.7	22.6	36.5	47.8	41.7	21.7	19.1	41.7	45.2	71.3	3.5	0.9	4.3	
	南高安	208	38.9	22.1	5.3	1.0	48.6	20.2	41.8	46.2	30.8	26.4	24.0	45.7	46.6	71.6	4.8	2.4	1.9	
東	209	37.3	16.7	10.5	1.9	50.2	25.8	34.9	44.0	39.7	23.9	25.4	30.1	36.4	70.3	4.8	2.9	2.4		
圏域別	圏域1（八尾・桂・上之島）	778	37.7	17.9	10.0	1.7	44.6	21.2	37.4	43.6	44.3	21.5	23.5	41.8	44.0	70.6	3.0	4.1	3.0	
	圏域2（龍華・亀井・久宝寺）	779	35.2	16.6	7.6	2.2	42.5	22.6	36.1	44.0	42.1	24.0	24.5	40.1	42.9	70.1	2.7	3.9	3.2	
	圏域3（志紀・大正・曙川南）	819	34.4	16.2	9.2	3.4	45.7	21.9	36.9	46.9	42.7	24.1	25.8	41.8	46.4	71.9	4.6	2.8	2.2	
	圏域4（成法・曙川・高美）	876	38.6	18.4	9.7	2.7	49.7	20.3	36.0	44.1	42.9	22.6	26.8	44.3	47.7	73.3	3.9	3.1	3.1	
	圏域5（高安・南高安・東）	532	38.3	18.8	8.5	1.3	50.8	22.9	38.0	45.7	36.7	24.4	23.5	38.7	42.3	71.1	4.5	2.3	2.6	

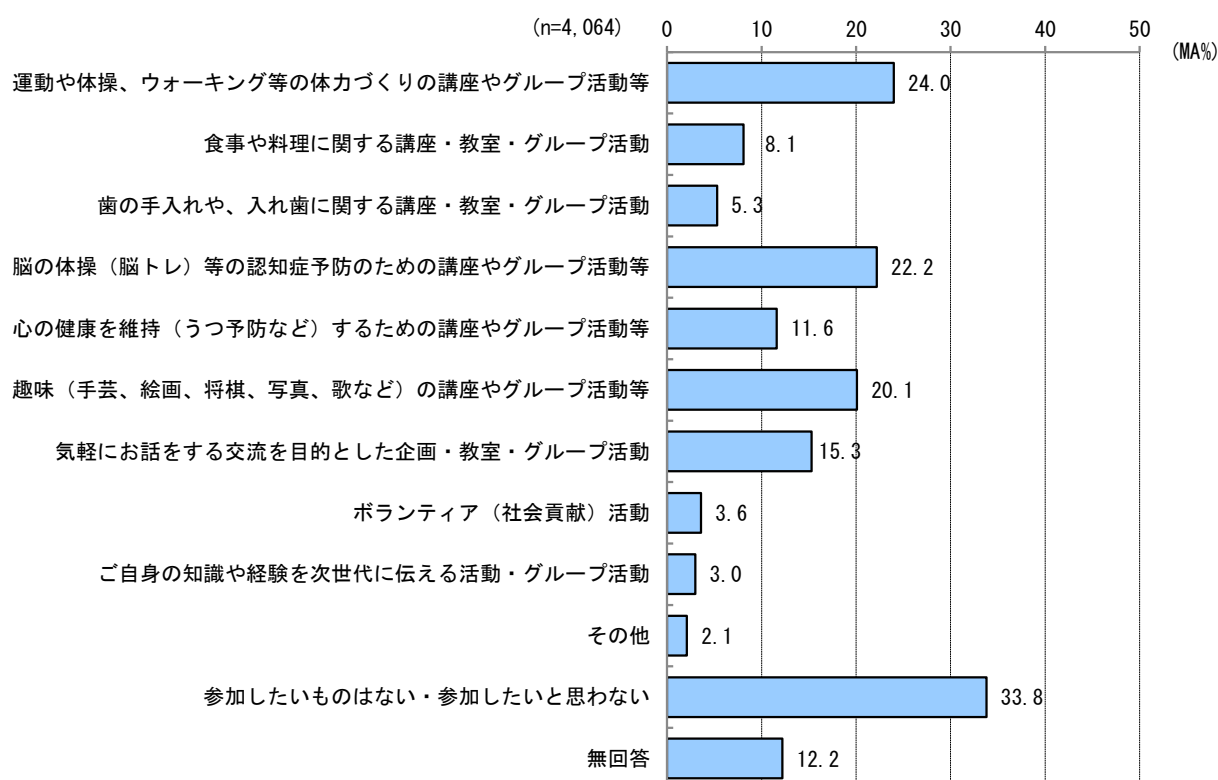
(2) 参加してみたい活動

問12 次の活動のうち、あなたが参加してみたいと思うものはどれですか。(〇はいくつでも)
※すでに参加している活動も含みお答えください。

【全体】

「運動や体操、ウォーキング等の体力づくりの講座やグループ活動等」が24.0%で最も多くなっています。これに次いで「脳の体操（脳トレ）等の認知症予防のための講座やグループ活動等」が22.2%であり、「趣味（手芸、絵画、将棋、写真、歌など）の講座やグループ活動等」（20.1%）が続いています。一方「参加したいものはない・参加したいと思わない」は33.8%となっています。（図4-2）

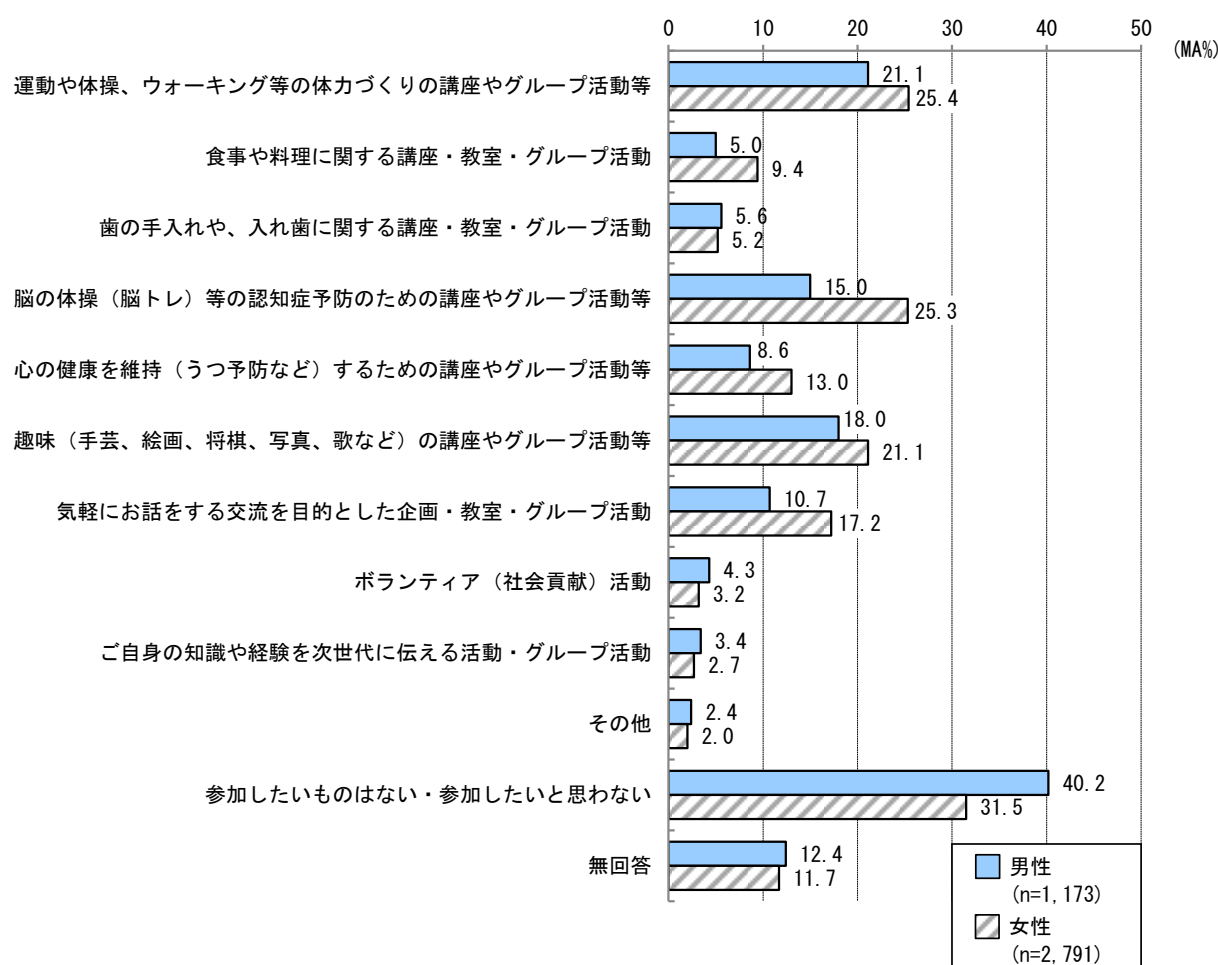
【図4-2 参加してみたい活動】



【性別】

男女とも「運動や体操、ウォーキング等の体力づくりの講座やグループ活動等」（男性：21.1%、女性：25.4%）が最も多くなっています。次いで男性は「趣味（手芸、絵画、将棋、写真、歌など）の講座やグループ活動等」が18.0%で多くなっています。女性は「脳の体操（脳トレ）等の認知症予防のための講座やグループ活動等」が25.3%で多く、男性（15.0%）より10.3ポイント高い割合となっています。一方「参加したいものはない・参加したいと思わない」割合は男性が40.2%、女性が31.5%で、男性のほうが8.7ポイント高くなっています。（図4-2-1）

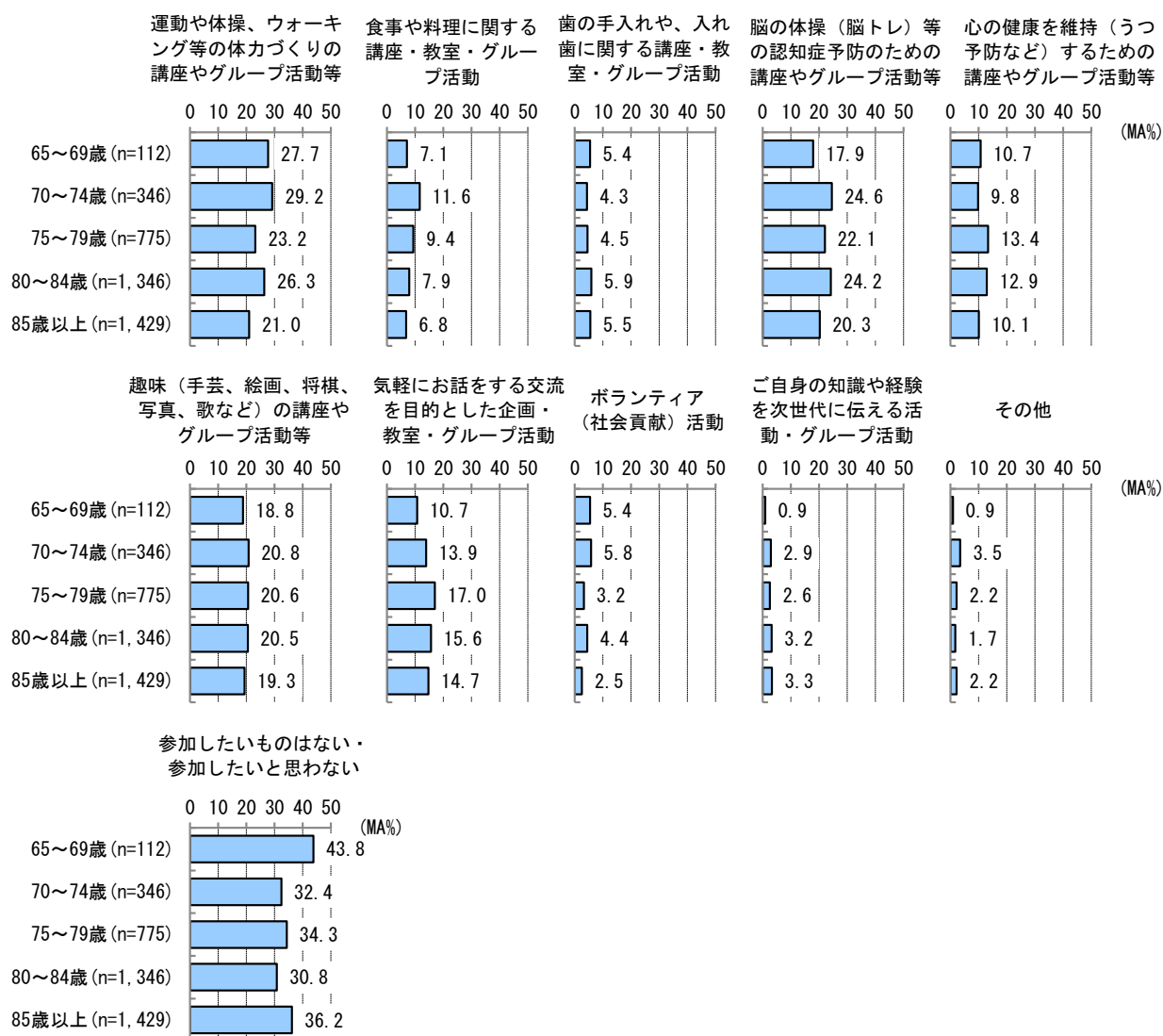
【図4-2-1 性別 参加してみたい活動】



【年齢別】

年齢別でみると、いずれの年代も「運動や体操、ウォーキング等の体力づくりの講座やグループ活動等」が最も多くなっています。次いで65～69歳は「趣味（手芸、絵画、将棋、写真、歌など）の講座やグループ活動等」が、70歳以上は「脳の体操（脳トレ）等の認知症予防のための講座やグループ活動等」が多くなっています。一方「参加したいものはない・参加したいと思わない」割合は65～69歳が43.8%で最も高くなっています。（図4-2-2）

【図4-2-2 年齢別 参加してみたい活動】



【居住地域別】

いずれの地域も「運動や体操、ウォーキング等の体力づくりの講座やグループ活動等」や「脳の体操（脳トレ）等の認知症予防のための講座やグループ活動等」が多くなっています。一方「参加したいものはない・参加したいと思わない」割合は、中学校区の志紀（41.5%）と亀井（40.2%）で40%を超えています。一番低い高安（22.6%）とは20ポイント近い差となっています。（表4-2-3）

【表4-2-3 居住地域別 参加してみたい活動】

															(MA%)		
		n 数	運動や体操、ウォーキング等の体力づくりの講座やグループ活動等	食事や料理に関する講座・教室・グループ活動	講座・教室・グループ活動に関する	歯の手入れや、入れ歯に関する	認知症予防のための講座やグループ活動等	脳の体操（脳トレ）等の認知症予防のための講座やグループ活動等	心の健康を維持（うつ予防など）するための講座やグループ活動等	真・歌などの講座やグループ活動等	趣味（手芸、絵画、将棋、写真、歌など）の講座やグループ活動	気軽にお話をする交流を目的とした企画・教室・グループ活動	ボランティア（社会貢献）活動	ご自身の知識や経験を次世代に伝える活動・グループ活動	その他	参加したいものはない・参加したいと思わない	無回答
中学校区別	八尾	322	24.2	9.0	5.0	23.3	12.1	21.7	17.1	5.3	3.7	2.2	32.9	13.4			
	桂	153	16.3	11.8	3.3	23.5	11.8	9.2	13.1	0.7	0.7	4.6	37.9	19.6			
	上之島	303	25.4	6.9	5.3	23.1	12.2	21.1	16.2	3.0	3.0	1.0	33.7	10.6			
	龍華	296	21.6	7.4	6.4	18.9	12.5	17.9	15.9	4.4	3.0	1.7	32.8	10.5			
	亀井	169	21.9	6.5	4.1	17.8	17.2	17.2	11.8	1.8	2.4	1.2	40.2	8.9			
	久宝寺	314	21.3	8.0	5.7	18.8	12.1	19.1	13.7	3.2	2.5	1.3	34.1	15.9			
	志紀	229	19.2	3.5	2.6	17.5	9.2	15.7	13.5	4.8	1.3	3.5	41.5	9.2			
	大正	246	22.8	8.1	4.1	20.3	10.6	20.3	15.4	2.8	3.7	2.0	37.0	12.6			
	曙川南	344	25.6	8.7	5.2	22.7	9.3	23.8	17.2	4.7	2.0	1.7	33.1	10.8			
	成法	397	23.4	6.5	5.5	20.9	9.3	23.2	14.4	2.3	3.0	1.8	36.8	12.8			
	曙川	264	33.3	12.9	6.1	25.8	13.6	22.0	16.3	4.9	4.5	3.4	28.4	10.2			
	高美	215	23.7	9.3	5.6	27.4	14.4	20.5	15.8	2.8	1.9	1.4	32.6	9.3			
	高安	115	28.7	12.2	8.7	29.6	13.9	24.3	20.0	4.3	3.5	0.9	22.6	14.8			
南高安	208	30.8	8.7	3.4	23.1	9.1	18.8	14.4	2.4	3.4	2.9	34.1	12.0				
東	209	29.2	4.8	6.2	23.9	12.0	19.6	17.7	3.3	5.3	2.4	28.7	11.5				
圏域別	圏域 1（八尾・桂・上之島）	778	23.1	8.7	4.8	23.3	12.1	19.0	15.9	3.5	2.8	2.2	34.2	13.5			
	圏域 2（龍華・亀井・久宝寺）	779	21.6	7.4	5.6	18.6	13.4	18.2	14.1	3.3	2.7	1.4	34.9	12.3			
	圏域 3（志紀・大正・曙川南）	819	23.0	7.1	4.2	20.5	9.6	20.5	15.6	4.2	2.3	2.3	36.6	10.9			
	圏域 4（成法・曙川・高美）	876	26.5	9.1	5.7	24.0	11.9	22.1	15.3	3.2	3.2	2.2	33.2	11.2			
	圏域 5（高安・南高安・東）	532	29.7	7.9	5.6	24.8	11.3	20.3	16.9	3.2	4.1	2.3	29.5	12.4			

(3) 通いの場の参加頻度

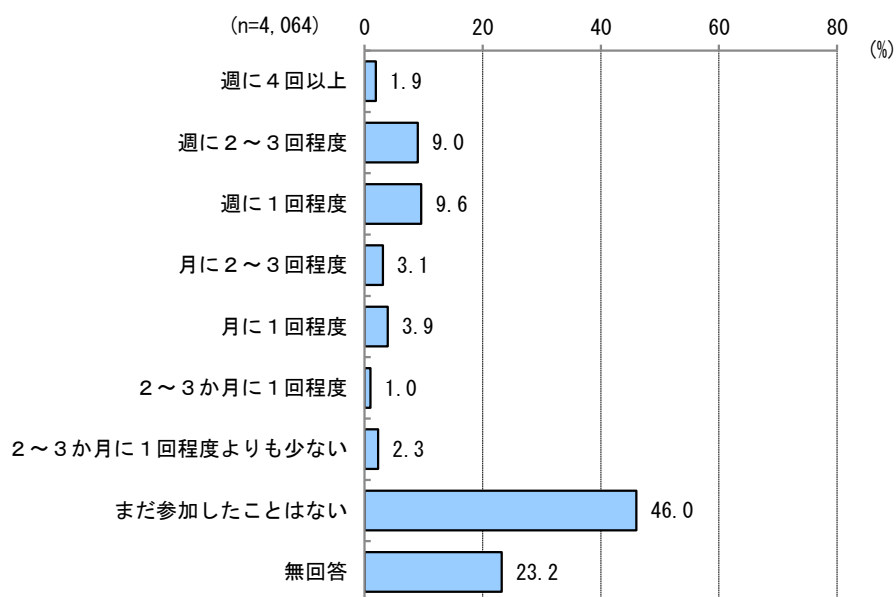
問13 あなたは、「通いの場」にどの程度参加していますか。(○は1つ)

※「通いの場」とは、住民が集まり、身近な場所で体操等のほか、栄養指導や口腔指導などを受けたり、体操の後にお茶会を行ったりするなど、地域の人々が交流する場のことです。

【全体】

通いの場に参加したことがある人は全体の30.8%で、そのうち「週に1回程度」が9.6%で最も多く、次いで「週に2～3回程度」が9.0%、「月に1回程度」が3.9%、「月に2～3回程度」が3.1%となっています。一方「まだ参加したことはない」は46.0%となっています。(図4-3)

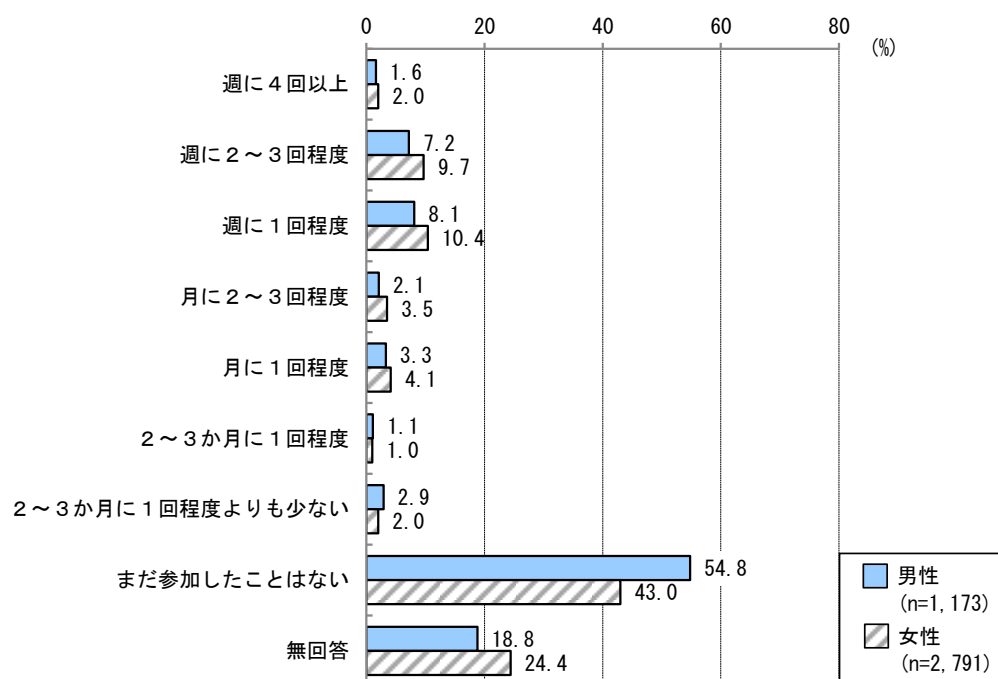
【図4-3 通いの場の参加頻度】



【性別】

男女とも「週に1回程度」（男性：8.1%、女性：10.4%）が最も多く、次いで「週に2～3回程度」（男性：7.2%、女性：9.7%）が多くなっています。一方「まだ参加したことはない」割合は男性が54.8%に対し女性が43.0%で、男性のほうが11.8ポイント高くなっています。（図4-3-1）

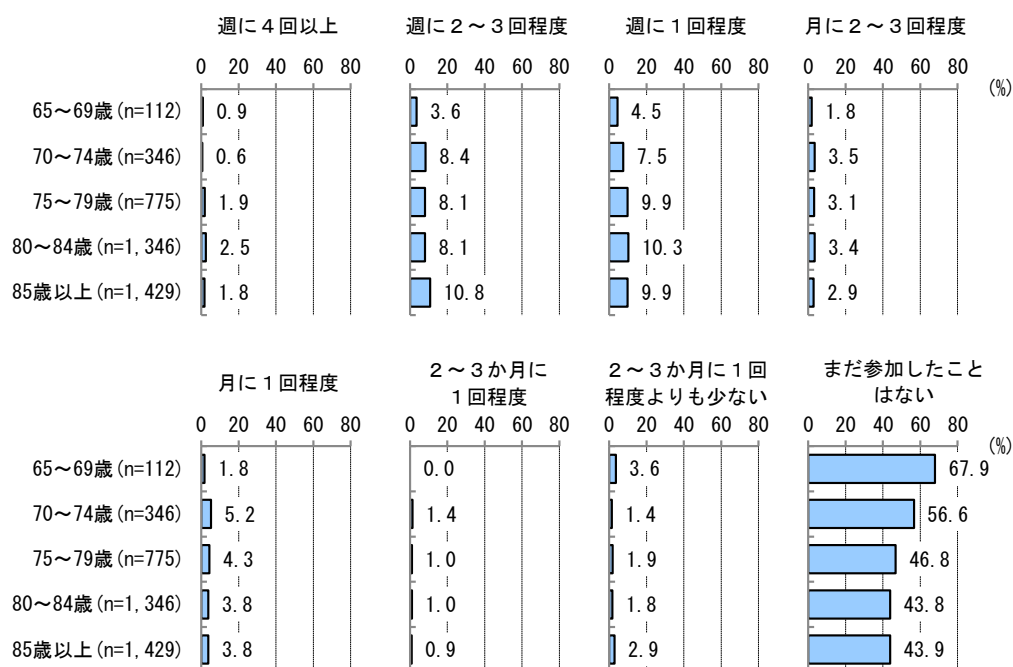
【図4-3-1 性別 通いの場の参加頻度】



【年齢別】

65～69歳と75～84歳は「週に1回程度」が最も多く、70～74歳と85歳以上は「週に2～3回程度」が最も多くなっています。一方「まだ参加したことはない」割合は若い年代ほど高い傾向となっており、65～69歳で67.9%と最も高くなっています。(図4-3-2)

【図4-3-2 年齢別 通いの場の参加頻度】



【居住地域別】

いずれの地域も、参加したことがある人では「週に2～3回程度」、「週に1回程度」が多くなっています。一方「まだ参加したことはない」割合は、中学校区の大正（50.4%）と曙川（50.0%）で50%台となっています。（表4-3-3）

【表4-3-3 居住地域別 通いの場の参加頻度】

			(%)								
		n数	週に4回以上	週に2～3回程度	週に1回程度	月に2～3回程度	月に1回程度	2～3か月に1回程度	2～3か月に1回未満	とまだ参加したことはない	無回答
中学校区別	八尾	322	0.6	9.9	8.7	3.4	2.5	0.3	1.9	49.4	23.3
	桂	153	2.0	8.5	5.2	5.9	5.2	—	0.7	41.8	30.7
	上之島	303	2.0	8.6	12.5	2.0	4.0	2.0	2.6	45.5	20.8
	龍華	296	2.0	8.8	11.5	2.7	5.1	0.3	2.7	45.6	21.3
	亀井	169	1.2	8.3	6.5	4.1	5.3	1.8	3.0	49.1	20.7
	久宝寺	314	2.2	12.1	10.8	2.9	3.8	1.0	2.2	44.6	20.4
	志紀	229	—	7.4	9.6	1.7	3.1	—	2.6	49.8	25.8
	大正	246	1.2	11.0	6.5	2.8	5.7	1.6	1.6	50.4	19.1
	曙川南	344	2.3	10.8	9.9	4.9	3.8	0.6	2.6	43.9	21.2
	成法	397	1.8	7.1	11.3	1.8	3.3	1.5	2.3	46.1	24.9
	曙川	264	3.4	8.0	10.2	4.2	3.4	0.8	1.1	50.0	18.9
	高美	215	1.4	8.4	7.0	3.3	4.2	1.9	3.7	45.1	25.1
	高安	115	3.5	6.1	7.8	0.9	4.3	0.9	1.7	43.5	31.3
	南高安	208	1.4	8.2	13.0	1.4	3.8	0.5	2.4	49.5	19.7
	東	209	2.9	11.5	9.6	5.7	3.3	1.4	2.4	41.1	22.0
圏域別	圏域1（八尾・桂・上之島）	778	1.4	9.1	9.5	3.3	3.6	0.9	1.9	46.4	23.8
	圏域2（龍華・亀井・久宝寺）	779	1.9	10.0	10.1	3.1	4.6	0.9	2.6	46.0	20.8
	圏域3（志紀・大正・曙川南）	819	1.3	9.9	8.8	3.4	4.2	0.7	2.3	47.5	21.9
	圏域4（成法・曙川・高美）	876	2.2	7.6	9.9	2.9	3.5	1.4	2.3	47.0	23.2
	圏域5（高安・南高安・東）	532	2.4	9.0	10.5	3.0	3.8	0.9	2.3	44.9	23.1

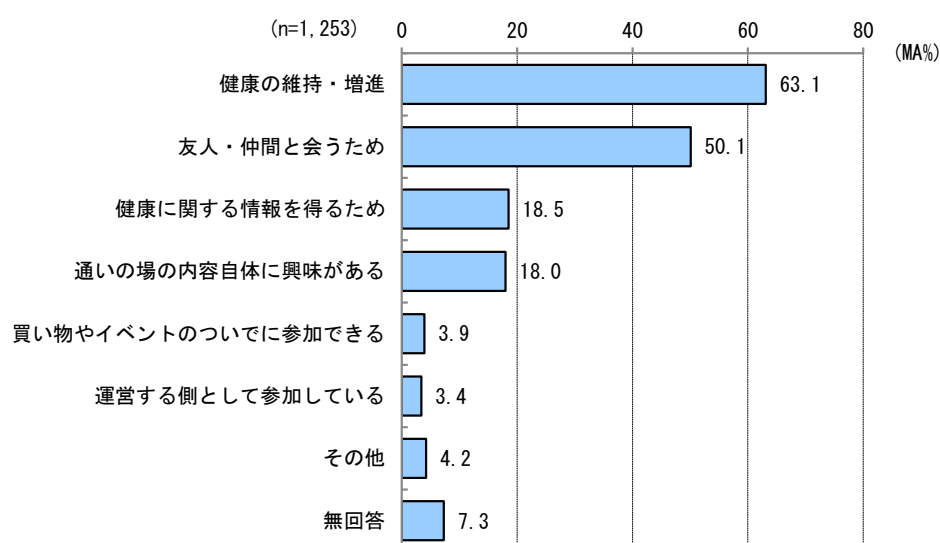
(4) 通いの場に通う理由

問13 (1) 問13で「1. 週に4回以上」～「7. 2～3か月に1回程度」のいずれかを回答した方にうかがいます。
 あなたが「通いの場」に通う理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【全体】

通いの場に通う理由は、「健康の維持・増進」が63.1%で最も多くなっています。これに次いで「友人・仲間と会うため」が50.1%で、以下、「健康に関する情報を得るため」(18.5%)、「通いの場の内容自体に興味がある」(18.0%)が続いています。(図4-4)

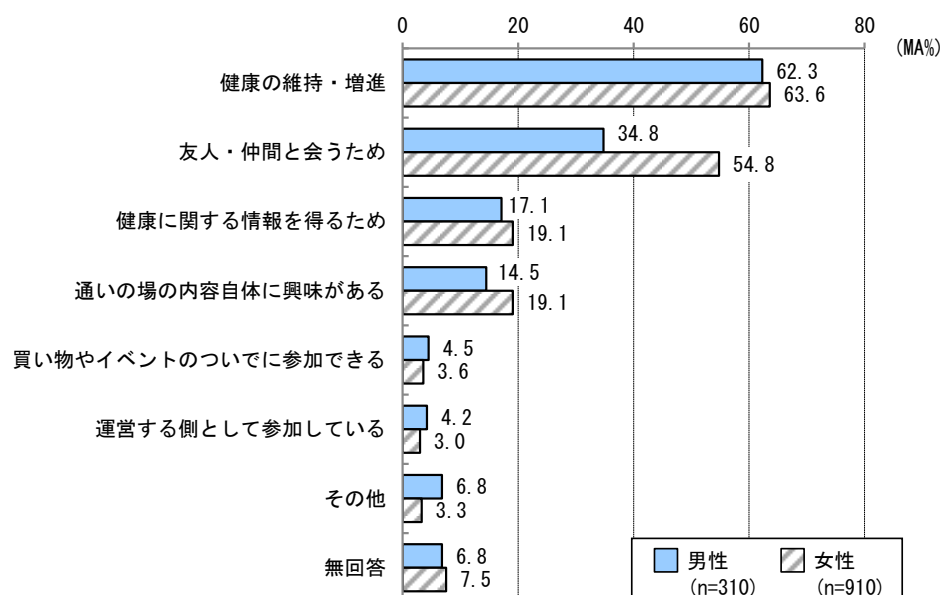
【図4-4 通いの場に通う理由】



【性別】

男女とも「健康の維持・増進」が最も多く、次いで「友人・仲間と会うため」が多くなっています。「友人・仲間と会うため」の割合は、男性が34.8%に対し女性が54.8%で、女性のほうが20.0ポイント高くなっています。(図4-4-1)

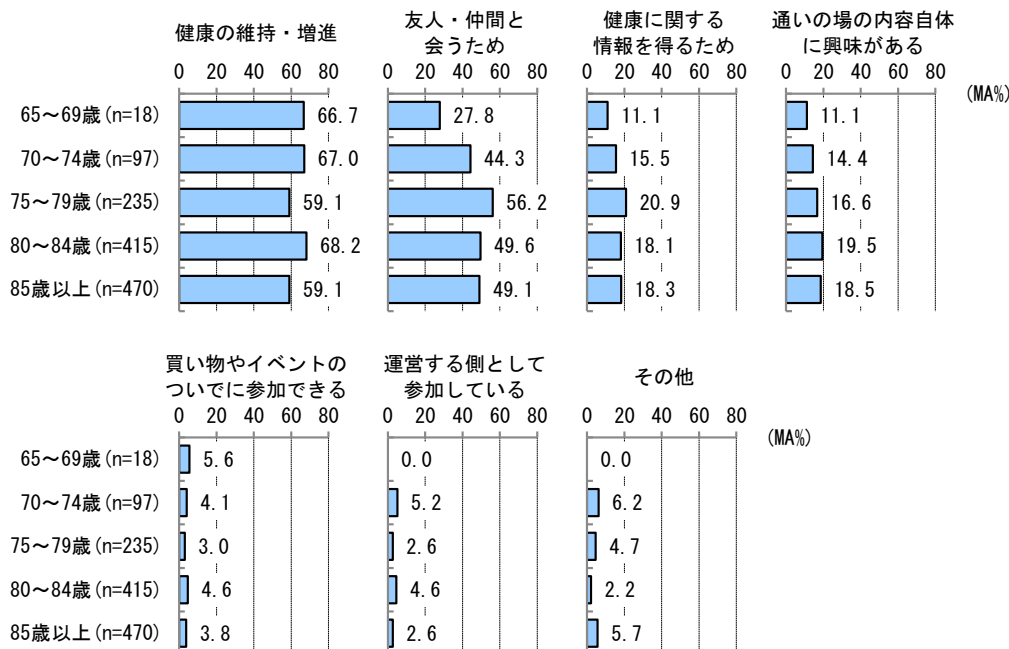
【図4-4-1 性別 通いの場に通う理由】



【年齢別】

「健康の維持・増進」の割合は80～84歳が68.2%と最も高くなっています。「友人・仲間と会うため」の割合は75～79歳が56.2%と最も高くなっています。(図4-4-2)

【図4-4-2 年齢別 通いの場に通う理由】



【居住地域別】

いずれの地域も「健康の維持・増進」、「友人・仲間と会うため」が多くなっています。(表4-4-3)

【表4-4-3 居住地域別 通いの場に通う理由】

		n	健康の維持・増進	友人・仲間と会うため	健康に関する情報を得るため	通いの場の内容に興味がある	買い物やイベントのついでに参加できる	運営する側として参加している	その他	無回答
中学校区別	八尾	88	56.8	44.3	20.5	23.9	3.4	3.4	5.7	12.5
	桂	42	42.9	52.4	21.4	14.3	4.8	4.8	4.8	4.8
	上之島	102	57.8	50.0	14.7	19.6	1.0	2.9	5.9	5.9
	龍華	98	66.3	51.0	15.3	9.2	7.1	—	4.1	8.2
	亀井	51	62.7	47.1	27.5	25.5	—	2.0	3.9	11.8
	久宝寺	110	67.3	47.3	18.2	13.6	5.5	2.7	3.6	6.4
	志紀	56	73.2	48.2	28.6	19.6	—	1.8	—	7.1
	大正	75	60.0	60.0	14.7	20.0	4.0	9.3	1.3	4.0
	曙川南	120	63.3	45.8	16.7	16.7	3.3	2.5	3.3	7.5
	成法	115	66.1	47.0	18.3	19.1	3.5	4.3	3.5	9.6
	曙川	82	76.8	54.9	18.3	23.2	4.9	6.1	2.4	4.9
	高美	64	60.9	60.9	17.2	12.5	4.7	—	4.7	6.3
	高安	29	72.4	34.5	27.6	17.2	—	6.9	10.3	3.4
	南高安	64	62.5	51.6	18.8	25.0	3.1	4.7	3.1	6.3
圏域別	東	77	59.7	54.5	20.8	18.2	2.6	1.3	3.9	7.8
	圏域1 (八尾・桂・上之島)	232	54.7	48.3	18.1	20.3	2.6	3.4	5.6	8.2
	圏域2 (龍華・亀井・久宝寺)	259	66.0	48.6	18.9	14.3	5.0	1.5	3.9	8.1
	圏域3 (志紀・大正・曙川南)	251	64.5	50.6	18.7	18.3	2.8	4.4	2.0	6.4
	圏域4 (成法・曙川・高美)	261	68.2	52.9	18.0	18.8	4.2	3.8	3.4	7.3
	圏域5 (高安・南高安・東)	170	62.9	50.0	21.2	20.6	2.4	3.5	4.7	6.5

5. インターネットの利用について

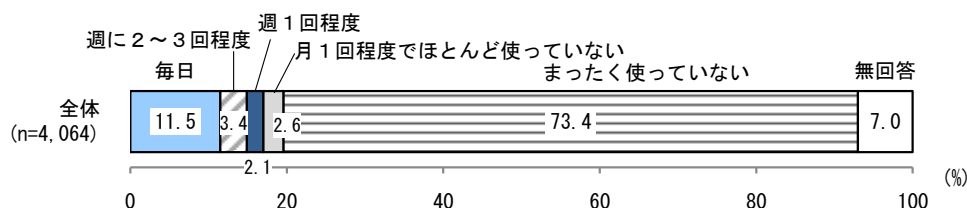
(1) インターネットの利用頻度

問14 あなたは、ふだんインターネットをどの程度利用していますか。(○は1つ)

【全体】

インターネットを「まったく使っていない」が73.4%で最も多くなっています。利用している高齢者は19.6%で、そのうち「毎日」が11.5%で最も多くなっています。(図5-1)

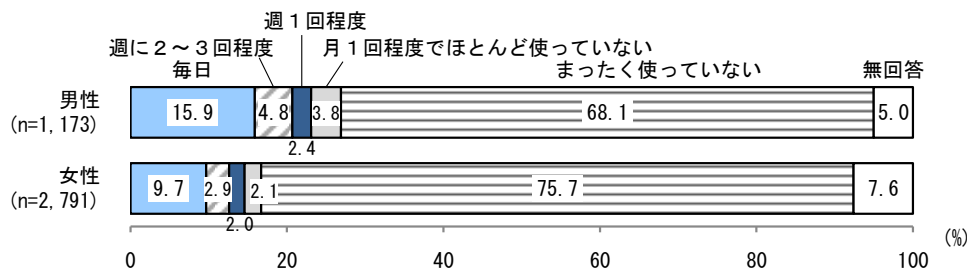
【図5-1 インターネットの利用頻度】



【性別】

インターネットを「まったく使っていない」割合は男性が68.1%に対し女性が75.7%で女性のほうが7.6ポイント高くなっており、男性のほうの利用頻度が高くなっています。(図5-1-1)

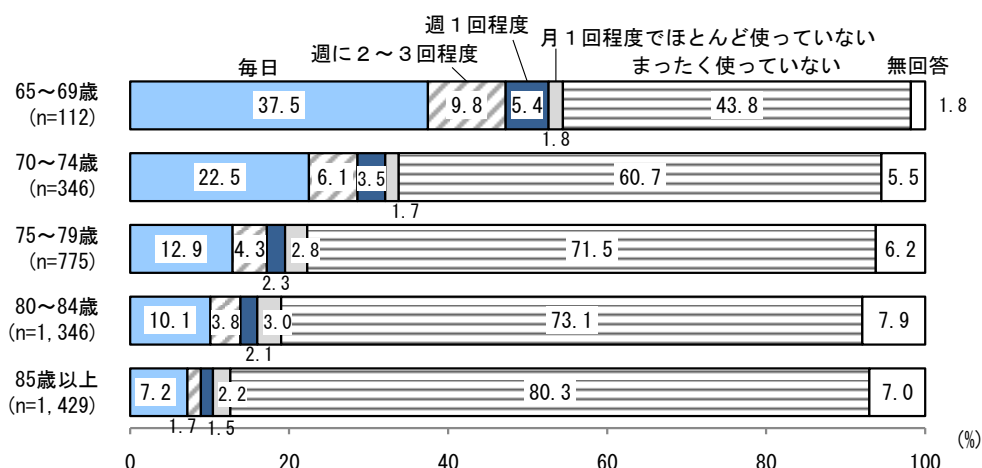
【図5-1-1 性別 インターネットの利用頻度】



【年齢別】

若い世代ほどインターネットの利用頻度が高く、「毎日」の割合は65～69歳が37.5%と最も高くなっています。一方、「まったく使っていない」割合は、75～84歳で7割台、85歳以上で8割を占めています。(図5-1-2)

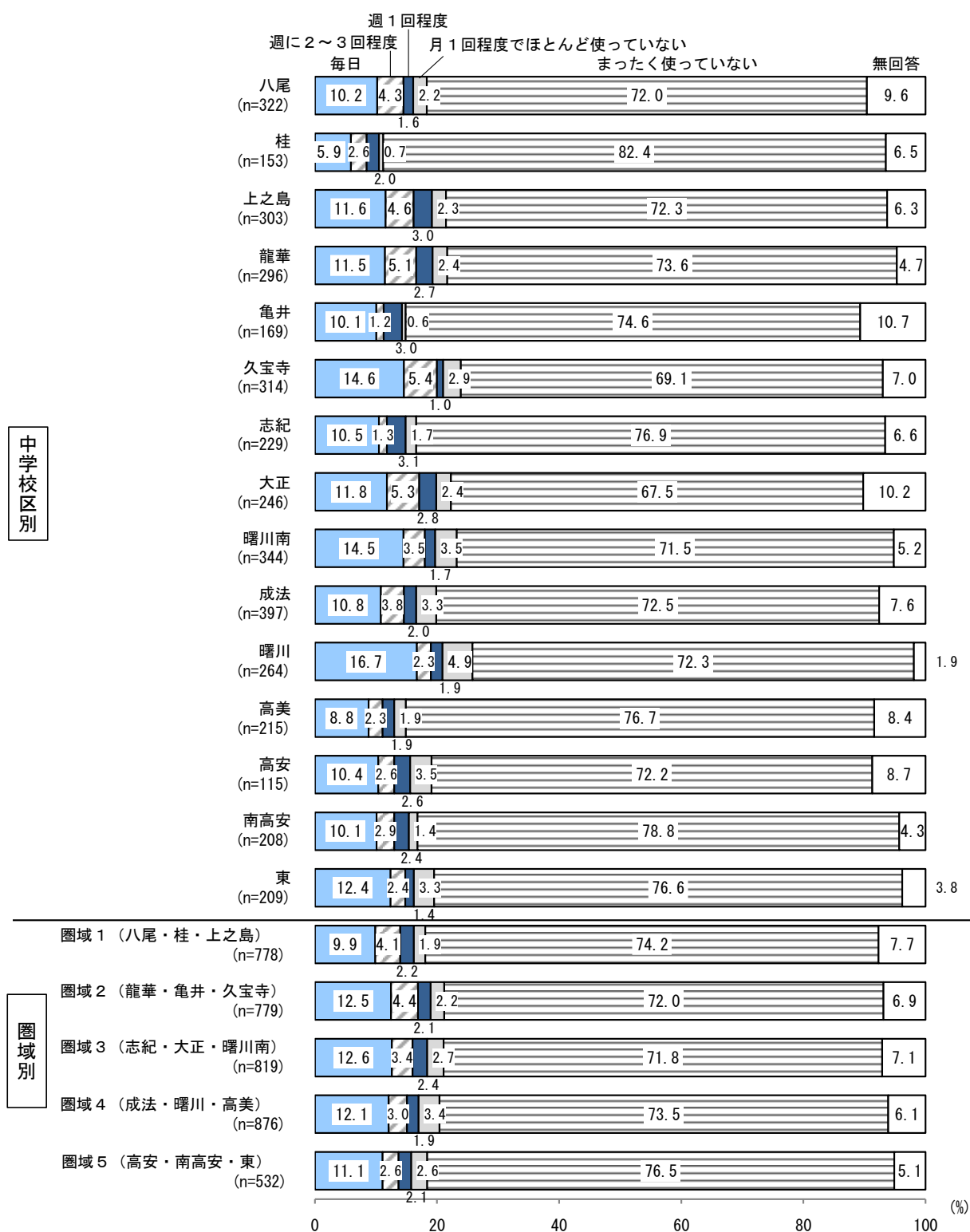
【図5-1-2 年齢別 インターネットの利用頻度】



【居住地域別】

中学校区別では、インターネットを利用している割合は、曙川で25.8%、久宝寺で23.9%となっています。「まったく使っていない」割合は桂で82.4%と最も高くなっています。(図5-1-3)

【図5-1-3 居住地域別 インターネットの利用頻度】



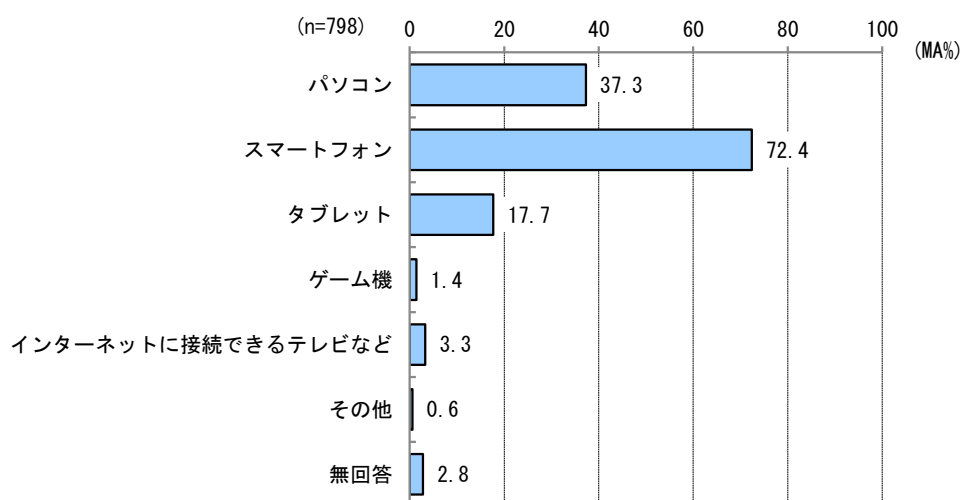
(2) インターネット利用時に使用する情報端末機器

問14 (1) 【問14で「1. 毎日」～「4. 月1回程度」のいずれかに回答した方のみ】
 あなたがインターネットを利用する際に使用する情報端末機器は何ですか。
 (〇はいくつでも)

【全体】

インターネット利用時に使用する情報端末機器は、「スマートフォン」が72.4%で最も多く、次いで「パソコン」が37.3%、「タブレット」が17.7%となっています。(図5-2)

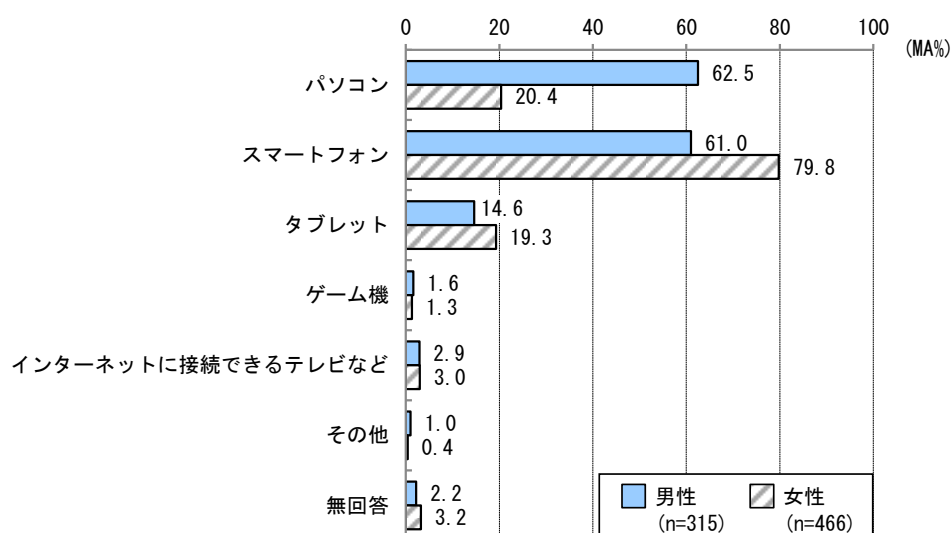
【図5-2 インターネット利用時に使用する情報端末機器】



【性別】

男性は「パソコン」が62.5%で最も多く、次いで「スマートフォン」が61.0%となっています。女性は「スマートフォン」が79.8%で最も多く、次いで「パソコン」が20.4%となっています。「パソコン」の割合は男性のほうが42.1ポイント高く、「スマートフォン」は女性のほうが18.8ポイント高くなっており、男女間の差が大きくなっています。(図5-2-1)

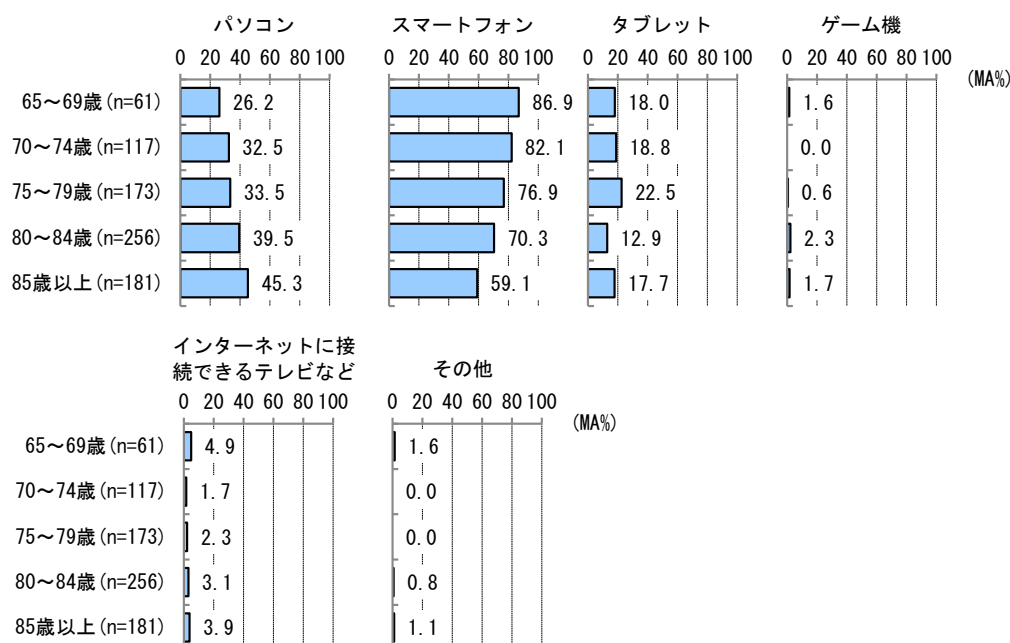
【図5-2-1 性別 インターネット利用時に使用する情報端末機器】



【年齢別】

「スマートフォン」の割合は若い世代ほど高く、65～69歳が86.9%で最も高くなっています。一方「パソコン」の割合は高齢になるほど高く、85歳以上が45.3%で最も高くなっています。(図5-2-2)

【図5-2-2 年齢別 インターネット利用時に使用する情報端末機器】



【居住地域別】

いずれの地域も「スマートフォン」、「パソコン」が多くなっています。(表5-2-3)

【表5-2-3 居住地域別 インターネット利用時に使用する情報端末機器】

		n	パソコン	スマートフォン	タブレット	ゲーム機	レインビに接続できるインターネット	その他	無回答
中学校区別	八尾	59	42.4	67.8	6.8	—	1.7	1.7	—
	桂	17	29.4	76.5	11.8	5.9	11.8	—	5.9
	上之島	65	40.0	69.2	15.4	1.5	3.1	—	4.6
	龍華	64	45.3	64.1	20.3	3.1	4.7	1.6	1.6
	亀井	25	24.0	80.0	36.0	8.0	8.0	—	—
	久宝寺	75	38.7	80.0	9.3	—	—	—	2.7
	志紀	38	39.5	76.3	18.4	2.6	5.3	2.6	5.3
	大正	55	25.5	78.2	20.0	—	—	—	1.8
	曙川南	80	31.3	75.0	22.5	1.3	2.5	—	3.8
	成法	79	38.0	68.4	20.3	1.3	6.3	1.3	3.8
	曙川	68	48.5	72.1	14.7	1.5	—	—	1.5
	高美	32	31.3	78.1	12.5	—	3.1	—	3.1
	高安	22	40.9	72.7	31.8	—	9.1	4.5	4.5
	南高安	35	22.9	85.7	2.9	2.9	—	—	2.9
圏域別	東	41	39.0	58.5	34.1	—	—	—	2.4
	圏域 1 (八尾・桂・上之島)	141	39.7	69.5	11.3	1.4	3.5	0.7	2.8
	圏域 2 (龍華・亀井・久宝寺)	164	39.0	73.8	17.7	2.4	3.0	0.6	1.8
	圏域 3 (志紀・大正・曙川南)	173	31.2	76.3	20.8	1.2	2.3	0.6	3.5
	圏域 4 (成法・曙川・高美)	179	40.8	71.5	16.8	1.1	3.4	0.6	2.8
	圏域 5 (高安・南高安・東)	98	33.7	71.4	22.4	1.0	2.0	1.0	3.1

(3) 情報端末機器の利用目的

問14 (2) 【問14で「1. 毎日」～「4. 月1回程度」のいずれかに回答した方のみ】

その情報端末機器を利用する目的（通話以外）は何ですか。

（○は主に利用するものを3つまで）

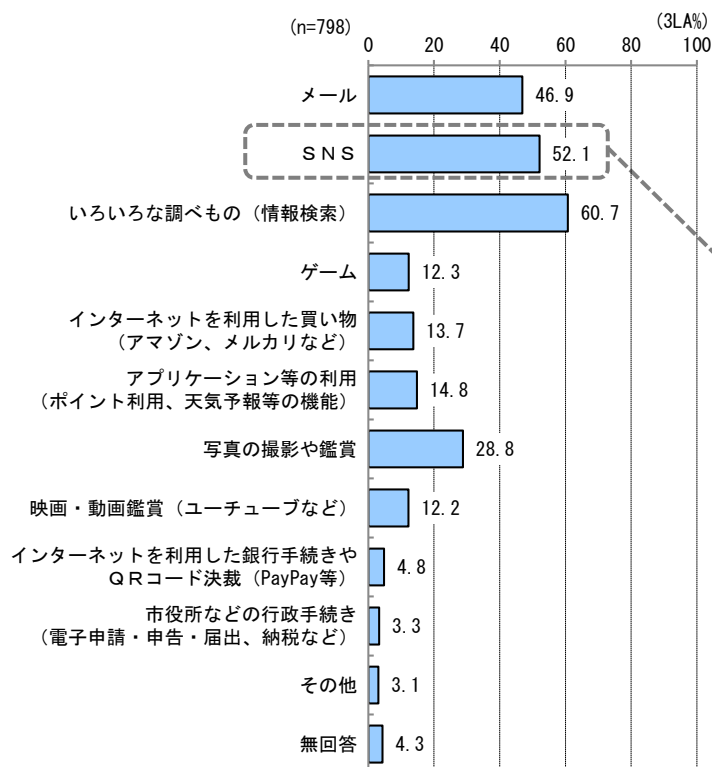
また、「2. SNS」と回答した方は、利用している種類のものすべてに○をしてください。

【全体】

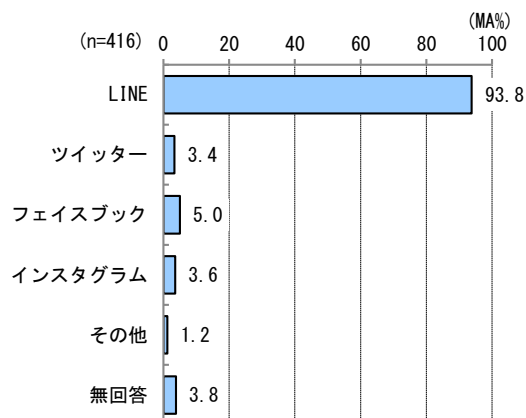
情報端末機器の利用目的は、「いろいろな調べもの（情報検索）」が60.7%で最も多くなっています。これに次いで「SNS」が52.1%で、以下「メール」(46.9%)、「写真の撮影や鑑賞」(28.8%)となっています。(図5-3)

また「SNS」と回答した方に、利用しているSNSの種類をたずねたところ、「LINE」が93.8%で最も多く、次いで「フェイスブック」が5.0%、「インスタグラム」が3.6%、「ツイッター」が3.4%となっています。(図5-3-1)

【図5-3 情報端末機器の利用目的】



【図5-3-1 利用しているSNSの種類】

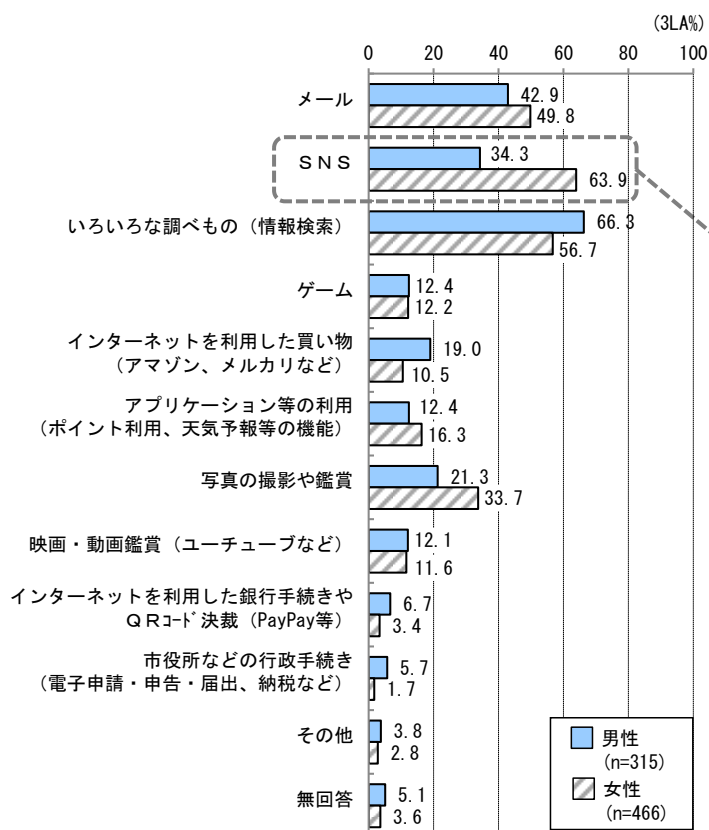


【性別】

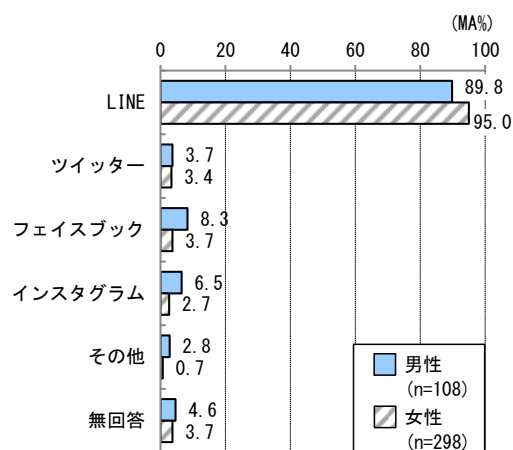
男性は「いろいろな調べもの（情報検索）」が66.3%で最も多く、次いで「メール」が42.9%、「SNS」が34.3%となっています。女性は「SNS」が63.9%で最も多く、次いで「いろいろな調べもの（情報検索）」が56.7%、「メール」が49.8%となっています。また「SNS」（男性：34.3%、女性：63.9%）や「写真の撮影や鑑賞」（男性：21.3%、女性33.7%）は男女の差が10.0ポイント以上となっています。（図5-3-2）

利用しているSNSの種類について、「LINE」の割合は男性が89.8%に対し女性が95.0%で、女性のほうが5.2ポイント高くなっています。（図5-3-3）

【図5-3-2 性別 情報端末機器の利用目的】



【図5-3-3 性別 利用しているSNSの種類】

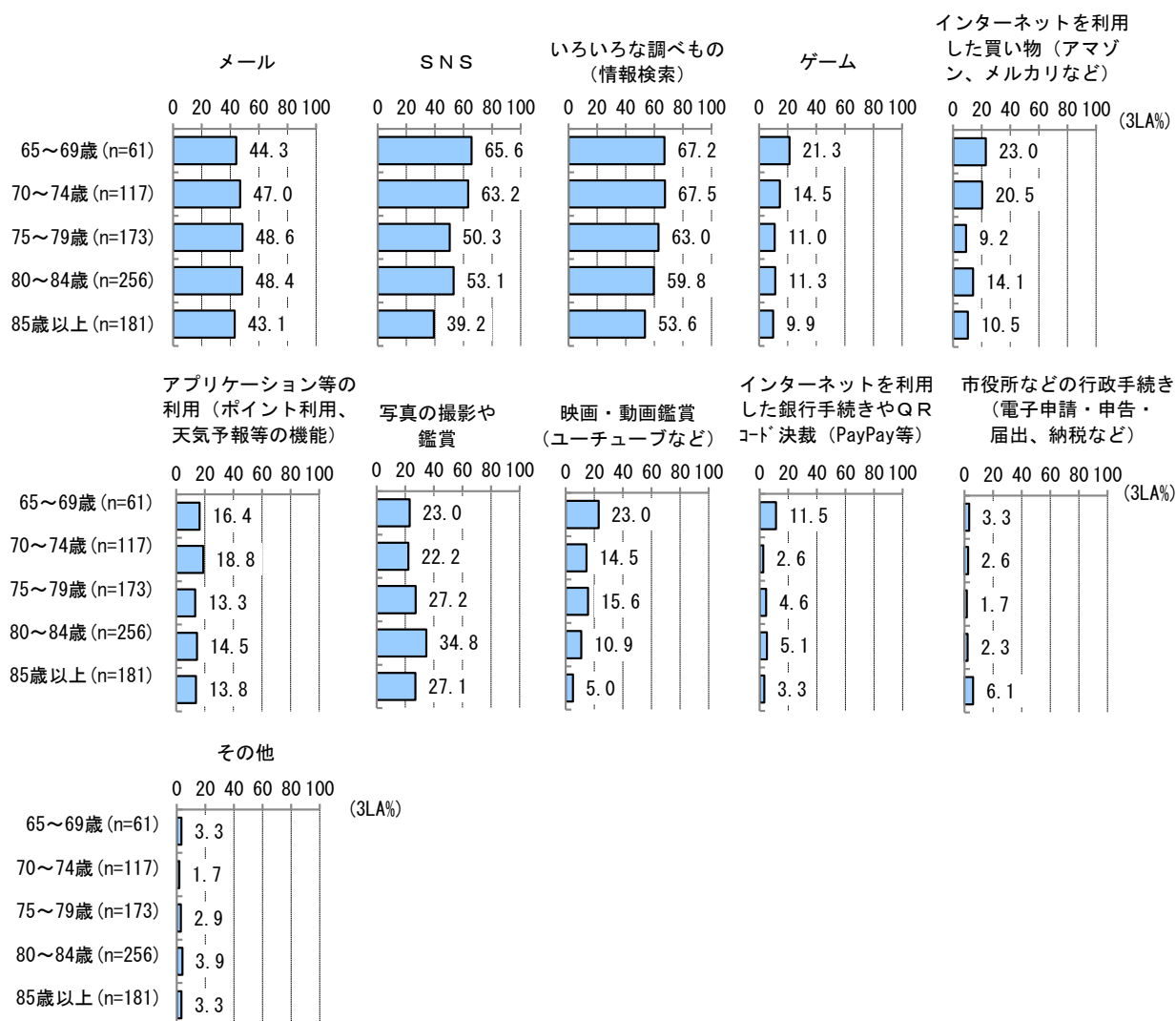


【年齢別】

いずれの年代も「いろいろな調べもの（情報検索）」が最も多く、次いで65～84歳は「SNS」が、85歳以上は「メール」が多くなっています。（図5-3-4）

利用しているSNSの種類について、「LINE」の割合は80～84歳で97.1%と最も高くなっています。（図5-3-5）

【図5-3-4 年齢別 情報端末機器の利用目的】



【図5-3-5 年齢別 利用しているSNSの種類】



【居住地域別】

いずれの地域も「いろいろな調べもの（情報検索）」、「SNS」、「メール」が多くなっています。（表5-3-6）

利用しているSNSの種類についても、いずれの地域も「LINE」が最も多くなっています。（表5-3-7）

【表5-3-6 居住地域別 情報端末機器の利用目的】

(3LA%)																
		n数	メール	SNS	いろいろな調べもの (情報検索)	ゲーム	買い物(アマゾン、メルカリなど)	インターネット利用、天気予報等の機能	写真の撮影や鑑賞	映画・動画鑑賞(YouTubeなど)	銀行手続きやQRコード決済(PayPay等)	インターネットを利用した	納税など	市役所などの行政手続き(電子申請・申告・届出)	その他	無回答
中学校区別	八尾	59	47.5	44.1	64.4	8.5	11.9	5.1	28.8	6.8	1.7	3.4	6.8	3.4		
	桂	17	29.4	70.6	64.7	29.4	35.3	11.8	23.5	5.9	17.6	5.9	-	-		
	上之島	65	44.6	43.1	60.0	10.8	16.9	18.5	24.6	10.8	3.1	4.6	1.5	7.7		
	龍華	64	40.6	50.0	51.6	15.6	18.8	12.5	21.9	21.9	7.8	6.3	4.7	1.6		
	亀井	25	40.0	64.0	56.0	8.0	20.0	24.0	40.0	4.0	8.0	8.0	-	-		
	久宝寺	75	46.7	60.0	58.7	14.7	12.0	10.7	32.0	6.7	2.7	4.0	1.3	4.0		
	志紀	38	42.1	52.6	60.5	15.8	10.5	21.1	36.8	21.1	7.9	5.3	5.3	5.3		
	大正	55	47.3	56.4	58.2	9.1	14.5	10.9	18.2	5.5	3.6	-	3.6	-		
	曙川南	80	53.8	55.0	63.8	11.3	10.0	17.5	32.5	11.3	2.5	6.3	2.5	5.0		
	成法	79	51.9	48.1	59.5	15.2	16.5	10.1	29.1	17.7	5.1	-	2.5	3.8		
	曙川	68	63.2	48.5	63.2	8.8	14.7	22.1	36.8	11.8	5.9	1.5	1.5	7.4		
	高美	32	62.5	59.4	56.3	12.5	15.6	21.9	25.0	18.8	6.3	-	3.1	6.3		
	高安	22	54.5	63.6	72.7	4.5	9.1	18.2	27.3	4.5	9.1	4.5	-	4.5		
	南高安	35	37.1	51.4	54.3	8.6	8.6	20.0	22.9	5.7	2.9	-	2.9	5.7		
東	41	31.7	48.8	70.7	17.1	12.2	9.8	26.8	17.1	4.9	4.9	4.9	2.4			
圏域別	圏域1(八尾・桂・上之島)	141	44.0	46.8	62.4	12.1	17.0	12.1	26.2	8.5	4.3	4.3	3.5	5.0		
	圏域2(龍華・亀井・久宝寺)	164	43.3	56.7	55.5	14.0	15.9	13.4	29.3	12.2	5.5	5.5	2.4	2.4		
	圏域3(志紀・大正・曙川南)	173	49.1	54.9	61.3	11.6	11.6	16.2	28.9	11.6	4.0	4.0	3.5	3.5		
	圏域4(成法・曙川・高美)	179	58.1	50.3	60.3	12.3	15.6	16.8	31.3	15.6	5.6	0.6	2.2	5.6		
	圏域5(高安・南高安・東)	98	38.8	53.1	65.3	11.2	10.2	15.3	25.5	10.2	5.1	3.1	3.1	4.1		

【表5-3-7 居住地域別 利用しているSNSの種類】

		(MA%)						
		n数	LINE	ツイッター	フェイスブック	インスタグラム	その他	無回答
中学校区別	八尾	26	100.0	3.8	3.8	3.8	-	-
	桂	12	100.0	-	-	-	-	-
	上之島	28	92.9	-	-	3.6	3.6	7.1
	龍華	32	96.9	-	3.1	-	-	-
	亀井	16	93.8	6.3	-	-	-	6.3
	久宝寺	45	86.7	2.2	-	6.7	-	8.9
	志紀	20	95.0	-	10.0	5.0	-	5.0
	大正	31	96.8	-	3.2	6.5	-	-
	曙川南	44	88.6	2.3	6.8	2.3	2.3	9.1
	成法	38	86.8	2.6	10.5	2.6	5.3	5.3
	曙川	33	93.9	9.1	9.1	9.1	-	3.0
	高美	19	100.0	-	15.8	-	-	-
	高安	14	100.0	14.3	-	7.1	-	-
	南高安	18	100.0	11.1	5.6	-	-	-
	東	20	95.0	10.0	5.0	5.0	-	5.0
圏域別	圏域1（八尾・桂・上之島）	66	97.0	1.5	1.5	3.0	1.5	3.0
	圏域2（龍華・亀井・久宝寺）	93	91.4	2.2	1.1	3.2	-	5.4
	圏域3（志紀・大正・曙川南）	95	92.6	1.1	6.3	4.2	1.1	5.3
	圏域4（成法・曙川・高美）	90	92.2	4.4	11.1	4.4	2.2	3.3
	圏域5（高安・南高安・東）	52	98.1	11.5	3.8	3.8	-	1.9

（４）コロナ禍において、情報端末機器を利用してよかったと思うこと

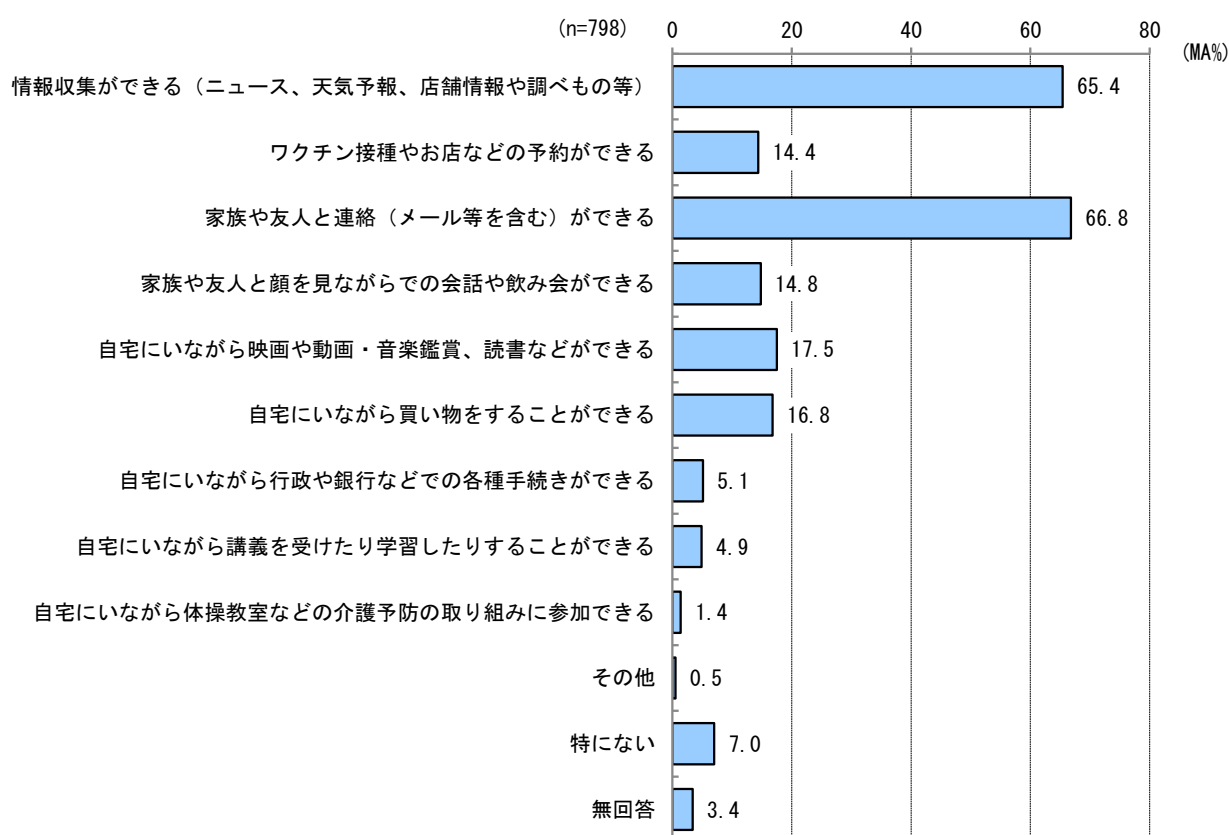
問14（３）【問14で「１．毎日」～「４．月１回程度」のいずれかに回答した方のみ】

コロナ禍において、その情報端末機器を利用してよい（よかった）と思うことは何ですか。（○はいくつでも）

【全体】

コロナ禍において、情報端末機器を利用してよかったと思うことは、「家族や友人と連絡（メール等を含む）ができる」が66.8%で最も多く、次いで「情報収集ができる（ニュース、天気予報、店舗情報や調べもの等）」が65.4%、「自宅にしながら映画や動画・音楽鑑賞、読書などができる」が17.5%となっています。（図5-4）

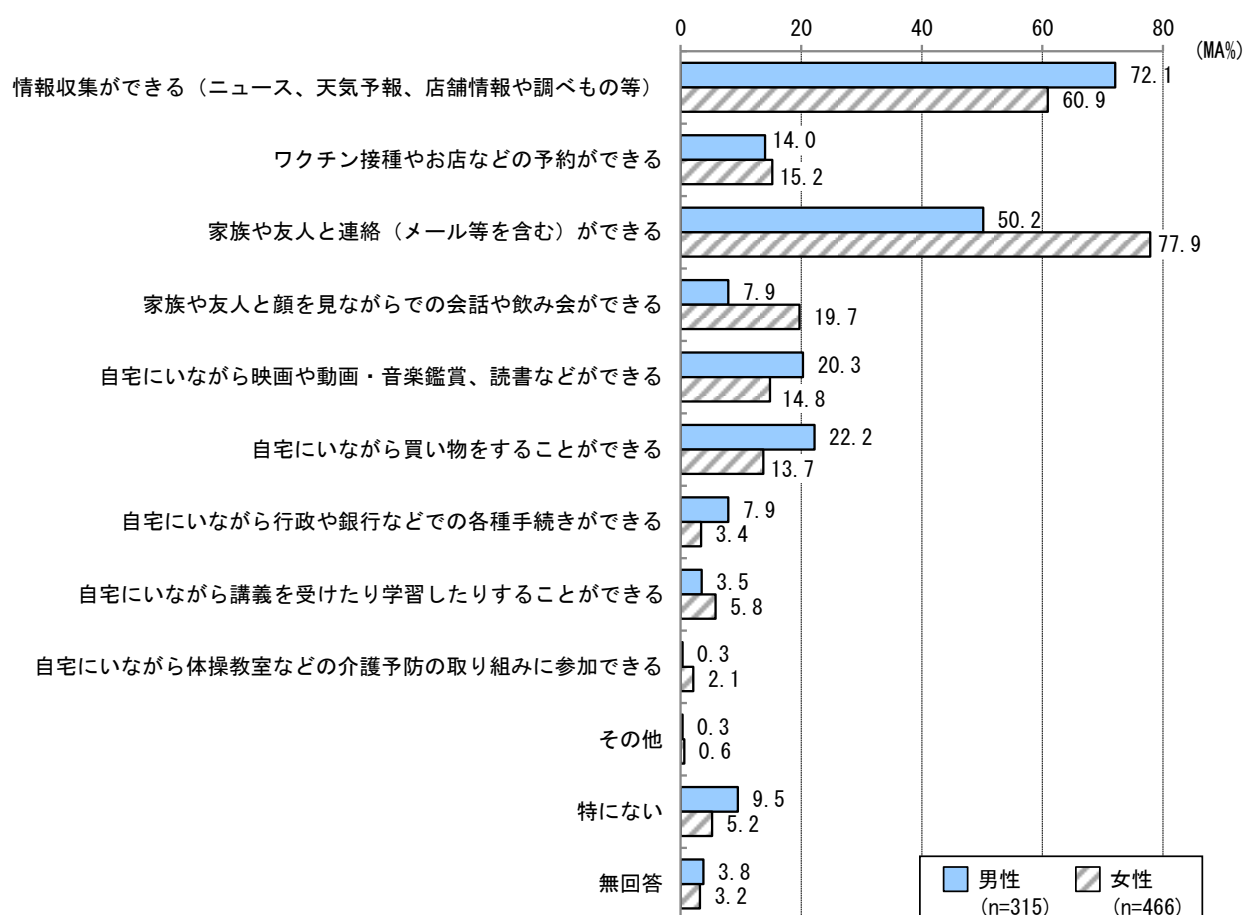
【図5-4 コロナ禍において、情報端末機器を利用してよかったと思うこと】



【性別】

男性は「情報収集ができる（ニュース、天気予報、店舗情報や調べもの等）」が72.1%で最も多く、女性（60.9%）の割合に比べ11.2ポイント高くなっています。女性は「家族や友人と連絡（メール等を含む）ができる」が77.9%で最も多く、男性（50.2%）の割合に比べ27.7ポイント高くなっています。（図5-4-1）

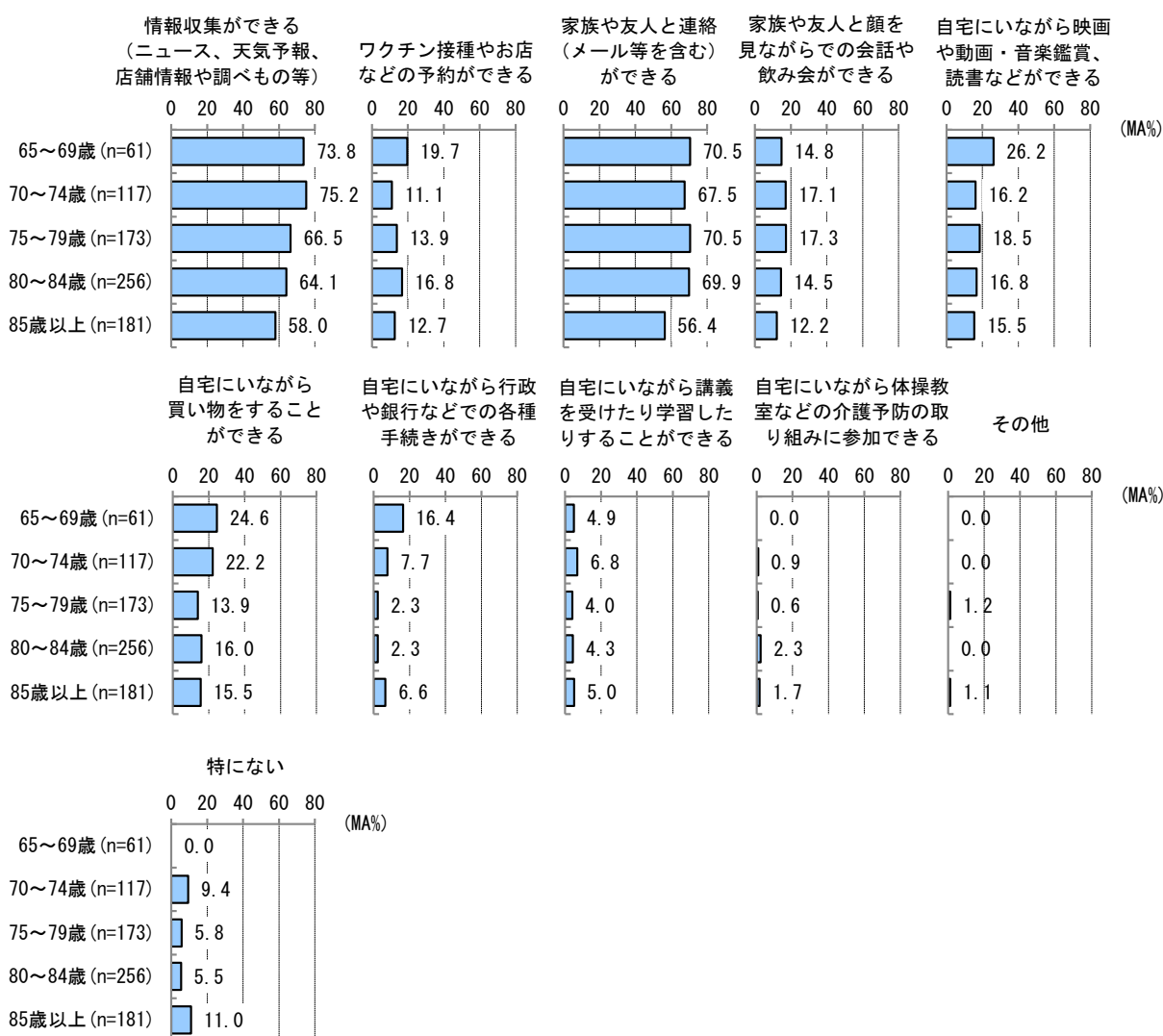
【図5-4-1 性別 コロナ禍において、情報端末機器を利用してよかったと思うこと】



【年齢別】

75～84歳は「家族や友人と連絡（メール等を含む）ができる」（75～79歳：70.5%、80～84歳：69.9%）が、それ以外の年齢は「情報収集ができる（ニュース、天気予報、店舗情報や調べもの等）」（65～69歳：73.8%、70～74歳：75.2%、85歳以上：58.0%）が、それぞれ最も多くなっています。（図5-4-2）

【図5-4-2 年齢別 コロナ禍において、情報端末機器を利用してよかったと思うこと】



【居住地域別】

いずれの地域も「家族や友人と連絡（メール等を含む）ができる」、「情報収集ができる（ニュース、天気予報、店舗情報や調べもの等）」が多くなっています。（表5-4-3）

【表5-4-3 居住地域別 コロナ禍において、情報端末機器を利用してよかったと思うこと】

															(MA%)
		n 数	情報収集が できる(ニュー ス、天気予報、 店舗情報や調 べもの等)	約ができる	家族や友人と 連絡(メール等 を含む)	家族や友人と 顔を見ながら の会話や飲み会 ができる	音楽鑑賞、読書 などができる	自宅にいながら 映画や動画・	自宅にいながら 買い物をする ことができる	自宅にいながら 行政や銀行な どでの各種手続 きができる	自宅にいながら 講義を受けたり 学習したりする ことができる	自宅にいながら 体操教室などの 介護予防の取り 組みに参加	その他	特にな い	無回 答
中学校区別	八尾	59	62.7	13.6	55.9	6.8	16.9	10.2	-	10.2	1.7	-	6.8	3.4	
	桂	17	64.7	29.4	70.6	23.5	17.6	41.2	29.4	5.9	17.6	-	11.8	-	
	上之島	65	58.5	9.2	58.5	12.3	15.4	18.5	1.5	4.6	-	-	10.8	6.2	
	龍華	64	60.9	10.9	67.2	12.5	18.8	25.0	4.7	6.3	-	1.6	9.4	3.1	
	亀井	25	64.0	24.0	76.0	20.0	24.0	28.0	16.0	16.0	4.0	-	4.0	4.0	
	久宝寺	75	78.7	17.3	65.3	20.0	21.3	13.3	6.7	4.0	1.3	1.3	6.7	1.3	
	志紀	38	65.8	13.2	65.8	21.1	26.3	13.2	2.6	10.5	-	-	5.3	2.6	
	大正	55	72.7	14.5	63.6	10.9	7.3	14.5	-	1.8	-	-	7.3	5.5	
	曙川南	80	68.8	16.3	70.0	15.0	16.3	15.0	3.8	2.5	2.5	-	5.0	2.5	
	成法	79	63.3	19.0	62.0	13.9	16.5	21.5	3.8	3.8	1.3	-	7.6	5.1	
	曙川	68	58.8	16.2	73.5	20.6	19.1	16.2	11.8	4.4	-	-	5.9	2.9	
	高美	32	62.5	18.8	75.0	12.5	18.8	15.6	6.3	-	-	-	3.1	9.4	
	高安	22	68.2	9.1	77.3	9.1	9.1	13.6	4.5	-	4.5	4.5	9.1	-	
南高安	35	54.3	8.6	74.3	17.1	5.7	20.0	2.9	5.7	2.9	-	8.6	2.9		
東	41	68.3	7.3	63.4	14.6	17.1	14.6	7.3	-	-	-	7.3	2.4		
圏域別	圏域1(八尾・桂・上之島)	141	61.0	13.5	58.9	11.3	16.3	17.7	4.3	7.1	2.8	-	9.2	4.3	
	圏域2(龍華・亀井・久宝寺)	164	69.5	15.9	67.7	17.1	20.7	20.1	7.3	6.7	1.2	1.2	7.3	2.4	
	圏域3(志紀・大正・曙川南)	173	69.4	15.0	67.1	15.0	15.6	14.5	2.3	4.0	1.2	-	5.8	3.5	
	圏域4(成法・曙川・高美)	179	61.5	17.9	68.7	16.2	17.9	18.4	7.3	3.4	0.6	-	6.1	5.0	
	圏域5(高安・南高安・東)	98	63.3	8.2	70.4	14.3	11.2	16.3	5.1	2.0	2.0	1.0	8.2	2.0	

（５）利用している情報端末機器で困ったこと

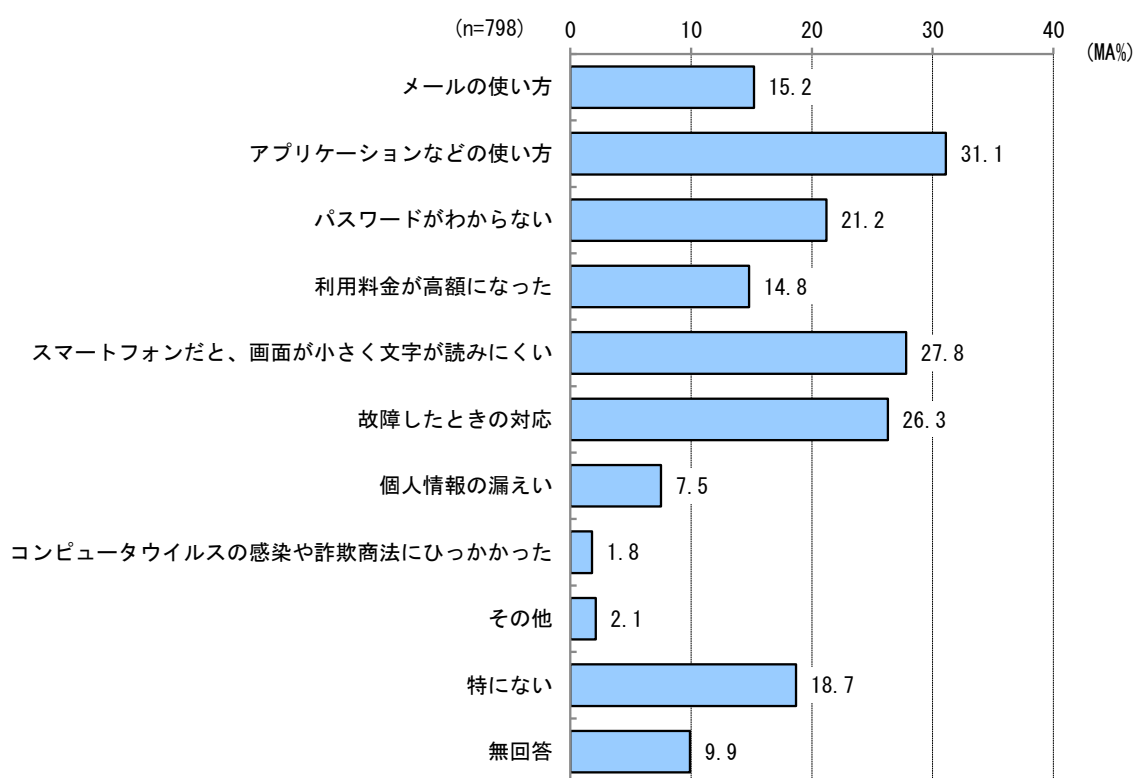
問14（４）【問14で「１．毎日」～「４．月１回程度」のいずれかに回答した方のみ】
その情報端末機器を利用してどのようなことに困りましたか。（○はいくつでも）

【全体】

困ったことは、「アプリケーションなどの使い方」が31.1%で最も多くなっています。これに次いで「スマートフォンだと、画面が小さく文字が読みにくい」が27.8%で、以下「故障したときの対応」（26.3%）、「パスワードがわからない」（21.2%）が続いています。（図5-5）

一方「特にない」は18.7%となっています。（図5-5）

【図5-5 利用している情報端末機器で困ったこと】

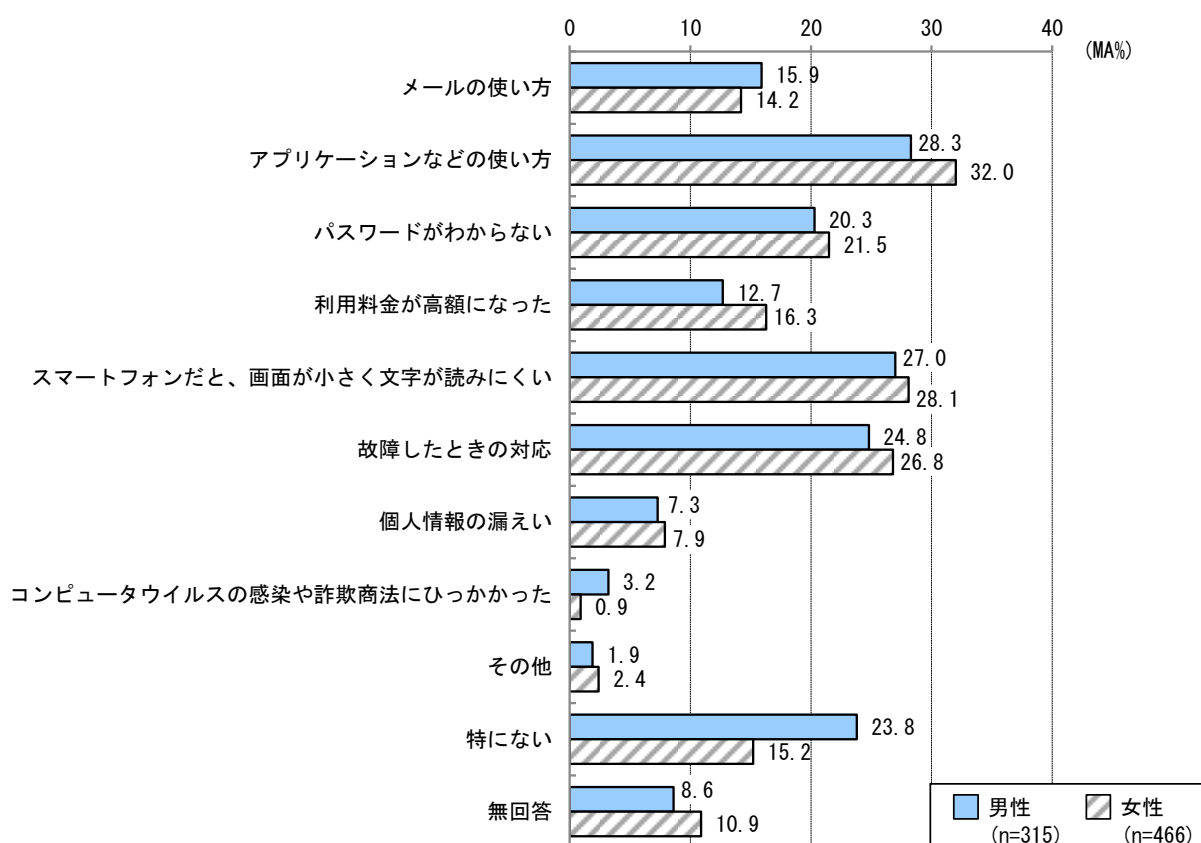


【性別】

男女とも「アプリケーションなどの使い方」（男性：28.3%、女性：32.0%）が最も多くなっています。これに次いで「スマートフォンだと、画面が小さく文字が読みにくい」（男性：27.0%、女性：28.1%）、「故障したときの対応」（男性：24.8%、女性：26.8%）が多くなっています。（図5-5-1）

一方「特にない」割合は男性が23.8%、女性が15.2%で、男性のほうが8.6ポイント高くなっています。（図5-5-1）

【図5-5-1 性別 利用している情報端末機器で困ったこと】

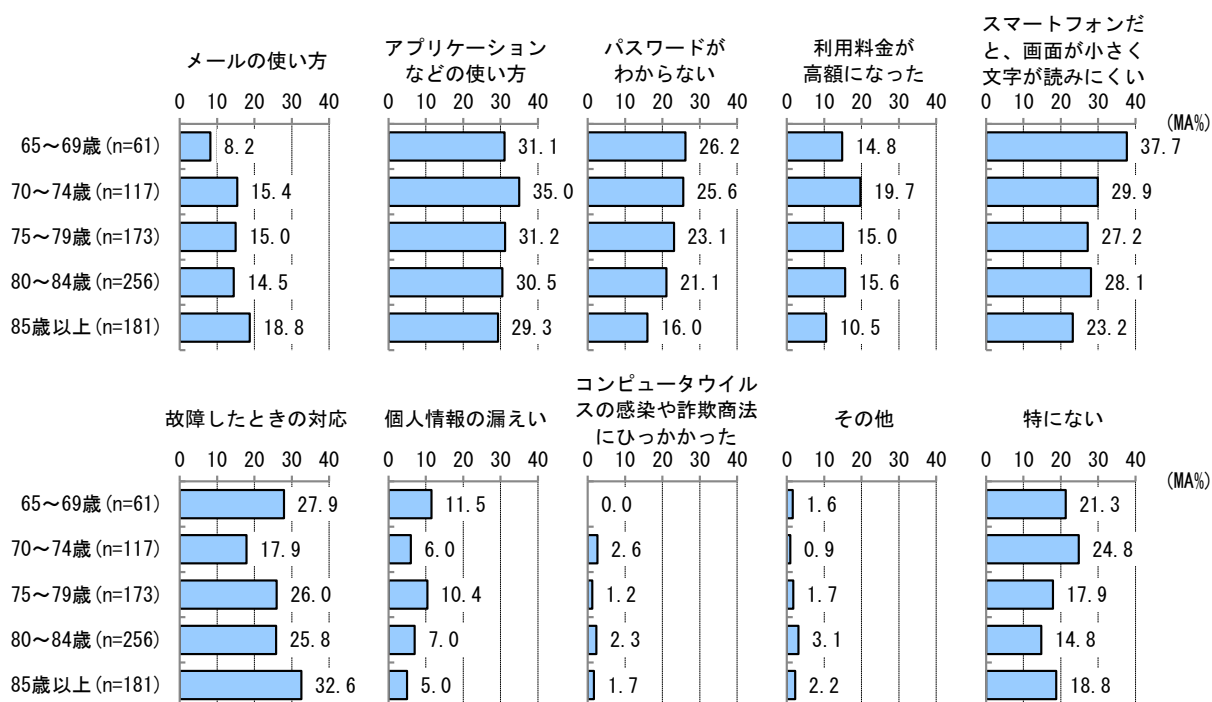


【年齢別】

65～69歳は「スマートフォンだと、画面が小さく文字が読みにくい」(37.7%)が、70～84歳は「アプリケーションなどの使い方」(70～74歳：35.0%、75～79歳：31.2%、80～84歳：30.5%)が、85歳以上は「故障したときの対応」(32.6%)が、それぞれ最も多くなっています。(図5-5-2)

一方「特にない」割合は70～74歳が24.8%と最も高くなっています。(図5-5-2)

【図5-5-2 年齢別 利用している情報端末機器で困ったこと】



【居住地域別】

いずれの地域も「アプリケーションなどの使い方」、「スマートフォンだと、画面が小さく文字が読みにくい」、「故障したときの対応」が多くなっています。(表5-5-3)

【表5-5-3 居住地域別 利用している情報端末機器で困ったこと】

(MA%)														
		n 数	メ ー ル の 使 い 方	ア プ リ ケ ー シ ョ ン な ど	パ ス ワ ー ド が わ か ら な	た 利 用 料 金 が 高 額 に な っ	ス マ ー ト フ ォ ン だ と、 画 面 が 小 さ く 文 字 が 読 み に く い	故 障 し た と き の 対 応	個 人 情 報 の 漏 え い	コ ン ピ ユ ー タ ウ ィ ル ス の 感 染 や 詐 欺 商 法 に ひ つ か か っ た	そ の 他	特 に な い	無 回 答	
中 学 校 区 別	八尾	59	22.0	30.5	23.7	8.5	25.4	23.7	10.2	1.7	3.4	15.3	5.1	
	桂	17	35.3	35.3	23.5	29.4	47.1	35.3	17.6	-	-	11.8	5.9	
	上之島	65	10.8	33.8	30.8	15.4	18.5	30.8	7.7	3.1	-	16.9	13.8	
	龍華	64	14.1	28.1	18.8	17.2	34.4	15.6	7.8	-	7.8	20.3	4.7	
	亀井	25	20.0	28.0	20.0	12.0	32.0	24.0	4.0	-	-	28.0	4.0	
	久宝寺	75	13.3	26.7	25.3	17.3	36.0	25.3	13.3	4.0	-	13.3	12.0	
	志紀	38	13.2	28.9	28.9	15.8	28.9	23.7	2.6	-	-	21.1	13.2	
	大正	55	14.5	36.4	32.7	10.9	30.9	14.5	3.6	-	3.6	20.0	9.1	
	曙川南	80	15.0	28.8	17.5	17.5	26.3	26.3	3.8	2.5	1.3	20.0	13.8	
	成法	79	8.9	30.4	15.2	17.7	32.9	27.8	12.7	2.5	1.3	24.1	6.3	
	曙川	68	17.6	26.5	19.1	16.2	27.9	27.9	2.9	-	4.4	13.2	13.2	
	高美	32	9.4	37.5	6.3	15.6	18.8	34.4	3.1	6.3	3.1	18.8	15.6	
	高安	22	13.6	31.8	13.6	4.5	27.3	50.0	9.1	-	-	13.6	4.5	
	南高安	35	17.1	40.0	11.4	5.7	22.9	28.6	5.7	-	5.7	20.0	-	
東	41	14.6	29.3	17.1	14.6	17.1	31.7	7.3	4.9	-	17.1	24.4		
圏 域 別	圏域1（八尾・桂・上之島）	141	18.4	32.6	27.0	14.2	24.8	28.4	9.9	2.1	1.4	15.6	9.2	
	圏域2（龍華・亀井・久宝寺）	164	14.6	27.4	22.0	16.5	34.8	21.3	9.8	1.8	3.0	18.3	7.9	
	圏域3（志紀・大正・曙川南）	173	14.5	31.2	24.9	15.0	28.3	22.0	3.5	1.2	1.7	20.2	12.1	
	圏域4（成法・曙川・高美）	179	12.3	30.2	15.1	16.8	28.5	29.1	7.3	2.2	2.8	19.0	10.6	
	圏域5（高安・南高安・東）	98	15.3	33.7	14.3	9.2	21.4	34.7	7.1	2.0	2.0	17.3	11.2	

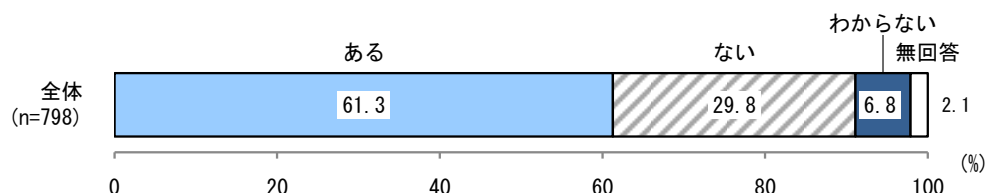
（６）自宅でのWi-Fi環境の有無

問14（５）【問14で「１．毎日」～「４．月１回程度」のいずれかに回答した方のみ】
 ご自宅には、Wi-Fi環境がありますか。（○は１つ）

【全体】

自宅にWi-Fi環境が「ある」は61.3%に対し「ない」が29.8%となっています。（図5-6）

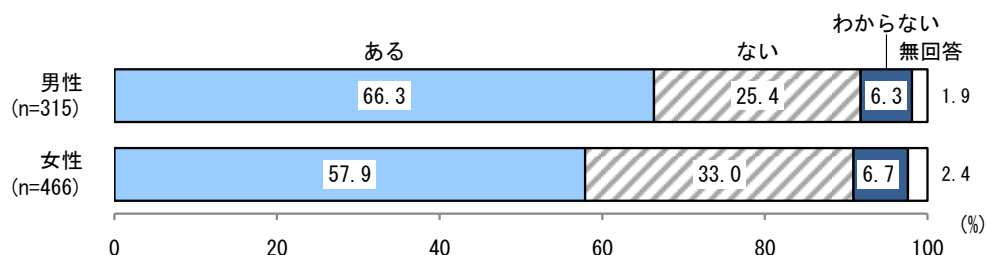
【図5-6 自宅でのWi-Fi環境の有無】



【性別】

自宅にWi-Fi環境が「ない」割合は男性が25.4%、女性が33.0%で、女性のほうが7.6ポイント高くなっています。（図5-6-1）

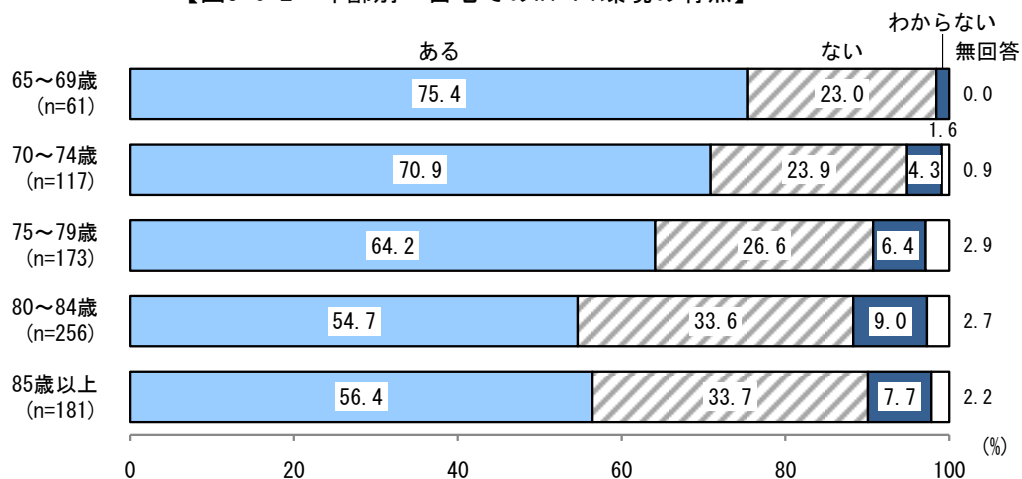
【図5-6-1 性別 自宅でのWi-Fi環境の有無】



【年齢別】

自宅にWi-Fi環境が「ない」割合は高年代で高く、85歳以上で33.7%と最も高くなっています。（図5-6-2）

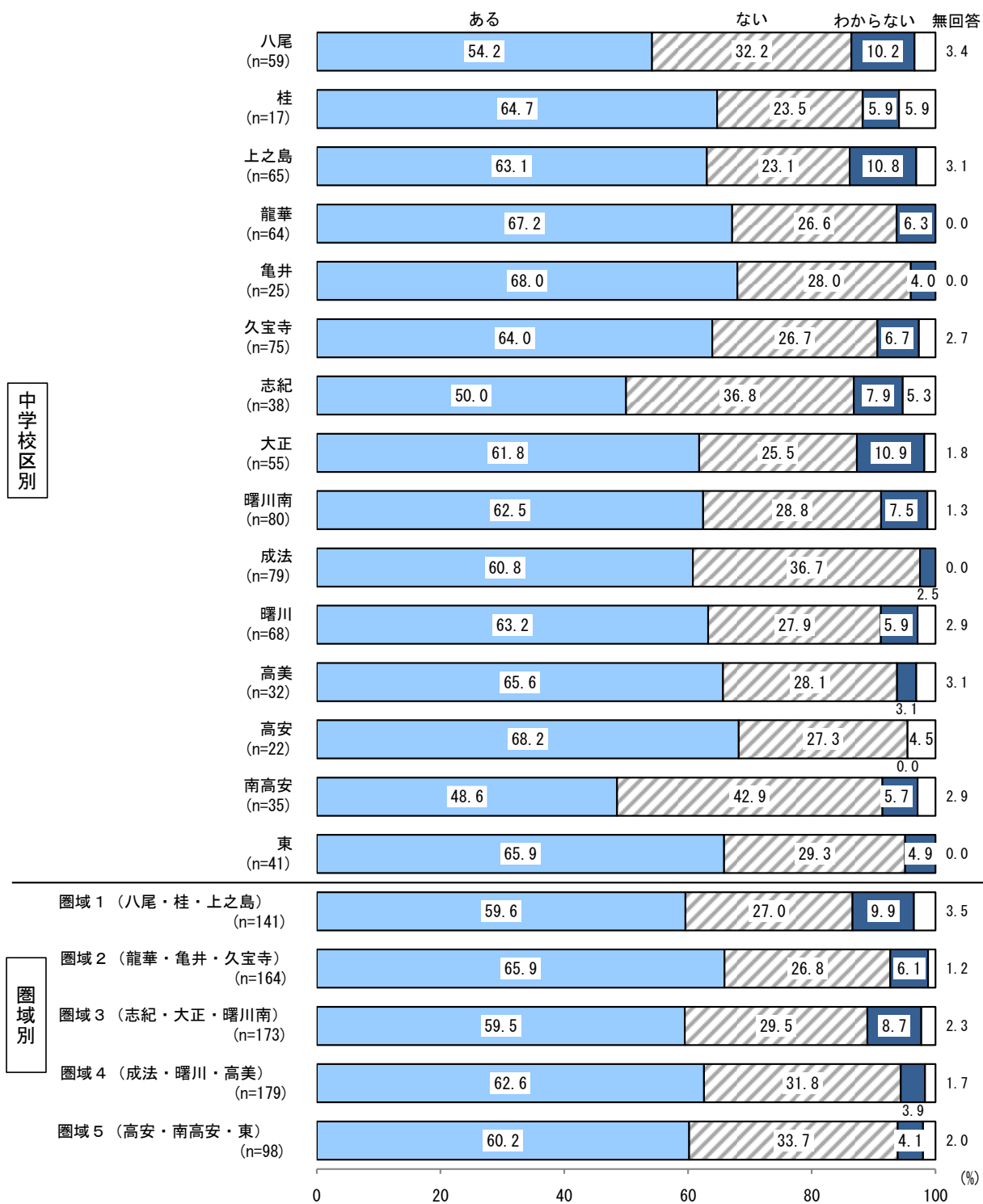
【図5-6-2 年齢別 自宅でのWi-Fi環境の有無】



【居住地域別】

圏域別では、自宅にWi-Fi環境が「ある」割合は、圏域2（龍華・亀井・久宝寺）で65.9%となっています。「ない」割合は、圏域5（高安・南高安・東）で33.7%となっています。（図5-6-3）

【図5-6-3 居住地域別 自宅でのWi-Fi環境の有無】



(7) インターネットを使っていない理由

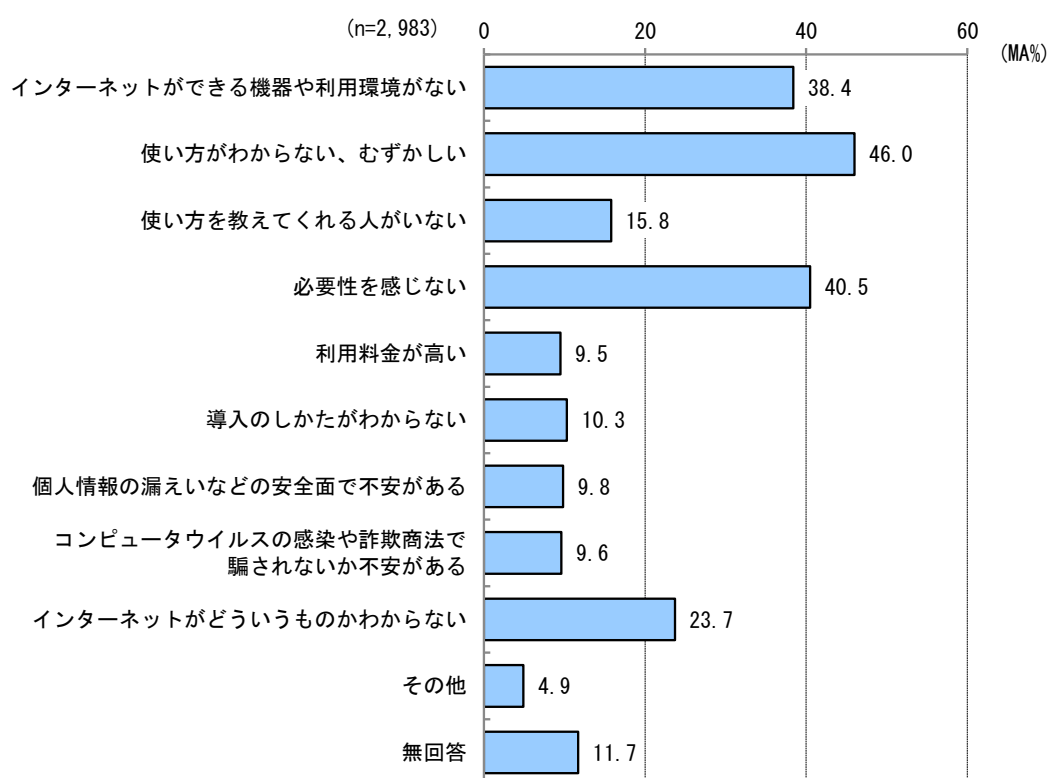
問14 (6) 【問14で「5. まったく使っていない」と回答した方のみ】

インターネットを使っていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【全体】

インターネットを使っていない理由は、「使い方がわからない、むずかしい」が46.0%で最も多くなっています。以下、「必要性を感じない」(40.5%)、「インターネットができる機器や利用環境がない」(38.4%)が続いています。(図5-7)

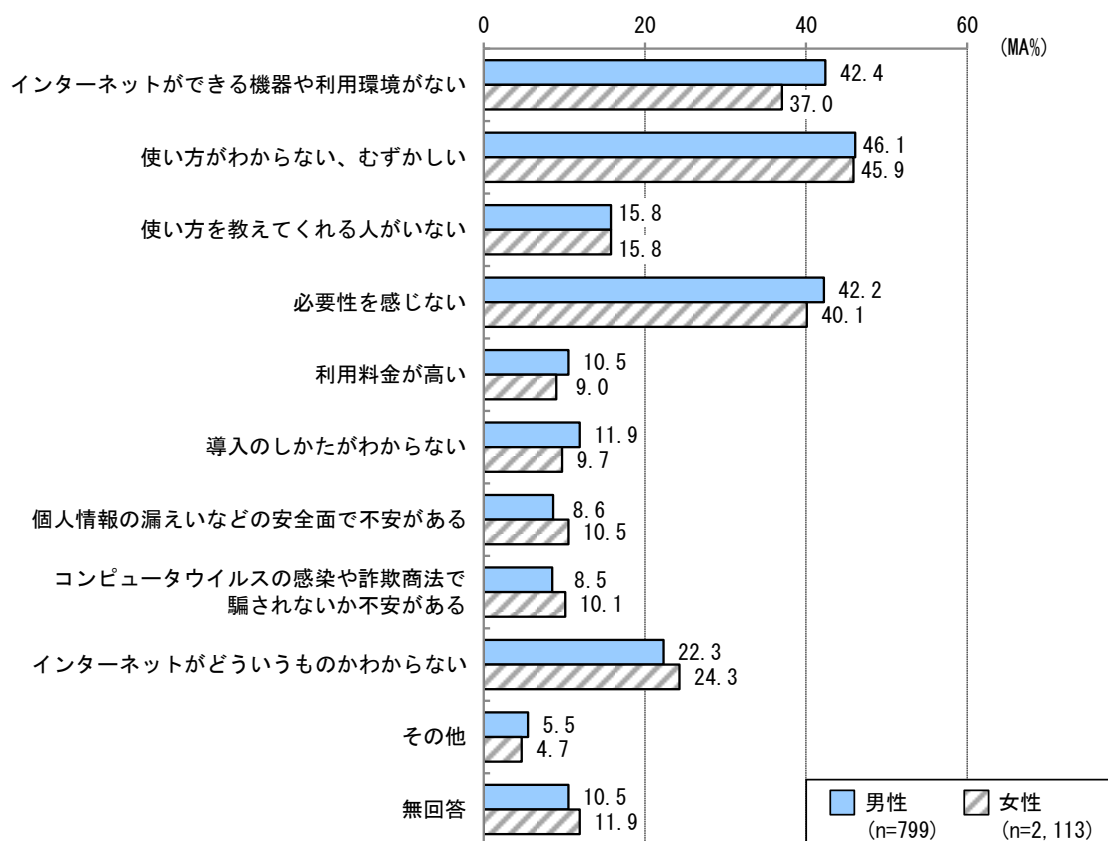
【図5-7 インターネットを使っていない理由】



【性別】

男女とも「使い方がわからない、むずかしい」（男性：46.1%、女性：45.9%）が最も多く、次いで男性は「インターネットができる機器や利用環境がない」（42.4%）が、女性は「必要性を感じない」（40.1%）が、それぞれ多くなっています。（図5-7-1）

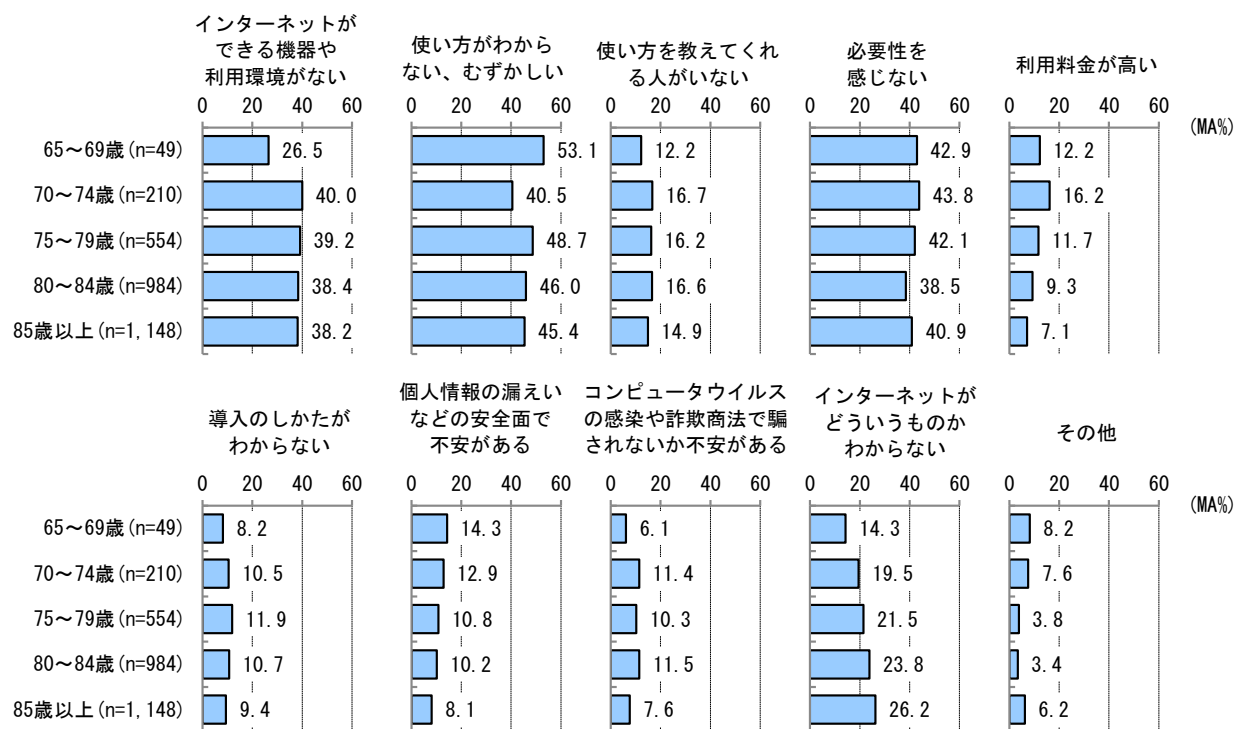
【図5-7-1 性別 インターネットを使っていない理由】



【年齢別】

70～74歳は「必要性を感じない」(43.8%)が、それ以外の年齢は「使い方がわからない、むずかしい」(65～69歳:53.1%、75～79歳:48.7%、80～84歳:46.0%、85歳以上:45.4%)が、それぞれ最も多くなっています。(図5-7-2)

【図5-7-2 年齢別 インターネットを使っていない理由】



【居住地域別】

中学校区別では、「インターネットができる機器や利用環境がない」割合は、上之島、亀井、曙川で42.9%と最も高くなっています。「使い方がわからない、むずかしい」は、高美で50.3%、亀井で50.0%となっています。「必要性を感じない」は、亀井で45.2%、高美で44.2%となっています。(表5-7-3)

【表5-7-3 居住地域別 インターネットを使っていない理由】

(MA%)														
		n 数	インターネットが 機器や利用環境が ない	使い方がわからない、 むずかしい	使い方を教えてくれる 人がいない	必要性を感じない	利用料金が 高い	導入のしかたが わからない	個人情報の漏えい など不安がある	感染や詐欺、 商法で騙され ない不安がある	コンピュータ ウイルス	インターネットが どう	その他	無 回 答
中 学 校 区 別	八尾	232	37.9	48.3	19.0	43.1	8.2	11.6	12.1	9.1	25.9	5.2	11.6	
	桂	126	40.5	47.6	15.9	33.3	9.5	9.5	7.1	5.6	20.6	1.6	15.9	
	上之島	219	42.9	45.2	16.4	38.4	11.0	14.2	5.9	9.6	23.3	3.2	11.9	
	龍華	218	36.7	44.5	16.1	43.6	9.6	15.1	7.3	10.1	23.9	4.6	12.8	
	亀井	126	42.9	50.0	16.7	45.2	9.5	10.3	6.3	7.1	27.8	5.6	9.5	
	久宝寺	217	38.7	45.2	15.7	39.2	10.6	11.1	12.9	9.7	20.3	6.5	11.1	
	志紀	176	36.9	46.6	9.7	41.5	10.8	8.0	11.4	10.8	29.0	2.8	8.0	
	大正	166	34.3	42.8	15.1	41.6	8.4	8.4	8.4	8.4	25.9	6.6	9.0	
	曙川南	246	40.2	41.9	13.4	42.3	7.7	8.9	11.8	13.0	27.6	4.5	8.5	
	成法	288	35.4	42.7	12.2	39.6	8.7	6.9	10.1	9.4	19.1	3.8	12.8	
	曙川	191	42.9	48.2	19.9	37.2	8.4	10.5	10.5	7.3	22.0	7.9	9.9	
	高美	165	40.0	50.3	13.3	44.2	12.1	10.3	10.3	9.1	23.0	4.8	12.1	
	高安	83	31.3	47.0	19.3	37.3	7.2	7.2	8.4	10.8	18.1	4.8	18.1	
	南高安	164	37.8	45.1	18.3	42.7	11.0	11.6	13.4	11.0	20.7	4.3	14.6	
東	160	40.0	41.9	15.6	39.4	7.5	7.5	9.4	10.6	25.6	5.0	11.3		
圏 域 別	圏域 1（八尾・桂・上之島）	577	40.4	47.0	17.3	39.2	9.5	12.1	8.7	8.5	23.7	3.6	12.7	
	圏域 2（龍華・亀井・久宝寺）	561	38.9	46.0	16.0	42.2	10.0	12.5	9.3	9.3	23.4	5.5	11.4	
	圏域 3（志紀・大正・曙川南）	588	37.6	43.5	12.8	41.8	8.8	8.5	10.7	11.1	27.6	4.6	8.5	
	圏域 4（成法・曙川・高美）	644	38.8	46.3	14.8	40.1	9.5	8.9	10.2	8.7	21.0	5.3	11.8	
	圏域 5（高安・南高安・東）	407	37.3	44.2	17.4	40.3	8.8	9.1	10.8	10.8	22.1	4.7	14.0	

(8) インターネットの利用意向

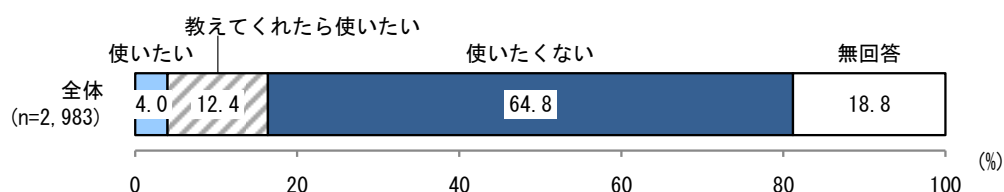
問14 (7) 【問14で「5. まったく使っていない」と回答した方のみ】

インターネットを使いたいと思いますか。(○は1つ)

【全体】

インターネットを『使いたい』(「使いたい」+「教えてくれたら使いたい」)割合は16.4%に対し、「使いたくない」が64.8%となっています。(図5-8)

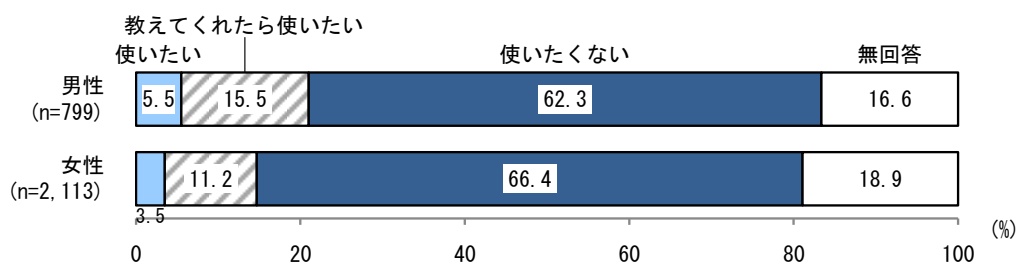
【図5-8 インターネットの利用意向】



【性別】

インターネットを『使いたい』割合は男性が21.0%に対し女性が14.7%で、男性のほうが6.3ポイント高くなっています。(図5-8-1)

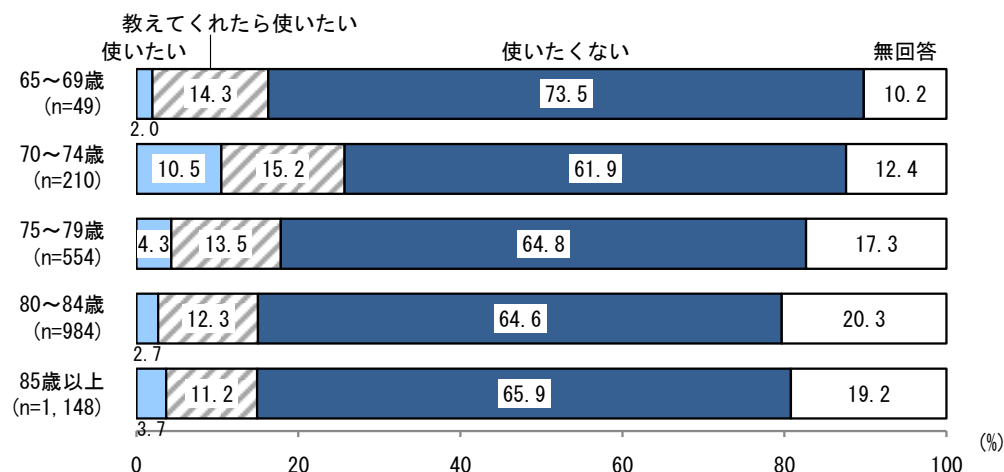
【図5-8-1 性別 インターネットの利用意向】



【年齢別】

インターネットを『使いたい』割合は70～74歳が25.7%と最も高くなっています。(図5-8-2)

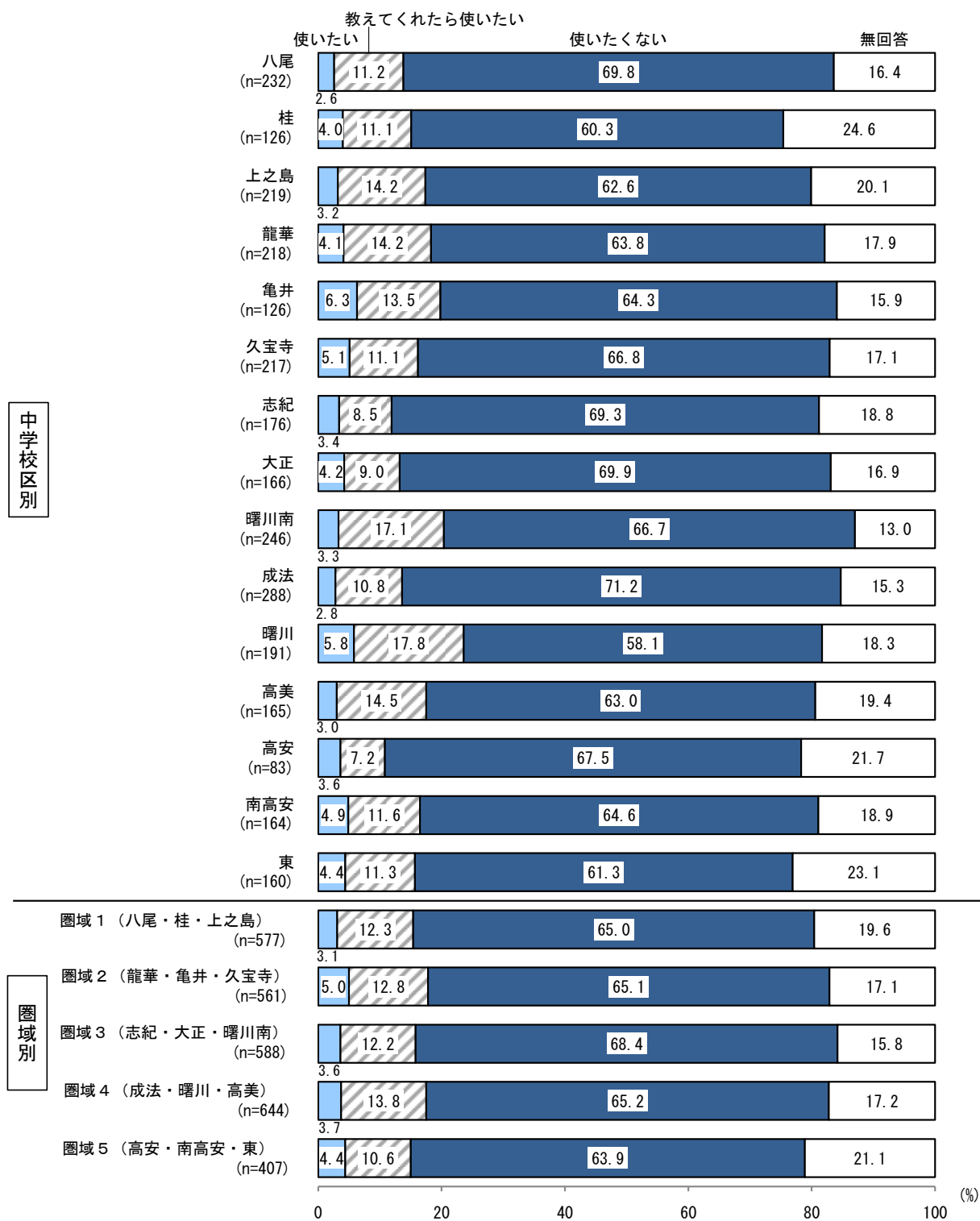
【図5-8-2 年齢別 インターネットの利用意向】



【居住地域別】

中学校区別では、インターネットを『使いたい』割合は、曙川で23.6%と最も高くなっています。(図5-8-3)

【図5-8-3 居住地域別 インターネットの利用意向】



(9) インターネット利用時に使用したい情報端末機器

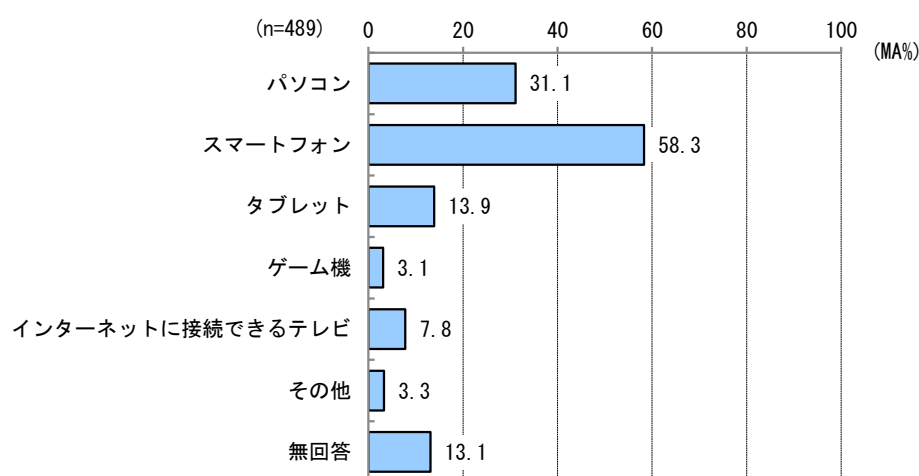
問14(8) 問14(7)で「1. 使いたい」「2. 教えてくれたら使いたい」と回答した方にうかがいます。

インターネットを利用する際の情報端末機器としてどのようなものを利用したいですか。(〇はいくつでも)

【全体】

インターネット利用時に使用したい情報端末機器は、「スマートフォン」が58.3%で最も多く、次いで「パソコン」が31.1%、「タブレット」が13.9%となっています。(図5-9)

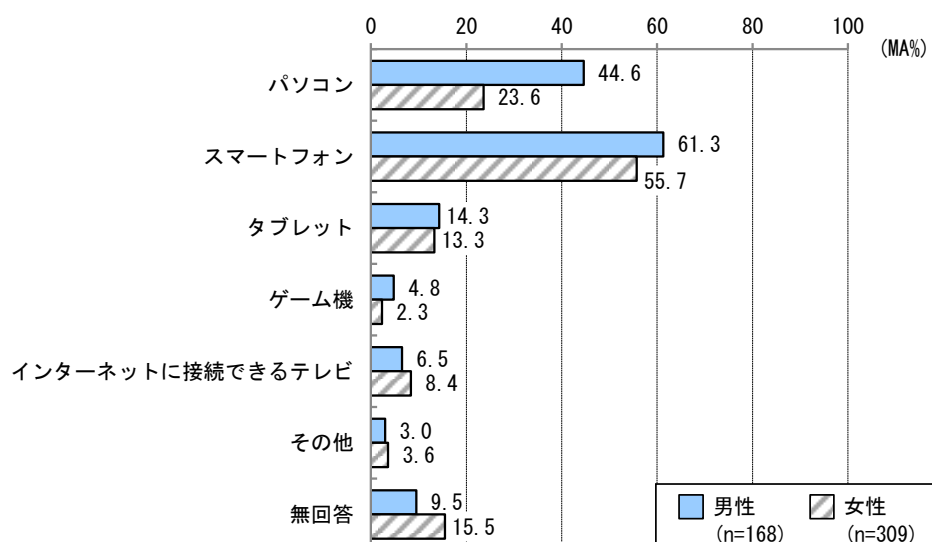
【図5-9 インターネット利用時に使用したい情報端末機器】



【性別】

男女とも「スマートフォン」が最も多く、次いで「パソコン」が多くなっています。「パソコン」の割合は男性が44.6%に対し女性が23.6%で、男性のほうが21.0ポイント高くなっています。(図5-9-1)

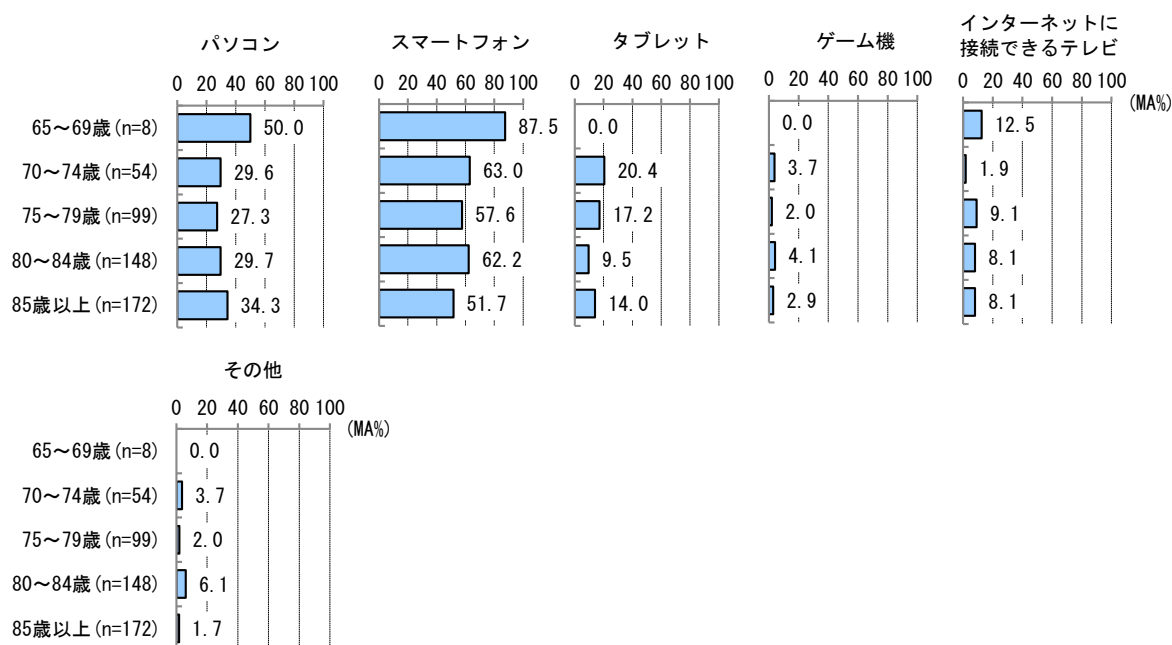
【図5-9-1 性別 インターネット利用時に使用したい情報端末機器】



【年齢別】

いずれの年代も「スマートフォン」が最も多く、次いで「パソコン」が多くなっています。(図5-9-2)

【図5-9-2 年齢別 インターネット利用時に使用したい情報端末機器】



【居住地域別】

いずれの地域も「スマートフォン」が最も多く、次いで「パソコン」が多くなっています。(表5-9-3)

【表5-9-3 居住地域別 インターネット利用時に使用したい情報端末機器】

		n	パソコン	スマートフォン	タブレット	ゲーム機	レインビに接続できるインターネット	その他	無回答
中学校区別	八尾	32	25.0	59.4	15.6	3.1	9.4	6.3	9.4
	桂	19	10.5	57.9	10.5	-	-	15.8	10.5
	上之島	38	23.7	68.4	21.1	2.6	5.3	-	15.8
	龍華	40	42.5	65.0	7.5	2.5	5.0	2.5	10.0
	亀井	25	24.0	72.0	8.0	4.0	4.0	-	20.0
	久宝寺	35	37.1	45.7	22.9	5.7	14.3	-	14.3
	志紀	21	38.1	61.9	4.8	-	9.5	-	14.3
	大正	22	22.7	54.5	9.1	9.1	-	4.5	22.7
	曙川南	50	36.0	44.0	14.0	2.0	12.0	2.0	16.0
	成法	39	28.2	61.5	20.5	-	10.3	2.6	10.3
	曙川	45	37.8	53.3	15.6	2.2	6.7	2.2	8.9
	高美	29	20.7	62.1	10.3	6.9	6.9	6.9	10.3
	高安	9	44.4	55.6	-	-	-	-	22.2
	南高安	27	40.7	51.9	14.8	3.7	3.7	11.1	7.4
圏域別	東	25	28.0	68.0	12.0	-	8.0	-	12.0
	圏域1 (八尾・桂・上之島)	89	21.3	62.9	16.9	2.2	5.6	5.6	12.4
	圏域2 (龍華・亀井・久宝寺)	100	36.0	60.0	13.0	4.0	8.0	1.0	14.0
	圏域3 (志紀・大正・曙川南)	93	33.3	50.5	10.8	3.2	8.6	2.2	17.2
	圏域4 (成法・曙川・高美)	113	30.1	58.4	15.9	2.7	8.0	3.5	9.7
	圏域5 (高安・南高安・東)	61	36.1	59.0	11.5	1.6	4.9	4.9	11.5

(10) 情報端末機器で行いたいこと

問14 (9) 【問14で「5. まったく使っていない」と回答した方のみ】

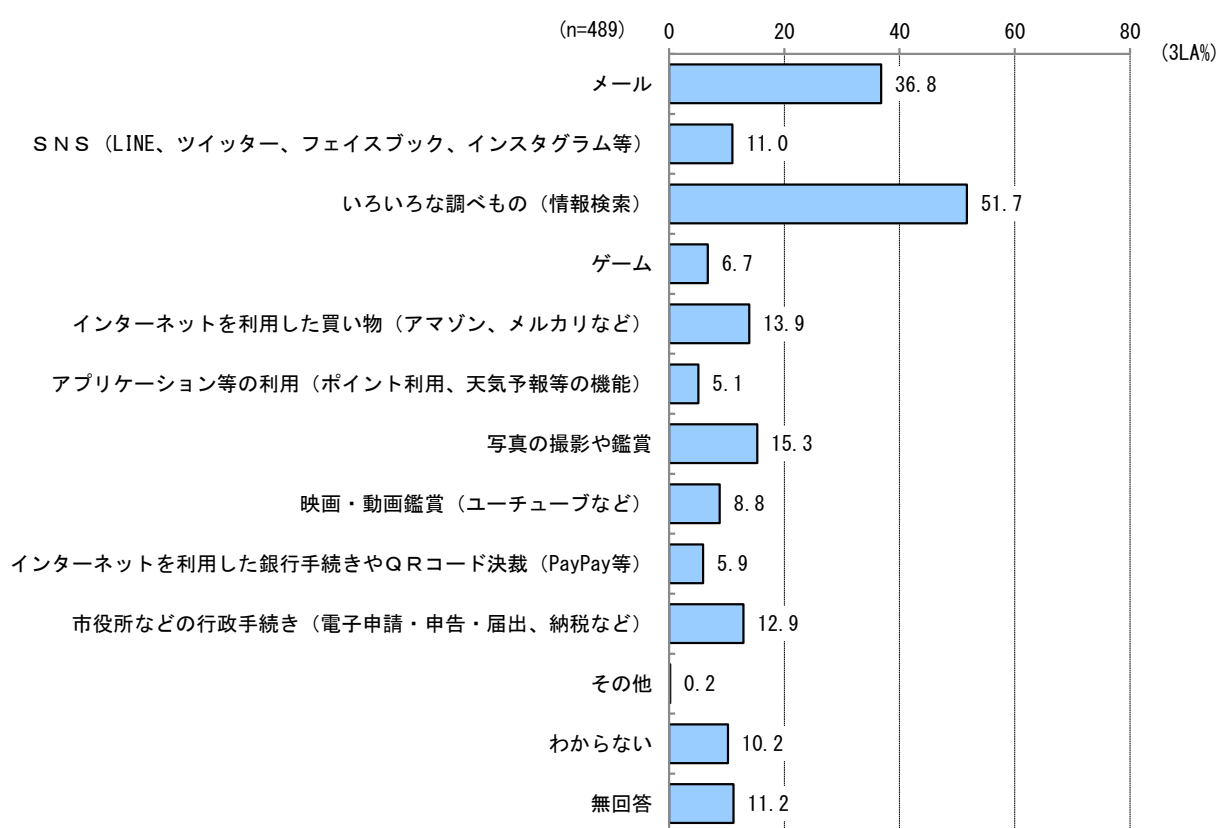
その情報端末機器を利用してどのようなことをしたいですか。(通話は除く)

(○は主に利用したいものを3つまで)

【全体】

情報端末機器で行いたいことは、「いろいろな調べもの（情報検索）」が51.7%で最も多くなっています。これに次いで「メール」が36.8%で、以下、「写真の撮影や鑑賞」(15.3%)、「インターネットを利用した買い物（アマゾン、メルカリなど）」(13.9%)、「市役所などの行政手続き（電子申請・申告・届出、納税など）」(12.9%)と続いています。(図5-10)

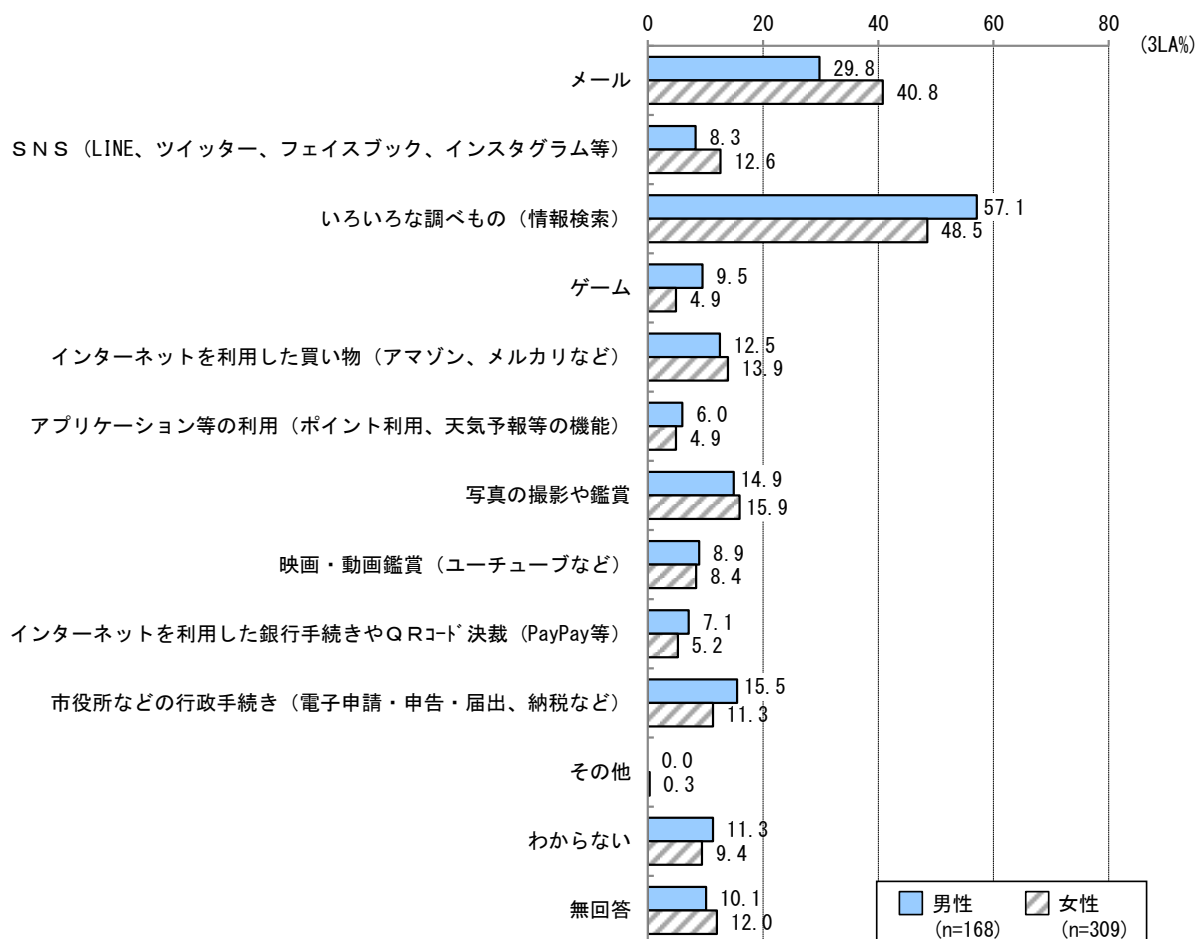
【図5-10 情報端末機器で行いたいこと】



【性別】

「いろいろな調べもの（情報検索）」の割合は男性が57.1%に対し女性は48.5%で、男性のほうが8.6ポイント高くなっています。「メール」の割合は男性が29.8%に対し女性が40.8%で、女性のほうが11.0ポイント高くなっています。（図5-10-1）

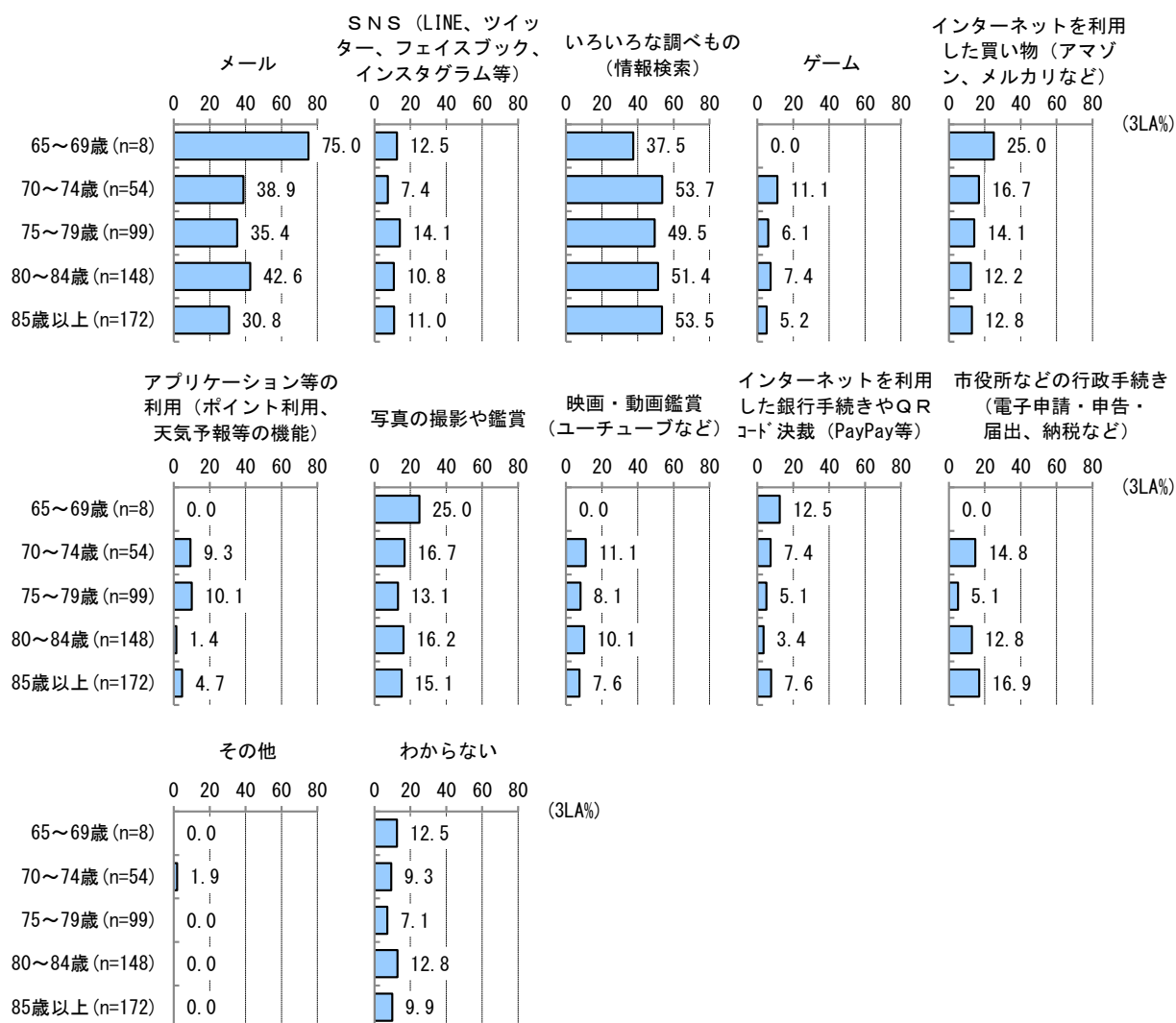
【図5-10-1 性別 情報端末機器で行いたいこと】



【年齢別】

65～69歳は「メール」が最も多く、次いで「いろいろな調べもの（情報検索）」が多くなっています。70歳以上は「いろいろな調べもの（情報検索）」が最も多く、次いで「メール」が多くなっています。（図5-10-2）

【図5-10-2 年齢別 情報端末機器で行いたいこと】



【居住地域別】

いずれの地域も「いろいろな調べもの（情報検索）」、「メール」が多くなっています。（表5-10-3）

【表5-10-3 居住地域別 情報端末機器で行いたいこと】

(3LA%)																		
		n数	メール	SNS（LINE、ツイッター、フェイスブック、インスタグラム等）	検索	いろいろな調べもの（情報）	ゲーム	買い物（アマゾン、メルカリなど）	インターネットを利用した等（機能）	アプリケーション等の利用（ポイント利用、天気予報等）	写真の撮影や鑑賞	映画・動画鑑賞（YouTubeなど）	銀行手続きやQRコード決済（PayPay等）	インターネットを利用した（電子申請・申告・届出、納税など）	市役所などの行政手続き（電子申請・申告・届出、納税など）	その他	わからない	無回答
中学校区別	八尾	32	21.9	15.6	62.5	3.1	12.5	9.4	15.6	15.6	6.3	9.4	3.1	9.4	9.4			
	桂	19	31.6	10.5	42.1	5.3	10.5	10.5	15.8	-	-	15.8	-	21.1	5.3			
	上之島	38	36.8	13.2	47.4	5.3	15.8	5.3	15.8	7.9	7.9	13.2	-	15.8	10.5			
	龍華	40	52.5	12.5	50.0	7.5	5.0	2.5	7.5	7.5	2.5	12.5	-	7.5	15.0			
	亀井	25	44.0	8.0	40.0	12.0	20.0	4.0	12.0	24.0	-	16.0	-	-	12.0			
	久宝寺	35	34.3	14.3	54.3	8.6	14.3	5.7	28.6	8.6	2.9	17.1	-	5.7	8.6			
	志紀	21	19.0	4.8	57.1	9.5	14.3	-	9.5	9.5	-	9.5	-	14.3	14.3			
	大正	22	54.5	9.1	50.0	9.1	9.1	-	36.4	4.5	4.5	4.5	-	4.5	9.1			
	曙川南	50	32.0	8.0	52.0	4.0	6.0	4.0	10.0	4.0	2.0	6.0	-	8.0	18.0			
	成法	39	30.8	12.8	56.4	7.7	20.5	7.7	15.4	7.7	5.1	15.4	-	7.7	7.7			
	曙川	45	42.2	15.6	57.8	6.7	22.2	4.4	11.1	8.9	17.8	17.8	-	6.7	8.9			
	高美	29	37.9	10.3	48.3	3.4	10.3	3.4	20.7	17.2	6.9	13.8	-	17.2	10.3			
	高安	9	22.2	-	33.3	-	-	11.1	-	-	11.1	11.1	-	11.1	44.4			
南高安	27	29.6	3.7	48.1	7.4	14.8	-	22.2	3.7	11.1	18.5	-	22.2	7.4				
東	25	44.0	16.0	64.0	12.0	20.0	16.0	16.0	8.0	8.0	-	-	8.0	4.0				
圏域別	圏域1（八尾・桂・上之島）	89	30.3	13.5	51.7	4.5	13.5	7.9	15.7	9.0	5.6	12.4	1.1	14.6	9.0			
	圏域2（龍華・亀井・久宝寺）	100	44.0	12.0	49.0	9.0	12.0	4.0	16.0	12.0	2.0	15.0	-	5.0	12.0			
	圏域3（志紀・大正・曙川南）	93	34.4	7.5	52.7	6.5	8.6	2.2	16.1	5.4	2.2	6.5	-	8.6	15.1			
	圏域4（成法・曙川・高美）	113	37.2	13.3	54.9	6.2	18.6	5.3	15.0	10.6	10.6	15.9	-	9.7	8.8			
	圏域5（高安・南高安・東）	61	34.4	8.2	52.5	8.2	14.8	8.2	16.4	4.9	9.8	9.8	-	14.8	11.5			

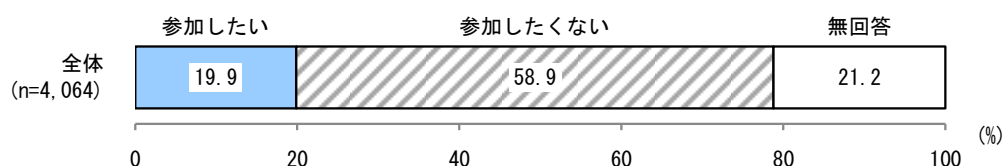
(11) 情報端末機器の利用方法などを学べる教室への参加意向

問15 パソコンやスマートフォン等の情報端末機器の利用方法などを学べる教室があれば参加したいですか。(○は1つ)

【全体】

情報端末機器の利用方法などを学べる教室に「参加したい」が19.9%に対し「参加したくない」は58.9%となっています。(図5-11)

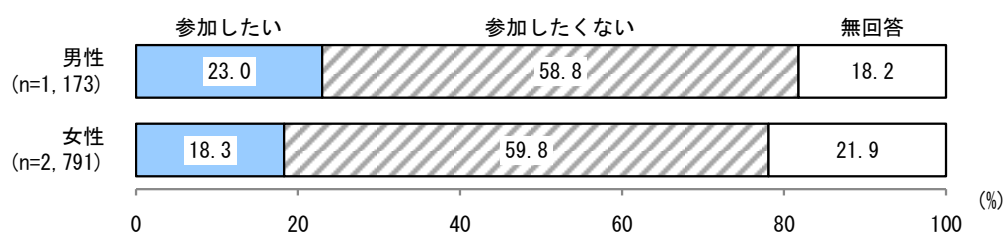
【図5-11 情報端末機器の利用方法などを学べる教室への参加意向】



【性別】

情報端末機器の利用方法などを学べる教室に「参加したい」割合は男性が23.0%に対し女性が18.3%で、男性のほうが4.7ポイント高くなっています。(図5-11-1)

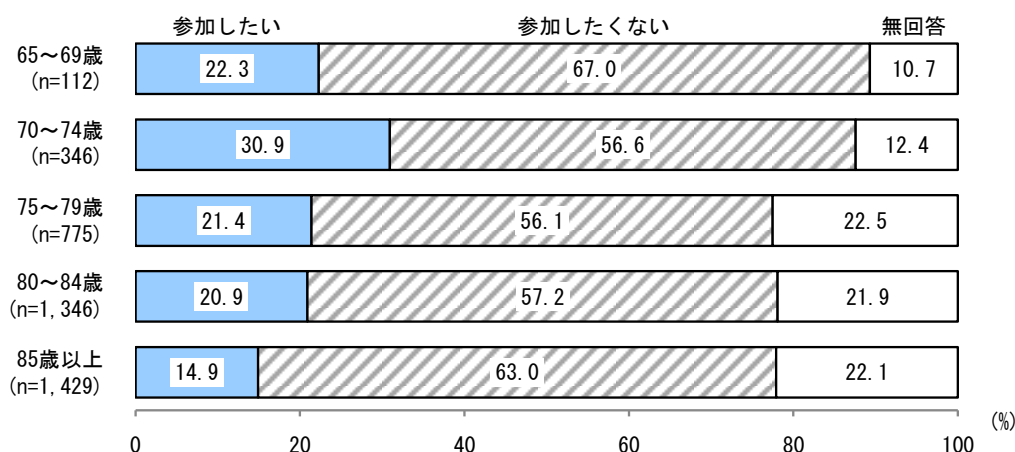
【図5-11-1 性別 情報端末機器の利用方法などを学べる教室への参加意向】



【年齢別】

情報端末機器の利用方法などを学べる教室に「参加したい」割合は70～74歳が30.9%で最も高くなっています。(図5-11-2)

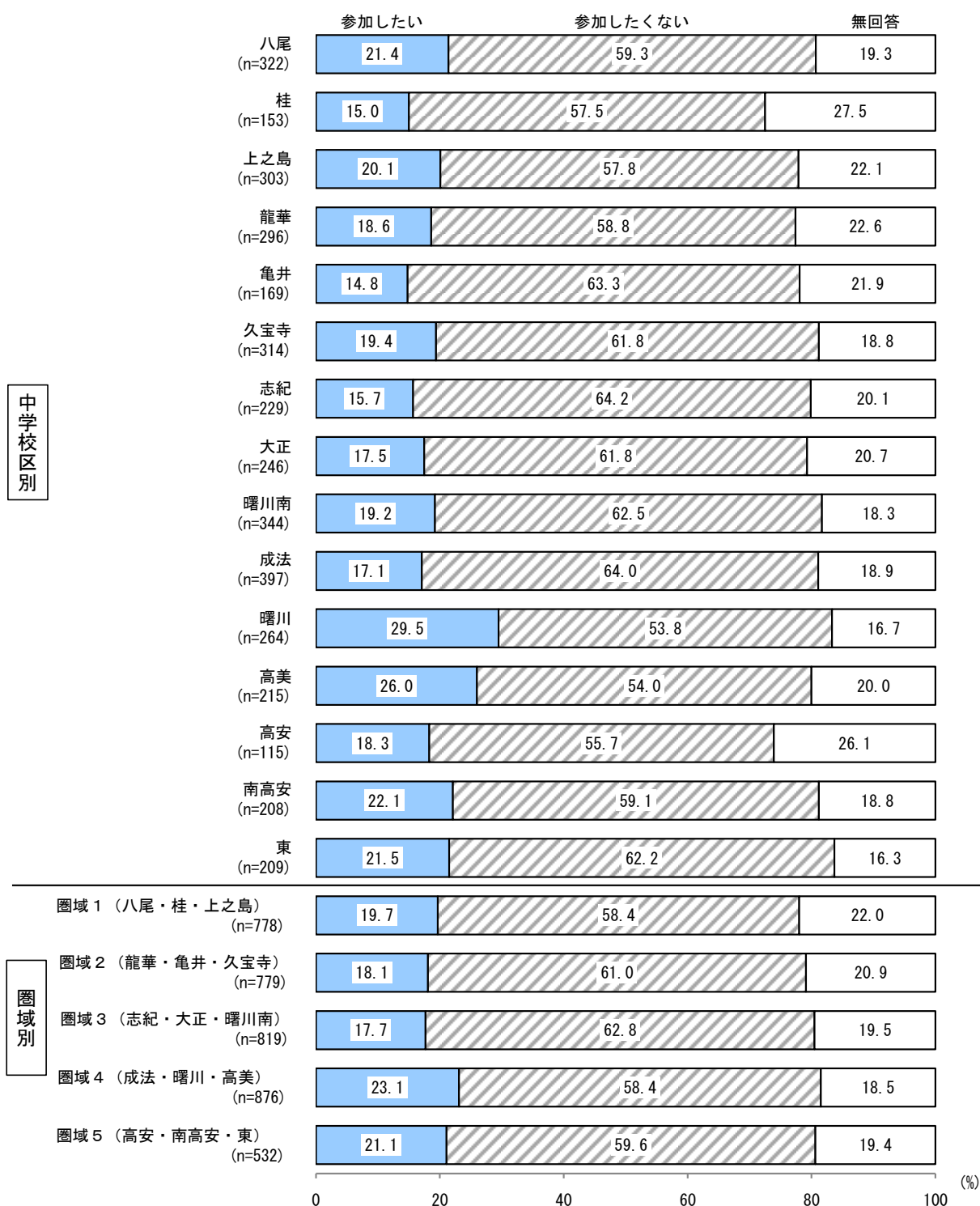
【図5-11-2 年齢別 情報端末機器の利用方法などを学べる教室への参加意向】



【居住地域別】

中学校区別でみると、情報端末機器の利用方法などを学べる教室に「参加したい」割合は、曙川で29.5%と最も高く、次いで高美が26.0%となっています。（図5-11-3）

【図5-11-3 居住地域別 情報端末機器の利用方法などを学べる教室への参加意向】



(12) 参加したい教室の内容

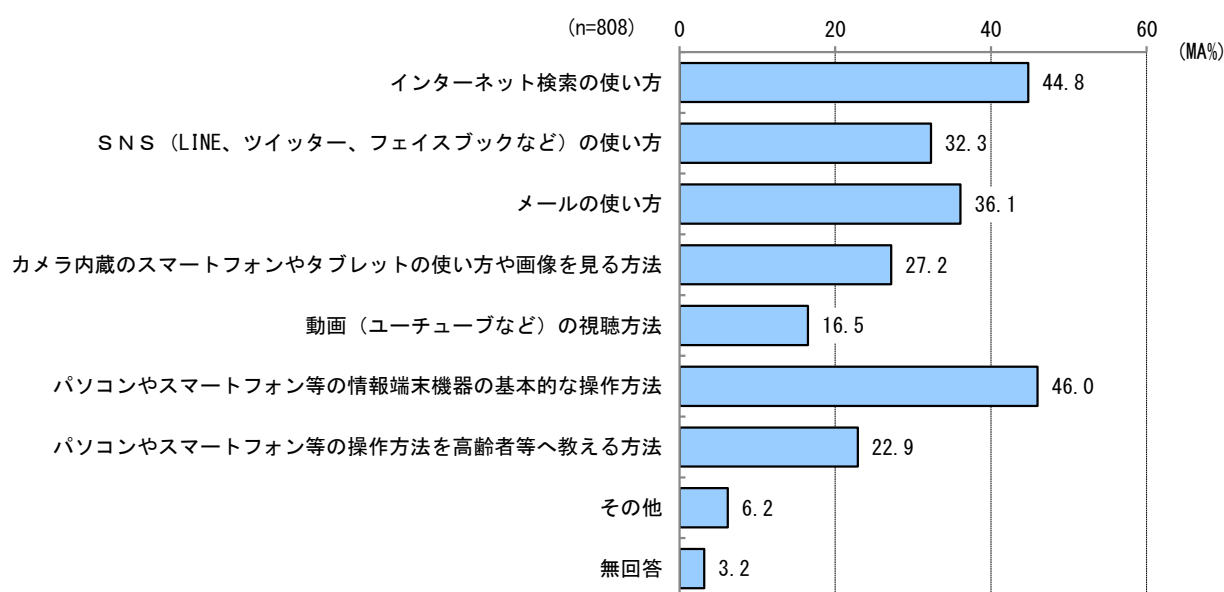
問15 (1) 問15で「1. 参加したい」と回答した方にうかがいます。

どのような内容の教室に参加したいですか。(〇はいくつでも)

【全体】

参加したい教室の内容は、「パソコンやスマートフォン等の情報端末機器の基本的な操作方法」が46.0%で最も多くなっています。これに次いで「インターネット検索の使い方」が44.8%で、以下、「メールの使い方」(36.1%)、「SNS (LINE、ツイッター、フェイスブックなど) の使い方」(32.3%)、「カメラ内蔵のスマートフォンやタブレットの使い方や画像を見る方法」(27.2%) となっています。(図5-12)

【図5-12 参加したい教室の内容】

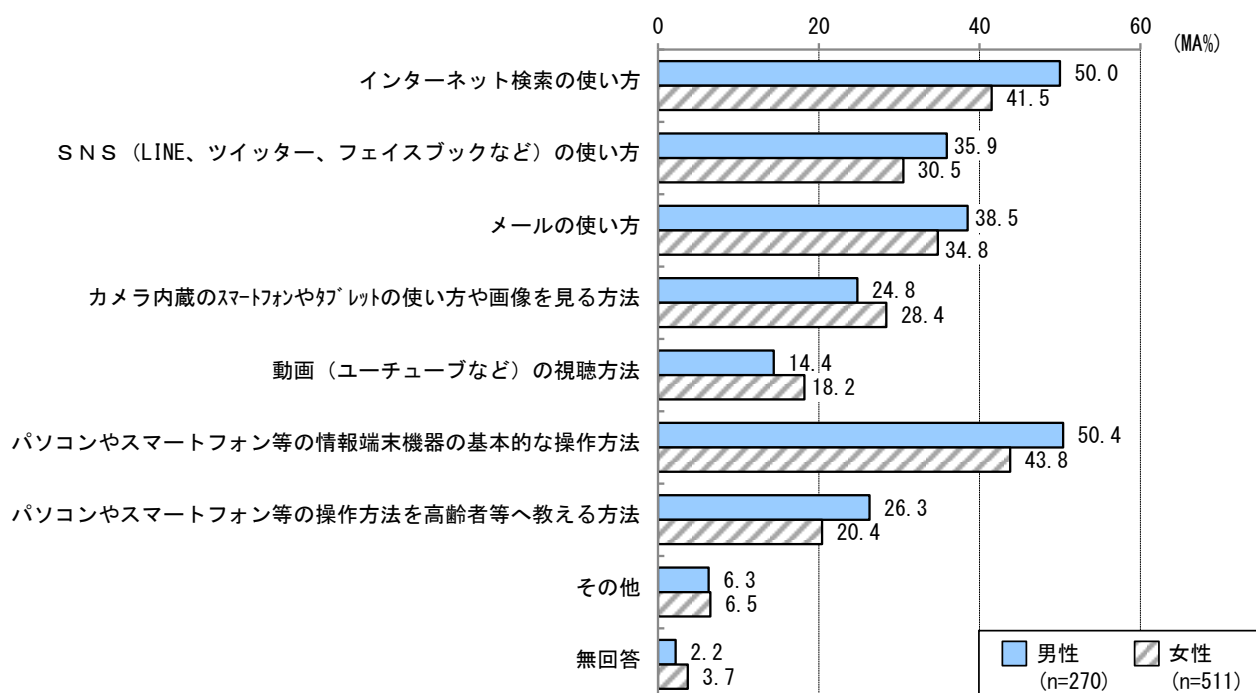


【性別】

男女とも「パソコンやスマートフォン等の情報端末機器の基本的な操作方法」が最も多く、男性は50.4%、女性は43.8%で、男性のほうが6.6ポイント高い割合となっています。（図5-12-1）

これに次いで男女とも「インターネット検索の使い方」で、男性は50.0%、女性は41.5%と男性のほうが8.5ポイント高くなっています。（図5-12-1）

【図5-12-1 性別 参加したい教室の内容】

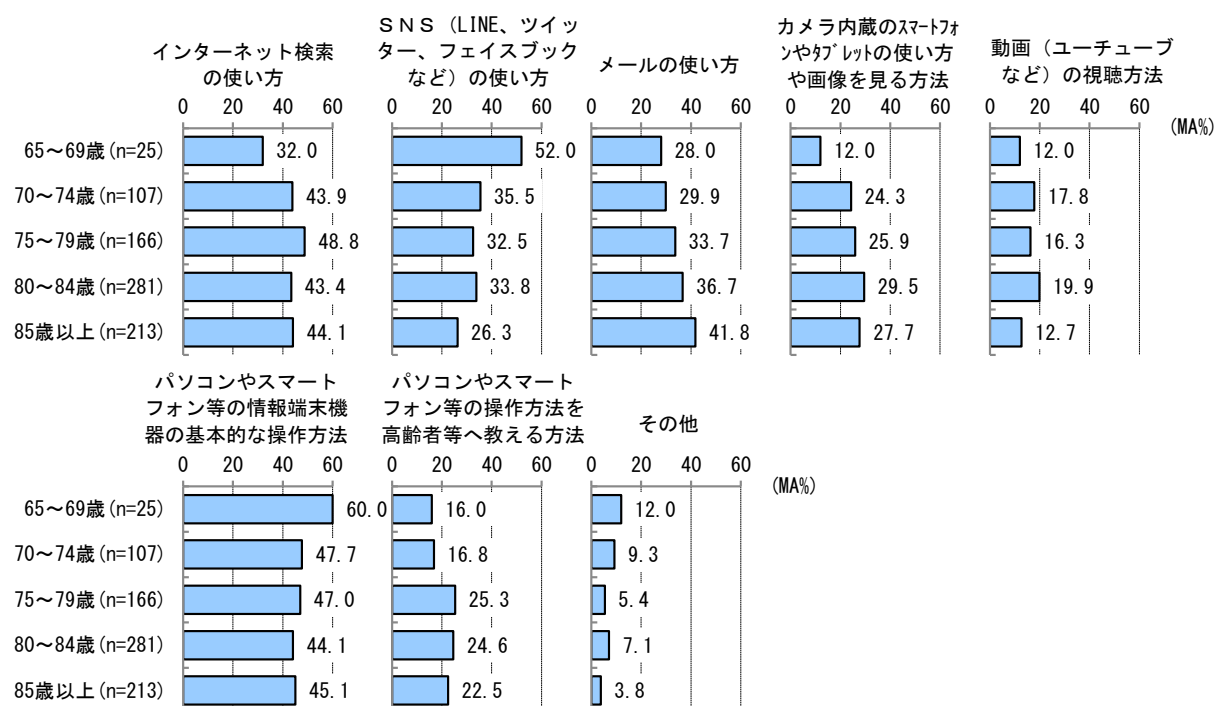


【年齢別】

65～69歳は「パソコンやスマートフォン等の情報端末機器の基本的な操作方法」が最も多く、次いで「SNS（LINE、ツイッター、フェイスブックなど）の使い方」が多くなっています。70～74歳と80歳以上は「パソコンやスマートフォン等の情報端末機器の基本的な操作方法」が最も多く、次いで「インターネット検索の使い方」が多くなっています。（図5-12-2）

75～79歳は「インターネット検索の使い方」が最も多く、次いで「パソコンやスマートフォン等の情報端末機器の基本的な操作方法」が多くなっています。（図5-12-2）

【図5-12-2 年齢別 参加したい教室の内容】



【居住地域別】

圏域別では、いずれの地域も「パソコンやスマートフォン等の情報端末機器の基本的な操作方法」や「インターネット検索の使い方」が多くなっています。(表5-12-3)

【表5-12-3 居住地域別 参加したい教室の内容】

(MA%)													
		n 数	方 イン ター ネッ ト 検 索 の 使 い	ど タ ー 、 フ ィ ー ス ブ ッ ク な イ ッ	メ ー ル の 使 い 方	画 像 を 見 る 方 法	カ メ ラ 内 蔵 の ス マ ー ト フ ォ ン や タ ブ レ ッ ト の 使 い 方 や	動 画 （ ユ ー チ ュ ー ブ な ど ） の 視 聴 方 法	等 の 情 報 端 末 機 器 の 基 本 的 な 操 作 方 法	教 え る 方 法	パ ソ コ ン や ス マ ー ト フ ォ ン の 操 作 方 法 を 高 齢 者 等 へ	そ の 他	無 回 答
中 学 校 区 別	八尾	69	46.4	36.2	34.8	26.1	24.6	46.4	26.1	7.2	—		
	桂	23	43.5	52.2	52.2	34.8	17.4	52.2	26.1	4.3	—		
	上之島	61	44.3	42.6	41.0	29.5	9.8	59.0	14.8	3.3	3.3		
	龍華	55	49.1	29.1	29.1	25.5	14.5	27.3	18.2	7.3	3.6		
	亀井	25	32.0	24.0	44.0	28.0	12.0	68.0	24.0	—	4.0		
	久宝寺	61	54.1	24.6	34.4	19.7	27.9	52.5	29.5	1.6	1.6		
	志紀	36	52.8	19.4	36.1	25.0	5.6	36.1	11.1	5.6	2.8		
	大正	43	44.2	30.2	39.5	25.6	14.0	48.8	16.3	7.0	2.3		
	曙川南	66	50.0	28.8	43.9	33.3	10.6	43.9	22.7	4.5	3.0		
	成法	68	44.1	29.4	26.5	35.3	23.5	48.5	22.1	8.8	1.5		
	曙川	78	38.5	38.5	29.5	23.1	12.8	55.1	21.8	7.7	2.6		
	高美	56	41.1	21.4	28.6	30.4	21.4	23.2	26.8	10.7	5.4		
	高安	21	38.1	57.1	23.8	23.8	14.3	42.9	33.3	—	9.5		
	南高安	46	39.1	26.1	39.1	15.2	13.0	47.8	15.2	6.5	6.5		
	東	45	37.8	37.8	48.9	37.8	22.2	42.2	33.3	11.1	—		
圏 域 別	圏域1（八尾・桂・上之島）	153	45.1	41.2	39.9	28.8	17.6	52.3	21.6	5.2	1.3		
	圏域2（龍華・亀井・久宝寺）	141	48.2	26.2	34.0	23.4	19.9	45.4	24.1	3.5	2.8		
	圏域3（志紀・大正・曙川南）	145	49.0	26.9	40.7	29.0	10.3	43.4	17.9	5.5	2.8		
	圏域4（成法・曙川・高美）	202	41.1	30.7	28.2	29.2	18.8	44.1	23.3	8.9	3.0		
	圏域5（高安・南高安・東）	112	38.4	36.6	40.2	25.9	17.0	44.6	25.9	7.1	4.5		

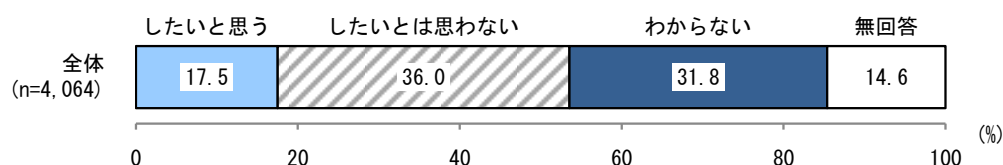
(13) 情報端末機器で動画を見ながら自宅で介護予防への取り組み意向

問16 パソコンやスマートフォン等の情報端末機器で動画を見ながら自宅で介護予防の取り組みがしたいですか。

【全体】

情報端末機器で動画を見ながら自宅で介護予防に取り組むことを「したいと思う」が17.5%に対し、「したいとは思わない」が36.0%となっています。(図5-13)

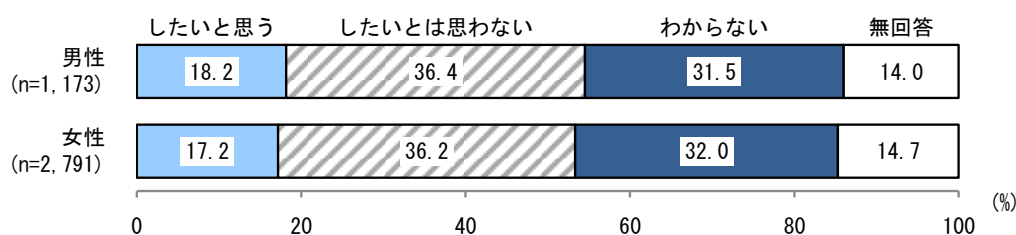
【図5-13 情報端末機器で動画を見ながら自宅で介護予防に取り組む意向】



【性別】

情報端末機器で動画を見ながら自宅で介護予防に取り組むことを「したいと思う」は男性が18.2%、女性が17.2%、「したいとは思わない」は男性が36.4%、女性が36.2%となっており、男女で大きな違いはみられません。(図5-13-1)

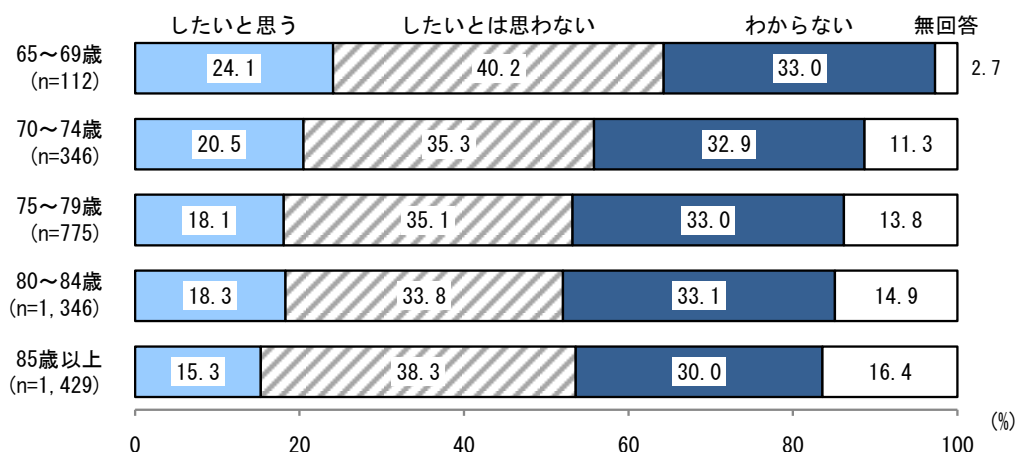
【図5-13-1 性別 情報端末機器で動画を見ながら自宅で介護予防に取り組む意向】



【年齢別】

いずれの年代も、情報端末機器で動画を見ながら自宅で介護予防に取り組むことを「したいと思う」に比べ「したいとは思わない」のほうが多くなっています。(図5-13-2)

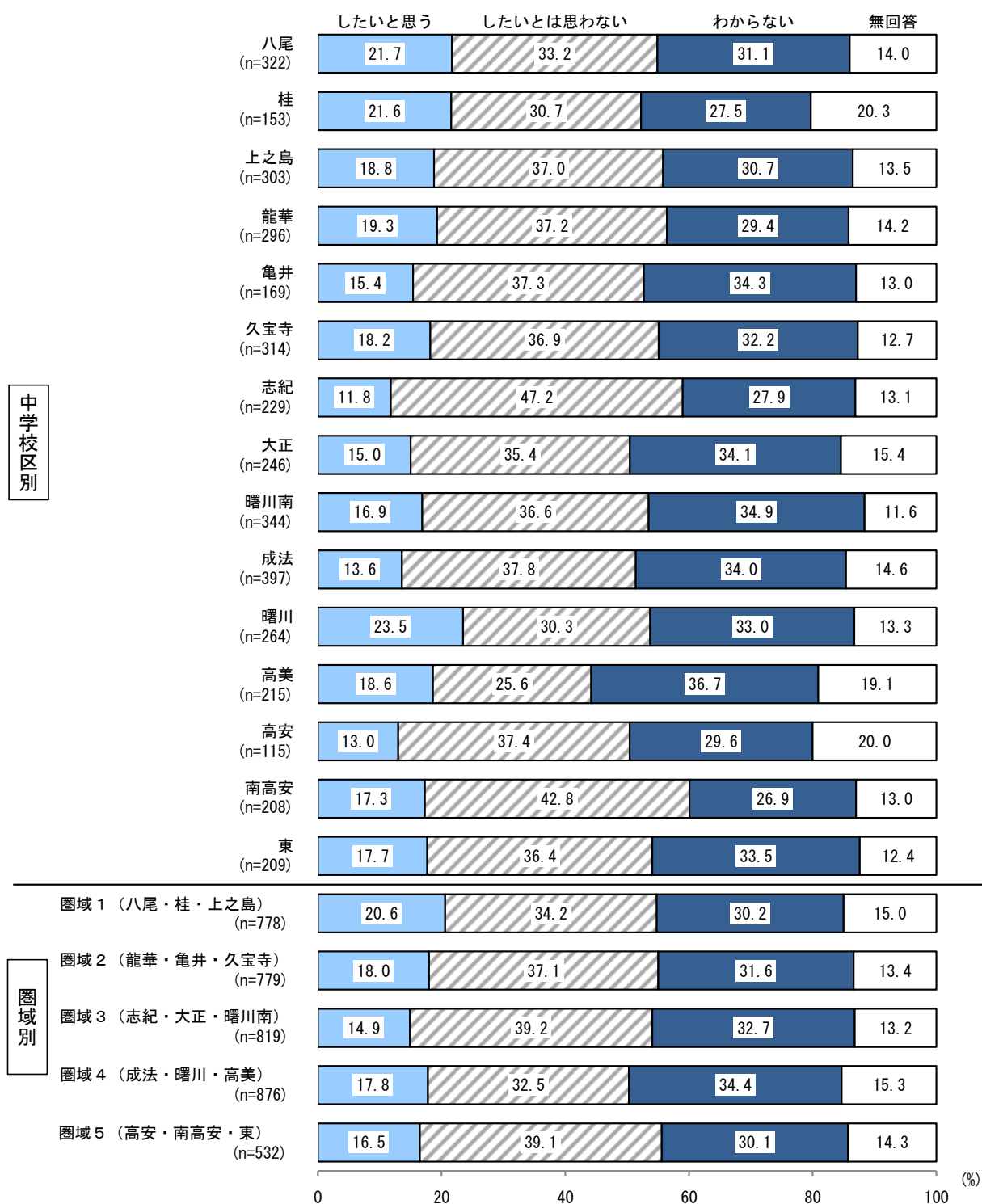
【図5-13-2 年齢別 情報端末機器で動画を見ながら自宅で介護予防に取り組む意向】



【居住地域別】

中学校区別では、情報端末機器で動画を見ながら自宅で介護予防に取り組むことを「したいと思う」割合は、曙川で23.5%と最も高くなっています。逆に「したいとは思わない」割合は、志紀で47.2%と最も高くなっています。(図5-13-3)

【図5-13-3 居住地域別 情報端末機器で動画を見ながら自宅で介護予防に取り組む意向】



(14) 取り組みたい介護予防の内容

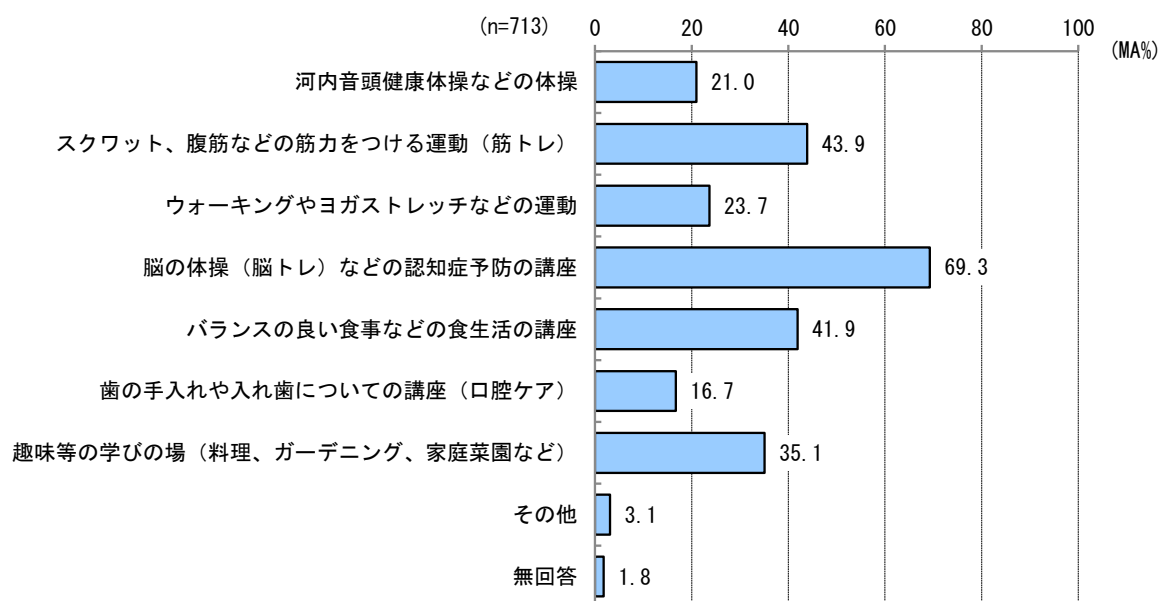
問16 (1) 問16で「1. したいと思う」と回答した方にうかがいます。

どのような内容の介護予防の取り組みをしたいですか。(○はいくつでも)

【全体】

取り組みたい介護予防の内容は、「脳の体操（脳トレ）などの認知症予防の講座」が69.3%で最も多くなっています。これに次いで「スクワット、腹筋などの筋力をつける運動（筋トレ）」が43.9%で、以下、「バランスの良い食事などの食生活の講座」（41.9%）、「趣味等の学びの場（料理、ガーデニング、家庭菜園など）」（35.1%）などが続いています。（図5-14）

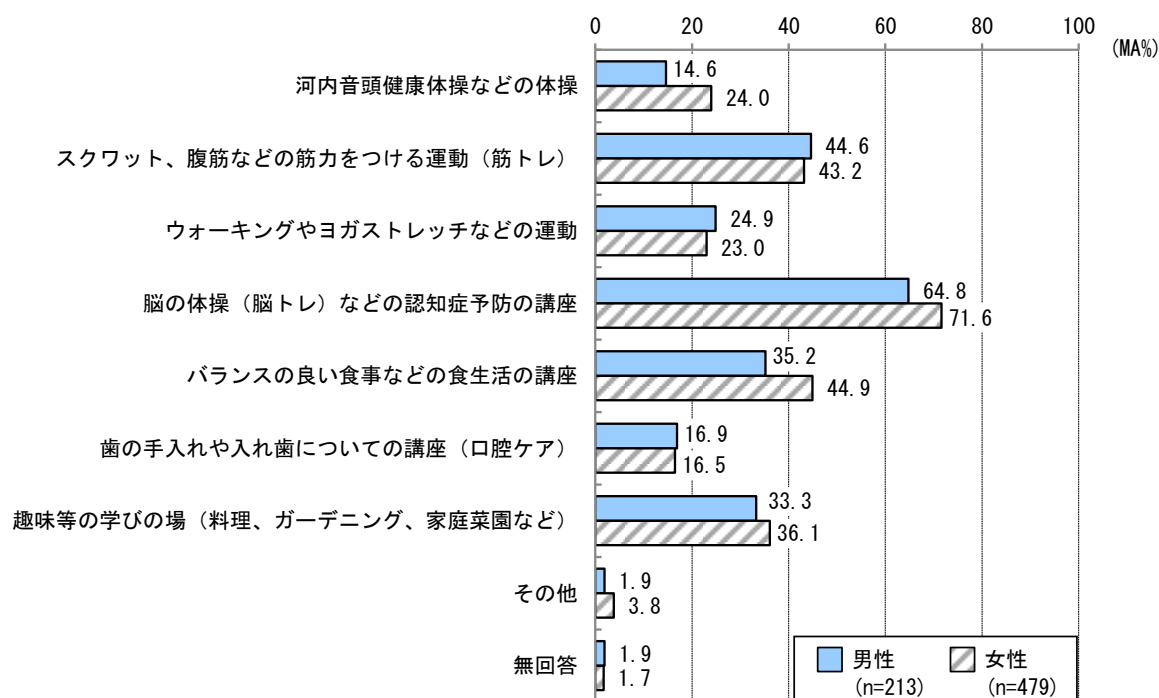
【図5-14 取り組みたい介護予防の内容】



【性別】

男女とも「脳の体操（脳トレ）などの認知症予防の講座」が最も多く、男性は64.8%、女性は71.6%で、女性のほうが6.8ポイント高い割合となっています。次いで男性は「スクワット、腹筋などの筋力をつける運動（筋トレ）」（44.6%）が、女性は「バランスの良い食事などの食生活の講座」（44.9%）がそれぞれ多くなっています。「バランスの良い食事などの食生活の講座」の割合は女性のほうが9.7ポイント高くなっています。（図5-14-1）

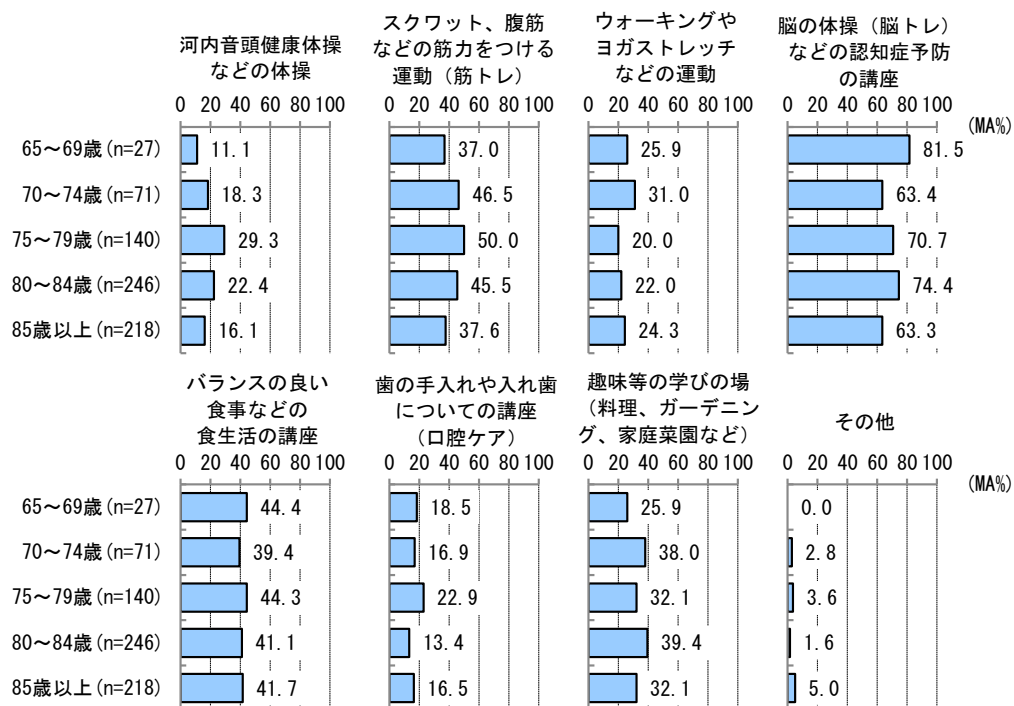
【図5-14-1 性別 取り組みたい介護予防の内容】



【年齢別】

いずれの年代も「脳の体操（脳トレ）などの認知症予防の講座」が最も多くなっています。次いで65～69歳と85歳以上は「バランスの良い食事などの食生活の講座」が多く、70～74歳は「スクワット、腹筋などの筋力をつける運動（筋トレ）」が多く、75～79歳は「ウォーキングやヨガストレッチなどの運動」が多く、80～84歳は「スクワット、腹筋などの筋力をつける運動（筋トレ）」が多くなっています。（図5-14-2）

【図5-14-2 年齢別 取り組みたい介護予防の内容】



【居住地域別】

圏域別では、「脳の体操（脳トレ）などの認知症予防の講座」の割合は、圏域5（高安・南高安・東）で76.1%と最も高くなっています。（表5-14-3）

【表5-14-3 居住地域別 取り組みたい介護予防の内容】

		n 数	河内音頭健康体操などの 体操	スクワット、腹筋などの 筋力をつける運動（筋トレ）	ウォーキングやヨガ、ス トレッチなどの運動	脳の体操（脳トレ）など の認知症予防の講座	バランスの良い食事など の食生活の講座	歯の手入れや入れ歯につ いての講座（口腔ケア）	趣味等の学びの場（料 理、ガーデニング、家庭 菜園など）	その他	(MA%)
											無回 答
中 学 校 区 別	八尾	70	20.0	37.1	17.1	65.7	42.9	11.4	41.4	1.4	2.9
	桂	33	15.2	36.4	27.3	69.7	48.5	21.2	24.2	-	6.1
	上之島	57	21.1	49.1	28.1	70.2	35.1	17.5	31.6	1.8	-
	龍華	57	26.3	57.9	24.6	68.4	31.6	12.3	35.1	3.5	1.8
	亀井	26	15.4	38.5	30.8	53.8	42.3	19.2	30.8	-	-
	久宝寺	57	17.5	38.6	26.3	80.7	45.6	17.5	36.8	3.5	3.5
	志紀	27	22.2	37.0	18.5	74.1	33.3	11.1	40.7	-	-
	大正	37	18.9	45.9	18.9	75.7	43.2	10.8	24.3	-	-
	曙川南	58	22.4	46.6	24.1	65.5	44.8	17.2	31.0	5.2	-
	成法	54	37.0	51.9	31.5	74.1	37.0	13.0	24.1	7.4	3.7
	曙川	62	17.7	41.9	21.0	67.7	50.0	19.4	50.0	3.2	1.6
	高美	40	20.0	40.0	20.0	57.5	47.5	15.0	37.5	5.0	2.5
	高安	15	33.3	60.0	53.3	73.3	40.0	33.3	60.0	-	-
	南高安	36	27.8	47.2	19.4	72.2	36.1	19.4	44.4	2.8	-
東	37	8.1	43.2	13.5	81.1	48.6	18.9	35.1	5.4	-	
圏 域 別	圏域1（八尾・桂・上之島）	160	19.4	41.3	23.1	68.1	41.3	15.6	34.4	1.3	2.5
	圏域2（龍華・亀井・久宝寺）	140	20.7	46.4	26.4	70.7	39.3	15.7	35.0	2.9	2.1
	圏域3（志紀・大正・曙川南）	122	21.3	44.3	21.3	70.5	41.8	13.9	31.1	2.5	-
	圏域4（成法・曙川・高美）	156	25.0	44.9	24.4	67.3	44.9	16.0	37.8	5.1	2.6
	圏域5（高安・南高安・東）	88	20.5	47.7	22.7	76.1	42.0	21.6	43.2	3.4	-

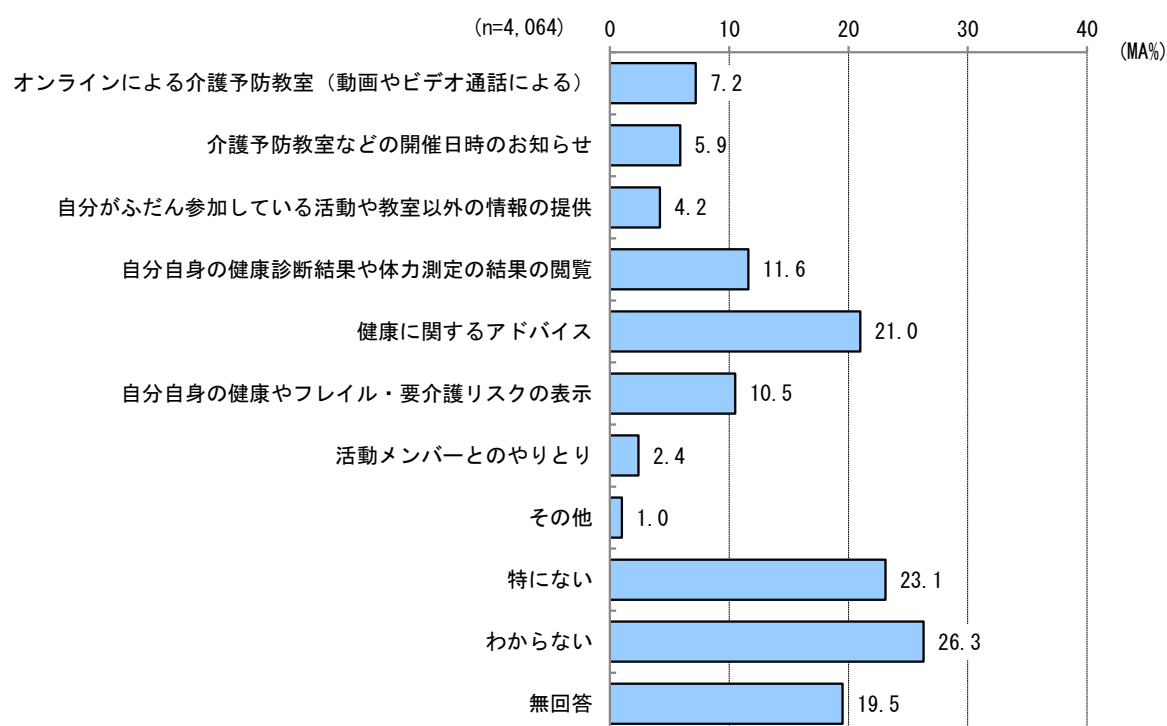
(15) 情報端末機器を活用した介護予防事業サービスで希望する機能

問17 パソコンやスマートフォン等の情報端末機器を活用した介護予防事業のサービスとしてどのような機能があればよいと思いますか。(〇はいくつでも)

【全体】

情報端末機器を活用した介護予防事業サービスで希望する機能は、「健康に関するアドバイス」が21.0%で最も多くなっています。以下、「自分自身の健康診断結果や体力測定の結果の閲覧」が11.6%、「自分自身の健康やフレイル・要介護リスクの表示」が10.5%となっています。(図5-15)

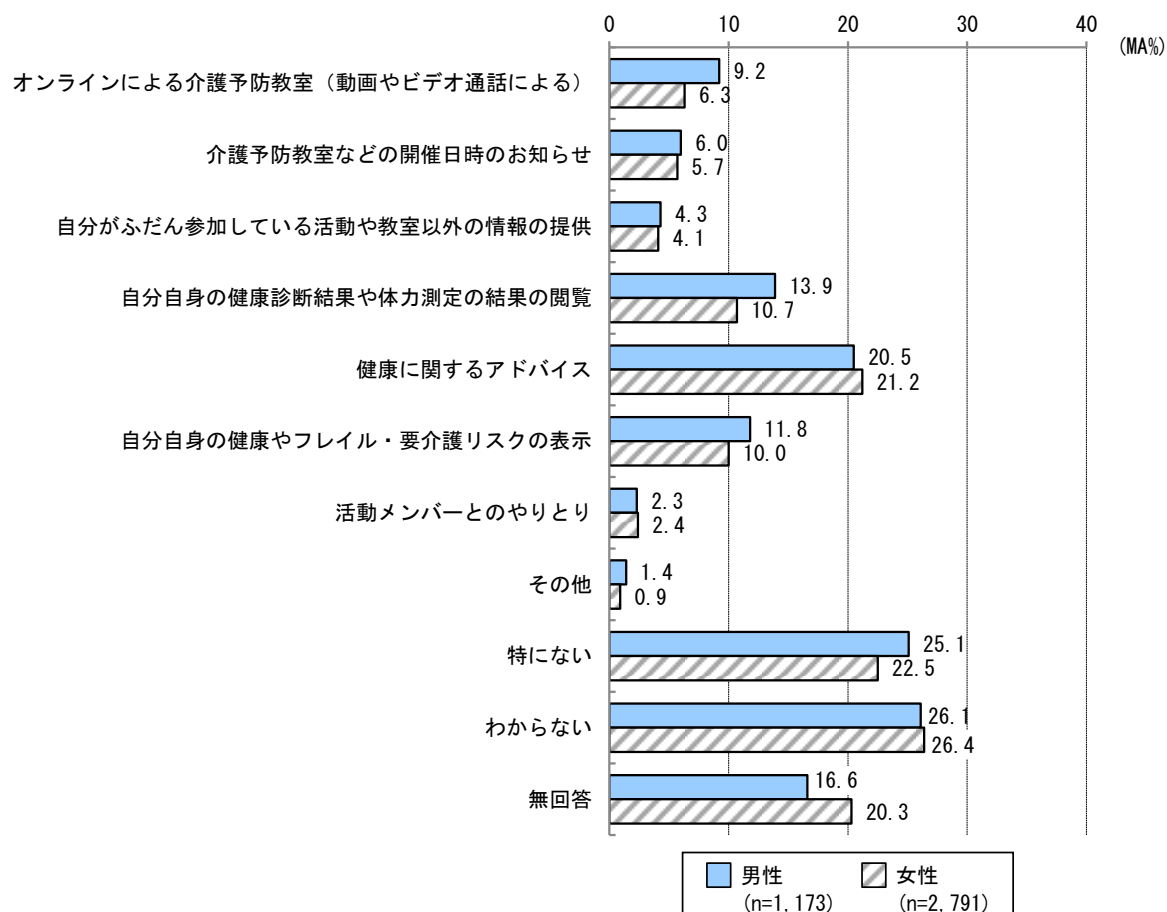
【図5-15 情報端末機器を活用した介護予防事業サービスで希望する機能】



【性別】

男女とも「健康に関するアドバイス」（男性：20.5%、女性21.2%）が最も多く、次いで「自分自身の健康診断結果や体力測定の結果の閲覧」（男性：13.9%、女性：10.7%）、「自分自身の健康やフレイル・要介護リスクの表示」（男性：11.8%、女性：10.0%）が多くなっています。（図5-15-1）

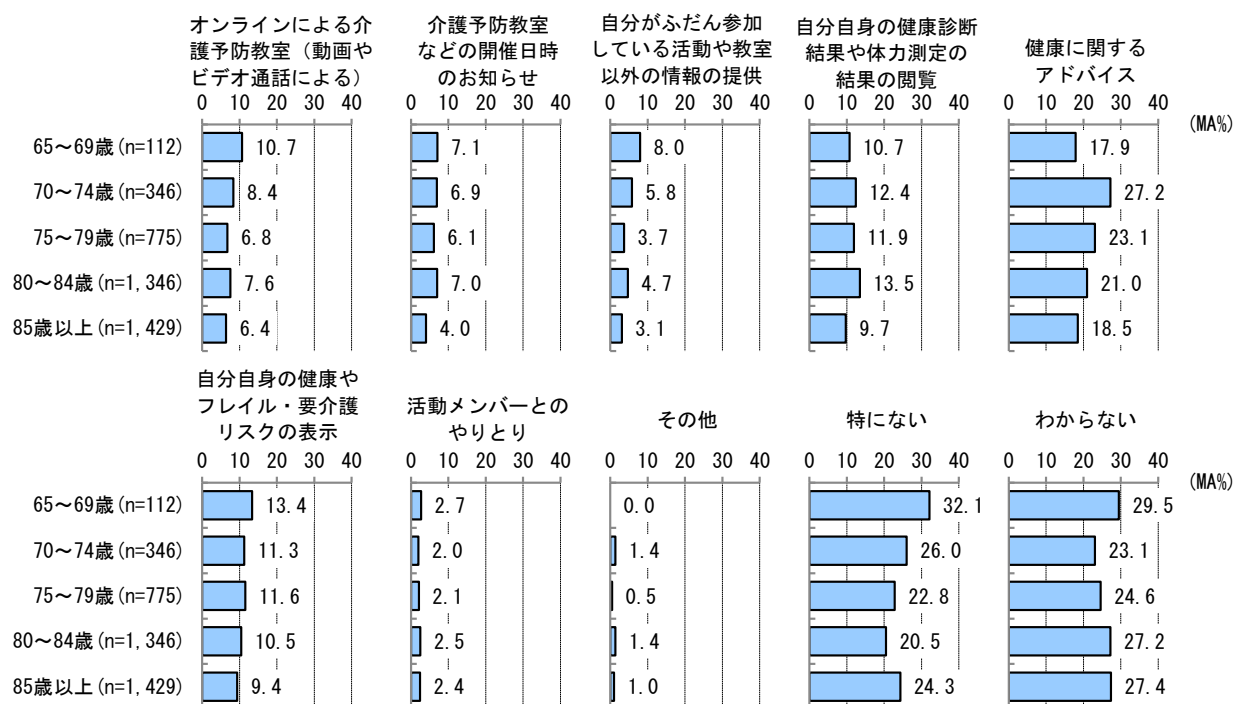
【図5-15-1 性別 情報端末機器を活用した介護予防事業サービスで希望する機能】



【年齢別】

いずれの年代も「健康に関するアドバイス」が最も多く、70～74歳が27.2%で最も高い割合となっています。次いで、65～69歳は「自分自身の健康やフレイル・要介護リスクの表示」が多く、70歳以上は「自分自身の健康診断結果や体力測定の結果の閲覧」が多くなっています。(図5-15-2)

【図5-15-2 年齢別 情報端末機器を活用した介護予防事業サービスで希望する機能】



【居住地域別】

圏域別では、「健康に関するアドバイス」は、圏域2（龍華・亀井・久宝寺）で23.9%と最も高い割合となっています。（表5-15-3）

【表5-15-3 居住地域別 情報端末機器を活用した介護予防事業サービスで希望する機能】

(MA%)													
		n 数	話防オ に教室 による (動画に よる介 護予 通予)	日介 時の お知ら せ	の自 提活 供動 が や ふ 教 室 に 参 加 し て 報 い	や自 分自 身測 定の 健康 診断 結果 の結 果	健康 に関 する アド バイ ス	ル自 分自 身の 健康 やフ レシ ユ	り活 動メ ンバ ーと のや りと	そ 他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
中 学 校 区 別	八尾	322	5.0	7.1	3.1	12.7	21.1	10.6	2.5	1.2	20.5	27.3	20.8
	桂	153	8.5	7.2	2.6	9.2	17.6	9.2	2.6	1.3	22.9	29.4	20.9
	上之島	303	5.9	5.3	5.0	16.5	19.8	11.9	1.7	1.0	24.4	26.7	14.9
	龍華	296	5.1	5.1	4.4	11.1	23.6	11.1	2.0	0.7	24.0	28.7	16.2
	亀井	169	9.5	4.7	3.0	12.4	20.7	10.1	3.0	1.2	21.9	32.0	16.6
	久宝寺	314	8.3	5.4	4.1	11.8	25.8	13.4	3.2	1.6	23.9	22.6	17.8
	志紀	229	5.2	3.9	3.5	9.2	19.7	10.0	1.7	1.3	27.1	24.9	19.2
	大正	246	6.9	4.1	5.3	9.8	19.5	10.2	3.3	0.8	19.1	31.3	19.5
	曙川南	344	7.3	5.8	4.7	10.2	19.8	11.3	2.0	0.9	23.3	25.0	20.9
	成法	397	8.1	6.0	4.5	10.3	19.6	9.1	2.3	1.3	25.9	23.4	19.9
	曙川	264	10.2	8.0	3.4	9.1	22.7	10.6	2.3	1.1	20.1	28.4	17.0
	高美	215	8.4	6.5	2.8	13.5	22.8	11.6	0.9	0.5	20.9	27.4	21.9
	高安	115	10.4	7.0	3.5	12.2	21.7	9.6	1.7	-	20.0	27.0	24.3
	南高安	208	7.7	4.8	6.3	15.4	21.6	10.6	2.4	0.5	23.1	26.9	18.3
東	209	7.2	4.8	5.7	11.5	20.1	9.1	4.3	1.4	24.9	21.1	20.1	
圏 域 別	圏域 1（八尾・桂・上之島）	778	6.0	6.4	3.7	13.5	19.9	10.8	2.2	1.2	22.5	27.5	18.5
	圏域 2（龍華・亀井・久宝寺）	779	7.3	5.1	4.0	11.7	23.9	11.8	2.7	1.2	23.5	27.0	16.9
	圏域 3（志紀・大正・曙川南）	819	6.6	4.8	4.5	9.8	19.7	10.6	2.3	1.0	23.1	26.9	20.0
	圏域 4（成法・曙川・高美）	876	8.8	6.7	3.8	10.7	21.3	10.2	1.9	1.0	22.9	25.9	19.5
	圏域 5（高安・南高安・東）	532	8.1	5.3	5.5	13.2	21.1	9.8	3.0	0.8	23.1	24.6	20.3

6. 日常生活の困りごとや相談したいことについて

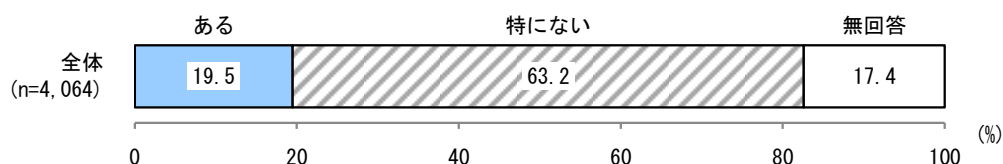
(1) 日常生活を送るうえでの困りごとや相談等の有無

問18 日常生活を送るうえで何か困りごとや相談等がありますか。

【全体】

日常生活を送るうえでの困りごとや相談等が「ある」との回答が19.5%で、「特にない」は63.2%となっています。(図6-1)

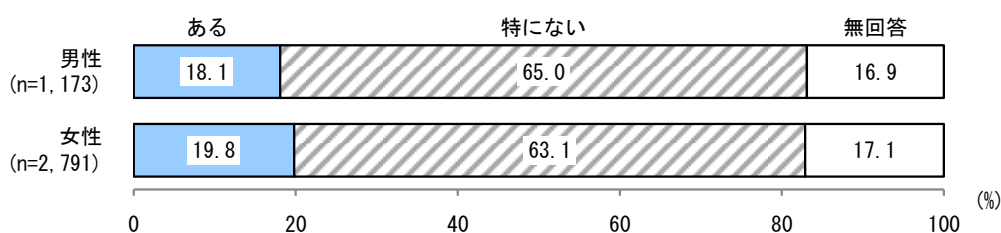
【図6-1 日常生活を送るうえでの困りごとや相談等の有無】



【性別】

困りごとや相談等が「ある」割合は、男性が18.1%、女性が19.8%で、男女で大きな違いはみられません。(図6-1-1)

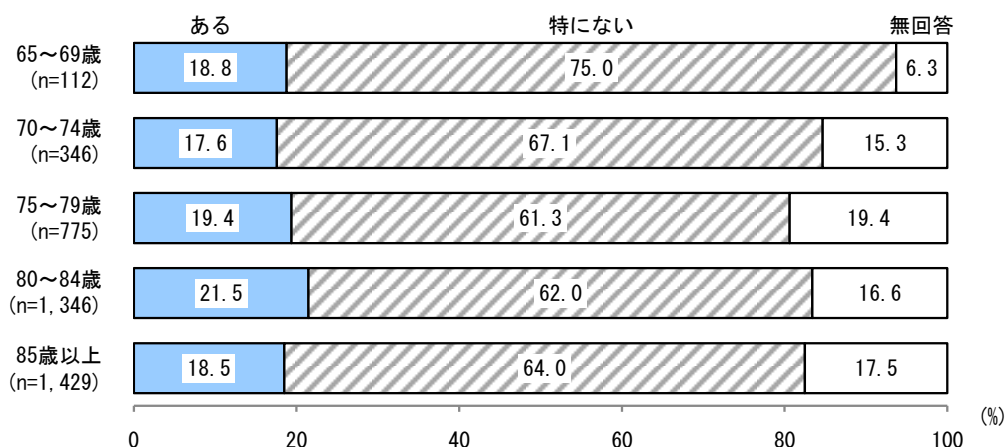
【図6-1-1 性別 日常生活を送るうえでの困りごとや相談等の有無】



【年齢別】

困りごとや相談等が「ある」割合は、80～84歳が21.5%で最も高くなっています。(図6-1-2)

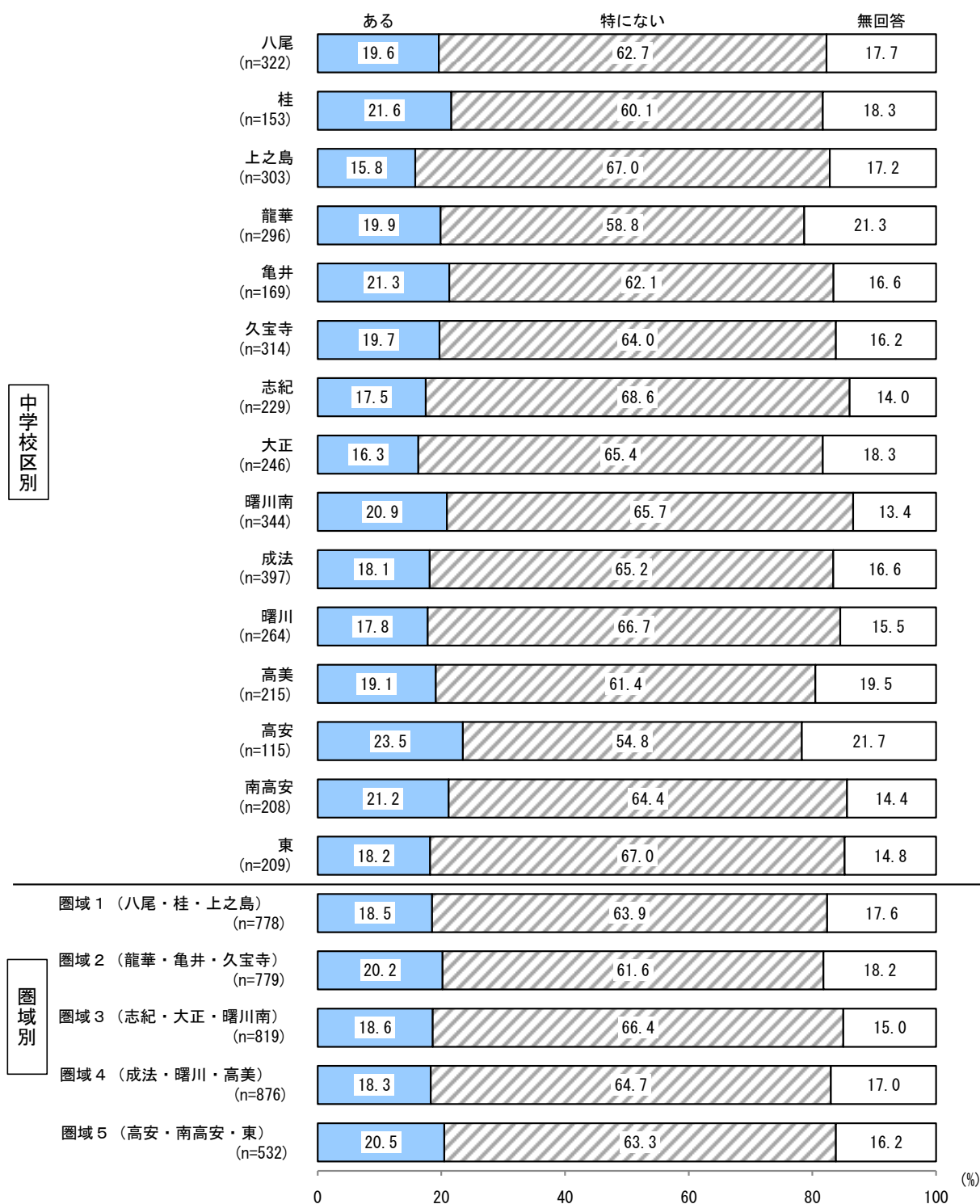
【図6-1-2 年齢別 日常生活を送るうえでの困りごとや相談等の有無】



【居住地域別】

中学校区別では、困りごとや相談等が「ある」割合は、高安で23.5%と最も高くなっています。(図6-1-3)

【図6-1-3 居住地域別 日常生活を送るうえでの困りごとや相談等の有無】



(2) 具体的な困りごとや相談等について（自由記述）

困りごとや相談等を具体的にご記入ください。

困りごとや相談等の内容は以下のとおりです。なお、意見総数は777件となっています。

【意見件数】

内容	件数
健康や病気のこと	252
家事や家の中の作業（買い物、掃除、炊事、洗濯、電球交換、重たい物を運ぶ等）、入浴、食事等、毎日の生活に関すること	101
寝たきりや身体が不自由になり介護が必要な状態になること、介護者の困りごと	55
介護サービスに関すること	53
交通の便、移動手段に関すること	47
一人暮らしに対する不安	45
インターネットやSNS等新しい情報収集に関すること、パソコン、スマホに関すること	38
生活のための収入のこと、経済的なこと	36
コロナウイルス、コロナワクチンに関すること	27
人（近隣、親戚、友人、仲間など）のつきあいのこと	26
住まいに関すること	23
相談に関すること、交流できる場、運動できる場に関すること	17
自然災害（地震、台風など）	5
財産やお墓の管理・相続のこと	5
子や孫などの将来	4
その他	43
合計	777

【主な意見（抜粋）】

●健康や病気のこと

- ・足腰が悪く外出できないのがつらい。
- ・体力や筋力の衰えを感じる。
- ・体が不調のため、家事や食事、入浴等することがしんどい。

●家事や家の中の作業、入浴、食事等、毎日の生活に関すること

- ・近くに買い物する所がなく、食料品・日用品等の買い物に困る。移動スーパーなどに来てほしい。
- ・重い物や大きい物を運ぶことができない、高いところが届かない。
- ・炊事、掃除、ゴミ捨てができない。

●寝たきりや身体が不自由になり介護が必要な状態になること、介護者の困りごと

- ・自分で日常生活や身の回りのことができなくなったときのことが不安である。
- ・家族を介護しているが、いつまでこの状態が続くのか、自分の体がいつまで健康でいられるか、心配である。
- ・老々介護、要支援1と要介護2の二人家族で、いろいろ問題が起って困っている。

●介護サービスに関すること

- ・コロナの影響で昨年からデイサービスをやめてしまい、運動をしなくなり、体全体の筋力が弱くなってしまった。
- ・介護サービスにかかる費用をもっと安価にしてほしい。
- ・ヘルパーさんは週1回なので、やってもらえることに限界がある。

●交通の便、移動手段に関すること

- ・近所にバス停がなく外出が不便である。タクシーもなかなか来ないこともあり、外出が困難になっている。
- ・免許証の返納により、買い物や病院へ行くときの足がない。
- ・小型バスや共用タクシー、介護タクシー等、移動手段を充実してほしい。

●一人暮らしに対する不安

- ・一人暮らしで孤独死が心配である。
- ・自分の身体、その他の事で困り事ができた場合、誰に相談すれば良いのかわからない。
- ・一人暮らしになると人との会話が極端に少なくなる。孤独感に陥るときがある。

●インターネットやSNS等新しい情報収集に関すること、パソコン、スマホに関すること

- ・スマホをもっと利用したい。困った時にすぐに助けてくれる人がいれば良いのと思っている。困った時に解決できずに後回しにすると聞くのを忘れてしまう。
- ・情報端末機器を使った介護予防事業サービスの取り組みは、これからは大いに必要だと思うが、高齢者にはこれから覚えるのはなかなか大変な事である。
- ・パソコン、スマホの使い方がほとんど分からないので、尋ねたいことを聞ける講座を開いてもらえればありがたい。ちょっと教えてもらえる所、尋ねられる所が欲しい。

●コロナウイルス、コロナワクチンに関すること

- ・ガラケイでワクチンの予約が取れなくてすごく困った。高齢者でもすぐ取れるように考えてほしい。
- ・コロナでイベントや講座が中止になり寂しい。去年から何の教室にも参加していない。
- ・家族や友人と会う機会が減り寂しい。早く終息してほしい。

●人（近隣、親戚、友人、仲間など）のつきあいのこと

- ・近所の方と話をすることが少なくなり、家に閉じ込めることが多くなった。
- ・友人、知人がだんだん減っている。子どもさんの所へ行かれたり亡くなられたり。週1回のデイサービスが楽しみである。
- ・一人暮らしのため、会話の相手がない。話し相手が欲しい。

●住まいに関すること

- ・住まいが団地で、階段を上がるのが毎日苦痛である。
- ・家が古いため不便が多い。
- ・家が狭く動きにくいのでしんどい。

●相談に関すること、交流できる場、運動できる場に関すること

- ・一人暮らしで近所に知り合いもなく、コロナでコミセンの集まりもない。話し相手が欲しい。物忘れがひどくなりそうな気がする。
- ・近場で運動ができるところや、低料金でできる体操教室などをしてほしい。
- ・一人暮らしなので、いろいろと相談にのってくださる方がおられると安心である。

Ⅲ 調査結果のまとめと課題

1. 新型コロナウイルス感染症の拡大と日常生活の変化

(1) コロナ禍における要支援高齢者の活動状況と変化

回答者の年齢は、今回、調査対象者を介護認定の要支援者としたことから、75歳以上の後期高齢者が87.4%を占め、そのうち68.3%が80歳以上となっています。そのため、新型コロナウイルス感染症に対し「自分自身への感染」(75.3%)や「感染後の重症化や後遺症」(46.6%)に不安を感じている高齢者が多く、また、「外出等を控えることによる身体機能の低下」(26.0%)を挙げる高齢者も全体の4人に1人となっています。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、8割の高齢者が行っていると回答した「外出」や「日用品・食料品の買い物」は、その頻度が減ったとの回答が4～6割程度、また地域の集まりやグループ活動に参加していた高齢者は48.1%で、そのうち参加する頻度が減った割合が36.4%となっています。一方、他者との接触がないまたは少ないと考えられる、同居家族と過ごす時間や電話(テレビ電話)・メールなどによるコミュニケーション活動の頻度については変化なしとの回答が多くなっており、コロナ禍での自粛生活が要支援高齢者の日頃の活動状況を質的に変化させている様子がうかがえます。

また、運動習慣の状況をみると、「屋内での運動」(28.2%)に比べ「屋外での運動」(42.6%)の割合が高くなっていますが、新型コロナウイルス感染症の拡大により屋外での運動習慣が減った割合が比較的高くなっています。また「自宅での運動」の頻度は減少し、「転倒頻度」は増えたとの回答が10人に1人程度みられ、コロナ禍における活動量の低下は運動習慣にも影響し、筋力の低下などの転倒につながる要因が増した要支援高齢者は少なくないと考えられます。

買い物など日常的な外出行動や健康を維持するための活動がコロナ禍において継続できず、身体活動量が減少している高齢者が見受けられ、新型コロナウイルス感染症の収束後には、介護が必要となる高齢者が増加する懸念があります。屋内でできる運動プログラムの提供や自宅周辺で人との接触が可能な限り少ない形で継続できるウォーキング等の運動の実施を働きかけていくことが必要です。

(2) コロナ禍における心身の健康面の変化

新型コロナウイルス感染拡大前と比べ、心身の健康面での意識の変化をみると、「今までやっていたことがおっくうに感じるようになった」(62.4%)や「将来に不安を感じるようになった」(61.8%)、「ストレスを感じるが増えた」(55.0%)、「毎日の生活に充実感がない」(53.4%)、「物忘れが多くなってきた」(52.7%)、「笑うことが少なくなった」(51.5%)が半数を超えており、コロナ禍の自粛生活などは精神面でも影響を及ぼし、心身の面での活動意欲を低下させる背景となっていることがうかがえます。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、日常的に行われていた地域活動や人とのつながり・コミュニケーションが希薄になることで、高齢者の認知機能の低下が進んでいるとの指摘もあり、地域包括支援センターや民生委員など地域の支援者を通じ、要支援高齢者に寄り添った継続的な見守りや相談支援体制の充実に努めることが必要です。

（３）新型コロナワクチンの接種状況

調査時点（令和３年10月時点）で、新型コロナウイルスワクチンを接種したと回答した高齢者は92.0%で、そのうち「個別接種をしている医療機関」での接種が74.2%で最も多くなっています。そのため、ワクチン接種の予約方法は、「個別接種をしている医療機関に直接来院して予約」（44.3%）が最も多く、これに次いで「自分または親族等が電話予約」（31.3%）が多くなっています。一方、これらに比べ「自分でインターネット予約」（1.3%）や「親族や知人等がインターネット予約」（12.6%）は少なくなっています。

高齢者の新型コロナワクチン接種の申し込みの際には、各地で申し込みが殺到する状況が見られ、特に高齢者にとって慣れないインターネット予約を利用できず、電話予約に集中する結果が発生しました。若者らが操作を手伝う自治体もあり、インターネット予約の実施による利便性の向上とともに、高齢者のインターネットに対するリテラシーの向上が求められます。

２．要支援高齢者の心身の健康状態や活動能力

（１）現在の高齢者の健康状態

健康状態を問う質問の回答結果では、「一日中家の外には出ず、家の中で過ごすことが多い」という高齢者が全体の62.1%を占めるなど、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う自粛生活などにより、フレイル状態に陥っている要支援高齢者は少なくないと考えられます。

また、回答結果では、「家の中でよくつまずいたり、滑ったりする」が35.4%で、実際に「この１年間に転んだことがある」は37.8%となっており回答者のほぼ３人に１人は転倒・骨折リスクを抱えています。「この６ヵ月間に３kg以上の体重減少があった」（20.3%）が回答者の５人に１人、「この６ヵ月間に以前に比べてからだの筋肉や脂肪がおちてきた」が60.0%となっており、栄養状態に不安がある高齢者も少なくありません。

（２）歩行・外出の状況

1 kmぐらいの距離の継続的な歩行が「できない（介助してもらう必要がある場合も含む）」との回答は12.6%に対し、「不自由ながらも歩くことはできる」（60.1%）、「不自由なく歩くことができる」（23.5%）の両者を合わせた歩行にほぼ問題ない高齢者は83.6%を占めています。「できない（介助してもらう必要がある場合も含む）」の割合は65～69歳の割合（17.9%）が最も高く、これについて85歳以上の16.3%が続いており、比較的若い世代で歩行能力に支障のある高齢者がみられます。

外出の頻度をみると、「２～３日に１回」が31.2%で最も多く、次いで「毎日１回ぐらい」が28.4%で、「ほとんど外出しない」は11.4%となっています。「ほとんど外出しない」割合は、85歳以上が15.1%で最も高く、次いで65～69歳の14.3%となっており、歩行面で支障があることが外出に消極的になる原因の一つと考えられます。

長期にわたる自粛生活は、転倒・骨折、歩行障害など、少なからずもフレイル状態に陥る高齢者を増やしていると考えられます。ウィズコロナ及びアフターコロナを見据えたフレイル対策を一層強化することが重要です。

3. 健康づくりや介護予防活動

(1) 健康のために行っている活動や今後の意向

健康のために行っている活動としては、「定期的に通院する、往診を受ける」(71.1%)が最も多く、これに次いで「バランスの良い食事など食生活に気をつける」(45.8%)で、以下「睡眠をしっかりとる」(44.6%)、「読書、新聞、脳の体操(脳トレ)など頭を使うこと」(44.1%)、「テレビ、ラジオ、インターネットなどで健康情報を見る」(41.6%)などとなっています。

今後参加してみたい健康づくり活動は、「運動や体操、ウォーキング等の体力づくりの講座やグループ活動等」(24.0%)が最も多く、「脳の体操(脳トレ)等の認知症予防のための講座やグループ活動等」(22.2%)、「趣味(手芸、絵画、将棋、写真、歌など)の講座やグループ活動等」(20.1%)などが続いています。

(2) 通いの場への参加状況

通いの場に週に1回以上参加経験がある割合は全体の30.8%となっているのに対し、「まだ参加したことはない」は46.0%で、参加経験のない高齢者が多くなっています。参加したことがない割合は、65～69歳で67.9%と最も高く、70～74歳では56.6%と前期高齢者の参加未経験の割合が高くなっています。

通いの場に通う理由は、「健康の維持・増進」(63.1%)が最も多く、これに次いで「友人・仲間と会うため」(50.1%)となっています。「友人・仲間と会うため」は男性に比べ女性の割合が高くなっています。

高齢者のフレイルの予防に重要な役割の一つを担っている通いの場は、単に高齢者が集まったり体を動かしたりするだけではなく、通いの場のもう一つの機能である利用者同士の見守りなど、希薄となっている地域のつながりをカバーできる仕組みも重要です。

4. インターネットの利用状況と今後の意向

(1) インターネットと情報端末機器の利用状況

インターネットを利用している要支援高齢者は19.6%に対し、73.4%が「まったく使っていない」と回答しています。利用している割合は65～69歳が54.5%で最も高く、最も低い85歳以上では12.6%となっています。若い世代ほどインターネット利用が普及しており、今後団塊の世代を含む若い世代の加齢が進むことにより年代間の利用率の差は少なくなっていくものと予想されますが、現状では利用率の年代間での差が大きいため、インターネットを活用した効果的なサービスや情報提供を進めていくには年代によるインターネットへの知識・理解の格差の縮小が課題だと考えられます。

インターネットを利用している要支援高齢者のうち、利用している情報端末は「スマートフォン」(72.4%)が最も多く、次いで「パソコン」(37.3%)、「タブレット」(17.7%)となっており、「パソコン」は男性(62.5%)、「スマートフォン」は女性(79.8%)の利用割合が高くなっています。また年齢では、「パソコン」は高年代ほど利用割合が高く(85歳以上で45.3%)、「スマートフォン」は若い世代ほど高くなっています(65～69歳で86.9%)。

これらの情報端末機器の利用目的は、「いろいろな調べもの（情報検索）」（60.7%）が最も多く、これに次いで「SNS」（52.1%、そのうち「LINE」の利用が93.8%）、「メール」（46.9%）、「写真の撮影や鑑賞」（28.8%）などとなっています。男性は“調べもの”（66.3%）、女性は“SNS”（63.9%）多くなっています。

インターネット利用者に、コロナ禍における情報端末機器利用のメリットをたずねたところ、「家族や友人と連絡（メール等を含む）ができる」（66.8%）が最も多く、次いで「情報収集ができる（ニュース、天気予報、店舗情報や調べもの等）」（65.4%）、「自宅にいながら映画や動画・音楽鑑賞、読書などができる」（17.5%）となっています。“調べもの”での利用が多い男性では、「情報収集ができる（ニュース、天気予報、店舗情報や調べもの等）」（72.1%）が、“SNS”での利用が多い女性では、「家族や友人と連絡（メール等を含む）ができる」（77.9%）が取り上げるメリットとしてそれぞれ最も多くなっています。

また、利用している情報端末機器で困った点は、「アプリケーションなどの使い方」（31.1%）が最も多く、これに次いで「スマートフォンだと、画面が小さく文字が読みにくい」（27.8%）、「故障したときの対応」（26.3%）、「パスワードがわからない」（21.2%）が続いています。

男性はパソコンでのネットによる情報収集、女性はスマートフォンでのSNSを通じた他者とのコミュニケーションのツールとしてそれぞれ情報端末機器を活用し、男女間で利用特性に違いがみられます。情報端末機器を通じた行政サービスに関する情報提供に際しては、そのターゲットに応じてふさわしい機器を用いて発信することが重要です。

（２）インターネットの利用環境と利用意向

自宅にWi-Fi環境がある世帯は61.3%に対し、ない世帯は29.8%となっています。

Wi-Fi環境がない世帯は、高年代で高く、前期高齢者ではおよそ7割があると回答しているのに対し、80歳以上の年代では50%台となっています。

インターネットを「まったく使っていない」の回答は73.4%となっており、その理由として、「使い方がわからない、むずかしい」（46.0%）が最も多くなっています。これに次いで「必要性を感じない」（40.5%）、「インターネットができる機器や利用環境がない」（38.4%）が続いています。

インターネットを「まったく使っていない」と回答した高齢者に、今後のインターネットの利用意向をたずねると、インターネットを使いたい割合（「使いたい」＋「教えてくれたら使いたい」）は16.4%で、「使いたくない」が64.8%となっています。また、インターネットを利用したいと回答した高齢者に使用したい情報端末機器をたずねると、「スマートフォン」（58.3%）が最も多く、これに次いで「パソコン」（31.1%）、「タブレット」（13.9%）が続いています。

使用したい情報端末機器で行ってみたいことは、「いろいろな調べもの（情報検索）」（51.7%）が最も多く、これに次いで「メール」（36.8%）で、以下、「写真の撮影や鑑賞」（15.3%）、「インターネットを利用した買い物（アマゾン、メルカリなど）」（13.9%）、「市役所などの行政手続き（電子申請・申告・届出、納税など）」（12.9%）などが続いています。「メール」は65～69歳が、「いろいろな調べもの（情報検索）」は70歳以上の年代の各割合が高くなっています。

インターネットの利便性の啓発とあわせて、インターネットやコンピュータを使える人と使えない人との間に生じる格差である「デジタルデバイド」が発生しないよう、インターネットの利用環境の整備を含め、高齢者のＩＣＴの知識やスキルの向上につながる支援の充実が必要です。

また、高齢者に必要と思われる情報については、自分自身で検索できるスキル等の向上とあわせ、スマートフォン等へのプッシュ型の情報提供等、簡単に情報を受け取ることができるような支援も必要です。

（３）情報端末機器の利用方法などを学べる教室の参加意向

情報端末機器の利用方法などを学べる教室に「参加したい」割合が19.9%に対し「参加したくない」は58.9%で、参加したい割合は70～74歳が30.9%で最も高くなっています。（他の年代は85歳以上を除き20%前半、85歳以上は14.9%）

参加したいと回答した高齢者にどのような内容の教室に参加したいかたずねたところ、「パソコンやスマートフォン等の情報端末機器の基本的な操作方法」（46.0%）が最も多くなっています。これに次いで「インターネット検索の使い方」（44.8%）で、以下、「メールの使い方」（36.1%）、「SNS（LINE、ツイッター、フェイスブックなど）の使い方」（32.3%）、「カメラ内蔵のスマートフォンやタブレットの使い方や画像を見る方法」（27.2%）となっています。

デジタルデバイドを解決するためには、インターネットやＩＣＴに関する知識を養うための教育が大切です。たとえば、情報通信機器やアプリケーションの使い方のほか、セキュリティリスクといったインターネット全般に関する学習の機会を充実することが必要です。

（４）情報端末機器を活用した介護予防への取り組み意向

パソコンやスマートフォン等の情報端末機器で動画を見ながら自宅で介護予防に取り組むことを「したいと思う」との回答が17.5%に対し、「したいとは思わない」は36.0%となっています。「したいと思う」割合は、若い世代ほど高い傾向がみられます。（65～69歳24.1%、85歳以上15.3%）

情報端末機器を使って自宅で介護予防に取り組みたいという高齢者にその内容をたずねたところ、「脳の体操（脳トレ）などの認知症予防の講座」（69.3%）が最多で、性別や年代に関係なく最も多く、認知症予防への関心の高さがうかがえます。そのほか、「スクワット、腹筋などの筋力をつける運動（筋トレ）」（43.9%）や「バランスの良い食事などの食生活の講座」（41.9%）、「趣味等の学びの場（料理、ガーデニング、家庭菜園など）」（35.1%）などが取り組み意向の高い項目となっています。

情報端末機器を活用した介護予防事業サービスで希望する機能は、「健康に関するアドバイス」（21.0%）で最も多く、「自分自身の健康診断結果や体力測定の結果の閲覧」（11.6%）、「自分自身の健康やフレイル・要介護リスクの表示」（10.5%）などとなっています。

テレワークやオンライン会議のシステムは、コロナ禍において一気に発展しました。介護予防事業として実施している体操もDVDの動画に合わせて身体を動かすものであり、オンラインでリアルタイムに一緒に運動が行え、会話も楽しめるシステムがあれば、場所を問わず高齢者の参加は可能になるものと考えられます。しかし、通信環境の問題をはじ

め、情報端末機器そのものの使い方がわからない場合や利用にあたっての抵抗感など、同じ高齢者でも特に高年代になるほどそのような意識が強くなる傾向があります。

これまでは、高齢者になってからパソコンやインターネットといった情報端末機器に接する人がほとんどでしたが、今後は高齢者の中に、I C Tの高度な利用を経験してきた人々から I C Tの利用経験がほとんどない人まで、非常に幅広い人々が含まれることとなります。そのような意味では、高齢者を若い世代と同じように、あるいはそれ以上の多様性を持つ存在であることを認識し、I C Tに関して「高齢者支援」という視点ではなく、高齢者の多様なレベル、特性に応じた多様な I C Tの利活用に向けた支援が重要です。

5. 日常生活の困りごとや相談したいこと

日常生活を送るうえでの困りごとや相談等が「ある」との回答は19.5%に対し「特にない」は63.2%となっています。年代に関係なく、2割前後の高齢者に何らかの困りごとや相談等があります。

具体的な困りごとや相談等の上位3項目は「健康や病気のこと」(252件)、「家事や家の中での作業」(101件)、「寝たきりや身体が不自由になり介護が必要な状態になること、介護者の困りごと」(55件)などで、「インターネットやSNS等新しい情報収集に関すること、パソコン、スマホに関すること」に関する意見は38件ありました。

Ⅳ 資料編（調査票）

新型コロナウイルスによる生活及び意識の変化と スマホ等デジタル機器の活用意識調査 ご協力をお願いします

市民のみなさまには、日頃から市政に「協力」いただきありがとうございます。
また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策について、ご理解とご協力いただき、感謝申し上げます。

現在、新型コロナウイルス感染症防止のための緊急事態宣言等による不要不急の外出を控え、「3密」を避ける生活が長期化したことにより、高齢者が運動不足に陥り、心身機能が低下するおそれがあるという生活上の課題があると看做されます。このたび、自衛生活を続けるための基礎的な資料を作成することを目的として本アンケートを実施いたします。

つきましては、ご回答のご協力をお願いいたします。集計結果は、本件目的にのみ活用させていただきますこととし、数値で統計的に処理いたしますので、回答者個人が特定される等のご迷惑をおかけすることはございません。

みなさまにおかれましては、大変ご多用のこととは存じますが、主旨をご理解の上、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

調査票の記入方法

- この調査の対象者は、本市に在住され、令和3年9月6日現在で要支援1～2の認定を受けている65歳以上の入居者です。
- 設問の「ご本人」「あなた」とは、調査対象の人で、封筒のあて名の人をさします。
- この調査は、できる限り対象のご本人がお答えください。また、ご家族などが記入される場合は、できる限りご本人の意向をお聞きのうえ、ご記入ください。
- この調査は、令和3年10月1日現在の状況について、記入またはあてはまる項目または番号に○をつけてください。○の数は、質問ごとに「1」つだけ、「いくつでも」など、それぞれ指定していますので、ご注意ください。
- 質問中の「その他」を選ばれた場合は、（ ）内にできる限り具体的な内容をお書きください。
- ご記入が完了されましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、**令和3年10月25日（月）**までに郵便ポストへご投函ください。
- 調査票は、個人情報保護の観点から、適正に取り扱い、扱われていたまます。また、ご希望された場合、高齢者あんしんセンター等からご連絡をさせていただきます。

■このアンケート調査についてのお問い合わせは、下記へお願いいたします。

八尾市 健康福祉部 高齢介護課 地域支援室

電話：(072) 924-3837 ファクス：(072) 924-3981

E-mail：chikisen@city.yao.osaka.jp

【まずは、回答者の方にうかがいます。】

問1. 調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

1. あて名のご本人
2. 主な介護者となっている家族・親族
3. 主な介護者以外の家族・親族
4. 調査対象者の担当ケアマネジャー
5. その他（具体的に）

問2. あて名のご本人のことについてうかがいます。

(1) 性別

1. 男性
2. 女性
3. 男性・女性と答えることに抵抗を感じる

(2) 年齢

満（ ）歳

(3) 要介護度

1. 要支援1
2. 要支援2
3. わからない

(4) お住まいの小学校区

※高安は小中学校区

- | | | | |
|----------------|---------|---------|---------|
| 1. 八尾 | 2. 山本 | 3. 用和 | 4. 久宝寺 |
| 5. 龍華 | 6. 大正 | 7. 桂 | 8. 安中 |
| 9. 竹洲 | 10. 南高安 | 11. 高安 | 12. 曙川 |
| 13. 北山本 | 14. 南山本 | 15. 志紀 | 16. 高美 |
| 17. 長池 | 18. 東山本 | 19. 美園 | 20. 永畑 |
| 21. 刑部 | 22. 高美南 | 23. 西山本 | 24. 高安西 |
| 25. 曙川東 | 26. 亀井 | 27. 上之島 | 28. 大正北 |
| 29. 小学校区がわからない | | | |

小学校区がわからない場合は、お住まいの町名を（ ）内にご記入ください。

八尾市（ ）町

【新型コロナウイルス感染症についてうかがいます。】

問3. 新型コロナウイルス感染症に対してどのような不安がありますか。(〇は3つまで)

1. 自分自身への感染	
2. 入院など適切な治療が受けられないこと	
3. 感染後の重症化や後遺症	
4. 外出等を控えることによる身体機能の低下	
5. 他人を感染させてしまうこと	
6. 感染した場合の自分や家族への偏見や差別、根拠のないうわさ	
7. 地域住民とのつながりやコミュニティが希薄になること	
8. その他（具体的に：_____）	

問4. 新型コロナウイルス感染症拡大により、その前と比べて生活時間やコミュニケーションに変化がありますか。①～⑨の項目についてそれぞれお答えください。

	増えた	変わらない	減った	元々して いない
①外出すること	1	2	3	4
②同居家族と一緒に過ごす時間	1	2	3	4
③別居家族と会う時間	1	2	3	4
④友人・知人と一緒に過ごす時間	1	2	3	4
⑤慣れる、座っている時間	1	2	3	4
⑥離れて暮らす家族と電話・メール・テレビ電話などでコミュニケーションを取ること	1	2	3	4
⑦友人・知人と電話・メール・テレビ電話などでコミュニケーションを取ること	1	2	3	4
⑧地域の集まりやグループの活動に参加すること	1	2	3	4
⑨日用品・食料品の買い物をすること	1	2	3	4

問5. 新型コロナウイルス感染症拡大により、その前と比べて運動習慣や食生活に変化がありましたか。①～⑦の項目についてそれぞれお答えください。

	増えた	変わらない	減った	元々して いない
①屋内（ジム・スポーツクラブ・体育館など）で運動すること	1	2	3	4
②屋外で運動すること （ジョギング、ウォーキング、屋根のない運動場でのスポーツなど）	1	2	3	4
③自宅で運動すること	1	2	3	4
④転倒の頻度	1	2	3	4
⑤食事の量や回数	1	2	3	4
⑥間食の量や回数	1	2	3	4
⑦飲酒の量や回数	1	2	3	4

問6. 新型コロナウイルス感染症拡大により、その前と比べて心身の健康面の意識に変化がありましたか。①～⑧の項目についてそれぞれお答えください。

	あてはまる	どちらかと いえば あてはまる	どちらかと いえば あてはまる ない	あてはま らない
①医療機関に行きにくくなった	1	2	3	4
②病気の予防のための検診などに行きにくくなった	1	2	3	4
③ストレスを感じることが増えた	1	2	3	4
④物忘れが多くなってきた	1	2	3	4
⑤毎日の生活に充実感がない	1	2	3	4
⑥今までやっていたことが おっくうに感じるようになった	1	2	3	4
⑦笑うことが少なくなった	1	2	3	4
⑧将来に不安を感じるようになった	1	2	3	4

問7. 新型コロナウイルスワクチンの接種状況についてうかがいます。(〇は1つ)

1. 接種した	2. 接種していない	3. 答えたくない
(1) 「1. 接種した」と回答した方にうかがいます。		
ワクチンの接種はどこでされましたか。(〇は1つ)		
1. 集団接種会場 (八尾市以外で実施する集団接種も含む)		
2. 個別接種をしている医療機関		
3. 職場 (勤務先)		
4. 入所している (していた) 施設		
5. 入院している (していた) 病院		
6. その他 (具体的に:)		

問8. ①～③の項目についてあなたの状態をそれぞれ「はい」「いいえ」でお答えください。

はい	いいえ
1	2
①目はふつうに見えますか ※本が読める程度 (眼鏡を使った状態も含みます)	
1	2
②この1年間で入院したことはありますか	
1	2
③家の中でよくつまずいたり、滑ったりしますか	
1	2
④この1年間に転んだことがありますか	
1	2
⑤転ぶことが怖くて外出を控えることがありますか	
1	2
⑥最近食欲はありますか	
1	2

はい	いいえ
1	2
⑦現在、たいいていのものは嚼んで食べられますか ※入れ歯を使った状態も含みます	
1	2
⑧この6か月間に3 kg 以上の体重減少がありましたか	
1	2
⑨この6か月間に以前に比べてからだの筋肉や脂肪がおちてきたと思いますか	
1	2
⑩一日中家の外には出ず、家の中で過ごすことが多いですか	
1	2
⑪家の中あるいは家の外で、趣味・楽しみ・好きでやっていることはありますか	
1	2
⑫親しくお話しできる近所の人はいますか	
1	2
⑬近所の人以外で、親しく行き来するような友達、同居家族または親戚はいますか	
1	2

問9. 1 km ぐらいの距離を歩いて歩くことができますか。(〇は1つ)

※1 km ぐらいの距離とは、だいたい15分ぐらいの距離です。

1. 不自由なく歩くことができる
2. 不自由ながらも歩くことはできる (杖やシルバーカー、ショッピングカーなどの補助が必要、痛みが伴う、途中で休む必要がある、その他不自由を感じる)
3. できない (介助してもらった必要がある場合も含む)

問10. 仕事 (農作業も含む)、買い物、散歩、通院、社会活動等で外出する (家の外に出る) 頻度はどれぐらいですか。(〇は1つ)

※介助されて外出する場合も含みます。庭先のみやゴミ出し程度の外出は含みません。

1. 毎日2回以上
2. 毎日1回ぐらい
3. 2～3日に1回
4. 1週間に1回
5. ほとんど外出しない

【健康づくりや介護予防活動についてうかがいます。】

問11. あなたが健康のために 行っている活動はどれですか。(○はいくつでも)

1. 散歩・ウォーキング、ジョギング、自転車、水泳などの運動
2. ラジオ体操、ストレッチ、ヨガなどの体操
3. スクワット、腹筋体操、腕立て伏せ、ダンベルなどの筋力体操
4. グランドゴルフ、輪投げなど仲間と楽しむ運動
5. バランスの良い食事など食生活に気をつける
6. 健康食品やサプリメントの摂取
7. 歯の手入れや、入れ歯の調整
8. 読書、新聞、脳の体操（脳トレ）など頭を使うこと
9. テレビ、ラジオ、インターネットなどで健康情報を見る
10. 趣味を楽しむ
11. 友人や知人と交流する
12. 規則正しい生活を送る
13. 睡眠をしっかりとる
14. 定期的に通院する、往診を受ける
15. その他（具体的に：_____）
16. 特に何もやっていない

問12. 次の活動のうち、あなたが参加してみたいと思うものはどれですか。(○はいくつでも)

※すでに参加している活動も含みお答えください。

1. 運動や体操、ウォーキングなどの体力づくりを目的とした講座・教室・グループ活動
2. 食事や料理に関する講座・教室・グループ活動
3. 歯の手入れや、入れ歯に関する講座・教室・グループ活動
4. 脳の体操（脳トレ）などの認知予防のための講座・教室・グループ活動
5. 心の健康を維持（うつ予防など）するための講座・教室・グループ活動
6. 趣味（手芸、絵画、将棋、写真、歌など）の講座・教室・グループ活動
7. 気軽に話をする交流を目的とした企画・教室・グループ活動
8. ボランティア（社会貢献）活動
9. ご自身の知識や経験を次世代に伝える活動・グループ活動
10. その他（具体的に：_____）
11. 参加したいものはない・参加したいと思わない

問13. あなたは、「通いの場」にどの程度参加していますか。(○は1つ)

※「通いの場」とは、住民が集まり、身近な場所で行われる、栄養指導や口腔指導などを受けたり、体操の後にお茶会を行ったりするなど、地域の人々が交流する場のことです。

1. 週に4回以上
2. 週に2～3回程度
3. 週に1回程度
4. 月に2～3回程度
5. 月に1回程度
6. 2～3か月に1回程度
7. 2～3か月に1回程度より少ない
8. まだ参加したことはない

(1) 問13で「1.」～「7.」のいずれかを回答した方にうかがいます。

あなたが「通いの場」に通う理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 健康の維持・増進
2. 友人・仲間と会うため
3. 健康に関する情報を得るため
4. 通いの場の内容自体に興味がある
5. 買い物やイベントのついでに参加できる
6. 運営する側として参加している
7. その他（具体的に：_____）

【インターネットの利用についてうかがいます。】

問14. あなたは、ふだんインターネットをどの程度利用していますか。(○は1つ)

1. 毎日
2. 週に2～3回程度
3. 週1回程度
4. 月1回程度でほとんど使っていない
5. まったく使っていない

→10ページの(6)へ

次の(1)～(5)は、問14で「1. 毎日」～「4. 月1回程度でほとんど使っていない」のいずれかに回答した方にうかがいます。

→(1) あなたがインターネットを利用する際に使用する情報端末機器は何ですか。

(○はいくつでも)

1. パソコン
2. スマートフォン
3. タブレット
4. ゲーム機
5. インターネットに接続できるテレビなど
6. その他(具体的に:)

タブレットとは、スマートフォンより大きい形状のタッチ式デジタル機器のことです。

(2) その情報端末機器を利用する目的(通話以外)は何ですか。

(○は主に利用するものを3つまで)

1. メール
2. SNS →
 1. LINE 2. ツイッター 3. フェイスブック 4. インスタグラム
 5. その他(具体的に:)

3. いろいろな調べもの(情報検索)

4. ゲーム

5. インターネットを利用した買い物(アマゾン、メルカリなど)

6. アプリケーション等の利用(お店のポイント利用、天気予報などの機能)

7. 写真の撮影や鑑賞

8. 映画・動画鑑賞(YouTubeなど)

9. インターネットを利用した銀行の手続きやQRコード決済(ペイペイなど)

10. 市役所などの行政手続き(電子申請・申告・届出、納税など)

11. その他(具体的に:)

(3) コロナ禍において、その情報端末機器を利用してよい(よかった)と思うことは何ですか。(○はいくつでも)

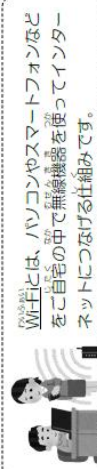
1. 情報収集ができる(ニュース、天気予報、店舗情報や調べものなど)
2. ワクチン接種やお店などの予約ができる
3. 家族や友人と連絡(メール等を含む)ができる
4. 家族や友人と顔を見ながらの会話や飲み会ができる
5. 自宅にいながら映画や動画・音楽鑑賞、読書などができる
6. 自宅にいながら買い物ができる
7. 自宅にいながら行政や銀行などでの各種手続きができる
8. 自宅にいながら講義(講座)を受けたり学習したりすることができる
9. 自宅にいながら体操教室などの介護予防の取り組みに参加できる
10. その他(具体的に:)
11. 特になし

(4) その情報端末機器を利用してどのようなことに困りましたか。(○はいくつでも)

1. メールの使い方
2. アプリケーションなどの使い方
3. パスワードがわからない
4. 利用料金が高額になった
5. スマートフォンだと、画面が小さく文字が読みにくい
6. 故障したときの対応
7. 個人情報の漏えい
8. コンピュータウイルスの感染や詐欺手法にひっかかった
9. その他(具体的に:)
10. 特になし

(5) ご自宅には、Wi-Fi環境がありますか。(○は1つ)

1. ある
2. ない
3. わからない



【11ページの問15へお進みください。】

次の(6)～(9)は、問14で「5. まったく使っていない」と回答した方
 うかがいます。(それ以外の方は、次のページの間15に進んでください。)

(6) インターネットを使っていない理由は何ですか。
 (〇はいくつでも)

1. インターネットができる機器や利用環境がない 2. 使い方がわからない、むずかしい 3. 使い方を教えてくれる人がいない 4. 必要性を感じない 5. 利用料金が高い 6. 導入のしかたがわからない 7. 個人情報漏えいなどの安全面で不安がある 8. コンピュータウイルスの感染や詐欺手法でだまされないか不安がある 9. インターネットがどういうものかわからない 10. その他(具体的に：)

(7) インターネットを使いたいと思いますか。(〇は1つ)

1. 使いたい 2. 教えてくれたら使いたい 3. 使いたくない	↓ 次のページの間15へ
--	-----------------

(8) (7)で「1. 使いたい」「2. 教えてくれたら使いたい」と回答した方にうかがいます。
 インターネットを利用する際の情報端末機器としてどのようなものを利用したいです
 か。(〇はいくつでも)

1. パソコン 2. スマートフォン 3. タブレット 4. ゲーム機 5. インターネットに接続できるテレビ 6. その他(具体的に：)
--

(9) その情報端末機器を利用してどのようなことをしたいですか。(通話は除く)
 (〇は主に利用したいものを3つまで)

1. メール 2. SNS (LINE、ツイッター、フェイスブック、インスタグラムなど) 3. いろいろな調べもの(情報検索) 4. ゲーム 5. インターネットを利用した買い物(アマゾン、メルカリなど) 6. アプリケーション等の利用(お店のポイント利用、天気予報などの機能) 7. 写真の撮影や鑑賞 8. 映画・動画鑑賞(YouTubeなど) 9. インターネットを利用した銀行の手続き(振込など)やQRコード決済(ペイペイなど) 10. 市役所などの行政手続き(電子申請・申告・届出、納税など) 11. その他(具体的に：) 12. わからない
--

すべての方にうかがいます。

問15. パソコンやスマートフォン等の情報端末機器の利用方法などを学べる教室があれば
 参加したいですか。(〇は1つ)

1. 参加したい 2. 参加したくない	↓ 次のページの間16へ
------------------------	-----------------

(1) 問15で「1. 参加したい」と回答した方にうかがいます。
 どのような内容の教室に参加したいですか。(〇はいくつでも)

1. インターネット検索の使い方 2. SNS (LINE、ツイッター、フェイスブック、インスタグラムなど)の使い方 3. メールの使い方 4. カメラが内蔵されたスマートフォンやタブレットの使い方や画像を見る方法 5. 動画(YouTubeなど)の視聴方法 6. パソコンやスマートフォン等の情報端末機器の基本的な操作のしかた 7. パソコンやスマートフォン等の情報端末機器の操作のしかたを高齢者等へ教えるため の教え方を学ぶ 8. その他(具体的に：)
--

すべての方にうかがいます。

問16. パソコンやスマートフォン等の情報端末機器で動画を見ながら自宅で介護予防の取り組みがしたいですか。

1. したいと思う	→ 問17へ
2. ...したいとは思わない	
3. ...わからない	

→ (1) 問16で「1. したいと思う」と回答した方にうかがいます。
どのような内容の介護予防の取り組みをしたいですか。(○はい/くつでも)

1. 河内音頭健康体操などの体操
2. スクワット、腹筋などの筋力をつける運動(筋トレ)
3. ウォーキングやヨガストレッチなどの運動
4. 脳の体操(脳トレ)などの認知症予防の講座
5. バランスの良い食事などの食生活の講座
6. 歯の手入れや入れ歯についての講座(口腔ケア)
7. 趣味等の学びの場(料理、ガーデニング、家庭菜園など)
8. その他(具体的に:)

すべての方にうかがいます。

問17 パソコンやスマートフォン等の情報端末機器を活用した介護予防事業のサービスとしてどのような機能があればよいと思いますか。(○はい/くつでも)

1. オンラインによる介護予防教室(動画やビデオ通話による)
2. 介護予防教室などの開催日時のお知らせ
3. 自分がふだん参加している活動や教室以外の情報の提供
4. 自分自身の健康診断結果や体力測定の結果の閲覧
5. 健康に関するアドバイス
6. 自分自身の健康やフレイル・要介護リスクの表示
7. 活動メンバーとのやりとり
8. その他(具体的に:)
9. 特になし
10. わからない

【最後に、日常生活の困りごとや相談したいことについてうかがいます。】

問18. 日常生活を送るうえで何か困りごとや相談等がありますか。

1. ある	2. 特になし
→ 質問は以上です。 ご協力ありがとうございます。	

困りごとや相談等を具体的に記入してください。

【以下の欄の記入は任意です。】

上記の困りごとや相談等について、市または各相当地域の高齢者あんしんセンターからの連絡や訪問を希望される場合は、以下の項目をご記入ください。ご記入内容は、個人情報の保護に関する法令を遵守し適切に管理します。

(ふりがな)			
氏名			
生年月日	明治・大正 昭和	年	月 日
住所 (訪問先)			
電話番号			
介護保険サービスの利用	あり	なし	

ご協力ありがとうございました。質問は以上です。

新型コロナウイルスによる生活及び意識の変化と
スマホ等デジタル機器の活用意識調査報告書

令和4年（2022年）1月

発行：八尾市 健康福祉部 高齢介護課 地域支援室

〒581-0003 大阪府八尾市本町1-1-1

電話：072-924-3837 FAX：072-924-3981

E-mail: chiikisien@city.yao.osaka.jp

刊行物番号：R3-198